

電話／テレビ電話

電話／テレビ電話のかけかた

電話をかける	52
リダイヤル／着信履歴	54
声の宅配便	55
番号通知（186）／非通知（184）	56
発信オプション	
～条件を指定して電話をかける～	57
国際電話（WORLD CALL）	57
国際ダイヤルアシスト	58
ブッシュ信号（DTMF）	59
発信詳細設定	60
ハンズフリー対応機器の利用	60
通話中保留	60
ハンズフリーの利用	61
通話中の受話音量調整	61
はっきりボイス	61
ゆっくりボイス	62
電話／テレビ電話切替	62
通話中音声メモ／動画メモ	62
通話中詳細設定	63

電話／テレビ電話の受けかた

電話を受ける	63
応答保留	64
着信詳細設定	64

電話／テレビ電話に出られないとき／出られなかったとき

公共モードの利用	65
伝言メモ	66
伝言メモ／音声メモの操作	67

テレビ電話の設定

テレビ電話中の表示設定	67
テレビ電話切替機能通知	68
テレビ電話画像選択	68
テレビ電話動作設定	69
パケット通信中着信設定	69
テレビ電話使用機器設定	
～外部機器と接続してテレビ電話を使用する～	70

電話をかける

電話番号を入力したり、リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、通話中音声メモの電話番号を選択したりして発信します。電話帳に電話番号を登録していれば、メールなどの各種履歴からも発信できます。

1 電話番号を入力（80桁以内）

- 同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 訂正する場合は[CLR]を押します。

2 発信方法を選択

音声電話の発信：

テレビ電話の発信： [テレビ電話]

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら

✓お知らせ

〈音声電話・テレビ電話共通〉

- 登録済みフェムトセル圏内から発信した場合、発信中／呼出中／通話中画面にフェムトセル利用を示す文字が表示されます。
- 番号通知をお願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか、「186」を付けてかけ直してください。
- 照明設定に関わらず、音声通話中は約3～5秒後に消灯し、テレビ電話中は消灯しません。ecoモードのON/OFF、ecoモード動作設定の設定内容によって消灯するまでの時間は異なります。

〈音声電話〉

- []を押した後に電話番号を入力した場合は、約5秒後に電話がかかります。
- 音声電話を発信時にはっきりボイス動作中の場合は、揺れや移動状況などから行動を認識してさらに最適な音質に調整します。→P61

◆緊急通報

本FOMA端末から次の緊急通報に発信できます。

警察への通報：(局番なし) 110

消防・救急への通報：(局番なし) 119

海上での通報：(局番なし) 118

✓お知らせ

- 本FOMA端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。

なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず機関側が位置情報と電話番号を取得することができます。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていること、電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。

- かけた地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。
- テレビ電話動作設定の音声自動再発信が「ON」のとき、FOMA端末から110番、119番、118番へテレビ電話発信した場合は、自動的に音声電話発信となります。
- 以下の機能が有効な状態で緊急通報へ電話をかけると、設定は無効に変更され、約5分後に自動的に再設定されます。設定が無効に変更されている間は、画面上の表示は変更されません。

- 登録外着信拒否
- メモリ別着信拒否／許可
- 電話帳の着信許可／拒否設定
- 通話中の着信動作が「通常着信」以外に設定されている場合

- 「公共モード」「セルフモード」を設定中に緊急通報に電話をかけた場合は、設定が解除されます。

◆災害用音声お届けサービス

災害時に音声メッセージをお届けするサービスです。メッセージを録音していくたまごと、SMSで相手先のお客様にお知らせします。また、相手先のお客様がメッセージを確認されると、お客様にSMSでお知らせします。

1 MENU 7 7 ▶ 「はい」 ▶ メッセージに従って操作

◆テレビ電話

テレビ電話機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末どうしで利用できます。

- ・テレビ電話は64kbpsでのみ通信できます。
- ・ドコモのテレビ電話は「国際標準の3GPP※1」で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※1 3GPP (3rd Generation Partnership Project) …第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術仕様開発のために設置された地域標準化団体

※2 3G-324M…第3世代携帯テレビ電話の国際規格

✓お知らせ

- ・テレビ電話中画面に「テレビ電話接続」と表示された時点から通話料金がかかります。
- ・テレビ電話のカメラ映像の代わりに代替画像を送信しても、通信料金は音声通話料ではなくデジタル通信料になります。
- ・テレビ電話が接続できなかった場合は、その理由がメッセージで表示され待受画面に戻ります。なお、相手の電話機の種類やネットワークサービスのご利用の有無により、実際の相手の状況とメッセージの表示が異なる場合があります。
主なメッセージは次のとおりです。
 - **お話し中**：相手が話し中（相手の端末によっては、パケット通信中のときにも表示されることがある）
 - **発信者番号通知をONにしてください**：発信者番号が非通知
 - **音声電話でかけ直してください**：相手が転送でんわサービスを設定していて転送先がテレビ電話非対応端末
 - **パケット通信中です**：相手がパケット通信中
 - **上限額を超過しているため接続出来ません**：リミット機能付料金プランの上限額を超過している
- ・ハンズフリー ON/OFF の切り替えはテレビ電話動作設定のハンズフリー設定に従います。
- ・本FOMA端末はインカメラ非搭載のため、相手に送る画像はキャラ電、静止画、アウトカメラの映像となります。

❖テレビ電話中画面の見かた



- ・マークの意味は次のとおりです。

✖～▶	ズーム
🕒	カメラ映像送信中
🕒	静止画送信中
🕒	伝言メモ録画中
🕒	撮影モード（標準）
💡	ライトON
🕒 HO	送信画質（動き優先／画質優先）
A	音声送受信中
↔	映像送受信中
↔ HO	音声・映像送受信中
↔	受話音量調整中
↔	テレビ電話切り替え可

リダイヤル／着信履歴

電話の発信と着信の履歴を記録しておく機能です。電話をかけ直したり、電話帳に登録したりします。

- リダイヤルと着信履歴はそれぞれ最大30件表示されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 7 3 ▶ 1 または 2

✓お知らせ

〈リダイヤル／着信履歴共通〉

- 電話中に電話／テレビ電話が切り替わっても、発着信時の種別が記録されます。
- 国際電話の場合は、電話番号の前に「+」が表示されます。「010」を付けて発信した場合は表示されません。
- 音声電話中に□を押すと、リダイヤル／着信履歴が表示されます。
- 電話帳に画像登録時は、詳細画面の表示は画像／名前表示切替に従います。
- 2in1利用時は、リダイヤルと着信履歴はAナンバー最大30件、Bナンバー最大30件まで記録されます。
- 2in1利用時、Bナンバーのリダイヤル／着信履歴ではSMSは作成できません。

〈リダイヤル〉

- 同じ電話番号に発信した場合は、番号通知の「指定なし」「通知」「非通知」ごとに最新の1件がリダイヤルに記録されます。
- 同じ電話番号に声の宅配便で発信した場合は別のリダイヤルとして記録されます。
- マルチナンバー契約時、サブメニューからマルチナンバーを指定して発信した場合は、その名称が詳細画面に表示されます。

〈着信履歴〉

- 電話番号が通知されなかった場合は、発信者番号非通知理由が表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。
- マルチナンバー契約時は着信したマルチナンバーの名称が詳細画面に表示されます。
- 会社などでダイヤルインを利用している相手から着信した場合、相手のダイヤルイン番号と異なる番号が表示される場合があります（ダイヤルインとは、1本の回線で着信用の電話番号を複数持てるサービスです）。

❖リダイヤル／着信履歴の見かた

- マークの意味は次のとおりです。

📞/📞: 音声電話／国際音声電話の発着信※1

📺/📺: テレビ電話／国際テレビ電話の発着信※1

📠/📠: フェムトセル在圏中の音声電話／国際音声電話の発着信

📠/📠: フェムトセル在圏中のテレビ電話／国際テレビ電話の発着信

⌚: 海外滞在時（UTC+09:00を除く）の発着信※2

▣: Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）

📞/📞: 発信オプションまたは電話帳の発番号設定で設定した番号通知／非通知の発信

📞: 声の宅配便で音声電話発信

📞/📞: 不在着信／未確認不在着信

📞/📞: 自動返信済みの不在着信／未確認不在着信※3

📠/📠: 伝言メモ／未確認伝言メモ※4

📠/📠: 自動返信済みの伝言メモ／未確認伝言メモ※3、4

📠/📠: 64Kデータ通信／国際64Kデータ通信の着信

⌚: 不在着信の呼出時間

※1 「010」を直接入力または「010」を電話帳に登録して発信した場合は、国際電話のマークと「+」は表示されません。

※2 発着信日時が記録されていないときなどは表示されない場合があります。

※3 メール自動返信された着信で表示されます。自動返信が送信できなかつた場合はその旨を通知するアイコンが表示されます。

※4 伝言メモを削除すると不在着信のマークに変わります。

❖不在着信

待受画面に📞 2(数字は件数)が表示され、着信履歴に不在着信として記録されます。

- 覚えのない番号からの不在着信があった場合、呼出時間により、着信履歴を残すことだけを目的としたような迷惑電話（「ワン切り」など）かどうかを確認できます。

◆リダイヤル／着信履歴の操作

1 MENU [7] [3] ▶ [1] または [2] ▶ 目的の操作を行う

詳細画面の表示：相手にカーソル▶[□] [詳細]

電話の発信：相手にカーソル▶[□] または [■] [テレビ電話]

- ・ 詳細画面で[□]を押すと、発着信時的方法で発信されます。

声の宅配便で発信：相手にカーソル▶[□] [声宅配]

メール送信／受信履歴の表示：[□] [送信履歴／受信履歴]

リダイヤル／着信履歴の削除：履歴にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]

▶ [5] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」

- ・ 1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。

- ・ 選択削除では選択操作▶[□]が、全件削除では認証操作が必要です。

■ サブメニューからの操作

- ・ リダイヤル／着信履歴一覧のサブメニューには「発信オプション」「マルチナンバー／自局番号」「居場所を確認」「登録」「削除」「リダイヤル」「着信履歴」「メール送信履歴」「メール受信履歴」「メール作成」が、リダイヤル／着信履歴詳細画面には「画像／名前表示切替」が、着信履歴一覧には「表示切替」「不在着信件数」があります。
- ・ 「居場所を確認」では電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続します。イマドコかんたんサーチの詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 「登録」には電話帳への新規登録と更新登録があり、本体またはドコモminiUIMカードを選択します。更新登録するときは登録する電話帳を選択します。
- ・ 「メール作成」ではiモードメールまたはSMSを選択して作成します。
- ・ 「画像／名前表示切替」で詳細画面の画像表示を設定します。
- ・ 「表示切替」は着信詳細設定の呼出動作開始時間設定が「ON」のときに表示されます。「すべての履歴」では呼出開始時間内の不在着信を含むすべてが、「呼出開始時間外履歴」では呼出開始時間以上呼び出された着信履歴のみが表示されます。

声の宅配便

声の宅配便は、音声電話を利用して声のメッセージを相手に届けるサービスです。FOMA端末どうしあれば、相手を呼び出さずにメッセージを録音したり、録音されたメッセージを再生したりできます。

- ・ 声の宅配便の詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 声の宅配便サービスセンターに接続されるので、音声ガイドに従って操作します。
- ・ メッセージは1件あたり最長15分、最大500件録音でき、720時間保存されます。また、最大5件保護でき、保護解除後は720時間経過後に自動的に削除されます。

■ 声の宅配便サービスの基本的な流れ

ステップ1：相手の電話番号に声の宅配便で電話をかけてメッセージを録音する

ステップ2：相手にSMSで通知される

ステップ3：相手がSMSから声の宅配便サービスセンターに電話をかけてメッセージを再生する

ステップ4：再生通知開始中はお客様のFOMA端末にSMSで通知される（初回再生時のみ）

■ 声の宅配便の通知SMSについて

声の宅配便では、新しくメッセージが録音されたり相手がメッセージを再生したりしたときに、SMSで通知されます。

- ・ 録音または再生を通知するSMSは、SMS拒否設定に関わらず受信されます。
- ・ メッセージを再生したことを相手に通知したくない場合は、声の宅配便の設定で再生通知を停止にします。お買い上げ時は、再生通知は開始に設定されています。また、メッセージの録音を通知するSMSを受けとりたくない場合は、声の宅配便サービスを停止してください。ただし、メッセージの録音を受け付けられなくなります。→P56
- ・ SMS非対応端末でも声の宅配便を利用できますが、録音または再生を通知するSMSは受信できません。

✓お知らせ

- ・ メッセージの録音・再生には通話料金がかかります。
- ・ 声の宅配便サービスは、海外、マルチナンバーでは利用できません。ただし、海外で利用中でもメッセージの録音を受け付けることは可能です。

◆ メッセージの録音

相手の電話番号を入力するか相手を選択して声の宅配便サービスセンターへ発信すると、音声ガイダンスに従ってメッセージを録音できます。

1 電話番号を入力▶ [録音] [声宅配]

電話帳から発信：[①]▶電話帳検索▶相手を選択▶電話番号を表示▶ [録音]

[声宅配]

- 複数の電話番号を登録している場合、電話帳一覧で相手にカーソル▶ [録音]▶電話番号を選択すると、選択した電話番号に声の宅配便で発信されます。

リダイヤル／着信履歴から発信：[MENU] [7] [3]▶ [1]または [2]▶相手を選択▶ [録音] [声宅配]

- 声の宅配便で発信したリダイヤルにカーソル▶ [録音]を押しても同様です。

✓お知らせ-

- クリックダイヤル発信時は、メモリ番号を入力後に [録音] を押すと利用できます。
- 発信者番号を非通知にして発信しても声の宅配便のメッセージを録音できますが、相手が番号通知お願いサービス開始中の場合はメッセージを録音できません。また、SMSには非通知と表示されます。
- 発信側の電話番号が迷惑電話ストップサービスに登録されている場合はメッセージを録音できません。

◆ メッセージの確認や声の宅配便サービスの設定

録音されたメッセージを再生したり、声の宅配便サービスの設定を行います。

■ SMSから直接メッセージを再生する

メッセージが録音されるとSMSで通知されます。SMSからPhone To機能を使用して、メッセージを直接再生します。

1 [✉] [1]▶ フォルダを選択▶ 表示するSMSを選択

2 「再生」を選択▶ [✉] [発信]

- 「設定」を選択すると声の宅配便サービスの設定を行います。

■ サイトからメッセージの確認／サービスの設定をする

声の宅配便サイトから録音されたメッセージを確認したり、サービスの設定ができます。

1 [MENU] [7] [8] [1]▶ 「はい」

■ 音声ガイダンスからメッセージを再生する

音声ガイダンスに従ってメッセージを再生します。再生後に削除／保護／返信ができます。

1 [MENU] [7] [8] [2]▶ 「はい」

■ 音声ガイダンスからサービスの設定をする

音声ガイダンスに従って声の宅配便サービスの開始／停止および再生通知の開始／停止を設定します。

1 [MENU] [7] [8] [3]▶ 「はい」

✓お知らせ-

- 発信者番号が非通知のメッセージを再生しても、再生を通知するSMSは送信されません。

番号通知（186）／非通知（184）

発信のたびに発信者番号の通知／非通知を設定できます。通知の場合は「186」を、非通知の場合は「184」を電話番号の前に入力します。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 番号通知方法の優先順位→P49

1 「186（通知）または184（非通知）-電話番号」を入力▶ [④] または [⑥] [テレビ電話]

✓お知らせ-

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

発信オプション

発信方法や番号通知などの発信条件を発信ごとに設定します。

- ・番号通知方法の優先順位→P49
- ・海外から国際電話発信→P358

1 電話番号を入力▶[MENU] [サブメニュー] ▶ 1 ▶ 各項目を設定
▶ [発信] または [テレビ電話]

声の宅配便：声の宅配便での発信を設定

- ・声の宅配便→P55
- ・声の宅配便を「有効」にして [□] を、または「指定なし」で [▣] を押すと声の宅配便で発信されます。
- ・声の宅配便で発信したリダイヤルを選択した場合は、声の宅配便を「無効」にして [□] または [▣] を押すと通常発信されます。

マルチナンバー／自局番号：発信番号を選択

マルチナンバーの発信方法→P349

- ・「自局番号」は2in1がデュアルモードまたはBモード時に表示されます。

発信方法：発信方法を選択

- ・発信方法を「テレビ電話」にして [■] を押すと、通話中に表示するキャラ電を選択できます。

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定

- ・番号通知を「指定なし」にすると発信者番号通知設定に従います。

フレフィックス：先頭に付加する番号（フレフィックス）を選択→P60

国際電話発信：国際電話発信を設定

国際フレフィックス：日本から国際電話発信時の国際アクセス番号を選択

国番号：国際電話発信時の国番号を選択

✓お知らせ

- ・発信方法の「SMS」は、SMS To機能を利用する場合などで選択できます。
- ・受信／送信メール詳細画面からの操作時、またはPhone To (AV Phone To) 機能利用時は、発信確認画面が表示される場合があります。「元の番号で発信」を選択すると、発信方法以外の設定が解除された状態で発信されます。
- ・発信者番号通知を設定して発着信しても、利用している通信事業者によっては、発信者番号が通知されなかったり正しく番号表示されなかったりすることがあります。この場合、着信履歴から発信できません。

国際電話 (WORLD CALL)

「WORLD CALL」は国内でドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話（音声電話・テレビ電話）サービスです。

FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- ・海外利用→P356
- ・音声電話は世界約240の国・地域にかけられます。海外の一般電話や携帯電話と音声電話がご利用できます。
- ・国際テレビ電話は世界約50の国・地域にかけられます。テレビ電話に対応した海外通信事業者の携帯電話や一般電話と国際テレビ電話をご利用できます。
- ・「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通話料金と合わせて請求させていただきます。
- ・申込手数料・月額使用料は無料です。
- ・「WORLD CALL」の詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- ・ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。
- ・海外通信事業者によっては発信者番号が通知されないこともあります。この場合、着信履歴を利用して電話をかけることはできません。
- ・国際テレビ電話は接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合があります。
- ・接続可能な国および海外通信事業者などの情報については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

◆日本から海外に電話をかける

- 009130▶010▶国番号▶地域番号（市外局番）の先頭の「0」を除いた電話番号でもかけられます。
- 国番号を含めた電話番号を電話帳に登録できます。

〈例〉海外の一般電話へ電話をかける

1 「010-国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[✓]

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。
海外の携帯電話へ電話をかける：「010-国番号-先頭の0を除いた携帯電話番号」を入力▶[✓]

❖「+」で国際電話を発信

【0】を1秒以上押すと「+」が入力されます。「+」の入力だけで、国際アクセス番号を入力しなくても国際電話をかけられます。

1 【0】(1秒以上)▶「国番号-地域番号（市外局番）の先頭の0を除いた電話番号」を入力▶[✓]▶「はい」

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

❖国際アクセス番号／国番号を指定して国際電話を発信

発信オプションで国際アクセス番号や国番号を選択して発信します。→P57

1 「地域番号（市外局番）-電話番号」を入力▶[MENU]【サブメニュー】▶[1]▶国際電話発信欄で[2]▶国際プレフィックス欄で国際アクセス番号を選択▶国番号欄で国番号を選択▶[✉]【発信】または[✓]▶「はい」

- 相手側の状況によっては、「元の番号で発信」を選択すると発信されません。

国際ダイヤルアシスト

国際電話発信時に利用する国番号と国際プレフィックスを簡単に呼び出せるように設定します。

❖自動変換機能

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかを設定します。また、海外から電話をかけるときに国番号を付加するかを設定します。

1 [MENU] [9] [9] [5] [1]▶各項目を設定▶[REC]【登録】

国番号変換：「ON」を選択して国番号を選択

- 海外で電話をかけるときに有効です。

国際プレフィックス変換：「ON」を選択して国際アクセス番号を選択

❖国番号

国際電話をかけるときに必要な国番号を最大22件登録できます。

1 [MENU] [9] [9] [5] [2]▶目的の操作を行う

修正するときは、国番号を選択して国名称を全角8（半角16）文字以内で、国番号を5桁以内で入力▶[REC]を押します。登録済みの国番号を削除した場合は、「[未登録]」を選択すると新規登録できます。

- 国番号にカーソル▶[REC]を押すと、自動変換機能に設定されます。
- サブメニューから「削除」を選択すると、カーソルを合わせた国番号が削除されます。

❖国際プレフィックス

国際電話をかけるときに電話番号の先頭に付加する国際アクセス番号を最大3件登録できます。

1 MENU 9 9 5 3 ▶ 目的の操作を行う

- 登録するときは、「〈未登録〉」を選択して名称を全角8（半角16）文字以内で、国際アクセス番号を10桁以内で入力▶[OK]を押します。登録済みの国際アクセス番号を選択すると修正できます。
- 国際アクセス番号にカーソル▶[OK]を押すと、自動変換機能に設定されます。
- サブメニューから削除を選択すると、カーソルを合わせた国際アクセス番号が削除されます。

プッシュ信号 (DTMF)

プッシュ信号を送って対応する各種サービスを操作します。ネットワークサービスの操作も行えます。

- ・ポーズとタイマーは音声電話にのみ有効です。

■ ポーズ「P」送出

ご自宅の留守番電話の操作、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 電話番号を入力▶[OK] (1秒以上) ▶ 番号を入力▶[OK]

2 電話がつながったら [OK] [実行]

ポーズ（「P」）以降の番号が送出されます。

■ タイマー「T」送出

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。

1 電話番号を入力▶[OK] (1秒以上) ▶ 内線番号を入力▶[OK]

外線番号に続いて、タイマー（「T」）1つにつき約1秒間の間隔をとって内線番号が送信されます。

- ・タイマー（「T」）は連続して入力できます。

■ テレビ電話中DTMF送信

テレビ電話中にプッシュ信号を送信します。

1 通話中に番号を入力▶プッシュ信号が送出される

送出解除 : [CLR]

- ・静止画送信中、キャラ電中はMENU [7] を押して番号を入力します。このとき、送信中の静止画は解除され、ダイヤルキーによるキャラ電のアクション操作はできません。

✓お知らせ

- ・プッシュ信号は、受信側の機器によっては受信できない場合があります。
- ・通話を保留にして別の相手にポーズ（「P」）、タイマー（「T」）を入力して電話をかけることはできません。

発信詳細設定

発信時に利用する機能の詳細を設定します。

1 MENU 7 4 5

2 目的の操作を行う

サブアドレス設定 : 1▶1または2

サブアドレスを指定して特定の端末を呼び出すかを設定します。

- ・サブアドレスとは、1つのISDN回線で複数の機器を接続している場合などに特定の機器を呼び出すときに使う番号です。

プレフィックス設定 : 2▶入力欄に番号を入力（10桁以内）▶3

【登録】

「184」「186」など電話番号の先頭に付加するプレフィックスをあらかじめ登録します。

- ・プレフィックスは最大3件登録できます。

◆サブアドレス指定発信

サブアドレスをつけて発信します。

1 「電話番号- * -サブアドレスの番号」を入力▶4または5
【テレビ電話】

- ・ポーズ（「P」）やタイマー（「T」）の後に「*」を入力すると、サブアドレスではなく「*」を含んだプッシュ信号として送出されます。

◆プレフィックス指定発信

プレフィックスを選択して発信します。

1 電話番号を入力▶MENU【サブメニュー】▶1▶プレフィックス欄でプレフィックスを選択▶3【発信】または4【テレビ電話】▶「はい」

- ・プレフィックスにポーズ（「P」）やタイマー（「T」）を含めた場合は発信できません。

ハンズフリー対応機器の利用

FOMA端末をカーナビなどのハンズフリー対応機器とUSBケーブル接続またはBluetooth接続することにより、ハンズフリー対応機器から音声電話の発着信などの操作ができます。

- ・ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・Bluetooth通信対応のハンズフリー機器と接続するには、FOMA端末で機器登録や接続が必要です。→P321

◆お知らせ

- ・ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定のときは、マナーモードや着信音の設定に左右されません。また、通話中クローズ設定に関わらず、FOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- ・伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。

通話中保留

- ・通話保留音の設定→P63

1 通話中に4【保留】

通話が保留になり、ランプがミントで点滅し、メロディが流れます。テレビ電話のときは、自分と相手にテレビ電話保留中画像が表示されます。

通話中保留の解除 : 1【解除】または4

テレビ電話通話中保留の解除 : 次のいずれかを押す

1【解除】：保留前に送信していた画像に戻る

2【カメラ画像】：カメラ映像が送信される

3【代替画像】／4【代替画像】：代替画像が送信される

◆お知らせ

- ・保留中も発信側に通話料金がかかります。
- ・保留中は、3分経過するごとに5回までFOMA端末が振動します。ただし、公共モード（ドライブモード）中、オリジナルマナーモード中でオリジナルマナーモードのバイブレータが「OFF」の場合、サイレントマナーモード中は振動しません。

ハンズフリーの利用

- FOMA端末を持たずに、スピーカーから相手の声が聞こえる状態で通話します。
- ・ハンズフリーONにすると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
 - ・FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーから相手の声が聞き取りにくい場合は、ハンズフリーOFFにしてください。
 - ・マナーモード中でも本機能を利用できます。

1 通話中に■

画面上部に■が表示されます。

解除：ハンズフリーONで通話中に□

ハンズフリーONで発信：電話番号を入力▶□（1秒以上）または■
【テレビ電話】

- ・電話帳または各種履歴から操作するときは、相手にカーソル▶□（1秒以上）を押します。
- ・発信中／呼出中は、□を押すたびに切り替えられます。

✓お知らせ

- ・テレビ電話動作設定のハンズフリー設定が「OFF」のとき、ハンズフリーONで発信する場合は、■、□のいずれかを1秒以上押します。

通話中の受話音量調整

通話中に受話音量を変更して、聞き取りやすくなります。

- ・本設定は音量設定の受話音量に反映されます。→P83
- ・ハンズフリーONで通話中の音量は通話終了後も保持されますが、受話音量には反映されません。

1 通話中に■または□

はっきりボイス

音声電話中に、周囲の騒音に応じて最適な方法で調整し、聞き取りやすくします。また、相手や自分の声が小さいときにも自動で音量を大きくします。

- ・ハンズフリーONで通話中、イヤホン使用時、海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- ・通話終了後も設定は保持されます。
- ・本機能は受話音量を調整するためのものではありません。相手の声の音量は、受話音量で調整してください。→P83

1 音声電話中に■□

ONにすると、「はっきりボイス」が青で表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

- ・周囲の騒音から「静か」「騒がしい」「人ごみ」を判断し、最適な音質に調整します。このとき、調整結果を示すアイコンが表示されます。

解除：はっきりボイスON中に■□

■ ぴったりボイス

はっきりボイスが動作している音声電話中には、揺れや移動状況などから現在の行動を認識して、はっきりボイスよりさらに最適な音質に調整します。

- ・「新幹線乗車中」「歩行中」「走行中」を認識し、さらに最適な音質に調整します。このとき、認識した行動を示すアイコンがはっきりボイス動作中のアイコンとともに表示されます。
- ・電池残量が少ない場合、ぴったりボイスは動作しませんがはっきりボイスによる調整は動作します。
- ・海外の3Gネットワークで「新幹線乗車中」が表示される場合もあります。

ゆっくりボイス

音声電話中に、無音区間を利用して相手の話す声がゆっくり聞こえるように調節し、聞き取りやすくなります。

- ・相手が区切りのない話しかたをしたときなどは通常の速度で聞こえます。
- ・海外のGSM/GPRSネットワークでは動作しません。
- ・通話終了後、設定は解除されます。

1 音声電話中に [■] 【ゆっくり／元の速さ】

ONにすると、「ゆっくりボイス」が赤で表示されます。ONでも動作しないときはグレーで表示されます。

- ・ゆっくりボイスをONにすると、相手の声質、音楽や時報などが変化する場合があります。

電話／テレビ電話切替

電話／テレビ電話切り替え対応機種どうであれば、発信側からの操作で、音声電話をテレビ電話に、テレビ電話を音声電話に切り替えられます。

- ・切り替え操作を行う／切り替えに応じるには、着信側がテレビ電話切替機能通知を開始している必要があります。→P68

❖発信側での切り替え操作

通話中に切り替え操作を行います。

〈例〉音声電話中にテレビ電話に切り替える

1 音声電話中に [■] 【テレビ電話】 ▶ 「はい」

テレビ電話中の切り替え：テレビ電話中に [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ 「はい」

❖着信側での対応

通話中に切り替え要求を受けると、電話を切り替える旨のガイダンスが流れ自動的に通話が切り替わります。

✓お知らせ

- ・切り替えには5秒程度かかります。電波状態によっては、さらに時間がかかることがあります。切り替えができずに電話が切れたりする場合があります。切り替え中は通話時間に含まれず、料金は加算されません。
- ・音声電話に切り替わるとハンズフリー OFFの、テレビ電話に切り替わるとハンズフリー ONの通話になります。
- ・キャッチホンでの音声電話中または相手側がパケット通信中はテレビ電話に切り替えられません。
- ・音声電話中にパケット通信を行っている場合は、パケット通信を切断してテレビ電話に切り替えます。
- ・テレビ電話中に行った設定（→P67）は、音声電話切り替え時に解除されます。

通話中音声メモ／動画メモ

通話中に相手の声や画像を録音／録画します。

- ・通話中音声メモは、1件につき最大30秒、待受中音声メモと合わせて最大4件録音できます。→P315
- ・動画メモは、1件につき最大30秒録画できます。i モーション・ムービーの「カメラ」に保存され、保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは録画できません。
- ・通話中音声メモの操作→P67
- ・動画メモの再生（→P270）、削除（→P290）

1 通話中に [■] (1秒以上)

録音／録画が開始されます。

- ・録音／録画時間残り約5秒になると終了予告音（ピピッ）が、終了時には終了音（ピー）が鳴ります。
- ・動画メモ録画中に [■] を押すと、録画時間の経過表示と通話時間表示が切り替わります。
- ・動画メモ録画中は、テレビ電話画像選択の動画メモ画像の設定に従って画像が相手に送信されます。

停止：録音／録画中に [■] (1秒以上)

✓お知らせ

- ・ガイダンスによっては録音できないものがあります。
- ・電波の状態により、録音内容が途切れたり、録画画像が乱れたりする場合があります。

通話中詳細設定

通話中に利用する機能の詳細を設定します。

1 MENU 7 4 7

2 目的の操作を行う

通話品質アラーム音：[1]▶[1]～[3]

音声電話中に通話が途切れそうなときに鳴らすアラームを設定します。

再接続アラーム音：[2]▶[1]～[3]

途切れた通話を再接続するまでに鳴らすアラームを設定します。

ノイズキャンセラ設定：[3]▶[1]または[2]

通話を明瞭にするためノイズを抑えるかを設定します。

通話中クローズ設定：[4]▶動作を選択

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

応答保留ガイダンス設定：[5][1]▶各項目を設定▶[回]【登録】

- 内蔵音を設定するときは保留音欄で[1]を、自分の声を録音するときは[2]▶ガイダンスの編集欄で「録音」を押します。1件約10秒録音できます。録音データがあるときは「削除」ができます。

通話保留音：[5][2]▶保留音を選択

受話音量：[6]▶[回]または[回]▶[回]【決定】

- 受話音量は音量設定にも反映されます。

✓お知らせ

- 通話品質アラーム音の設定に関わらず、利用状態や電波状態によりアラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。
- 利用状態や電波状態により再接続されるまでの時間は異なります（目安は最長10秒間）。再接続されるまで相手は無音状態となり、その間もかけた方に通話料金がかかります。
- ノイズキャンセラ設定は、通常は「ON」にした状態で使用することをおすすめします。
- 通話中クローズ設定が「通話継続（マイクミュート）」でハンズフリーONのとき、自分の声は相手に聞こえませんが、相手の声がスピーカーから聞こえます。また、テレビ電話でカメラ映像送信中は代替画像が送信されます。
- 通話中クローズ設定の設定に関わらず、ステレオイヤホンマイク（別売）を接続中、ハンズフリー対応機器接続時に接続先機器から音を鳴らすように設定中、伝言メモ録音／録画中はFOMA端末を閉じても通話は継続されます。
- 応答保留ガイダンス設定で録音データを削除すると、内蔵音に戻ります。

電話を受ける

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点灯または点滅します。

[回]：着信音量調整

[回]：着信音、バイブレータの動作停止

2 応答方法を選択

音声電話に応答：[回]

テレビ電話に応答：[回]または[回]【テレビ電話】

テレビ電話接続中は、自分側の映像が表示されます。

3 通話が終わったら[回]

■ 着信中の表示

電話番号が通知されたときは電話番号が、電話番号を電話帳に登録しているときは登録している名前が表示されます。→P72

■ 発信者番号非通知理由

電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。

非通知設定：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

公衆電話：公衆電話などから発信した場合

通知不可能：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

✓お知らせ

- 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービスのいずれかを契約済みで、通話中の着信動作選択が「通常着信」の場合、音声電話中に別の音声電話が着信すると「ブ…ブ…」という通話中着信音が聞こえます。このとき、留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス開始中は各サービスが動作します。
- FOMA端末からの転送電話着信時、転送元によっては電話番号や名前が表示されない場合があります。
- サブアドレスが通知されてきた場合、発信者番号の後ろに「*」とサブアドレスが表示されます。
- 国際電話の場合は、発信者番号の先頭に「+」が表示されます。
- 電話帳未登録でリダイヤルにある電話番号から着信した場合は、「折り返し着信」が表示されます。
- 音声電話応答時にはっきりボイス動作中の場合は、流れや移動状況などから行動を認識してさらに最適な音質に調整します。→P61

❖着信中のサブメニューからの操作

着信中にサブメニューから次の操作ができます。

着信拒否：電話を受けずに切断

留守番電話：留守番電話サービスセンターに接続

転送でんわ：転送先に転送

応答保留

着信時にすぐに電話に出られないときは応答保留にします。

- 応答保留中も発信側に通話料金がかかります。
- 応答保留ガイダンスの設定→P63

1 着信中に []

応答保留になり、相手に応答保留ガイダンスが流れます。テレビ電話の場合は、自分と相手にテレビ電話応答保留画像が表示されます。

2 電話に出られる状態になったら応答方法を選択

音声電話に応答：[]

テレビ電話に応答：[] または [] [テレビ電話]

- 応答保留中に [] を押すか相手が電話を切ると、通話が終了します。

着信詳細設定

着信時に利用する機能の詳細を設定します。

- 呼出動作開始時間設定→P118

1 MENU [] [] []

2 目的の操作を行う

エニーキーアンサー設定：[] ▶ [] または []

- 音声電話着信時に [] 以外のキー（[]～[]、[]、[]、[]）を押しても応答できます。

オート着信設定：[] ▶ 各項目を選択 ▶ [] [登録]

ステレオイヤホンマイク 01（別売）などを接続中の着信に自動的に応答できます。

マルチアクセス中表示：[] ▶ 優先表示を設定

- 着信時にマルチアクセス中となった場合に優先表示する画面を設定します。

着信中オープン応答：[] ▶ [] または []

- 音声電話着信時、FOMA端末を開いて応答できます。

✓お知らせ

- エニーキーアンサー設定が「ON」でも、通話中の着信時は動作しません。
- オート着信設定の自動着信機能が「オート着信あり」でも、通話中の着信時や公共モード中は動作しません。また、自動着信時間を呼出動作開始時間設定の時間以内にすると、電話帳未登録の相手からの着信時には動作しません。
- マルチアクセス中表示が「設定なし」のときは後から着信した画面が表示されます。「パケット通信表示優先」でも、[] で画面切替メニューを呼び出して電話に切り替えられます。
- 着信中オープン応答が「ON」のときは、応答保留中、伝言メモ応答ガイダンス中、伝言メモ録音中でもFOMA端末を開いて応答できます。通話中または保留中の着信時にも動作します。

公共モードの利用

公共モード（ドライブモード／電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。

- ・テレビ電話着信時は、相手に公共モードの映像ガイダンスが表示されます。
- ・公共モードとネットワークサービスを同時に設定している場合、留守番電話サービス※¹、転送でんわサービス※¹、番号通知お願いサービス※²は、公共モードに優先して動作します。
※1 呼出時間が「0秒」以外での音声電話に対しては、公共モードのガイダンスの後にサービスが動作します。
- ※2 相手が電話番号を通知している場合は、公共モードが動作します。
- ・迷惑電話ストップサービスで着信拒否した相手からの電話に対しては、公共モードは動作しません。

◆ 公共モード（ドライブモード）

公共モード（ドライブモード）を設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控えるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- ・待受中に設定／解除できます。圏外でも可能です。
- ・本機能設定中は、次の動作となります。
 - 通常通り電話をかけることができます。
 - 日本または海外の在団状態に関わらず緊急通報（110番、119番、118番）をすると、応答可能とするために設定は解除されます。
 - マナーモードや伝言メモより優先して動作します。

1 (1秒以上)

公共モード（ドライブモード）が設定され、待受画面にが表示されます。
解除： (1秒以上)

■ 公共モード（ドライブモード）を起動すると

本機能設定中、音声電話／テレビ電話着信時はFOMA端末は着信動作を行わず、待受画面に (数字は件数) が表示され、不在着信として記録されます。メール着信時は、着信音は鳴らず、待受画面に (数字は件数) が表示されます。

- ・電源が入っていないときや電波が届かない所にいるときは、公共モード（ドライブモード）のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
- ・次の音が鳴りません。また、バイブレータやランプも動作しません。
 - 電話、メール・メッセージ（メール・メッセージ問合せ時を除く）、iコンシェルの着信音
 - お知らせタイマー、アラーム、メモのアラームの音
 - iアプリのサウンド、i ウィジェットの効果音
- ・通話料金上限通知（通話料金上限通知を「ON」にし、アラームを設定している場合でも、メッセージは表示されません）
- ・充電開始／完了音、電池アラーム音、GPS測位中の音、バーコードリーダーの読み取り確認音
- ・エリアメール設定で公共モード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時に専用ブザー音や専用着信音が鳴ります。
- ・iチャネルのテロップは表示されません。

◆ 公共モード（電源OFF）

公共モード（電源OFF）を設定すると、電源をOFFにしている場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

- ・ダイヤル発信して設定します。音声ガイダンスで設定／解除をお知らせします。

1 「*25251」を入力▶

公共モード（電源OFF）が設定されます。待受画面にアイコンなどは表示されません。

解除：「*25250」を入力▶ 

設定の確認：「*25259」を入力▶ 

■ 公共モード（電源OFF）を起動すると

- ・「*25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
- ・サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。

伝言メモ

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音／録画されます。

- ・音声電話とテレビ電話を合わせて最大4件、1件につき約30秒間録音／録画できます。

1 MENU 7 2 4 ▶ 1 または 2

「ON」にすると、待受画面に  が表示されます。

✓ お知らせ

- ・応答ガイダンス中、伝言メモ録音／録画中でも  を押すと電話に出ることができます。テレビ電話の場合は  を押しても出られます。このとき、電話に出るまでの録音／録画内容は記録されません。
- ・国外では伝言メモは動作しません。留守番電話サービス開始中は留守番電話サービスが動作します。
- ・伝言メモが4件録音／録画されると、待受画面に  が表示され、伝言メモおよび クイック伝言メモは動作しません。不要な伝言メモを削除してください。留守番電話サービスまたは転送でんわサービス開始中は各サービスが動作します。
- ・オリジナルマナーモード中は、オリジナルマナーモードの伝言メモに従います。
- ・2in1利用時、AナンバーとBナンバーに着信した伝言メモを合わせて最大4件録音／録画できます。表示はモードによって異なります。

❖ 伝言メモ応答時間設定

着信してから伝言メモが応答するまでの時間を設定します。

1 MENU 7 2 4 3 ▶ 時間を入力

❖ 伝言メモ応答ガイダンス設定

伝言メモ応答中に流すガイダンスを設定します。

1 MENU 7 2 4 4 ▶ 各項目を設定 ▶  [登録]

- ・内蔵音を設定するときは、伝言メモ応答ガイダンス欄で  を押します。
- ・自分の声を録音するときは、伝言メモ応答ガイダンス欄で  ▶ ガイダンスの編集欄で「録音」を押します。1件約10秒録音できます。
- ・ガイダンスを確認するときは、応答ガイダンスを選択後にガイダンスの編集欄で「再生」を選択します。
- ・録音したガイダンスを削除すると、内蔵音に戻ります。

◆ クイック伝言メモ

伝言メモを起動していないくとも、その着信に限り1回だけ相手の用件を録音／録画できます。

- ・伝言メモを起動する操作ではありません。

1 着信中に  (1秒以上)

伝言メモ／音声メモの操作

伝言メモ、通話中音声メモ、待受中音声メモを再生／削除します。また、メモから電話をかけたり電話帳に登録したりします。

1 MENU 7 2

2 目的の操作を行う

伝言メモの再生：1 メモを選択▶削除するかを選択

〈例〉伝言メモ一覧画面



・マークの意味は次のとおりです。

■/■：伝言メモ／再生済み伝言メモ

■/■：テレビ電話伝言メモ／再生済み伝言メモ
■/表示なし：通話中音声メモ／待受中音声メモ※1

■：Bナンバーの発着信（2in1がデュアルモード時）
■：海外滞在時（UTC+9:00を除く）※2

■：国際電話の伝言メモまたは通話中音声メモ

※1 待受中音声メモの名前欄には「音声メモ」と表示されます。

※2 着信または録音日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

・再生中は次の操作ができます。

■：音量調整

■：停止

■：ハンズフリー ON／OFFの切り替え

・テレビ電話伝言メモ再生中はハンズフリー ONで再生され、OFFへの切り替えはできません。マナーモード中には音声の再生確認画面が表示され、「いいえ」を選択すると消音で再生されます。

音声メモの再生：2 メモを選択▶削除するかを選択
伝言メモの削除：1 メモにカーソル▶MENU [サブメニュー]
▶2 ▶1 または 2 ▶「はい」

音声メモの削除：2 メモにカーソル▶MENU [サブメニュー]

▶2 ▶1 または 2 ▶「はい」

・1件削除ではカーソルを合わせたメモが削除されます。

・全件削除では認証操作が必要です。

電話の発信※：1 または 2 メモにカーソル▶3 または 4 [テレビ電話]

・MENU 3 を押すと、発信オプションを利用できます。→P57

電話帳に登録※：1 または 2 メモにカーソル▶MENU [サブメニュー] ▶4 または 5 ▶1 または 2

・更新登録するときは登録する電話帳を選択します。

※ 待受中音声メモでは利用できません。

テレビ電話中の表示設定

テレビ電話で会話しながら、送信する映像／画像を変更したり、画面表示を変更したりできます。

◆ 通話中送信映像の設定

1 通話中に目的の操作を行う

カメラ映像／代替画像の切り替え：■ [カメラ画像／代替画像]

ライト点灯／消灯※1：■

・通話中の設定操作などで一時的にライトが消える場合があります。

表示倍率の切り替え（ズーム）※1：■

映像の明るさ調整※1、2：MENU [サブメニュー] ▶2 ▶1 ▶明るさを選択

ちらつき調整※1、2：MENU [サブメニュー] ▶2 ▶2 ▶周波数を選択

お使いの地域の電源周波数に合った設定に切り替えると、ちらつきが抑えられる場合があります。

鏡像表示／正像表示の切り替え※1、2：MENU [サブメニュー] ▶2 ▶3

お互いの映像を見ながらの通話中、カメラ映像の左右を相手側と自分側で同じにします。

キャラ電設定 : MENU [3] [1] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ キャラ電にカーソル ▶ [決定] [決定]

- キャラ電送信中に次の操作ができます。

[1] ~ [9]、[#] : 対応するアクションの実行

[0] : アクションの中止

[ix] : アクション一覧の表示

[ix] (1秒以上) : 全体アクションとパーツアクションの切り替え

- キャラ電の表示 → P274

カメラオフ画像の送信 : MENU [サブメニュー] ▶ [3] [2]

テレビ電話画像選択の代替画像で設定した代替画像が送信されます。

- 代替画像にキャラ電を設定していると標準画像が送信されます。

静止画の送信 : MENU [サブメニュー] ▶ [3] [3] ▶ フォルダを選択 ▶ 静止画を選択

- 解除するときは [□] を押します。

送信／受信画像品質の設定 : MENU [サブメニュー] ▶ [5] ▶ [1] または [2] ▶ 画質を選択

- 「動き優先」では動きが滑らかになりますが画質がやや粗くなり、「画質優先」では画質は細やかになりますが動きがやや鈍くなります。
- 受信画質を変更すると、相手の送信画質に反映されます。

※1 カメラ映像送信中のみ設定できます。

※2 通話終了後も設定は保持されます。

◆ 通話中画面表示の設定

- 通話終了後も設定は保持されます。

1 通話中に目的の操作を行う

親子画面の表示切り替え : [■] [画面切替]

親画面のサイズ変更 : [■] (1秒以上)

- 押すたびに大→中→小→大の順に切り替わります。

画面表示の設定 : MENU [サブメニュー] ▶ [6] ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

各項目設定 → P69 「テレビ電話動作設定」

テレビ電話切替機能通知

本FOMA端末が電話／テレビ電話切替機能対応であることをネットワークに通知するように設定します。

- 国外では設定できません。
- お買い上げ時は、テレビ電話切替機能通知は開始に設定されています。

1 MENU [7] [5] [6] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」

テレビ電話画像選択

テレビ電話中に相手に送信する各種画像を設定します。

- サイズが176×144より大きい静止画、アニメーション、JPEG形式またはGIF形式以外の静止画、FOMA端末外への出力が禁止されている画像は送信画像に設定できません。

1 MENU [7] [5] [5] ▶ 画像を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

イメージ表示 : 画像の種類を設定

イメージ一覧 : イメージ表示が「選択キャラ電」(代替画像設定のみ)または「イメージ」のときに選択

お知らせ

- 代替画像に設定したキャラ電を削除した場合、代替画像は標準キャラ電に戻ります。静止画、標準キャラ電を削除した場合は標準画像になります。
- 伝言メモ画像、応答保留画像、通話中保留画像、動画メモ画像に設定した静止画を削除した場合は標準画像に戻ります。

テレビ電話動作設定

テレビ電話が接続できなかったときの動作やテレビ電話中の画面などを設定します。

- 相手へのアクセスをより確実なものとするために、音声自動再発信があります。「ON」にすると、テレビ電話をかけた相手がテレビ電話に対応していない端末の場合などに、音声電話に切り替えて再発信します。ただし、ISDN同期64Kのアクセスポイント、3G-324Mに対応していないISDNのテレビ電話など（2014年4月現在）、間違い電話をした場合は、このような動作にならないことがあります。通話料金が発生する場合もあるためご注意ください。

1 MENU 7 5 4 ▶各項目を設定 ▶ [登録]

音声自動再発信：接続不可の場合の音声電話による再発信を設定

テレビ電話画面設定：画面表示を設定

子画面表示：子画面表示を設定

- テレビ電話画面設定を「両方」にすると設定できます。

画面サイズ設定：親画面表示サイズを設定

受信画質設定：相手からの受信画質を設定

明るさ調整：「端末設定に従う」選択時は照明設定の明るさ調整に従う

ハンズフリー設定：接続時のハンズフリー ON/OFFを設定

✓お知らせ

- 音声自動再発信が「ON」でも、音声電話中または64Kデータ通信中はテレビ電話を発信できません。ただし、パソコンとつないだパケット通信中はテレビ電話を発信すると音声電話で再発信されます。
- 音声自動再発信が「ON」で、音声で再発信したときの通話料金はデジタル通信料ではなく音声通話料になります。

パケット通信中着信設定

i モード中にテレビ電話がかかってきたときの応答方法を設定します。

1 MENU 7 5 3 ▶応答方法を選択

- 「テレビ電話優先」にすると着信画面表示が優先され、テレビ電話に出るとパケット通信が切断されます。テレビ電話着信時が i モード中の場合は、通話終了後 i モードの画面に戻ります。
- 「パケット通信優先」にすると着信画面は表示されずに切断され、着信履歴に記録されます。
- 「留守番電話」「転送でんわ」にすると、留守番電話サービスまたは転送でんわサービスが停止中でも各サービスが動作します。

✓お知らせ

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービス未契約時は、「留守番電話」または「転送でんわ」にしても「パケット通信優先」の動作となります。
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスを開始にし、呼出時間が「0秒」の場合は、本設定に関わらず各サービスが動作し、着信履歴には記録されません。

テレビ電話使用機器設定

パソコンなどの外部機器とFOMA端末をFOMA充電機能付USB接続ケーブル02(別売)で接続することで、外部機器からテレビ電話の発着信操作ができます。

この機能を利用するためには、専用の外部機器、またはパソコンにテレビ電話アプリケーションをインストールし、さらにパソコン側にイヤホンマイクやUSB対応Webカメラなどの機器(市販品)を用意する必要があります。

- ・テレビ電話アプリケーションの動作環境や設定、操作方法については、外部機器の取扱説明書などをご覧ください。
- ・本機能対応アプリケーションとして、「ドコモテレビ電話ソフト」をご利用いただけます。ドコモテレビ電話ソフトはドコモのホームページからダウンロードしてご利用ください。

1 MENU 7 5 7 ▶ 1 または 2

✓お知らせ

- ・音声電話中は、外部機器からテレビ電話をかけられません。
- ・キヤッチャノン契約中は、音声電話中に外部機器からのテレビ電話の着信があった場合、着信履歴に不在着信として記録されます。外部機器からのテレビ電話中に音声電話、テレビ電話、64Kデータ通信の着信があった場合も同様です。

電話帳

電話帳の種類	72
電話帳登録	73
電話帳検索	74
電話帳修正	76
グループ設定	77
会社名別設定	77
電話帳のコピー	78
電話帳削除	78
シークレット属性（電話帳） ～他人に見られたくない電話帳を守る～	79
登録件数確認	79
クイックダイヤル	79

電話帳の種類

本FOMA端末では、FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳が使用できます。

○：可 ×：不可

項目	FOMA端末電話帳	ドコモUIMカード電話帳
電話帳登録件数	最大2000件※1	最大50件
登録メモリ番号	No.0000～1999	×
名前	全角16（半角32）文字	全角10（半角21）文字※2
フリガナ	半角32文字	全角12（半角25）文字※3
画像・動画	○	×
グループ	「グループなし」および30グループ	「グループなし」および10グループ
電話番号	1件につき5番号、電話帳全体で最大6005番号※1	1件につき1番号
電話番号アイコン	○	×
メールアドレス	1件につき5アドレス、電話帳全体で最大6005アドレス※1	1件につき1アドレス
メールアドレスアイコン	○	×
その他の設定※4	○	×

※1 実際に登録できる件数は、登録内容により少なくなる場合があります。

※2 全角と半角が混在や半角カタカナを含む場合は10文字以内で入力します。

※3 全角と半角が混在の場合は12文字以内で入力します。

※4 設定できる項目は誕生日、テキストメモ、郵便番号／住所、位置情報、会社名、所属、役職名、URLです。
i コンシェルのインフォメーション（メモ、住所、URL）は、自動的に更新されます（i コンシェル契約の場合）。

- お客様のドコモminiUIMカードを他のFOMA端末に挿入しても、ドコモUIMカード電話帳を利用できます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、FOMA端末電話帳を保存できます。保存した電話帳は、お預かりセンターに接続してFOMA端末に更新・復元できます。→P119

◆名前の表示

電話帳の名前は、電話帳を利用する他の機能でも表示されます。

■ 音声電話・テレビ電話

電話帳に登録した名前と電話番号が発着信中、呼出中、音声電話中の画面に表示されます。

■ i モードメール・SMS

電話帳に登録した名前が受信／送信／未送信メール一覧画面、メール詳細画面に表示されます。

メールを受信した際、発信元と電話帳のメールアドレスが@以降のドメイン名も含めて完全に一致すると、電話帳の名前が表示されます。ただし、発信元がiモード端末の場合は、ドメイン名（@docomo.ne.jp）を省略して登録しても、電話帳の名前が表示されます。メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、「@docomo.ne.jp」を省略して電話帳に登録してください。

✓お知らせ

- FOMA端末電話帳に同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、先に登録した名前が表示されます。
- FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳に、同じ電話番号／メールアドレスを異なる名前で登録している場合、FOMA端末電話帳の名前が表示されます。

電話帳登録

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳に登録します。

- ドコモショップなど窓口での機種変更時など、新機種へ登録内容をコピーする際は、仕様によってはFOMA端末にコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- 最大登録件数→P72

◆ FOMA端末電話帳に登録

1 MENU [7] [1] [2] ▶名前を入力 ▶各項目を設定 ▶ [登録]

メモリ番号：0000～1999までの任意の番号を設定します。10～1999までのうち、最も小さい空きメモリ番号が割り当てられています。空きがないときは、0～9が割り当てられます。

メモリ番号が重複した場合は上書き確認画面が表示されます。上書きしない場合は「新規登録」を選択し、他の番号を入力してください。

フリガナ：フリガナ検索などで利用するフリガナを入力します。
名前を修正してもフリガナには反映されません。

画像選択・撮影：発着信時や電話帳確認時に表示するデータを登録します。

- フォルダから画像や動画／iモーションを選択するか、静止画や動画を撮影して設定できます。
- 画像のフォルダや一覧の見かた→P262
- 動画／iモーションのフォルダや一覧の見かた→P270
- 名刺リーダーからの電話帳登録時、静止画や動画の撮影は利用できません。
- 登録後にMENUを押すと画像を確認できます。□を押すと元の画面に戻ります。

グループ：「グループなし」に設定されています。

FOMA端末電話帳では[]を押すとグループを追加できます。→P77

電話番号：26桁以内で入力します。ポーズ（「P」）、タイマー（「T」）、「+」、「#」、サブアドレスの区切り（「*」）を登録できます。

- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
- 「186」または「184」を付けた電話番号にSMS送信するとき、発信者番号の通知／非通知は設定できません。

メールアドレス：半角50文字以内で入力します。

- 1件目を登録すると追加登録する項目が表示されます。
シークレットコード設定→P76

誕生日：誕生日設定を「ON」にして誕生日を入力します。

入力した誕生日はスケジュールに表示されます。→P308

テキストメモ：全角100（半角200）文字以内で入力します。

郵便番号／住所：郵便番号は7桁、住所は全角100（半角200）文字以内で入力します。

位置情報：現在地や位置履歴などから位置情報を付加します。

位置情報利用メニュー→P250

会社名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

- 名刺リーダーで読み取った会社名と入力した会社名が一致した場合は、同じ会社名として扱われます。

所属：全角50（半角100）文字以内で入力します。

役職名：全角50（半角100）文字以内で入力します。

URL：半角256文字以内で入力します。

✓お知らせ

着信画像（→P82）、発信画像（→P91）には優先順位があります。

- 2in1がデュアルモード時に電話帳を新規または修正登録すると、電話帳2in1設定を設定できます。このとき、電話帳2in1設定確認画面で「いいえ」を押したり、モード選択画面でCLRを押したりすると、電話帳2in1設定は「A」になります。→P352

◆ ドコモUIMカード電話帳に登録

1 MENU [7] [1] [3] ▶名前を入力 ▶各項目を設定 ▶ [登録]

名前、フリガナ、電話番号、メールアドレスを登録します。タイマー（「T」）やポーズ（「P」）は登録できません。

- グループを選択できます。

電話帳検索

電話帳一覧を表示する際の検索方法を指定します。

- ・全件表示（50音）、グループ検索、電話番号検索の電話帳一覧では、**MENU** [7] [6] でドコモUIMカード電話帳に、**MENU** [6] [4] でFOMA端末電話帳に切り替えられます。
- ・プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している電話帳（グループまたは会社名にシークレット属性設定時も含む）は検索できません。また、クリックダイヤル、クリックメール、イヤホンスイッチ発信、メール検索でも同様です。
- ・電話帳一覧を表示、または表示中に を押すと、インデックスが表示されます。検索方法が全件表示（50音）ではひらがな（あ～ん）が、それ以外では総ページ数の目安が表示されます。→P29

1 **MENU** [7] [1] [1]

FOMA端末 ⇄ ドコモUIMカード電話帳の切り替え： [1] [0] / [0] [1]

2 検索方法を指定する

全件表示（50音）：電話帳全件が50音順に表示されます。

- ・フリガナを1文字ずつ入力するたびに、最も近いフリガナの電話帳が検索されます（フリガナ検索）。

グループ検索：グループごとに表示されます。

- ・グループ内ではフリガナ順（50音→アルファベット→数字→空白で始まるもの→記号→フリガナなし）で表示されます。
- ・ダイヤルキー [0] ~ [9] を押すと、各キーに割り当てられている行が表示されます。→P406
- ・フリガナがアルファベット、数字、記号のいずれかで始まる電話帳がある場合、 [+] や [x] を押すとその先頭にカーソルが移動します。ただし、アルファベット、数字、記号ごとにカーソルを移動させることはできません。

会社名検索*：同じ会社名の電話帳が50音順に表示されます。

ランキング検索*：通話回数または i モードメール送受信回数が多い順に表示されます。

- ・最大9999回カウントされます。カウントをリセットするときは、サブメニューで「確認／表示切替」▶「累積（ランキング）情報リセット」を選択します。

メモリ番号検索*：メモリ番号を入力して検索します。

- ・何も入力せずに を押すと、メモリ番号順の電話帳一覧が表示されます。

電話番号検索：電話番号の一部を入力して検索します。

FOMA端末電話帳はメモリ番号順に、ドコモUIMカード電話帳はフリガナ順に電話帳一覧が表示されます。

- ・何も入力せずに を押すと、メモリ番号順またはフリガナ順の電話帳一覧が表示されます。

シークレット検索*：シークレット属性を設定した電話帳がメモリ番号順に表示されます。

* ドコモUIMカード電話帳では利用できません。

電話帳一覧の表示切替：**MENU** [サブメニュー] ▶ [7] [5] ▶ 表示形式を選択

- ・「名刺表示」では名刺風のレイアウトで電話帳を表示します。「ピクチャーライブ」では設定した画像データをサムネイル表示します。

- ・ドコモUIMカード電話帳のサブメニューから「確認／表示切替」▶「表示切替」を押しても切り替えられます。

電話帳検索優先設定：検索方法にカーソル ▶ **MENU** [優先設定]

お知らせ

- ・ で電話帳検索時は、前回使用した電話帳（FOMA端末またはドコモUIMカード電話帳）を検索します。
- ・電話帳一覧が複数ページあるときは、 でページを切り替えられます。全件表示（50音）では で行の切り替えが、 、 でページの切り替えができます。

◆電話帳の利用

電話帳を検索して電話をかけたりメールを送ったりします。

1 ◎▶電話帳検索



電話帳一覧（全件表示（50音））

- 2in1がデュアルモード時は次のマークが表示されます。

A: Aモードの電話帳

B: Bモードの電話帳

AB: A／B両モードの電話帳

- i コンシェルのインフォメーション登録時は■が表示されます。

2 相手にカーソル▶目的の操作を行う

電話を発信：

- MENU を押すと、発信オプションを利用できます。→P57
- テレビ電話を発信： MENU [サブメニュー] ▶ ▶ 発信方法欄で ▶ [発信]

- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、でテレビ電話をかけられます。

声の宅配便で発信： [声宅配]

- 電話帳詳細画面で電話番号を表示▶を押しても声の宅配便で発信できます。
- 声の宅配便→P55

i モードメールの作成： MENU [サブメニュー] ▶

- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、でメールを作成できます。

SMSの作成： MENU [サブメニュー] ▶

- 全件表示（50音）以外の電話帳一覧では、（1秒以上）、電話番号のみ登録時はでSMSを作成できます。

■サブメニューからの操作

- サブメニューから「発信オプション／メール」「位置情報／居場所」「確認／表示切替」などの操作ができます。
- 「発信オプション／メール」には「メール添付」「URL起動」「メール検索」「地図を見る」「宛名印刷」があります。
- 「位置情報／居場所」には「位置情報利用」「居場所を確認」があります。
- 「確認／表示切替」には「基本情報」「画像確認」「累積（ランキング）情報リセット」があります。
- 「地図を見る」では、地図設定の地図選択で設定したGPS対応 i アプリが起動します。住所と位置情報が両方登録されている場合は、住所を基に地図を表示します。→P257
- 「位置情報利用」では位置情報利用メニュー（→P250）から各種操作をしたり、「居場所を確認」では電話番号を検索対象として「イマドコかんたんサーチ」に接続したりします。「イマドコかんたんサーチ」の詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- 「累積（ランキング）情報リセット」をすると、通話とメールの累積がまとめてリセットされます。
- 宛名印刷→P327

❖ロケットサーチ

電話帳をダイヤルキー ～に割り当てられている文字から検索します。

〈例〉「携帯花子」を検索する

1 [か行] ▶

全件表示（50音）の電話帳一覧が表示されます。

◆電話帳の詳細確認

詳細画面で登録内容を確認します。

1 ◎▶電話帳検索▶電話帳を選択



- ① メモリ番号
 - ② 電話帳2in1設定で設定したマーク (2in1がデュアルモード時)
 - ③ 名前、フリガナ
 - ④ グループマーク、グループ名
 - ⑤ 着信許可／拒否設定、発番号設定、シークレットコードの設定状態
 - ⑥ 個別着信設定での設定状態 (電話／メール)
 - ⑦ 画像 (画像／名前表示切替の設定に従って表示)
 - ⑧ 登録したアイコン、アイコン種別
- ◎ : 前後の電話帳の表示
▣ : 登録した各項目の表示
- サブメニューの「確認／表示切替」には「累積通話」「累積メール」などがあります。

◆画像／名前表示切替

電話帳詳細画面の表示方法を設定します。

- 本設定は、リダイヤル、着信履歴、プロフィールにも反映されます。

1 ◎▶電話帳検索▶電話帳を選択▶[MENU] [サブメニュー]

▶ 7 7 ▶ 1 ~ 3

ドコモUIMカード電話帳の表示の切り替え : [MENU] 7 1 1 ▶ □
[□ □] ▶ 電話帳検索▶電話帳を選択▶[MENU] [サブメニュー]
▶ 6 3 ▶ 1 ~ 3

電話帳修正

電話帳の内容やグループを修正したり、個別着信設定をしたりします。

1 ◎▶電話帳検索

電話帳2in1設定の変更 : [MENU] [サブメニュー] ▶ 3 4 5 ▶ 認証操作▶モードを選択▶電話帳検索▶電話帳を選択▶[□] [確定] ▶ 「はい」

- 2in1がOFFのときは、認証操作▶「はい」で2in1をONにして電話帳2in1設定を変更します。2in1はONのままになります。→P352
- 電話帳詳細画面から操作する場合は、[MENU] 4 4 5 ▶ 認証操作モードを選択します。

2 電話帳にカーソル▶目的の操作を行う

- サブメニューの「編集／設定」から「編集」「入替え」「発番号設定」「シークレットコード設定」「ショートカット作成」などの操作ができます。
- 「編集」では、登録内容の修正ができます。
- 「入替え」では、電話番号、メールアドレス、メモリ番号の入れ替えができます。電話番号またはメールアドレスの入れ替えは電話帳の中で順番を入れ替えます。メモリ番号の入れ替えでは入れ替え先の電話帳を選択する操作が必要です。
- 「発番号設定」「シークレットコード設定」は認証操作が必要です。
- 発番号設定を「設定なし」にすると、発信者番号通知設定に従います。
- シークレットコードは本画面にのみ表示されます。解除する場合は、入力されているシークレットコードをすべて削除して□を押します。「携帯電話番号+シークレットコード@docomo.ne.jp」と登録している相手にはメールを送信できません。
- ドコモUIMカード電話帳で登録内容を修正する場合は、サブメニューで「編集」を選択します。

✓お知らせ

- ・ドコモUIMカード電話帳では、電話番号に「*」が含まれていると上書き登録ができないことがあります。
- ・複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、1件目の電話番号やメールアドレスを削除すると、2件目以降が繰り上げ登録されます。

◆個別着信設定

FOMA端末電話帳の電話番号やメールアドレスごとに、着信時の動作を設定できます。

- ・「グループ／会社名なし」の場合はすべて「端末設定に従う」が、グループ／会社名を設定した場合は「グループ／会社名設定に従う」（テレビ電話代替画像のみ「端末設定に従う」）が表示されます。
- ・グループと会社名が両方設定されている場合は、グループ設定が優先されます。

1 [⑤]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]
▶[③][②]▶各項目を設定▶[⑥] [登録]

- ：電話／メールの画面の切り替え
- ・着信音、バイブレータ、イルミネーションなどを設定します。

✓お知らせ

- ・着信時の動作には優先順位があります。→P82

グループ設定

グループを追加したり、グループごとの発着信動作を設定したりします。

- ・「グループなし」は、削除、グループ名の変更、発着信動作の設定はできません。
- ・「グループ削除」では、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。
- ・ドコモUIMカード電話帳ではグループ名の変更のみできます。

1 [MENU] [⑦] [①] [①] [②] ▶目的の操作を行う

- ・サブメニューから「グループ追加」「グループ名変更」「グループ削除」「1つ上へ移動」「1つ下へ移動」「グループ別発着信設定」などの操作ができます。
- ・「グループ削除」では、グループとそのグループ内の電話帳が削除されます。「グループなし」で削除すると、グループを設定していないすべての電話帳が削除されますのでご注意ください。
- ・ドコモUIMカード電話帳でグループ名の変更をする場合は、サブメニューで「グループ名変更」を選択します。全角と半角が混在または半角カタカナを含む場合は10文字以内でグループ名を入力します。
- ・発着信画像の設定操作→P73
- ・個別着信設定→P77

会社名別設定

会社名ごとに発着信動作を設定したり、同じ会社名の電話帳を一括で削除したりします。

- ・「会社名なし」は、削除、名称の変更、発着信動作の設定はできません。
- ・「会社名削除」では、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）でシークレット属性を設定していても削除されます。

1 [MENU] [⑦] [①] [①] [③] ▶目的の操作を行う

- ・サブメニューから「会社名削除」「1つ上へ移動」「1つ下へ移動」「会社名別発着信設定」などの操作ができます。
- ・「会社名削除」では、会社名とその会社名が登録されている電話帳が削除されます。「会社名なし」で削除すると、会社名を入力していないすべての電話帳が削除されますのでご注意ください。

電話帳のコピー

FOMA端末電話帳をドコモUIMカード電話帳にコピーしたり、電話帳の項目をコピーして別の場所に貼り付けたりします。

◆FOMA端末↔ドコモUIMカード電話帳のコピー

FOMA端末電話帳とドコモUIMカード電話帳を相互にコピーします。

- コピー先に同じグループがある場合はそのグループにコピーされます。
- FOMA端末電話帳からドコモUIMカード電話帳へコピーすると、保存できる最大文字数を超えた部分は削除され、電話番号とメールアドレスのアイコンは置き換えられます。また、電話番号にタイマー（「T」）やポーズ（「P」）が含まれていると、電話帳をコピーすることができません。
- FOMA端末電話帳をmicroSDカードへコピーすることもできます。→ P280

1 [①] ▶ 電話帳検索 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [9] [1] ▶ 電話帳を選択 ▶ [②] [確定]

ドコモUIMカード電話帳からFOMA端末電話帳にコピー：
[MENU] [7] [1] [1] ▶ [③] [■・□] ▶ 電話帳検索 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [8] ▶ 電話帳を選択 ▶ [④] [確定]

◆電話帳項目のコピー

電話帳に登録した項目の内容をコピーします。

- コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。

1 [①] ▶ 電話帳検索 ▶ コピー元の電話帳にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [0] ▶ [1] ~ [9]

- 電話番号とメールアドレスは、1件目の内容がコピーされます。

複数ある電話番号／メールアドレスのコピー：[①] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択 ▶ コピー元の電話番号／メールアドレスを表示 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [0] ▶ [2] または [3]

ドコモUIMカード電話帳からコピー：[MENU] [7] [1] [1] ▶ [⑤] [■・□]

▶ 電話帳検索 ▶ コピー元の電話帳にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [9] ▶ [1] ~ [3]

2 貼り付け先の文字入力画面を表示 ▶ 文字を貼り付ける

文字の貼り付け方法→P338

電話帳削除

FOMA端末電話帳またはドコモUIMカード電話帳を削除します。

- 選択削除では選択操作▶[①]が、全件削除では認証操作が必要です。

1 [①] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [6] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」

ドコモUIMカード電話帳の削除：[MENU] [7] [1] [1] ▶ [②] [■・□] ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」

- ドコモUIMカード電話帳で全件削除するには「選択削除」を押して全件選択します。

シークレット属性（電話帳）

他人に見られたくない電話帳にシークレット属性を設定します。プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定した電話帳（グループまたは会社名にシークレット属性設定時も含む）は表示されません。

- ・ドコモUIMカード電話帳には設定できません。
- ・シークレット属性を変更すると、電話帳を終了し待受画面に戻ったときに、シークレット反映の実行確認画面が表示されます。
- ・シークレット属性を設定中は○が点滅します。
- ・プライバシーモードの利用の流れ→P108

❖電話帳へのシークレット属性設定

1 [②]▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]
▶[3][4][1]

- ・解除する場合も同様の操作です。

❖グループへのシークレット属性設定

・グループ内の各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
・「グループなし」には設定できません。

1 [MENU][7][1][1][2]▶グループにカーソル▶[MENU] [サブメニュー]
▶[8]

- ・解除する場合も同様の操作です。

❖会社名へのシークレット属性設定

・会社名ごとの各電話帳にはシークレット属性は設定されません。
・「会社名なし」には設定できません。

1 [MENU][7][1][1][3]▶会社名にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]
▶[6]

- ・解除する場合も同様の操作です。

登録件数確認

電話帳の登録件数やシークレット属性設定の件数を確認します。

- ・プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）は、シークレット属性を設定している件数は表示されません。

1 [②]▶電話帳検索▶[MENU] [サブメニュー] ▶[7][2]

クイックダイヤル

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で電話を発信できます。

- ・1件目の電話番号が発信対象になります。
- ・海外でのクイックダイヤル発信について→P358

1 メモリ番号を入力▶[②]または[回] [テレビ電話]

音／画面／照明設定

着信時の動作設定	82	背面アニメーション設定	92
音の設定		照明設定	92
着信音	83	プライバシービュー	
音量設定	83	～周りの人からディスプレイを見えにくくする～	93
バイブレータ設定	84	eco モード設定	93
メロディコール設定	84	背面自動点灯設定	94
操作確認音	84	カラーテーマ設定	94
GPS 検位鳴動音	85	表示メニュー設定	94
アラーム音	85	マチキャラ設定	94
充電確認音	85	きせかえツールの利用	95
電池アラーム音	85	メニューのカスタマイズ	96
マナーモード	85	画面のトータルカスタマイズ	97
マナーサポート設定	87	電池／アンテナアイコン設定	97
画面／照明の設定		イルミネーション設定	97
ライフスタイル設定	88	キーイルミネーション設定	98
待受画面選択	89	不在着信お知らせ（ランプ）	98
待受スライドショー	90	時報設定	98
カレンダー／待受けカスタマイズ	90	フォント選択	99
MyFACE 設定	91	文字サイズ設定	99
電話発着信画像	91	着信ひかえめ設定	
発着信番号表示設定	91	～着信時の文字サイズを小さくする～	99
発着信の人物画像表示設定	92	時計表示設定	99
メール送受信画像	92	Select language	100

着信時の動作設定

電話、テレビ電話着信時の動作を設定します。

- 着信音、2in1の着信設定、電話発着信画像、テレビ電話画像、バイブレータ設定、イルミネーション設定、キーイルミネーション設定、背面アニメーション設定にも反映されます。
- 2in1利用時は、モードごとのナンバーの着信動作が設定できます（デュアルモード時は選択）。Bナンバーは着信音のみ設定できます。

◆電話着信設定

電話着信時の動作を設定します。

1 MENU 7 4 ✖ 2 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- バイブレータ、イルミネーションを「メロディ連動」にしても、メロディによっては連動しない場合があります。

◆テレビ電話着信設定

テレビ電話着信時の動作を設定します。

1 MENU 7 5 2 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- バイブレータ、イルミネーションを「メロディ連動」にしても、メロディによっては連動しない場合があります。

❖着信音と着信画像について

- 音声と映像のある動画／iモーションを、着信音と着信画像（イメージ表示）に個別に設定できません。設定は連動して変更されます。設定後、着信音を変更すると着信画像が「標準画像」に、着信画像を変更すると着信音がお買い上げ時の設定になります。
- 着信音と着信画像にミュージック、音声のみの動画／iモーション、映像のみの動画／iモーション、Flash画像のいずれかを組み合わせての設定はできません。着信音を変更すると着信画像が「標準画像」に、着信画像を変更すると着信音がお買い上げ時の設定になります。
- 着信音に設定できるミュージックについて→P220
- 着信音、着信画像に設定できる動画／iモーションについて→P272
- お買い上げ時に登録されているメロディ→P405

❖着信動作の優先順位

複数の機能で着信音、着信画像、バイブレータ、イルミネーション、キーイルミネーション、背面アニメーション（着信背面表示）を設定している場合は、次の優先順位で動作します。

- FOMA端末電話帳の個別着信設定、登録画像（人物画像表示設定が「ON」の場合の電話着信時）
- FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
- FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
- フル省電力時の電話発着信画像、テレビ電話発着信画像、メール送受信画像、メール受信結果画像、SMS受信完了画面、メッセージR/F受信完了画面、iモード問い合わせ中画面のフル省電力用静止画
- 電話着信設定／テレビ電話着信設定／電話着信音／テレビ電話着信音／メール着信音／電話発着信画像／バイブレータ設定／イルミネーション設定／キーイルミネーション設定／背面アニメーション設定／マルチナンバーの着信音設定／2in1の着信設定
- 相手が発信者番号を通知してこなかったときは、音声電話は着信拒否設定に、テレビ電話はテレビ電話着信音／テレビ電話着信設定に従って動作します。
- 優先順位に従い動作する着信音が音声のみの動画／iモーションまたはミュージックの場合、着信画像に画像（Flash画像を除く）を設定している機能が有効になります。該当する機能が複数ある場合、優先順位に従います。該当しない場合は標準画像が表示されます。

着信音

音声電話、テレビ電話、メール、メッセージR/F、SMS、i コンシェルの着信音を設定します。

- ・動画／i モーションを設定すると、着信時に映像や音が再生されます（着モーション）。
- ・電話着信設定、テレビ電話着信設定、2in1の着信設定にも反映されます。
- ・着信音と着信画像について→P82
- ・2in1利用時、電話／テレビ電話／メール／SMSは、モードごとのナンバーまたはアドレスの着信音が設定できます（デュアルモード時は選択）。
- ・着信音に動画／i モーションを設定している場合、カメラ起動中に着信があるとお買い上げ時の設定で動作することがあります。

〈例〉音声電話の着信音を設定する

1 MENU [8] [2]

2 [1] [1]

テレビ電話着信音：[1] [2]

メール、メッセージR/F、SMS着信音：[1] [3] ▶項目を選択

i コンシェル着信音：[2] [1]

3 各項目を設定▶[◎]【登録】

- ・メール、メッセージR/F、SMS、i コンシェルの着信音の鳴動時間は、1～30秒の範囲で設定します。

❖ミュージックの着信音設定

音楽データ全体を着信音にする「まるごと着信音」と、音楽データの一部分を着信音にする「オススメ着信音」があります。

1 各設定で「ミュージック」▶フォルダを選択▶設定するミュージックにカーソル▶[◎]【決定】▶設定を選択

- ・「オススメ設定」を選択したときは、設定する部分にカーソルを合わせて[◎]を押します。
- ・microSDカードのミュージックを選択すると、本体への移動確認画面が表示されます。「はい」を選択するとミュージックが本体に移動され、着信音に設定されます。

音量設定

着信音、受話音、GPS測位鳴動音、アラーム音、スケジュール音、i アプリ音、操作確認音、メロディ、待受 i モーションの音量を設定します。

- ・通話中の受話音量調整について→P61
- ・受話音量は通話中詳細設定にも反映されます。

1 MENU [8] [2] [3] ▶項目を選択

- ・着信音量、アラーム音量を選択したときは、さらに項目を選択します。

2 [●]または[▲][▼]▶[●]【決定】

- ・受話音量は「Silent」と「Steptone」を設定できません。ワンセグアラーム、i アプリ、操作確認、メロディ、待受 i モーションの各音量には「Steptone」を設定できません。
- ・電話着信音量を「Silent」にすると待受画面に[●]が表示されます。電話着信時のバイブレータを同時に設定しているときは[●]が表示されます。

✓お知らせ

- ・電池残量確認時の音、通話料金上限通知のアラーム音量は、本設定の電話着信音量に従います。
- ・音声クイック起動、音声電話伝言メモ、音声メモの再生音の音量は、本設定の受話音量に従います。
- ・お知らせタイマーの音量は、本設定のアラーム音量に従います。
- ・ワンセグ視聴予約のアラーム音量は、本設定のスケジュール音量に従います。
- ・メールやメッセージR/Fに添付されたメロディの再生音量は、本設定のメール・メッセージ着信音量に従います。ただし、「Silent」または「Steptone」に設定中は添付されたメロディが「Level 1」で再生されます。
- ・操作確認音量を変更しても、シャッター音の音量は変更されません。

バイブレータ設定

着信時、GPS測位時、アラーム鳴動時、i アプリ利用時、マナーサポート検出時などの振動を設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定、GPSの点灯色／鳴動音設定、i アプリ設定のバイブレータ設定、マナーサポート通知設定にも反映されます。
- 着信動作の優先順位→P82

1 MENU 8 2 4 ▶ 項目を選択

- 電話着信時、メール・メッセージ着信時、GPS測位時、アラーム鳴動時を選択したときは、さらに項目を選択します。

2 バイブレータを選択

- i アプリ利用時を選択したときは、「ON」または「OFF」を選択します。
- 「パターンA」～「パターンC」にカーソルを合わせると振動します。
- 「メロディ運動」にすると、着信音などに設定したメロディに合わせて振動します。ただし、メロディによっては運動しない場合があります。
- 電話着信時を「OFF」以外にすると、電話着信音量が「Level 1」以上のときは待受画面に音量が表示されます。電話着信音量が「Silent」のときは黒が表示されます。

✓お知らせ

- バイブレータ動作時にFOMA端末が机の上などにあると、振動が原因で落下するおそれがあります。
- 通話中に着信があったときは振動しません。
- 「OFF」のときでも、Flash画像の動作時に振動する場合があります。
- 64Kデータ通信着信時のバイブレータは、電話着信時の設定に従います。

メロディコール設定

音声電話をかけてきた相手に聞こえる呼出音をメロディに変更します。

- 設定サイトはパケット通信料がかかりません。ただし、IPサイト、i モードメニューサイト、無料楽曲コーナーに接続した場合はパケット通信料がかかります。

1 MENU 7 0 ▶ 「はい」

メロディコール設定サイトに接続されます。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

操作確認音

キー操作時、FOMA端末開閉時、静止画／動画撮影時（ボイスレコーダー録音時含む）のシャッター音を設定します。

- カメラ、ボイスレコーダーのシャッター音にも反映されます。

1 MENU 8 2 2 4 ▶ 項目を選択 ▶ 音を選択

✓お知らせ

- キー確認音を鳴るように設定しても、i アプリの起動中は音が鳴りません。
- キー確認音を「OFF」にすると、データ送受信設定の通信終了音を「ON」に設定中の通信終了音は鳴りません。
- 電池残量確認時の音は、キー確認音の設定に従います。

GPS測位鳴動音

GPS測位時に鳴る音を設定します。

- GPSの点灯色／鳴動音設定にも反映されます。

1 MENU 8 2 2 2 ▶ 項目を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

アラーム音

アラーム音、スケジュール音を設定します。

1 MENU 8 2 2 3 ▶ 項目を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- 「i モーション」に音声と映像のある動画／i モーションを設定すると、表示される画像は動画／i モーションの映像になります。

充電確認音

充電の開始時と完了時に確認音を鳴らすかどうかを設定します。

- 「ON」にしても通話中や通信中、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中は充電確認音は鳴りません。

1 MENU 8 2 2 5 ▶ [1]または[2]

電池アラーム音

電池が切れそうなときにアラームを鳴らすかどうかを設定します。

1 MENU 8 2 2 6 ▶ [1]または[2]

- 「OFF」にしても、通話中に電池が切れそうになると受話口からアラームが鳴ります。

マナーモード

FOMA端末のスピーカーから音を鳴らさないように設定します。

◆マナーモードの起動／解除

1 [#] (1秒以上)

マナーモードが起動／解除されます。起動すると、待受画面に④(通常マナーモード中)または⑤(オリジナル／サイレントマナーモード中)が表示されます。

- サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態のときは、FOMA端末を閉じて[■]を1秒以上押してもマナーモードを起動／解除できます。ただし、ワンタッチアラームを起動できる状態のときに[■]を1秒以上押すと、マナーモードは起動せずワンタッチアラームが鳴動しますのでご注意ください。

❖通常マナーモードを起動すると

- 着信音、キー確認音、開閉操作音、アラーム音、バーコードリーダーでコードを読み取ったときの確認音などFOMA端末のスピーカーから鳴る音を消します。
- 着信をバイブレータ（振動）でお知らせします。また、マイクの感度が上がり、小さな声でも通話できます。ただし、マナーモード選択の設定によっては動作が異なります。
- 次の場合は、バイブレータの動作は「パターンA」になります。
 - 電話／64Kデータ通信
 - メール受信時（バイブルーター設定が「OFF」の場合。また、エリアメールは「メロディ連動」）
 - i コンシェル着信時（バイブルーター設定が「OFF」の場合）
 - GPS測位中（鳴動音がメロディ、バイブルーター設定が「OFF」の場合）
 - お知らせタイマー、メモのアラームで指定した日時になったとき
- 添付ファイル自動再生設定を「自動再生する」に設定して送受信メールやメッセージR/Fを表示すると、確認画面が表示されます。
- 音声クリック起動利用時、メロディ、ミュージック再生時に確認画面が表示されます。
- テレビ電話伝言メモ、音声のある動画／i モーション、ワンセグの録画番組の再生時やワンセグ起動時には、音の再生（音声の出力）確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると映像のみ再生されます。
- ワンタッチアラーム設定を「ON」に設定中にサイドキーを操作しても、ワンタッチアラームは鳴動しません。

✓お知らせ-----

- マナーモード中でも、シャッター音、静止画撮影のオートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- エリアメール設定でマナーモード中に音が鳴るように設定している場合は、エリアメール受信時に専用ブザー音や専用着信音が鳴ります。
- ワンセグ視聴予約の開始通知設定でワンセグの起動を「自動起動」にしている場合は、音声が出力されます。

◆マナーモード選択

マナーモード起動時に動作させるマナーモードを選択します。

MENU **8 2 5** ▶ マナーモードの種類を選択

- オリジナルマナーモードを選択したときは、各項目を設定して[OK]を押します。

通常マナーモード：FOMA端末のスピーカーから鳴る音を消し、着信をバイブルーターの振動でお知らせします。また、通話時にマイクの感度が上がりります。

オリジナルマナーモード：特定の音を鳴らすようにしたり、バイブルーター やマイク感度UPを設定したりします。

サイレントマナーモード：通常マナーモードに加え、バイブルーターも振動しなくなります。

✓お知らせ-----

- オリジナルマナーモードでは、次のような制限があります。
 - バイブルーターを「個別設定に従う」にすると、バイブルーター設定に従って動作します。「ON」にすると、バイブルーター設定で「OFF」に設定されている項目は「パターンA」で、それ以外はバイブルーター設定に従って動作します。ただし、エリアメール受信時はバイブルーターの設定に関わらず、「メロディ連動」で振動します。
 - 電話着信音量を「消音」以外にすると、通話料金上限通知のアラームも鳴ります。
 - メール着信音量を「消音」に設定しても、他の設定項目のいずれかで音を鳴らすように設定しているときは、エリアメール受信時に専用ブザー音が鳴ります。また、エリアメール設定でマナーモード中に音が鳴るように設定している場合は、専用ブザー音や専用着信音が鳴ります。
 - アラーム音を「ON」にすると、お知らせタイマー やワンセグアラームの音も鳴ります。
 - 伝言メモは、伝言メモの設定に関わらず本設定に従って動作します。

マナーサポート設定

乗り物への乗車や場所を検知して、マナーモードやメールの自動返信を設定するよう促します。

- ・オートGPS機能が利用できない、海外にいる、電池残量が少ないなど、状態によっては動作しません。
- ・乗り物マナーサポートは揺れや速度により乗り物（バス・電車・新幹線）を検知するため、お客様のご利用状況によっては類似の振動パターンや速度推移を検出し、乗車と判断する場合があります。
- ・ロケーションマナーサポートを設定すると、オートGPS機能により現在地を測位します。位置情報は送信されませんが、マナーモードや自動返信の設定変更時の位置情報はFOMA端末に記録されます。

◆マナーサポート検知設定

マナーサポートの動作を設定します。

1 [MENU] 8 0 4 1 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

「ON」にすると、待受画面に❶が表示されます。検知できない状態のときはグレーで表示されます。

乗り物マナーサポート：乗車中に電話着信やメール受信をしたときに、マナーサポートを行うかどうかを設定します。

「ON」にすると、マナーモードと自動返信を個別に設定できます。自動返信設定を「ON」にしたときは、自動返信する本文と宛先を設定します。

ロケーションマナーサポート：以前にマナーモードや自動返信を設定した場所に近づいたことをオートGPS機能により検知して、マナーサポートを行うかどうかを設定します。

「ON」にすると、サポートエリアの変更や、自動返信する本文と宛先の設定ができます。

- ・オートGPS動作設定が「OFF」の状態でロケーションマナーサポートを「ON」に設定すると、オートGPS機能を有効にするかの確認画面が表示されます。
- ・ライフスタイル設定で場所毎ライフスタイルを登録している場合、サポートエリアを変更すると情報削除の確認画面が表示されます。

◆マナーサポートを設定すると

- ・乗り物マナーサポートを設定すると、バス、電車、新幹線乗車中に電話着信やメール受信したときに、乗り物マナーサポート画面が表示されます。「いいえ」を押すと、乗り物マナーサポートの停止確認画面が表示されます。
- ・ロケーションマナーサポートを設定すると、以前にマナーモードや自動返信を設定した場所に近づいたことをオートGPS機能により検知したときに、バイブレータが振動してロケーションマナーサポート画面が表示されます。その場所で初めて「はい」にしたときは、ライフスタイル設定への登録確認画面が表示されます。同じ場所で2回「いいえ」にすると、その場所での設定変更記録を削除します。
- 待受画面以外のときは、テロップにマナーモードや自動返信の設定を促すメッセージが表示されます。バイブルータは振動しません。
- ・マナーサポート設定中に着信や受信をしたときは、通常の着信動作を行います。
- ・マナーサポート画面が表示されてから約30秒間何も操作しないとマナーサポート画面の表示は消えます（ロケーションマナーサポートの場合はバイブルータが振動します）。
- ・FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに端末を開いて操作するようメッセージが表示されます。
- ・自動返信はメール自動返信設定の自動返信契機設定に従い動作します。
- ・自動返信の本文と宛先は、メール自動返信設定より本設定が優先されます。自動返信設定中にマナーサポートが動作し、自動返信を継続して利用する場合も同様です。
- ・自動返信時、乗り物マナーサポートで新幹線への乗車を検知したときは、本文の〈乗り物〉は「新幹線」に置き換えて送信されます。

◆マナーサポート通知設定

ロケーションマナーサポート画面が表示されるときの動作を設定します。

- ・バイブルータ設定にも反映されます。

1 [MENU] 8 0 4 2 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- ・「パターンA」～「パターンC」にカーソルを合わせると振動します。
- ・振動時間は、1～15秒の範囲で設定します。

ライフスタイル設定

時間や場所ごとに、マナーモードやメール自動返信の設定を変更します。指定した時間に、トータルカスタマイズを利用して画面デザインなどを変更したり、プライバシーモードの設定を変更したりするようにも設定できます。

- ・場所毎ライフスタイルを設定するには、あらかじめマナーサポート設定のロケーションマナーサポートの設定が必要です。
- ・ライフスタイルは時間毎、場所毎にそれぞれ最大12件登録できます。
- ・2in1のBモードとデュアルモードの待受画面は変更されません。

1 MENU [8] [0] [3] ▶ [1] または [2]

2 タイトルを選択▶各項目を設定▶[●] [登録]

- ・タイトル、場所毎ライフスタイルの登録位置名称は全角10（半角20）文字以内で入力します。
- ・時間毎ライフスタイルの時刻は24時間制で入力します。

繰り返しで「曜日指定」を選択したときは「曜日選択」を押し、曜日を選択して[●]を押します。

トータルカスタマイズで「変更する」を押したときは、トータルカスタマイズの選択欄を押し、カスタマイズにカーソルを合わせて[●]を押します。

トータルカスタマイズ→P97

- ・場所毎ライフスタイルでは動作させる場所の登録が必要です。「測位」を押して位置情報付加メニューから機能を選択し、登録してください。

位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P251

設定／解除：タイトルにカーソル▶[MENU] [設定／解除]

- ・設定中のライフスタイル設定のタイトルには[●]または[◀]が表示されます。

登録内容の削除：タイトルにカーソル▶[●] [削除] ▶ 「はい」

- ・設定中のライフスタイル設定は削除できません。

✓お知らせ

〈時間毎／場所毎共通〉

- ・i アプリ待受画面を設定している場合や、指定した時刻に電源が切れているとき、オールロック中、おまかせロック中、他の機能が起動しているときは動作しません。
- ・ライフスタイル設定とアラームを同じ時刻に設定したときは、アラームが動作した後にライフスタイル設定が動作します。

〈時間毎〉

- ・繰り返しを「曜日指定」に設定したときは、指定した曜日を過ぎても元の設定に戻りません。切り替えたいときは、複数のライフスタイルを登録してください。
- ・設定されている項目が複数あり、動作時刻が同じときは、一覧で最も上にあるものが動作します。
- ・プライバシーの設定は、プライバシーモード起動設定に関わらず動作します。

〈場所毎〉

- ・マナーサポート検知設定でロケーションマナーサポートが「OFF」の場合や、オートGPS機能が利用できない状態、海外では場所を検知できません。
- ・指定した場所（マナーサポート検知設定のロケーションマナーサポート）で動作しますが、場所を離れても元の設定に戻りません。
- ・場所毎ライフスタイルの動作後に場所を移動しない状態で、時間毎ライフスタイルで設定した時間になると、時間毎ライフスタイルが動作します。
- ・自動返信は、マナーサポート検知設定のロケーションマナーサポートの自動返信本文設定に従います。本文の〈場所〉は登録位置名称に置き換えて送信されます。

待受画面選択

待受画面に表示する画像、動画／i モーション、i アプリを選択します。

- 2in1利用時は、現在のモードの待受画面が設定されます。Bモードまたはデュアルモード時は、画像（イメージ設定）のみ設定できます。
- microSDカードの画像は設定できません。
- 待受画面に設定できる動画／i モーションについて→P272
- 各種ロックやドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により、設定した待受画面が表示されない場合があります。

〈例〉画像を設定

1 MENU [8] [1] [2] [1]

2 [1] ▶ フォルダを選択 ▶ 画像にカーソル ▶ [■] [決定]

- 2in1がBモードまたはデュアルモード時は[1]の選択は不要です。

動画／i モーションを設定：[2] ▶ フォルダを選択 ▶ 動画／i モーションにカーソル ▶ [■] [決定]

i アプリを設定：[3] ▶ i アプリを選択

- 待受画面に対応しているi アプリのみ選択できます。設定は他の待受画面より優先されます。

きせかえツールに従う：[4]

- きせかえツールで待受画面を設定中のみ選択できます。操作3は不要です。

3 「はい」

- 画像サイズによっては、「はい（等倍表示）」または「はい（拡大表示）」を選択します。
- i アプリ待受画面を設定すると、待受画面に[■]または[■]が表示されます。

✓お知らせ

- 待受画面に設定したFlash画像やGIFアニメーションは、電源を入れたときやFOMA端末を開いたとき、待受画面に戻ったときに再生されます。また、[■]で一時停止／再生ができます。
- 待受画面に設定した動画／i モーションは、FOMA端末を開くと再生されます。また、[■]で停止／再生が、[CLR]で停止が、[■]または[■]で音量調整ができます。
- 待受画面に設定した動画／i モーションの再生中は、[■]を押して電話帳やショートカット一覧を表示できません。
- i アプリ待受画面の操作→P232
- 待受画面を表示すると、Flash画像やGIFアニメーションは、一定時間再生した後に停止します。時計として機能するFlash画像を設定している場合に時計が止まつたときは、Flash画像の再生を行うと再開できます。
- 待受画面に表示されているマチキャラによっては、Flash画像の再生速度が遅くなる場合があります。
- GIFアニメーションを拡大表示で設定すると表示が乱れることがあります。
- マイピクチャの「プリインストール」フォルダのFlash画像を設定すると、画像によっては時刻や季節などにより表示が変化します。
- ウォーキング／Exカウンター設定が「利用する」のとき、マイピクチャの「プリインストール」フォルダのFlash画像を設定すると、画像によっては歩数などの値が表示されたり、値に応じて画像が変化したりします。

待受スライドショー

マイピクチャのフォルダやマイコレクションのアルバムを指定すると、待受画面に画像を切り替えて表示します。

- 2in1利用時は、Aモードの待受画面のみ設定できます。
- 指定したフォルダやアルバムのJPEG形式の画像のみ再生されます。
- 各種ロックやドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により、一部またはすべての画像が表示されない場合があります。

1 [MENU] 8 1 2 2 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録] ▶ 「はい」

- 照明点灯時間設定を押すと、待受スライドショーの利用シーン（通常時、ACアダプタ接続時など）にあわせてディスプレイを明るくする時間を設定できます。[CLR]を押すと待受スライドショー設定画面に戻ります。

✓お知らせ

- 再生中は、[→]で一時停止／再生ができます。

カレンダー／待受カスタマイズ

待受画面をいくつかのエリアに分割し、新着情報、スケジュール、カレンダー、メモ、歩数・活動量情報を表示します。

- 待受画面に動画／iモーション、iアプリが設定されているときは表示されません。

1 [MENU] 8 1 2 3

2 1

解除：2

3 [□]でパターンを切り替え

リセット：[MENU] [リセット] ▶ 「はい」

4 エリアを選択▶表示する情報を選択

- 新着情報を選択した場合は、表示する情報を選択して[□]を押します。
- 小さいエリアにはカレンダーや歩数・活動量情報を設定できません。また、エリアの大きさにより、カレンダーや歩数・活動量情報で選択できる項目は異なります。
- パーソナルデータロック中は、新着情報の不在着信一覧とカレンダー以外の情報は選択できません。

5 [□] [登録] ▶ 「はい」

◆待受画面で情報を確認

カレンダー／待受カスタマイズの情報を確認します。

1 [□] ▶ エリアにカーソル ▶ [□] [決定]

- エリアが表示されていないときは、[→]を押してエリアを表示させてから操作します。

✓お知らせ

- [□]を押すとエリアの表示と非表示を切り替えられます。待受画面にアニメーションを設定しているときは、再生が停止または一時停止した後に操作します。
- インフォメーション表示中は操作できません。

◆各情報の表示内容

- 表示される情報の件数や行数はエリアのサイズによって異なるため、情報の一部が表示されない場合があります。
- 各情報の日時は、当日は時刻が、当日以外では日付が表示されます。

新着情報：情報が新しいものから順に表示されます。エリアを選択すると先頭の情報が確認できます。

スケジュール：開始日時になつてないメモやワンセグの視聴／録画予約の早いものから順に表示されます。エリアを選択すると、先頭のメモまたは視聴／録画予約が確認できます。

- 開始日時と終了日時が同じ日でないメモには➡が表示されます。
- iスケジュール内の予定は表示されません。

カレンダー：当日は黄で表示されます。スケジュールのメモやワンセグの視聴／録画予約が設定されているときは、日付の右上に赤いマークが表示されます。エリアを選択すると、スケジュールのカレンダーが表示されます。

メモ一覧：メモの件名一覧が表示されます。ToDo設定ありのメモの先頭にはマークが表示されます。エリアを選択するとメモ一覧が表示されます。

メモ内容：メモの件名と詳細が表示されます。エリアを選択するとメモの詳細が表示されます。

歩数・活動量情報：「シンプル」にすると、ウォーキング／Exカウンターで計測した今日の歩数や活動量、今週の活動量が表示されます。「ノーマル」にするとさらに一週間の目標活動量（23Ex）に対する達成状況が表示されます。「フル」にすると、「ノーマル」で表示される情報に加え、消費カロリーや脂肪燃焼量が表示されます。エリアを選択すると歩数／活動量／カロリー情報が表示されます。

MyFACE設定

MyFACEに関する設定を行います。

1 MENU 8 1 3

2 目的の操作を行う

MyFACE利用設定：1▶1または2

MyFACEを利用するかを設定します。「利用しない」にした場合、MyFACE表示操作を行うと通常のリダイヤル／着信履歴が表示されます。
・MyFACE表示中のサブメニューからも設定できます。

更新通知表示設定：2▶1または2

MyFACEが更新されたときに更新通知を表示するかを設定します。
・「表示する」にすると、MyFACEが更新されたときは待受画面に[■]が表示されます。

ローミング時自動更新設定：3▶1または2

国際ローミング中にMyFACEの自動更新を行うかを設定します。

・「個別設定に従う」にすると、MyFACE表示中のサブメニューにある「自動更新設定」に従います。

低電力時動作設定：4▶1または2

電池残量が少なくなったときに、MyFACEを自動更新するかを設定します。

MyFACEピュア設定：5▶各項目を設定

発着信一覧以外のMyFACE表示中の各種動作を設定します。

- ・サウンド設定、ページ内データ取得設定、Script動作設定、端末情報利用設定、文字サイズ設定、Cookie設定、Cookie削除について→P170
- ・通信継続確認設定は、最大サイズを超える通信時に確認画面を表示するかを設定します。

電話発着信画像

電話の発着信時に表示する画像を設定します。

- ・電話着信設定、テレビ電話着信設定にも反映されます。
- ・着信音と着信画像について→P82
- ・着信動作の優先順位→P82

1 MENU 8 1 5▶1または3▶1または2▶各項目を設定▶[登録]

♦ 発信画像の優先順位

複数の機能で発信画像を設定している場合は、次の優先順位で画像が表示されます。

- ① FOMA端末電話帳に登録した画像（人物画像表示設定が「ON」の場合）
- ② FOMA端末電話帳のグループ別発着信設定
- ③ FOMA端末電話帳の会社名別発着信設定
- ④ 電話発信設定／テレビ電話発信設定

発着信番号表示設定

電話の発着信・通話時に、タイトルに表示する記号を設定します。

- ・2in1の発着信番号表示設定のAナンバーにも反映されます。
- ・マルチナンバーの利用時は、記号は表示されません。

1 MENU 7 4 ✖ 3▶各項目を設定▶[登録]

- ・識別表示を「ON」にすると識別記号を設定できます。

発着信の人物画像表示設定

電話発着信時に、FOMA端末電話帳の画像などを表示するかを設定します。

- 着信時は、相手が電話番号を通知してきたときに表示されます。

1 MENU 8 1 5 1 3 ▶ 1 または 2

メール送受信画像

メールの送信、メールの受信や受信完了、SMS受信完了、メッセージR/F受信完了、問合せ時に表示する画像を設定します。

- 着信音と着信画像について→P82

1 MENU 8 1 5 2 ▶ 項目を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

背面アニメーション設定

FOMA端末を閉じたときや着信時に、背面ディスプレイにアニメーションを表示します。

- 着信アニメーションを設定すると、電話／メール着信時設定の背面ディスプレイ着信表示は動作しません。

1 MENU 8 1 0 ▶ 項目を選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- メモリ別／グループ別／会社名別アニメーションでは、FOMA端末電話帳の個別着信設定、グループ別発着信設定、会社名別発着信設定の着信背面表示を設定できます。

照明設定

ディスプレイの照明点灯時間、画面オフ時間、明るさ調整を設定します。

- ブラウザの共通設定の照明設定、i アプリ設定の照明点灯時間設定、カメラの詳細設定の照明点灯時間にも反映されます。

1 MENU 8 3 1

2 目的の操作を行う

照明点灯時間設定：1 ▶ 項目を選択 ▶ 時間または動作を選択

画面オフ時間設定：2 ▶ 時間を選択

明るさ調整：3 ▶ 項目を選択 ▶ 明るさを選択

お知らせ

- 照明点灯時間設定で「常時点灯」にすると、明るさ調整で設定した明るさで常に照明が点灯します。ただし、ACアダプタ接続時を「常時点灯」にすると、充電時は明るさ調整の設定に関わらず「明るさ2」で点灯します。
- 照明点灯時間設定で「端末設定に従う」にすると、通常時で設定した点灯時間に従って照明が点灯します。
- 照明点灯時間設定でi アプリを「ソフトに従う」にすると、i アプリの設定に従って点灯します。常時点灯のi アプリの場合、照明は消灯しません。
- 画面オフ時間設定は、照明点灯時間設定で「常時点灯」に設定している機能では無効です。
- 画面オフ時間設定で設定した時間が経過しても、着信中や受信中、テレビ電話中、カメラ操作中、ワンセグ視聴中、ワンセグのビデオ再生中、アラーム鳴動中などは表示は消えません。動作終了後に設定時間が経過すると表示が消えます。
- 明るさ調整で「自動調整」にすると、ディスプレイの照明が周囲の明るさによって自動的に変更されます。周囲が明るい場所ではキーバックライトは点灯しません。
- 明るさ調整で「端末設定に従う」にすると、通常時で設定した明るさになります。

プライバシービュー

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

◆ プライバシービューの起動／解除

1 [MULTI] (1秒以上)

- 待受画面以外でも操作できます。

◆ プライバシービューレベル設定

プライバシービュー起動中の表示レベルを設定します。

1 MENU [8] [1] [9] ► [1] ~ [3]

ecoモード設定

一時的にディスプレイの照明や音などを調整し、電池の消費を抑えます。

◆ ecoモードON／OFF

1 MENU [8] [7] [1] [1] ► [1] または [2]

- ONにすると、待受画面に(緑)が表示されます。
- セレクトメニューの設定がお買い上げ時の状態のときは、[5]を1秒以上押してもecoモードのON／OFFを切り替えられます。

✓ お知らせ

- 次の場合、ecoモードはOFFに設定され、ecoモードで変更された設定は元の状態に戻ります。
 - ecoモードで設定される項目を個別に変更したとき（照明設定の照明点灯時間設定の通常時と画面オフ時間設定をecoモードで設定される値以下に設定した場合を除く）
 - きせかえツールのリセットで画面／音設定の初期化をしたり、「明るさ1」以外の明るさを含むきせかえツールを設定したりしたとき
 - トータルカスタマイズを設定したり、トータルカスタマイズを「変更する」に設定したライフスタイル設定が動作したりしたとき

◆ ecoモード動作設定

ecoモードがONのときの動作を選択します。

1 MENU [8] [7] [1] [2] ► [1] または [2]

❖ ecoモードにすると

- 標準省電力にすると、次のように動作します。
 - 操作確認音（シャッター音を除く）、イルミネーション設定の通話中、現在地確認、現在地通知、ICカードアクセス、端末クローズ、キーイルミネーション設定、キーバックライト設定、不在着信お知らせ、時報設定は「OFF」になります。
 - 照明設定の照明点灯時間設定の通常時は「10秒」（設定が0秒、5秒の場合を除く）、通常時以外は「端末設定に従う」に、画面オフ時間設定は「15秒」（設定が10秒の場合を除く）、明るさ調整は「明るさ1」になります。
 - ワンセグecoモードはONになります。
- フル省電力にすると、標準省電力の動作に加えて次のように動作します。
 - モーションセンサー設定、背面自動点灯設定、マチキャラ設定の表示設定、オートGPS動作設定は「OFF」になります。
 - マナーサポート、待受スライドショー、背面ディスプレイ表示は動作しなくなります。
- 照明設定の照明点灯時間設定の通常時は「0秒」、画面オフ時間設定は「10秒」、ウォーキング／Exカウンター設定は「利用しない」になります。
- 電話発着信画像、テレビ電話発着信画像、メール送受信画像、メール受信結果画像、SMS受信完了画面、メッセージR/F受信完了画面、iモード問い合わせ中画面は、フル省電力用静止画になります。ただし、設定によってはフル省電力用静止画を表示せず、設定した画像を表示する場合があります。

◆ ecoモード自動起動設定

- 電池残量によってecoモードのON/OFFが切り替わるように設定します。
- 待受画面表示中に電池残量が設定した値（お買い上げ時は40%）になると、ecoモードが切り替わります。待受画面以外を表示していたときは、待受画面を表示するかディスプレイの照明が消灯すると切り替わります。
 - お買い上げ時やecoモード自動起動設定を「ON」に設定後に初めてecoモードが切り替わるときは、確認画面が表示されます。

1 MENU 8 7 2 ▶ 各項目を設定 ▶ ⑥ [登録]

自動起動設定を「ON」にすると、待受画面に■(グレー)が表示されます。ただし、ecoモードがONのときは■(緑)が表示されます。

- 自動起動設定を「ON」にすると、電池残量と設定アシスト機能が設定できます。電池残量は20%、40%、60%、80%から選択できます。
- 設定アシスト機能を「ON」にすると、指定した電池残量以下の状態でecoモードをOFFにしても、ディスプレイの表示が消えるたびにecoモードがONに切り替わります。

背面自動点灯設定

FOMA端末を持ち上げて傾けたときに背面ディスプレイの照明を自動点灯させるかどうかを設定します。

1 MENU 8 1 8 ▶ 1 または 2

✓お知らせ-----

- FOMA端末を閉じた静止状態から持ち上げて傾けたときの速度や角度などによっては、背面ディスプレイの照明が点灯しない場合があります。
- 歩行中や振動の多い場所でFOMA端末を傾けたままの状態にしたときに、背面ディスプレイの照明が自動点灯する場合があります。

カラーテーマ設定

画面の背景のデザインを変更します。

1 MENU 8 1 4 ▶ カラーテーマを選択

表示メニュー設定

待受画面でMENUを押すと表示されるメニューのタイプを設定します。

- メニュー画面の種類→P34

1 MENU 8 1 7 1 ▶ メニューのタイプを選択

マチキャラ設定

待受画面にキャラクタを表示します。

フレンドリーメッセージ対応のマチキャラも利用できます。

- 「リーフロボット」がフレンドリーメッセージに対応しています。

1 MENU 8 1 6

2 1 ▶ 各項目を設定 ▶ ⑥ [登録]

- 表示設定を「ON」にするとマチキャラを選択できます。
- フレンドリーメッセージに対応したマチキャラを選択すると、フレンドリーメッセージを設定できます。「ON」にすると、待受画面に戻ったときにマチキャラに呼びかたを確認されます。■を2回押すとユーザ名称入力画面が表示され、マチキャラに呼びかけられたい名前（ユーザ名称）を設定できます。

自動アップデート設定：[2]▶[1]または[2]

- ・マチキャラを自動更新するかどうかを設定します。

アップデート通知設定：[3]▶[1]または[2]

- ・自動アップデート設定を「ON」にした場合に設定できます。
- ・「ON」にすると、マチキャラが更新されたときに待受画面に■が表示されます。待受画面で[●]▶アイコンを選択▶「はい」を押すとアップデートできます。

✓お知らせ

- ・i アプリ待受画面を設定している場合や、待受画面に設定した動画／i モーションの再生中は、マチキャラは表示されません。
- ・自動アップデート設定を「OFF」にしても、データBOXのマチキャラ一覧のサブメニューから手動アップデートできます。
- ・ユーザ名称はマチキャラごとに保持され、データBOXのマチキャラ一覧のサブメニューから一括情報リセットを行うと消去されます。一括情報リセットを行うと、設定経過時間、積算通話時間、送受信メール数もリセットされます。

◆マチキャラおしゃべり設定

音声クリック起動利用時に質問を読み上げるかどうかを設定します。

- ・「ON」にしても、音声出力に対応していないマチキャラの設定中は動作しません。
- ・「セイリアン」が音声出力に対応しています。

1 MENU [8] [2] [7]▶[1]または[2]

- ・「ON」にしたときは、さらに音声出力先を選択します。

きせかえツールの利用

きせかえツールを利用すると、待受画像、メニュー、発着信画像などを一括で設定できます。

- ・microSDカードのきせかえツールは設定できません。
- ・きせかえツールでは、次の項目が設定できます（きせかえツールによって、設定できる項目の組み合わせの内容は異なります）。
 - アンテナアイコン、電池アイコン、カスタムメニュー※、待受画面、音声電話発信画面、テレビ電話発信画面、音声電話着信画面、テレビ電話着信画面、メール送信画面、メール受信画面、メール受信完了画面、SMS受信完了画面、i モード問い合わせ画面、メッセージ受信完了画面、待受時計デザイン、待受時計形式、待受時計表示位置、待受時計曜日、カラーテーマ、i モードメニュー背景、メールメニュー背景、マチキャラ、音声電話着信音、テレビ電話着信音、メール着信音、メッセージR着信音、メッセージF着信音、SMS着信音、i コンシェル着信音、アラーム音、フォント、明るさ

※ ノーマルメニュー用のデザインです。「基本メニュー背景」や「メール」などのアイコンが個別の項目として設定されている場合があります。

- ・きせかえツールに含まれるカスタムメニューによっては、ショートカット操作や、Select languageを「English」にしたときの英語表示に対応していないものがあります。
- ・2in1のBモードとデュアルモードの待受画面、Bナンバーの着信音にはきせかえツールの項目は設定されません。

1 MENU [5] [7]

→microSD : microSDカードのフォルダ一覧を表示

i モード : サイトからダウンロードしたきせかえツール

プリインストール : プリインストールされているきせかえツール

i モードで探す : i モードサイトからきせかえツールを探す→P167

2 フォルダを選択▶きせかえツールにカーソルを合わせる

- マークの意味は次のとおりです。
データBOX共通のマーク→P261
- [] : 設定中／設定されていないきせかえツール
- サムネイル表示できない場合は次のように表示されます。
[] : サムネイル画像を取得できないきせかえツール
[] : ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可

3 [] [一括設定] ▶「はい」

きせかえツールの項目が一括設定されます。設定されていた文字サイズとの組み合わせによっては、文字サイズの一括設定の確認画面が表示されます。

項目の表示：きせかえツールを選択

- サブメニューから再生時の音量や待受 i モーションの表示サイズが設定できます。
- 項目を選択すると、イメージや設定内容が表示できます。

✓お知らせ

- 「シンプルメニュー」を設定するとSelect languageは設定できません。
- 各設定画面で「きせかえツールに従う」に設定されている項目は、「きせかえツールに従う」以外を選択するときせかえツールの解除確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、該当項目のみ解除されます。きせかえツールの設定に戻すには、再度きせかえツールを設定してください。
- きせかえツール内に表示・再生できないデータがあるときは、きせかえツールを設定しても、そのデータのみ設定されません。
- 着信音または着信画像のいずれかが含まれるきせかえツールを設定した場合、設定中の着信画像または着信音との組み合わせによっては、そのデータのみ設定されません。また、「きせかえツールに従う」に設定されても、お買い上げ時の設定で着信音が鳴ったり「標準画像」が表示されたりする場合があります。
- MULTI [8] [7] からリセットができます。
- フォルダ一覧のサブメニューからフォルダ管理やメモリ確認が、きせかえツール一覧のサブメニューからタイトル（情報）編集、情報表示、削除、移動、表示切替、ソートなどができます。→P288~291

メニューのカスタマイズ

ノーマルメニューのメニュー項目を変更したり、ベーシックメニューのデザインを変更したりします。

◆ノーマルメニューのカスタマイズ

ノーマルメニューのメニュー項目を変更します。

- メニュー項目の変更や入れ替えに対応したきせかえツールをダウンロードして設定している場合のみ操作できます。

1 [MENU] ▶メニュー項目にカーソル

2 目的の操作を行う

機能上書き登録：[MENU] [サブメニュー] ▶ [2] ▶ 登録する機能にカーソル

▶ [] [登録]

- 2階層目のメニューからも登録できます。

機能入替え：[MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ 入れ替え先の項目を選択

◆ベーシックメニューのカスタマイズ

ベーシックメニューのデザインを変更します。

1 [MENU] ▶ [] [ベーシック]

- ベーシックメニュー利用中は [] を押す必要はありません。

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ [2]

3 機能を選択▶フォルダを選択▶画像にカーソル▶[] [決定]

- 静止画を選択したときは、選択時アイコンの画像設定確認画面が表示されます。「はい」を選択したときは、フォルダを選択▶画像にカーソル▶[] を押します。

・続けて他の機能のメニューアイコンも同様に設定できます。

1件解除：アイコンにカーソル▶[MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ 「はい」

全件解除：[MENU] [サブメニュー] ▶ [2] ▶ 「はい」

4 [] [背景] ▶ フォルダを選択▶画像にカーソル▶[] [決定]

背景解除：[MENU] [サブメニュー] ▶ [4] ▶ 「はい」

5 [確定] ▶ 「はい」

- ベーシックメニュー利用中は「はい」の選択は不要です。

✓お知らせ

- Flash画像は設定できません。また、アイコンには画像サイズが76×76、152×152以外の画像は設定できません。
- パソコンデータロック中は、ベーシックメニューのアイコンと背景を変更できません。

◆機能説明文表示

メニュー項目の機能説明文を表示するかどうかを設定します。

- 文字サイズ設定の全体を「大」「最大」「極大」に設定中、大きめフォント対応のノーマルメニュー利用中に設定できます。ただし、セレクトメニュー画面では設定できません。

1 メニュー画面で [MENU] [6] (ベーシックメニュー画面では [MENU] [5])

- 操作するたびに機能説明文表示のON/OFFが切り替わります。

✓お知らせ

- 「機能説明文表示OFF」に設定しても、ノーマルメニューの「シンプルメニュー」利用中の2階層目までのメニュー画面や、セレクトメニュー画面では機能説明文が表示されます。

◆メニューのリセット

メニュー操作履歴リセットを選択すると、メニューの使用回数や使用日時の情報が削除されます。メニュー設定オールリセットを選択すると、表示メニュー設定、ノーマルメニュー、セレクトメニューがお買い上げ時の状態に戻ります。

1 [MENU] [8] [1] [7] [3] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」

- メニュー設定オールリセットでは認証操作が必要です。

画面のトータルカスタマイズ

メニューデザイン、カラーテーマ設定、待受画像設定、待受時計、電池／アンテナアイコン、端末クローズイルミネーション、キーバックライト色を組み合わせて、3種類のオリジナルコーディネイトを作成できます。

- トータルカスタマイズを設定すると、照明設定の明るさ調整、文字サイズ設定、フォント選択、ecoモード、ワンセグのユーザ設定の字幕サイズがお買い上げ時の設定に戻ります。また、照明設定の照明点灯時間の通常時を「0秒」に設定していたときは、それ以前の設定値に変更されます。
- 2in1のBモードとデュアルモードの待受画面は変更されません。

1 [MENU] [8] [0] [2] ▶ タイトルを選択 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録] ▶ タイトルにカーソル ▶ [■] [設定]

- タイトルは全角10（半角20）文字以内で入力します。

電池／アンテナアイコン設定

電池／アンテナアイコンを変更します。

1 [MENU] [8] [1] [2] ▶ [5] または [6] ▶ アイコンを選択

イルミネーション設定

着信時、通話中、GPS測位時、ICカードアクセス時、FOMA端末を閉じたときに点灯するイルミネーションを設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定、GPSの点灯色／鳴動音設定にも反映されます。
- 着信動作の優先順位→P82
- ランプの点灯色や明るさについて→P419

1 [MENU] [8] [3] [2] ▶ [1] または [2]

- 「一括設定」を選択したときは、さらに項目を選択します。操作2は不要です。

2 機能を選択▶各項目を設定▶[回]【登録】

- 着信イルミネーションパターンを「メロディ連動」に設定してもメロディによっては連動しない場合があります。
- GPS測位イルミネーションパターンは「メロディ連動」に設定できません。また、位置提供／許可、位置提供／毎回確認には「OFF」も設定できません。
- 端末クローズイルミネーションパターンは「メロディ連動」「OFF」に設定できません。

キーイルミネーション設定

着信時、メール送信時、データ送受信時、FOMA端末を開いたときなどに点灯するキーイルミネーションを設定します。

- 電話着信設定、テレビ電話着信設定にも反映されます。

1 MENU [8] [3] [3] ▶ [2] または [3]

- 「一括設定」を選択したときは、さらに項目を選択します。操作2は不要です。

2 機能を選択▶各項目を設定▶[回]【登録】

◆キーバックライト設定

キーを押したときに点灯するキーバックライトの動作を設定します。

1 MENU [8] [3] [3] [1] ▶ 各項目を設定▶[回]【登録】

- キーバックライトを「ON」にすると、キーバックライト色を設定できます。
- キーバックライトを「OFF」にすると、キーイルミネーションも動作しなくなります。

不在着信お知らせ（ランプ）

不在着信や未読メール（SMS含む）があることをランプの点滅でお知らせします。

1 MENU [8] [1] [5] [4] [2] ▶ [1] または [2]

✓お知らせ

- エリアメール、メッセージR/F受信時は動作しません。
- FOMA端末を閉じた状態で電話着信やメール受信があると、ランプは着信・受信時の点灯色で約10秒間隔で点滅します。
- 次の場合は、ランプはイルミネーション設定のイルミネーションカラーで、約30分間隔で点滅します。複数の新着情報がある場合、電話着信、メール着信の順に優先されます。
 - FOMA端末を閉じた状態でインフォメーション受信があった場合
 - FOMA端末を開いた状態で電話着信、メール受信、インフォメーション受信があり、情報を確認せずにFOMA端末を閉じた場合
 - FOMA端末を閉じた状態で新着情報の件数が変化してから、FOMA端末を開かずに約6時間経過した場合
 - 約10秒間隔でランプが点滅しているときにFOMA端末を開き、情報を確認せずにFOMA端末を開いた場合
 - 約10秒間隔でランプが点滅しているときにFOMA端末の電源を入れ直し、情報を確認せずにFOMA端末を開いた場合
- 新着情報の件数が変化してから約12時間（インフォメーションは約6時間）経過するか、新着情報アイコンを消去するとランプは消灯します。

時報設定

設定した時間の正時を、背面ディスプレイの表示やランプでお知らせします。音を鳴らすようにも設定できます。

- FOMA端末を開いているときや、背面ディスプレイに情報が表示されているとき、公共モード（ドライブモード）中、おまかせロック中は動作しません。
- ランプの点灯色は時刻によって異なります。

1 MENU [8] [5] [4] ▶ 各項目を設定▶[回]【登録】

フォント選択

文字の種類を変更します。

- ・カメラ、iアブリ、iモーションなどの機能の一部には反映されません。

1 MENU 8 4 2 ▶ 文字種欄を選択

2 フォントを選択 ▶ [登録]

削除：フォントにカーソル ▶ MENU [削除] ▶ 「はい」

- ・お買い上げ時に登録されているフォントや、現在利用中のフォントは削除できません。

文字サイズ設定

文字の大きさを設定します。

- ・iモード、フルブラウザ、受信／送信メール（サブメニュー）、MyFACE、電子辞書の文字サイズ設定にも反映されます。

1 MENU 8 4 1 ▶ 項目を選択 ▶ 文字サイズを選択

- ・全体で選択した文字サイズによっては、メニューの文字サイズ変更の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、きせかえツールを選択できます。
- ・項目により選択できる文字サイズは異なります。全体で選択した文字サイズが対応していない項目には、最も近い文字サイズが設定されます。

着信ひかえめ設定

着信時に表示される文字を小さくして、周りの人から内容を見にくくします。

1 MENU 8 4 6 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- ・着信ひかえめ設定を「ON」にすると文字サイズを設定できます。背面ディスプレイの文字も小さくなります、文字サイズは設定できません。

時計表示設定

待受画面の時計デザインや曜日の表示言語、時刻の表示形式などを設定します。

1 MENU 8 5 2 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

- ・デザインを「ON」にすると、時計のデザイン、表示位置、曜日を設定できます。
- ・曜日を「バイリンガルに従う」にすると、Select languageの設定に従って表示されます。
- ・デザインで「デジタル5」を選択し、タイムゾーンなどを設定すると、日本と設定したタイムゾーンの時刻を左右に並べて表示できます。サマータイムを「ON」にすると、タイムゾーンの時刻が1時間進められて表示されます。

お知らせ

- ・待受画面以外の画面では、ディスプレイ右上に時刻が表示されます。この表示は、形式の設定（「24時間表示」または「12時間表示」）に従います。
- ・待受画面に動画／iモーションやiアブリが設定されているときは、本設定に関わらず画面右上に時計表示されます。また、オールロック中は表示位置が「上」になります。

Select language

メニューなどに表示される言語を英語に変更できます。

1 MENU 8 4 4 ▶ 1 または 2

✓お知らせ-----

- 本設定は、ドコモminiUIMカードにも保存されます。
- 「English」に設定しても、きせかえツールによってはノーマルメニューが英語に切り替わらないものがあります。ただし、「プリインストール」フォルダのきせかえツールを設定しているときは「English」専用のメニューが表示されます。
- ショートカットのタイトルは貼り付けたときの言語から切り替わりません。

あんしん設定

暗証番号

FOMA 端末で利用する暗証番号	102
端末暗証番号設定	103
PIN コードの設定	104
PIN ロックの解除	104

操作・機能の制限

オールロック	105
おまかせロック	106
セルフモード ～発信や着信ができないようにする～	107
パーソナルデータロック	107
ダイヤル発信制限	108
プライバシーモード	108
電話／メール着信時設定	113
HOLD ～サイドキーの誤操作を防止する～	113
自動キーロック ～クローズロックまたは無操作ロックを設定する～	113
セキュリティランプ設定 ～ロックの状態をランプでお知らせする～	115

親子モード

親子モード	115
-------------	-----

着信の制限

指定電話番号からの着信許可／拒否	117
着信拒否設定	117
呼出動作開始時間設定 ～電話帳登録外の相手からの着信をすぐに受けないようにする～	118

その他のあんしん設定

ケータイデータお預かりサービス	119
各種設定リセット	122
データー括削除	122
遠隔初期化／遠隔カスタマイズ	123
その他のあんしん設定	124

FOMA端末で利用する暗証番号

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号の他、ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

- ・入力した端末暗証番号やネットワーク暗証番号、iモードパスワードなどは「*」で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- ・設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- ・暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ・各種暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- ・PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

❖ 端末暗証番号

お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P103

- ・誤った端末暗証番号を連続5回入力すると、電源が切れます。

✓お知らせ

- ・パスワードマネージャーをご利用になる場合は、端末暗証番号を必ず変更してください。変更する端末暗証番号も、電話番号の下4桁などのわかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。また、設定した端末暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。

※ 万が一、第三者の不正な使用による不利益があつても、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

❖ パスワード（子供用）

親子モード中に認証操作が必要な場合に、端末暗証番号の代わりに使用する暗証番号です。パスワード（子供用）ではセキュリティ機能などの設定は変更できません。お子様用としてご利用ください。お買い上げ時には「1111」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。万が一パスワードをお忘れになってしまった場合は、パスワード変更で端末暗証番号を入力することで再設定できます。→P116

- ・パスワード入力が必要なときは、端末暗証番号を入力しても認証されます。

❖ ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターや「お客様サポート」でのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただけますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。

なお、iモードからは、i Menu→「お客様サポート」→「各種設定（確認・変更・利用）」→「ネットワーク暗証番号変更」からお客様ご自身で変更ができます。

- ・「My docomo」「お客様サポート」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

❖ i モードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、iモード有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には、4桁の「iモードパスワード」が必要です。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P157

この他にも各IP（情報サービス提供者）が独自にパスワードを設定している場合があります。

❖ PIN1コード／PIN2コード

ドコモminiUIMカードには、PIN1コード、PIN2コードという2つの暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P104

PIN1コードは、第三者によるドコモminiUIMカードの無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PIN1コードを入力すると、発着信および端末操作ができます。

PIN2コードは、積算通話料金リセット、通話料金自動リセット設定を変更するときなどに使用する4～8桁の暗証番号（コード）です。

- 別のFOMA端末で利用していたドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定されたPIN1／PIN2コードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

❖ microSDパスワード

microSDカードにパスワードを設定できます。パスワードを設定したmicroSDカードを他の携帯電話に取り付けて使用する場合は、その携帯電話にパスワード認証をする必要があります。パソコンやパスワード設定機能のない携帯電話などに取り付けた場合には、データの利用や初期化ができません。→P286

- microSDカードによっては本機能に対応していない場合があります。

❖ PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PIN1コード、PIN2コードがロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。



端末暗証番号設定

端末暗証番号を設定します。お買い上げ時の端末暗証番号は「0000」に設定されています。

- パスワード（子供用）と同じ番号は設定できません。また、親子モード中は端末暗証番号の設定はできません。

1 MENU [8] [6] [3] [1] ▶ 認証操作

2 新しい端末暗証番号を入力 ▶ 新しい端末暗証番号（確認）欄に新しい端末暗証番号を入力 ▶ [登録]

PINコードの設定

電源を入れたときにPIN1コードを入力するように設定したり、PIN1／PIN2コードを変更したりします。

◆ PIN1入力ON／OFF切替

電源を入れたときにPIN1コードを入力するかを設定します。

- 現在の設定を変更する場合のみPIN1コード入力画面が表示されます。

1 MENU [8] [6] [9] [3] ▶ [1] または [2] ▶ PIN1コードを入力

- PIN1コードを連続3回間違えると、PIN1コードがロックされます。「OK」を選択してPINロック解除コードを入力してください。
- 「ON」にしたときは、正しいPIN1コードを入力しないと、すべての操作ができません。

✓お知らせ

- 本設定は、ドコモminiUIMカードに保存されます。
- アラーム自動電源ONによって自動的に電源が入った場合、アラームにダウンロードしたメロディやiモーション、ミュージックを設定していても、お買い上げ時の設定で動作し、[■]を押してアラームを止めた後にPIN1コード入力画面が表示されます。

◆ PIN1／PIN2コードの変更

PIN1／PIN2コードを変更します。ご契約時はどちらも「0000」に設定されています。

- PIN1コードを変更するときは、PIN1入力ON／OFF切替を「ON」にする必要があります。

1 MENU [8] [6] [9] ▶ [1] または [2] ▶ 認証操作

2 現在のPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶[登録]

- PIN1／PIN2コードを間違えると、認証の失敗を示す画面が表示されます。「OK」を選択して正しいPIN1／PIN2コードを入力してください。連続3回間違えると、PINコードがロックされます。「OK」を選択してPINロック解除コードを入力してください。

✓お知らせ

- 本設定は、ドコモminiUIMカードに保存されます。
- PIN2コードの入力を連続3回間違えてPIN2コードがロックされた場合でも、電話の発着信、メールの送受信などはできますが、PIN1コードの入力を連続3回間違えてPIN1コードがロックされた場合には、それらの操作はできなくなります。

PINロックの解除

PINコードのロックを解除し、新しいPINコードを設定します。

- PINロック解除コードの入力を連続10回間違えるとドコモminiUIMカードがロックされます。

1 PINロック解除コード入力画面で、PINロック解除コードを入力

2 新しいPIN1／PIN2コード欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶新しいPIN1／PIN2コード（確認）欄に新しいPIN1／PIN2コードを入力▶[登録]

オールロック

オールロックを起動すると、各種メニューの操作などができなくなり、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

オールロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、待受画面で緊急通報番号を入力して【**□**】または【**※**】を押します。

* 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

- ・オールロックを起動しても、ICカードロックは起動されません。ICカードロックとオールロックの両方を起動するには、先にICカードロックを起動してからオールロックを起動してください。→P242
- ・ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。

1 MENU [8] [6] [1] [2] ▶認証操作

待受画面に「オールロック中」と表示されます。

解除：端末暗証番号を入力

❖オールロックを起動すると

- ・次の機能は利用できます。
 - 電源を入れる／切る操作
 - 音声電話やテレビ電話を受ける操作※1
 - ケータイデータお預かりサービスの自動更新
 - メール（SMS含む）やメッセージR/Fの受信※2
 - エリアメールの受信、おまかせロックの起動
 - i アプリコールの受信※3
 - おサイフケータイ（トル力を含む）の読み取り機にかざしての利用※4
 - GPSの位置提供の要求を受けたときの操作※5
 - ワンタッチアラーム
 - ソフトウェア更新、パターンデータの自動更新

※1 電話帳に登録している相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは標準のデータで動作します。テレビ電話の代替画像は標準画像になります。

※2 受信中および受信完了の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、メール自動返信設定を「ON」にしていても、メールの自動返信は行われません。

※3 自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。

※4 トルカの取得が完了したときの音は鳴動しません。

※5 位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。

✓お知らせ

- ・着信拒否設定の登録外着信拒否、メモリ別着信拒否／許可の設定に関わらず着信します。
- ・待受画像はお買い上げ時の設定になりますが、マチキャラやショートカットは表示されません。時計の表示位置は上になります。
- ・電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。また、受信結果テロップを表示するように設定していても、表示されません。
- ・アラームやメモのアラームは動作しません。また、ワンセグの視聴予約や録画予約による起動もしません。ワンセグ予約録画中または視聴のみ終了で録画中にオールロックを起動すると、録画が終了します。
- ・ライフスタイル設定は切り替わりません。オールロックを解除すると、動作していない時間毎ライフスタイルが順に動作します。

おまかせロック

FOMA端末を紛失した際などに、ドコモにお電話でご連絡いただくだけで、電話帳などの個人データやおサイフケータイのICカード機能にロックをかけることができます。

お客様の大切なプライバシーとおサイフケータイを守ります。また、お申し込み時に圏外などでおまかせロックがかからなくても、1年以内に通信が可能になった場合、自動的にロックがかかります。ただし、解約を行った場合、電話番号変更・紛失などで新しいドコモminiUIMカードの発行（番号を指定してロックした場合のみ）を行った場合など、1年以内であっても自動的にロックがかからないことがあります。

お客様らのお電話などによりロックを解除することができます。

※ おまかせロック中も位置提供可否設定を「位置提供ON」または「電話帳登録外拒否」に設定している場合は、ケータイお探しサービスなどのGPS機能の位置提供要求に対応します。

■ おまかせロックの設定／解除

0120-524-360 受付時間 24時間（年中無休）

※ 一部のIP電話からは接続できない場合があります。

※ パソコンなどでMy docomoのサイトからも設定／解除ができます。

- おまかせロックの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

❖ おまかせロックを起動すると

待受画面に「おまかせロック中です」と表示されます。

- おまかせロック中は電源を入れる／切る操作や、音声電話やテレビ電話を受ける操作、GPSの位置提供の要求を受けたときのキー操作ができなくなるほか、ICカード機能も使用することができなくなります。
- ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。
- 音声電話やテレビ電話の着信はしますが、電話帳に登録している相手の名前や画像などは表示されず、電話番号が表示されます。また、着信時の着信画像や着信音などは標準のデータで動作します。テレビ電話の代替画像は標準画像になります。おまかせロックを解除すると設定は元の状態に戻ります。
- 電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。
- 受信したメールは、iモードセンターに保存されます。
- 電源を入れ直してもロックは解除されません。

❖ お知らせ

- iアブリコールは自動受信ですが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。おまかせロックを解除すると、iアブリコール履歴に表示されます。
- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- 他の機能が起動中の場合は、動作中の機能を終了してロックをかけます。
- 他のロック機能を設定中でも、おまかせロックを使用することができます。
- FOMA端末の電源が入っていない場合や圏外、セルフモード中、海外での使用時はロックおよびロック解除はできません。その他お客様のご利用方法などにより、ロックおよびロック解除ができない場合があります。
- ご契約者本人とFOMA端末を使用しているお客様が異なる場合でも、ご契約者本人からのお申し出がある場合は、おまかせロックがかかります。
- おまかせロックの解除は、おまかせロックをかけたときと同じ電話番号のドコモminiUIMカードをFOMA端末に挿入している場合のみ行うことができます。万が一解除できない場合は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

セルフモード

電話の発着信やメールの送受信だけでなく、サイト接続、赤外線通信／iC通信、Bluetooth機能、無線LAN、データ通信などすべての通信機能やマナーサポートを利用できないようにします。

- ・日本または海外の在園状態に関わらず緊急通報（110番、119番、118番）をすると、セルフモードは解除されます。

◆セルフモードの起動／解除

1 MENU [8] [9] [1] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」

- ・「ON」になるとディスプレイにSELFが表示されます。

✓お知らせ

- ・電話着信時は、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。
- ・セルフモード中に電話の着信があつても、セルフモード解除後、ディスプレイにSELF(不在着信)は表示されず、着信履歴にも記録されません。
- ・留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できますが、セルフモードを解除しても、留守番電話サービスセンターに伝言メッセージがあることをお知らせするアイコンは表示されません。
- ・iモードメールやメッセージR/Fはiモードセンターに、SMSはSMSセンターに保管され、セルフモード解除後のメール／メッセージ問合せ、SMS問合せによって受信します。

パーソナルデータロック

電話帳、iモード／フルブラウザ、メール、iアプリ、カメラ、ワンセグ、データBOX、スケジュール、メモ、赤外線通信／iC通信、Bluetooth機能、無線LAN、データ通信などのメニュー操作を制限します。また、個人情報を関する機能を利用できないように一時的に制限します。

- ・登録外着信拒否が「ON」の場合は、本機能は起動できません。

1 MENU [8] [6] [1] [3] ▶ 認証操作 ▶ [1] または [2]

- ・「ON」になると待受画面にLOCKが表示されます。

✓お知らせ

- ・ドコモminiUIMカードやmicroSDカードにはロックはかかりません。
- ・おサイフケータイ（トルカを含む）の読み取り機にかざしての利用はできます。ただし、トルカの取得が完了したときの音は鳴動しません。
- ・パーソナルデータロック中でも発着信は記録されます。リダイヤル／着信履歴やダイヤルキー入力による電話発信ができます。
- ・電話帳に登録している相手からの電話発着信時は、相手の名前や画像は表示されず、電話番号のみ表示されます。
- ・伝言メモを設定しても動作しません。また、待受画面にLOCKは表示されず、未再生の伝言メモのマークも表示されません。
- ・電話／メール着信時設定で名前を表示するように設定していても、着信時の画面には電話番号のみ表示されます。また、受信完了テロップは表示されますが、電話帳に登録した名前や題名などは表示されません。
- ・リダイヤルや着信履歴からのメール送受信履歴はメールアドレスのみの表示になります。
- ・テレビ電話の代替画像は標準画像になります。
- ・iアプリコールの自動受信はできますが、応答確認画面の表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。
- ・ワンセグ予約録画中または視聴のみ終了で録画中にパーソナルデータロックを起動すると、録画が終了します。
- ・パーソナルデータロックの対象となっているデータを着信音に設定していると、パーソナルデータロック中はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、メール、メッセージ、SMS着信音は、パーソナルデータロック中でも設定は変更されません。
- ・GPSの位置提供の要求を受けたときの操作はできますが、GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致しても、要求者名は表示されません。
- ・待受画面にマチキャラは表示されません。また、ショートカットやMyFACEは利用できません。
- ・メニューがお買い上げ時以外のきせかえメニューのときはベーシックメニューになります。制限されたメニュー項目を選択するとロック中の旨のメッセージが表示されるか、文字の色が変わったりアイコンがLOCK(人物名は「***」)で表示されたりして選択できなくなります。
- ・FOMA端末とBluetooth機器をヘッドセットで接続していても発信できません。

ダイヤル発信制限

電話帳を利用する以外の方法では、電話を発信できないように設定します。
・ダイヤル発信制限中でも、緊急通報（110番、119番、118番）はできます。

1 MENU [8] [6] [1] [4] ▶認証操作 ▶ [1] または [2]

- ・「ON」にすると待受画面に[●]が表示されます。

◆ダイヤル発信制限を起動すると

・次の操作ができなくなります。

- 電話帳に登録のない相手とのリダイヤル・着信履歴を利用した発信、メール・SMS送信、Bluetooth機能のダイヤルアップ通信、パケット通信、64Kデータ通信
- 電話帳またはグループの修正、登録・追加、削除、グループ設定、会社名別設定
- プロフィール情報の修正、リセット
- Phone To (AV Phone To)、SMS To、Mail To機能
- 外部機器との電話帳やプロフィール情報、現在地通知先の送受信
- GPSの現在地通知*
- 名刺リーダーの起動
- microSDカードへのバックアップ／復元、バックアップデータ削除、microSDカードの電話帳と現在地通知一覧画面でのコピー、削除、データ送信
- ダイヤル入力操作によるネットワークサービスの利用
- 無線LANのアクセスポイントモード（APモード）

※ 登録した通知先への通知はできますが、通知先一覧への通知先の登録や編集、削除はできません。

プライバシーモード

個人情報の利用時に認証操作が必要になるように設定したり、特定の電話帳やメモ・スケジュール、着信、送受信メールなどを非表示に設定したりできます。

- ・データBOXのシークレット属性を設定したフォルダの画像や動画／iモーションなどを、メールやメモ・スケジュールに添付した場合は、シークレット属性は引き継がれず、画像や動画／iモーションが表示されます。
- ・個人情報を非表示にするにはデータごとにシークレット属性の設定が必要です。

電話帳→P79、Bookmark→P165、メール→P141、マイピクチャ、iモーション→P288、マイコレクション→P268、マイドキュメント、その他→P288、メモ・スケジュール→P311、317

◆プライバシーモードの利用の流れ（メール）

認証後に個人情報を表示する場合、次の手順で設定します。

〈例〉メール・履歴「認証後に表示」の場合

- ①プライバシーモードの設定内容を「認証後に表示」にする→P109
- ②プライバシーモードの起動方法を「標準」に設定する→P110
- ③プライバシーモードを起動する→P110

メールを利用するときには認証操作が必要になります。

◆プライバシーモードの利用の流れ（電話帳）

個人情報を非表示にする場合、次の手順で設定します。

〈例〉電話・履歴「指定電話帳非表示」の場合

- ①電話帳にシークレット属性を設定する→P79

非表示にしたい電話帳にシークレット属性を設定します。設定中は[●]が点滅します。

- ②プライバシーモードの設定内容を「指定電話帳非表示」にする→P109
- ③プライバシーモードの起動方法を「標準」に設定する→P110
- ④プライバシーモードを起動する→P110

電話帳を検索してもシークレット属性を設定した電話帳は表示されません。

◆ プライバシーモードの動作設定

電話帳やメール、その他の機能にプライバシーモードの動作設定を行います。

❖ プライバシーモードの動作設定（電話、メール）

電話帳やメールのフォルダ一覧利用時に認証操作が必要になるように設定したり、シークレット属性を設定した電話帳やメールフォルダを非表示にしたり、シークレット属性を設定した相手からの電話やメールの着信時の動作を設定します。

1 MENU [8] [6] [2] [1] ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ [電
話帳] ▶ 「OK」

電話・履歴：

- 「認証後に表示」にすると、電話帳、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ、音声メモ、クイック検索でメール検索を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定電話帳非表示」にすると、シークレット属性を設定した電話帳（グループまたは会社名にシークレット属性設定時を含む）やシークレット属性を設定した相手が対象の新着情報、伝言メモ、通話中音声メモ、リダイヤル、着信履歴、メールやSMS、メール送受信履歴などの表示をしません。また、着信動作はシークレット属性電話着信動作の設定に従います。

メール・履歴：

- 「認証後に表示」にすると、メールのフォルダ一覧やメール送受信履歴、メールグループ、ブログ／動画／SNS投稿先を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定フォルダを非表示」にすると、シークレット属性を設定したフォルダを表示しません。また、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメールを受信した場合の着信動作はシークレット属性メール着信動作の設定に従います。

シークレット属性電話着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）にシークレット属性を設定した相手からの電話着信動作を設定します。

- 「未登録番号として扱う」にすると、電話帳に登録されていない相手からの着信として動作します。
- 「サイレント着信」にすると、着信音、バイブレータ、イルミネーションでの通知はしません。
- 「表示・通知する」にすると、シークレット属性を設定していない相手からの着信として動作します。

サイレント着信時応答方法：シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定した場合の着信動作を設定します。

- 「着信継続」にすると、着信画面には電話番号のみ表示されます。
- 「伝言メモ起動」にすると、伝言メモ設定に関わらず伝言メモが起動します。着信画面には電話番号のみ表示されます。ただし、伝言メモが起動できないときは、「着信継続」の設定で動作します。
- 「留守番電話に接続」にすると、留守番電話に接続されます。このとき、着信画面は表示されません。ただし、留守番電話が未契約のときは、「伝言メモ起動」の設定で動作します。

シークレット属性メール着信動作：プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」またはメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信した場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からのメール着信時の表示や通知を設定します。

- 「表示・通知しない」にすると、メールは受信しますが着信動作は行われません。
- 「表示・通知する」にすると、テロップ表示や名前、題名が表示されます。
- メールの自動返信を「ON」にしている場合は、自動返信するときに自動送信中の画面を表示しません。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「表示する」でメール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、シークレット属性メール着信動作を「表示・通知しない」に設定していても、シークレット属性を設定したフォルダの振分け設定をしていない場合に、シークレット属性を設定した相手からのメールを着信するとメールの着信動作は行われます。

プライバシー新着通知：シークレット属性を設定した電話帳の相手からの電話を着信したり、メールを受信したりした場合や、シークレット属性を設定したフォルダに振り分けされるように設定した相手からのメールを受信したときに、電池アイコンの種類を変えて新着情報をあることをお知らせするかを設定します。表示させる電池アイコンを選択するか、「OFF」を選択します。

✓ お知らせ…

- シークレット属性電話着信動作を「サイレント着信」に設定していても、オールロックを起動した場合は、オールロックの設定が優先され、着信音が鳴ります。

❖ プライバシーモードの動作設定（その他）

マイピクチャ、iモーション、マイコレクション、マイドキュメント、その他（Word、Excel、PowerPoint）、メモ・スケジュール、iアプリ、位置履歴（GPS）、Bookmark、画面メモを利用するとき、認証操作を行うか、シークレット属性を設定したフォルダを非表示にするかを設定します。

1 MENU [8] [6] [2] [2] ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ [●] [登録] ▶ 「OK」

- 「認証後に表示」にすると、設定した機能を利用するときに認証操作が必要になります。
- 「指定フォルダを非表示」「指定アルバムを非表示」「指定スケジュール非表示」にすると、シークレット属性を設定したフォルダやマイコレクションのアルバム、メモ・スケジュールは表示されません。

✓ お知らせ

- ショートカットを設定した場合も、シークレット属性を設定したデータやフォルダは表示されません。
- メモ・スケジュールを「認証後に表示」にした場合は、ワンセグの視聴／録画予約の利用も含まれます。

◆ プライバシーモード起動／解除操作の設定

プライバシーモードの起動／解除操作、無操作の場合の自動起動の時間などを設定します。

1 MENU [8] [6] [2] [3] ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ [●] [登録]

- 起動／解除操作：**プライバシーモードの起動／解除操作を設定します。
- 「なし」にすると、キー操作での起動／解除操作ができなくなります。ただし、自動起動を設定した場合はプライバシーモードの起動のみできます。
 - 「操作非表示」にすると、起動／解除時の認証画面の操作が表示されません。

自動起動：待受画面表示中に何も操作しなかった場合、プライバシーモードを自動起動させるまでの時間を設定します。

◆ プライバシーモードの起動／解除

キー操作によるプライバシーモードの起動／解除を行います。

■ 起動／解除操作が「標準」の場合

1 [●] (1秒以上)

解除：[●] (1秒以上) ▶ 認証操作

■ 起動／解除操作が「操作非表示」の場合

1 [MULTI] ▶ [●] ▶ 認証操作 ▶ [●] [起動]

- [●] 以降の操作をしても画面は変わりません。
- 認証画面は表示されません。認証に失敗した場合、もう一度[●]を押してから認証操作を行ってください。なお、認証操作を5回失敗しても電源は切れません。
- 解除する場合も同様の操作です。

❖ プライバシーモードを起動すると

プライバシーモードの設定によって、各機能は次のように動作します。

〈iアプリ以外：「認証後に表示」〉

- iアプリ以外の機能が「認証後に表示」に設定されている場合は、iアプリまたはiアブリDXが利用できない場合があります。

〈電話・履歴またはメール・履歴：「表示する」以外〉

- メールグループの表示やメール振り分けをしたり、ブログ／動画／SNS投稿先を利用したりするには認証操作が必要です。

〈電話・履歴：「認証後に表示」または「指定電話帳非表示」〉

- iアブリコールを受信した場合、電話帳に登録されている相手の名前は表示されず、電話番号が表示されます。

〈電話・履歴：「認証後に表示」〉

- ダイヤル入力の電話発信、メールアドレスの直接入力でのメール送信、メール一覧やメール送受信履歴などでは、電話帳に登録している名前や画像は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。

- GPSの位置提供の要求者IDが電話帳と一致したときの要求者名（位置履歴詳細画面を含む）、スケジュールの誕生日や連絡先、セレクトメニューに登録した人物名は表示されません。

- イヤホン機能設定のイヤホンスイッチ発信設定で登録した相手へ、イヤホンスイッチ発信またはBluetooth機器を利用して発信できません。

〈電話・履歴：「表示する」以外〉

- メモやスケジュールのメモ共有履歴を表示しません。

〈電話・履歴：「指定電話帳非表示」〉

- 発信する相手の電話帳やグループ、会社名にシークレット属性を設定している場合、イヤホンスイッチ発信やBluetooth機器を利用して発信できません。
- シークレット属性を設定した電話帳をメモやスケジュールの「だれと？」に登録した場合はメールアドレスのみ表示されます。ただし、添付したメールの内容や「共有設定」に登録した名前は表示されます。

〈メール・履歴：「認証後に表示」〉

- 電話帳やスケジュールからメールを検索したり、クリック検索でのメール検索やメール送受信履歴の表示やメール連動型 i アプリのダウンロードやバージョンアップ、削除をしたりする場合は、認証操作が必要です。

〈メール・履歴：「指定フォルダを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダに振り分けるように設定した相手からメールを送受信したときは、新着情報やメール送受信履歴での表示はしません。メモやスケジュールにメールを添付している場合は、削除されている旨のメッセージが表示されます。

〈マイピクチャまたは i モーション：「認証後に表示」〉

- 各機能の設定でマイピクチャまたは i モーションのデータを利用する場合は、認証操作が必要です。また、機能によっては非表示に設定している項目は、プライバシーモード解除後に反映されることを示す画面が表示されます。

〈マイピクチャまたは i モーション：「指定フォルダを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダの画像や動画／ i モーションを、メモのアラームに設定した場合、アラーム音は「端末設定に従う」で、アラーム画像は「標準画像」で動作します。マイコレクションのアルバムに貼り付けた画像や動画／ i モーションはアルバムに表示しません。

〈マイピクチャ：「認証後に表示」〉

- 静止画撮影でフレームを重ねて撮影できません。
- メール作成中のデコメ絵文字®一覧には、お買い上げ時に登録されている画像以外は表示されません。

〈マイピクチャ：「指定フォルダを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダの画像を電話帳に登録していても表示しません。

〈マイピクチャ：「指定フォルダを非表示」またはマイコレクション：「指定アルバムを非表示」〉

- シークレット属性を設定したフォルダの画像やマイコレクションのアルバムを待受スライドショーに設定している場合は動作せず、画像はお買い上げ時の状態に戻ります。

〈メモ・スケジュール：「認証後に表示」〉

- 待受カスタマイズのカレンダーで、スケジュールが設定されていても赤いマークは表示されません。また、スケジュールの休日設定や曜日休日設定で休日を設定したことを示す色での表示はお買い上げ時の表示に戻ります。
- 設定した日時にならぬメモのアラーム（ワンセグの開始通知含む）は鳴りません。ただし、ワンセグの録画予約は動作します。
- アラーム自動電源ONで電源が入っていない場合は、指定した日時にならぬ電源はありません。

〈メモ・スケジュール：「指定スケジュール非表示」〉

- 設定した日時にならぬ、シークレット属性を設定したメモのアラームは鳴りません。
- 待受カスタマイズのスケジュールに、シークレット属性を設定したスケジュールは表示されず、登録件数確認の件数にも含まれません。また、待受カスタマイズのカレンダーの赤いマークも表示されません。

〈 i アプリ：「認証後に表示」〉

- メール連動型 i アプリ用のメールフォルダを選択したり、 i アプリをダウンロードしたりする場合は、認証操作が必要です。
- 待受画面設定で i アプリを待受画面に設定する場合は、認証操作が必要です。また、非表示に設定している項目はプライバシーモード解除後に反映される旨のメッセージが表示されます。

〈画面メモ：「認証後に表示」〉

- 画面メモの上書き保存をする場合は、認証操作が必要です。

✓お知らせ-----

- ・ i モードとフルブラウザのURL入力の表示内容は、プライバシーモード中以外に入力された内容は表示されず、プライバシーモード中に最後にURL入力した内容が表示されます。また、URL入力履歴とサイト閲覧履歴の場合、プライバシーモード中以外に接続したURL入力履歴とサイト閲覧履歴を表示しません。
- ・ プライバシー新着通知と自動起動以外のすべての項目が「表示する」のとき、プライバシーモードは起動しません。既に起動していると解除されます。
- ・ データー括削除を行ったり、次の機能で「全件削除」したりした場合、プライバシーモード中で非表示になっているデータも削除されます。
 - リダイヤル／着信履歴、伝言メモ、電話帳
 - メール※、メール送受信履歴、スケジュール、メモ、音声メモ
- ※ 「1件削除」「選択削除」以外の削除操作をした場合も非表示のメールは削除されます。
- ・ プライバシーモード中に、電話・履歴を「表示する」または「認証後に表示」から、「指定電話帳非表示」に変更した場合、メールへのプライバシーを反映するために、シークレット反映をうながす旨のメッセージが表示されます。
- ・ プライバシーモードの設定によっては、プライバシーモード中に i アプリからメールやスケジュール（ワンセグの視聴／録画予約含む）を利用したり、マイピクチャにデータを保存したりすると、指定された機能が実行できない旨のメッセージが表示される場合があります。
- ・ プライバシーモード中、「認証後に表示」に設定した機能を利用するときは、一度認証操作を行うと待受画面に戻るまで認証操作は不要です。「認証後に表示」に設定した複数の機能を利用する場合も同様です。

◆プライバシーモードの一時解除

一時的にプライバシーモードを解除して、表示されていないデータを表示できます。

1 非表示データがある画面で [CLR] (1秒以上) ▶ 認証操作

- ・ 待受画面に戻るまで一時解除は有効です。ただし、画面によっては一時解除できない場合があります。

◆予測学習設定

プライバシーモードを起動していないときやプライバシーモード一時解除時に、文字入力を学習するかしないかを設定します。

- ・ 候補選択リスト→P334

1 MENU 8 6 2 4 ▶ 認証操作 ▶ ① ▶ 1 または
2 ▶ ② [登録]

- ・ 「学習しない」にすると、プライバシーモードを起動していないときやプライバシーモード一時解除時の場合は文字入力を学習しません。

◆シークレット反映

電話帳のシークレット属性を変更した場合に、その設定状態を送受信したメールやSMSに反映します。

- ・ データ通信などで、外部からFOMA端末にメールを保存した場合で、電話帳のシークレット属性を適用したいときも実行してください。
- ・ シークレット属性を設定したメールやSMSは、プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に非表示となります。

1 MENU 8 6 2 5 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

✓お知らせ-----

- ・ シークレット反映中はデータ転送モード（圏外と同じ状態）になります。
- ・ シークレット属性が設定されている電話帳を外部から取り込んだり、電話帳にシークレット属性を設定したりした場合に待受画面に戻ると、電話帳のシークレット属性をメールに反映するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択するとシークレット反映を実行します。プライバシーモードを起動していない場合は、プライバシーモード起動設定を確認する旨のメッセージが表示されます。
- ・ 2in1利用時は、2in1のモードや電話帳2in1設定に関わらず、シークレット属性が設定されます。
- ・ 次の場合にシークレット反映を実行すると、これらのデータが対象のメールやSMSに設定されていたシークレット属性は解除されます。
 - 電話帳のシークレット属性の解除をしたとき
 - シークレット属性を設定した電話帳を変更したとき（変更前の電話番号またはメールアドレスが対象）
 - シークレット属性を設定した電話帳を削除したとき（電話帳の電話番号またはメールアドレスの削除含む）

電話／メール着信時設定

電話帳に登録している相手から電話やメールを着信したときの表示内容（名前や電話番号など）について設定します。

- ・プライバシーモード中の着信時の表示内容は、本設定よりもプライバシーモードの設定が優先されます。
- ・電話帳に登録されていない相手でも「折り返し着信」が表示された場合は、本設定に従います。

1 MENU 8 6 # ▶ 認証操作 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

HOLD

FOMA端末を閉じているときの□、■の操作を無効にし、かばんなどに入れて持ち歩く際の誤動作を防ぎます。

◆ HOLDの起動／解除

1 MENU (1秒以上)

- ・FOMA端末を閉じている状態で□、■を押すと、背面ディスプレイに「HOLD」と表示されます。

✓お知らせ

- ・HOLD中でも、背面ディスプレイの表示、クリック伝言メモの起動、着信音の停止、着信中のバイブレータの停止はできます。また、ワントッチアラームが起動できる状態のときは、FOMA端末を閉じた状態で□または■を1秒以上押すと、ワントッチアラームが起動します。

自動キーロック

自動キーロックには、クローズロックと無操作ロックの2つのロック機能があります。

□ 自動キーロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、FOMA端末を開いて端末暗証番号入力画面で緊急通報番号を入力し□を押します。

※ 端末暗証番号入力画面で入力した緊急通報番号は「*」で表示されます。

◆ クローズロック

FOMA端末を閉じるたびにキー操作がロックされます。FOMA端末を開くたびに認証操作が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

- ・発信中、着信中、通話中、保留中、切断中、iコンシェルのインフォメーション受信中、メロディ再生中、iモーション再生中（再生画面表示中を含む）、GPSで位置提供中、赤外線通信／iC通信、メモのアラーム、お知らせタイマー鳴動中、イミテーションコール着信中（カウントダウン中を含む）、ソフトウェア更新（ソフトウェア更新中を含む）、ワイヤレス充電中（視聴中の録画を含む）やビデオ再生、ミュージックプレーヤー起動中、microSDカードの動画を連続再生中、Bluetooth機器によるデータ送受信など起動中の機能によってはクローズロックがかかりません。
- ・クローズロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話やテレビ電話を受ける操作、メール受信、iコンシェルのインフォメーション受信、アラームの鳴動停止、iアプリの終了操作など、一部の機能が利用できます。

❖クローズロック設定

クローズロックの起動やFOMA端末を閉じてから設定時間経過後にロックを自動するロック起動時間を設定します。

1 MENU 8 6 1 1 1 ▶認証操作▶項目を設定▶⑥
[登録]

❖クローズロックが起動すると

クローズロックが起動するとキー操作がロックされます。ただし、FOMA端末を閉じているときの⑨、⑩は利用できます。

- ディスプレイに⑨が表示されます。背面ディスプレイには自動キーロックを設定した旨のメッセージが表示されます。
- 待受画面と i アプリ画面以外では、ロック中画面が表示されます。

❖クローズロックの一時解除

クローズロックの状態を一時的に解除します。

1 FOMA端末を開いて認証操作

- FOMA端末を開いているときは、MENU、①～⑨、⑩、MULTIのいずれかを押すと認証画面が表示されます。

✓お知らせ

- クローズロック設定が「ON」の場合に電源を入れ直すと端末暗証番号入力画面が表示されます。認証操作をしなかった場合は、クローズロックが起動します。また、おまかせロック中は、おまかせロックの解除後にクローズロックが起動します。
- 既に無操作ロックを起動している場合、クローズロックを設定しても起動しません。
- オートGPS機能起動中の場合は認証画面に「GPS停止」が表示されます。→ P255

◆無操作ロック

設定時間内に無操作だった場合に、キー操作を自動でロックします。解除するたびに認証操作が必要なため、他人が不正にFOMA端末を使用するのを防げます。

- i モーション再生中（再生画面表示中を含む）、ワンセグ視聴中（視聴中の録画を含む）やビデオ再生、ミュージック再生、赤外線通信／iC通信、Bluetooth通信またはUSB接続によるデータの送受信などが動作している場合、ソフトウェア更新機能を起動中の場合はロックがかかりません。
- 経過時間内に起動する機能によっては、経過時間にロックがかからなかったり、設定した時間よりもロックがかかるまでに時間がかかったりする場合があります。
- 無操作ロック中でも電源を入れる／切る操作、音声電話やテレビ電話を受ける操作、メール受信、i コンシェルのインフォメーション受信、アラームの鳴動停止、i アプリの終了操作など、一部の機能が利用できます。

❖無操作ロック設定

無操作ロックの自動起動やロックを起動するロック起動時間を設定します。

1 MENU 8 6 1 1 2 ▶認証操作▶各項目を設定▶⑥
[登録]

- 置き忘れセンサーを「ON」にすると、無操作とFOMA端末本体の動作がない（歩行していないときや瞬間に大きな振動を与えていない）ことが無操作ロックの起動条件になります。

❖無操作ロックが起動すると

無操作ロックが起動するとキー操作がロックされます。ただし、FOMA端末を閉じているときの⑨、⑩は利用できます。

- ディスプレイに⑨が表示されます。背面ディスプレイには自動キーロックを設定した旨のメッセージが表示されます。
- 待受画面と i アプリ画面以外では、ロック中画面が表示されます。

❖ 無操作ロックの一時解除

無操作ロック状態を一時的に解除します。

1 MENU ▶ 認証操作

- FOMA端末を開く操作でも認証画面が表示されます。
- [0]～[9]、[Q]、[MULTI]のいずれかを押すと認証画面が表示されます。

✓ お知らせ

- 無操作ロック設定が「ON」の場合に電源を入れ直すと端末暗証番号入力画面が表示されます。認証操作をしなかった場合は、無操作ロックが起動します。また、おまかせロック中は、おまかせロックの解除後に無操作ロックが起動します。
- 既にクローズロックを起動している場合、無操作ロックを設定しても起動しません。
- オートGPS機能起動中の場合は認証画面に「GPS停止」が表示されます。→ P255

親子モード

親子モードを設定すると、一部の機能の利用を制限して、本FOMA端末をお子さま用として利用することができます。

- 親子モード中に認証操作が必要な場合は、パスワード（子供用）が利用できます。親子モード中でも、保護者用の認証操作（端末暗証番号）も利用できます。
- 親子モードで「ワンタッチアラーム設定」を選択すると、ワンタッチアラームの設定画面が表示されます。→P307

◆ 親子モード設定

親子モードを利用するかを設定します。

- 親子モードを「ON」にすると、PIN設定のメニュー操作が制限されます。PIN1コードの入力を利用しないときは、あらかじめPIN1入力ON／OFF切替を「OFF」に設定してください。

1 MENU [8] [6] [5] ▶ 認証操作 ▶ [1] ▶ [1] または [2]

- 「ON」にするとディスプレイに[□]が表示されます。

❖ 親子モードを設定すると

親子モード中、端末暗証番号またはパスワード（子供用）の入力が必要な機能や操作・設定が制限される機能は次のとおりです。

〈端末暗証番号またはパスワード（子供用）の入力が必要〉

- Cookie削除（iモード／フルブラウザを含む）、iモード設定リセット、確認表示設定リセット、クライアントモード設定リセット、WEB設定ユーザ管理、APモード設定リセット、着信拒否設定、通話料金自動リセット設定、通話料金上限通知、上限通知アイコン消去、2in1、電話／メール着信時設定、メニュー設定オールリセット、変換学習リセット、無操作ロック設定、オールロック、端末暗証番号設定、パスワードマネージャー、ソフトウェア更新、ICカードロック、ICカードロック解除予約、電源OFF時ICロック設定

〈端末暗証番号の入力が必要〉

- 親子モード

セキュリティランプ設定

自動キーロック（クローズロック／無操作ロック）の状態をランプでお知らせするかを設定します。

1 MENU [8] [6] [4] ▶ 認証操作 ▶ [1] または [2]

❖ セキュリティランプを設定すると

FOMA端末を閉じた状態で自動キーロックが起動すると、ランプが「アクリア」で約3秒間点滅します。ただし、ランプが「パブリカ」で約3秒間点滅したときは、自動キーロックが起動しなかったことを示します。

〈操作・設定不可〉

- 接続先設定、パーソナルデータロック、ダイヤル発信制限、プライバシーモード、UIMカード（FOMAカード）設定、データー括削除、各種設定リセット、位置提供可否設定、サービス利用設定、サービス利用／接続先設定、ICオーナー変更

✓お知らせ

- ・親子モードを「ON」にすると、プライバシーモードの設定は無効になります。親子モードを「OFF」にすると設定は元の状態に戻ります。

◆ 親子モードの各種利用制限

電話帳に登録されていない相手への電話発信やメール送信、メール、ワンセグ、カメラ、ブラウザ、iアプリに利用制限を設定できます。

- ・親子モード設定を「ON」にしてから操作を行ってください。

1 [MENU] 8 6 5 ▶ 認証操作 ▶ 2 ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

電話発信／メール送信設定：「電話帳登録相手のみ」にすると、ダイヤル発信制限を設定した場合と同様になります。

ダイヤル発信制限→P108

メールロック：「ON」にすると、メールの自動受信、エリアメールの受信（表示内容を含む）以外のメール機能が利用できません。

ワンセグロック：「ON」にすると、ワンセグ視聴、ワンセグ録画、ワンセグで録画したビデオ再生、静止画の表示、ワンセグの開始通知が利用できません。

カメラロック：「ON」にすると、静止画撮影、動画撮影、ボイスレコーダー、名刺リーダーが利用できません。

ブラウザロック：「ON」にすると、iモード／フルブラウザのすべての機能が利用できません。また、PDFデータの表示もできません。

i アプリロック設定：「すべて不可」にすると、i アプリ、i アプリの自動起動（「自動起動する」に設定）が利用できません。「登録アプリのみ許可」にすると、FOMA端末内に保存されている i アプリのみ利用できます。ただし、i アプリのダウンロード、ダウンロードが必要な i アプリの起動はできません。

✓お知らせ

- ・メールロックまたはブラウザロックを「ON」にすると、メールまたはBookmarkの本体-microSDカード間の移動／コピー、赤外線通信／IC通信、Bluetooth通信またはUSB接続による送受信はできません。また、microSDカードへの一括バックアップ／復元もできません。
- ・メールロックを「ON」に設定中でも、メールの自動受信はできますが、受信中および受信完了の画面表示や着信音の鳴動などの受信時の動作はしません。また、新着情報も表示されません。
- ・ブラウザロックが「ON」のときの電話帳やBookmarkは、ケータイデータお預かりサービスへの更新／復元ができません。

◆ パスワード（子供用）変更

親子モード中に使用するパスワードを設定します。お買い上げ時のパスワードは「1111」に設定されています。

- ・親子モード設定を「ON」にしてから操作を行ってください。パスワードに端末暗証番号と同じ番号は設定できません。
- ・親子モードのときは、端末暗証番号設定でも子供用パスワードを変更できます。→P103

1 [MENU] 8 6 5 ▶ 認証操作 ▶ 4

2 新しいパスワードを入力 ▶ 新しいパスワード（確認）欄に新しいパスワードを入力 ▶ [登録]

✓お知らせ

- ・パスワードは、お子さまが覚えやすい番号を設定してください。

指定電話番号からの着信許可／拒否

FOMA端末電話帳に登録されている電話番号ごとに、着信の許可／拒否を設定します。

- ・設定項目と着信の許可／拒否の動作は次のとおりです。

設 定		電話番号ごとの着信許可／拒否設定		
		着信許可	着信拒否	設定なし
着信拒否設定のメモリ別着信拒否／許可設定	設定解除	着信する	着信する	着信する
	拒否設定	着信する	着信を拒否する※	着信する
	許可設定	着信する	着信を拒否する※	着信を拒否する※

※ 設定した電話番号から電話がかかってきてても、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- ・本機能は相手が電話番号を通知してきた場合のみ有効です。
- ・着信を拒否しても、不在着信として記録されます。
- ・留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」に設定していた場合は、留守番電話サービス、転送でんわサービスが動作し、着信履歴には記録されません。
- ・番号通知お願いサービスおよび着信拒否設定を併用することをおすすめします。

◆ 着信許可／拒否設定

1 ◎▶電話帳検索▶電話帳にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]
▶ [3] [4] [3] ▶認証操作▶電話番号を選択▶[1]～[3]

- ・指定した電話番号からの着信許可／拒否をするには、続けて着信拒否設定のメモリ別着信拒否／許可の設定を有効にしてください。
- ・着信許可／拒否を設定している電話番号を変更または削除すると、本設定は解除されます。その場合は、変更または登録後の電話番号に対して着信許可／拒否を設定してください。

着信拒否設定

電話帳に登録されていない電話番号からの着信拒否を設定したり、指定した電話番号からの着信許可／拒否を有効にするかを設定したりします。また、電話番号が通知されない理由（発信者番号非通知理由→P63）ごとに着信動作を設定できます。

- ・登録外着信拒否は、パーソナルデータロック中や着信詳細設定の呼出動作開始時間設定が「ON」の場合は設定できません。

1 [MENU] [7] [4] [9]

2 目的の操作を行う

登録外着信拒否を設定：[1]▶認証操作▶[1]または[2]

メモリ別着信拒否／許可を設定：[2]▶認証操作▶[1]～[3]

非通知設定、公衆電話、通知不可能について設定：[3]～[5]▶認証操作

▶各項目を設定

- ・着信音と着信画像について→P82
- ・ミュージックの設定→P83

◆ 登録外着信拒否を設定すると

電話帳に登録されていない相手からの着信があった場合は、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- ・登録外着信拒否の設定は、相手が電話番号を通知してきた場合に有効です。電話番号が通知されない相手からの着信は非通知設定、公衆電話、通知不可能の設定に従って動作します。番号通知お願いサービスおよび非通知設定、公衆電話、通知不可能の設定を併用することをおすすめします。
- ・緊急通報をかけた場合、通話終了後約5分間は設定が無効になり、緊急機関からの折り返し着信を受けることができます。
- ・着信を拒否しても、不在着信として記録されます。折り返し着信の場合も同様です。
- ・プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。

❖メモリ別着信拒否／許可を設定すると

メモリ別着信拒否／許可は、着信許可／拒否を設定したすべての電話番号が対象になります。

- メモリ別着信拒否／許可の設定をしていても、着信拒否を設定した相手が発信者番号を通知してこなかった場合は、非通知設定、公衆電話、通知不可能の設定に従った動作となります。
- 着信許可を設定した電話帳がない場合に許可設定を選択すると、すべての着信を拒否する旨のメッセージが表示されます。「はい」を選択すると、すべての着信を拒否するように設定されます。
- 緊急通報をかけた場合、通話終了後約5分間は設定が無効になり、緊急機関からの折り返し着信を受けることができます。

❖非通知設定、公衆電話、通知不可能を設定すると

- 電話番号が通知されない音声電話の着信があったときの着信音と着信画像は、電話着信設定よりも本設定が優先されます。
- 電話番号が通知されないテレビ電話の着信があった場合は、「着信拒否」に設定しているときのみ動作します。それ以外に設定した場合の着信音や着信画像は、各着信音や着信画像の設定に従って動作します。
- 非通知設定、公衆電話、通知不可能で着信を拒否しても、不在着信として記録されます。

✓お知らせ

- i モードメールやSMSは、本設定に関わらず受信します。

呼出動作開始時間設定

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手からの着信をすぐに受けないように、呼び出し開始時間などを設定します。

- 「フン切り」などの迷惑電話に効果的です。
- 着信拒否設定の登録外着信拒否が「ON」の場合は設定できません。
- その他の着信詳細設定→P64

MENU [7] [4] [6] [3] ▶ 各項目を設定 ▶ [登録]

着信呼出動作：着信呼出動作を有効にするかを設定します。

呼出開始時間（秒）：着信してから呼出動作を開始するまでの時間を1～99秒の範囲で設定します。

時間内不在着信表示：呼出開始時間で設定した時間に満たなかった不在着信を、着信履歴に表示するかを設定します。

❖着信呼出動作を設定すると

電話帳に登録していない相手や電話番号を通知してこない相手から音声電話やテレビ電話がかかってきたときは、設定した時間内は画面表示のみで着信をお知らせします。設定した時間が経過すると、通常の呼出動作を開始します。

- 設定した時間が経過する前でも、電話に出たり伝言メモで応答したりできます。
- パーソナルデータロック中は、電話帳に登録している相手からの着信でも本機能が動作します。
- プライバシーモード中（電話・履歴が「指定電話帳非表示」のとき）に、シークレット属性電話着信動作を「未登録番号として扱う」に設定しているときに、シークレット属性を設定した相手からの電話着信時も、本機能が動作します。

✓お知らせ

- 伝言メモ、留守番電話サービス、転送でんわサービスを設定時に本設定を優先されるには、これらの設定時間よりも呼出時間を短く設定してください。
- 公共モード中は動作しません。
- 着信拒否設定のメモリ別着信拒否／許可、非通知設定、公衆電話、通知不可能で着信拒否の対象に設定している相手から電話がかかってきた場合は、本機能よりもそれらの動作が優先されます。
- 呼出開始時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

ケータイデータお預かりサービス

FOMA端末に保存されている電話帳、画像、動画／iモーション、メール、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、現在地通知先、メロディ、メール振り分けなどの設定情報（以下「端末データ」といいます）を、ドコモのお預かりセンターにバックアップでき、万が一の紛失時や誤って削除した際などに復元できるサービスです。また、メールアドレスを変更したことを一斉通知することもできます。パソコン（My docomo）があれば、さらに便利にご利用いただけます。

- WORLD WINGで契約の場合、海外でも利用することができます。ただし、パケット通信料が日本国内よりも高額になる恐れがありますのでご注意ください（お客様がiモードパケット定額サービスをご契約されていても、国際ローミング利用におけるFOMAパケット通信料は、iモードパケット定額サービスの対象外となります）。
- ケータイデータお預かりサービスの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。
- ケータイデータお預かりサービスはお申し込みが必要な有料のサービスです（お申し込みにはiモード契約が必要です）。

■自動更新機能について

電話帳、画像（「自動お預かり」フォルダ内）、Bookmark、メモ、スケジュール、トルカ、メール振り分けなどの設定情報は、自動更新機能により定期的に自動でバックアップできます。

- 自動更新の初期設定状態（自動更新する／しない）は端末データにより異なります。次のメニュー操作よりご確認・変更ください。
 - メニュー操作から：[MENU] → 「便利ツール」 → 「ケータイデータお預かりサービス」 → 「詳細設定／通信履歴」 → 「自動更新設定」
- 自動更新機能をご利用になる場合、パケット通信料が高額になる恐れがありますので、iモードパケット定額サービスへのご契約をおすすめします。
- FOMA端末電話帳を削除した後に自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳も同様に削除されます。ただし、FOMA端末電話帳が0件の状態で自動更新を行うと、お預かりセンターの電話帳がFOMA端末電話帳にコピーされます。
- 電話帳の自動更新時に他の機能が起動している場合は、待受画面に戻ると自動更新を開始します。FOMA端末の電源を切ったときやFOMAサービスエリア外にいるとき、ドコモminiUIMカードが挿入されていないときは自動更新されません。

- 電話帳の自動更新に失敗したときは、待受画面にマークなどは表示されません。通信履歴表示で確認できます。

◆データ確認／ダウンロード（復元）

お預かりサイトに接続して、データの確認、削除、ダウンロード（復元）などを行います。

1 [MENU] 6 0 1 ► 「はい」

これ以降の操作につきましてはドコモのホームページをご覧ください。

◆お預かりセンターにデータをバックアップ（電話帳を更新）

お預かりサイトに接続して、FOMA端末の電話帳の更新、上書きバックアップ、復元を行います。

- 更新はFOMA端末電話帳データからのお書き更新になります。お預かりセンターとFOMA端末電話帳の両方に、1件もデータがない場合は、更新は実行されません。

1 [MENU] 6 0 2 ► 「はい」

電話帳から操作：① ► 電話帳検索 ► [MENU] [サブメニュー] ► 9 4 ► 「はい」

これ以降の操作につきましてはドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ

- ドコモUIMカード電話帳はバックアップできません。
- FOMA端末電話帳を削除した場合は、iモードのケータイデータお預かりサイトから電話帳を復元できます。
 - i Menu → マイページ → マイメニュー / マイボックス → ケータイデータお預かり＊ → お預かりデータ確認 → iモードパスワードを入力 → 「決定」 → 画面の指示に従って操作
 - ※ iコンシェルをご契約の場合は、「ケータイデータお預かり / iコンシェル」と表示されます。
- 電話帳に所属を登録しているときは、会社名と合わせてお預かりセンターにバックアップされます。ただし、会社名と所属の登録内容が合わせて全角49文字を超えた場合、所属の登録内容が完全にバックアップされない場合があります。
- 電話帳のグループや会社名の並び順は、復元してもバックアップしたときの並び順に戻らない場合があります。

◆お預かりセンターへのバックアップ(更新)

FOMA端末内に保存されている各データをお預かりセンターにバックアップします。

- Bookmark、トルカ、スケジュール、メモ、設定情報以外のデータはそれぞれ1回の操作で最大30件バックアップできます。ただし、GPSの現在地通知先は1回の操作で最大5件バックアップできます。
- 画像(静止画)、動画/iモーション、メロディ、トルカのデータは、著作権保護されていないデータのみお預かりセンターにバックアップできます。
- iモードメールにファイルが添付されている場合は、バックアップするときに削除されます。ただし、本文中の画像やメロディ、デコメアニメ®本文のFlash画像(メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されたファイルを除く)は削除されません。
- 送達通知はバックアップできません。
- 画像を含むトルカ(詳細)は、詳細が含まれずにバックアップされる場合があります。

1 バックアップする各データを選択

メールのバックアップ: [MENU] ▶ [1] ~ [3] ▶ フォルダを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [5] [4] ▶ [1] または [2]

- 送信メールをバックアップする場合はフォルダを選択してから [MENU] [4] [4] を、未送信メールをバックアップする場合はフォルダを選択してから [MENU] [4] [3] を押します。

・「選択保存」の場合は、メールを選択して [◎] を押します。

Bookmarkの更新: [MENU] [2] [2] ▶ フォルダにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [5]

画像のバックアップ: [MENU] [5] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [5] [5] ▶ [1] または [2] ▶ 「OK」

- 「選択保存」の場合は、画像を選択して [◎] を押します。

動画/iモーションのバックアップ: [MENU] [5] [3] ▶ フォルダを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [5] [4] ▶ [1] または [2] ▶ 「OK」

- 「選択保存」の場合は、動画/iモーションを選択して [◎] を押します。

メロディのバックアップ: [MENU] [5] [4] ▶ フォルダを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] [4] ▶ [1] または [2]

- 「選択保存」の場合は、メロディを選択して [◎] を押します。

トルカの更新: [MENU] [4] [3] ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [8]

GPSの現在地通知先のバックアップ: [MENU] [9] [7] [7] ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [8] ▶ 現在地通知先を選択 ▶ [◎] [保存]

スケジュールの更新: [MENU] [6] [5] ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [8] [2]

メモの更新: [MENU] [6] [6] ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [7] [3]

2 「はい」▶認証操作

- [□]: バックアップを中止

3 通信結果を確認

- 通信結果の表示は約5秒後に消えます。
- 復元や自動更新設定などは、iモードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。→P119「■自動更新機能について」

✓お知らせ

- 中国語の文字が含まれる場合はバックアップできません。
- 1件あたりのファイルサイズが10240KBを越える画像やメロディ、動画/iモーションはバックアップできません。
- マイピクチャの「アイテム」「プリインストール」フォルダ内の画像は選択できません。
- 復元操作の詳細はドコモのホームページをご覧ください。
- メールを復元する場合は次のようになります。
 - 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護されていない古いメール(未送信メールを除く)から上書きされる旨のメッセージが表示されます。
 - 受信(未読)メール、保護された受信/送信済/未送信メールは上書きされません。
- Bookmarkを復元すると、すべてBookmarkフォルダに保存されます。ただし、Bookmarkのシークレット属性の設定やフォルダ名は復元されません。
- お預かりセンターで自動更新されたトルカを初めて参照したときは、トルカを保存するかの確認画面が表示されます。
- 既に保存されているGPSの現在地通知先の電話番号が同じ場合、データは復元されません。

◆「自動お預かり」フォルダ内の画像をお預かりセンターにバックアップ

「自動お預かり」フォルダにある画像を手動でお預かりセンターに追加バックアップします。

- ・マイピクチャの「自動お預かり」フォルダに保存された画像は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップできます。自動更新設定は i モードのケータイデータお預かりサイトからご利用いただけます。
→P119 「■自動更新機能について」

1 MENU [6] [0] [4] ▶ [●] [追加]

2 「はい」 ▶ 認証操作

- [●] : バックアップを中止

3 通信結果を確認

- ・通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆画像のお預かり済みアイコンのクリア

「自動お預かり」フォルダ内の画像をバックアップしていない状態に変更して、再度お預かりセンターへバックアップするかを設定します。

1 MENU [5] [1] ▶ 「自動お預かり」フォルダを選択 ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [5] [6] ▶ 「OK」

- ・画像がバックアップ済み状態の からバックアップしていない状態に変更すると、次回自動更新時にお預かりセンターに画像がバックアップされます。

※ バックアップ済み状態でファイル制限ありの画像の場合は、 が表示されます。

◆設定情報をお預かりセンターにバックアップ（更新）

FOMA端末内の設定情報をお預かりセンターにバックアップすることができます。

- ・バックアップされる内容は、一括バックアップの設定項目と同じです。→ P284
- ・メールの振分け条件設定でバックアップされる項目は、アドレス（差出人）、題名、電話帳グループ、メールグループです。
- ・設定情報は、自動更新設定に従い定期的にお預かりセンターに自動バックアップすることもできます。→P119 「■自動更新機能について」

1 MENU [6] [0] [5] ▶ [1] または [2]

- ・[2] を押すと、お預かりセンターにバックアップした設定情報をFOMA端末に復元します。

2 「はい」 ▶ 認証操作

- [●] : バックアップを中止

3 通信結果を確認

- ・[●] [詳細] を押すと設定成功一覧が表示されます。設定成功一覧の表示は、約5秒後に消えます。操作を中断したり、更新やすべての復元に失敗したりした場合は表示できません。

◆最新の状態に更新

お預かりセンターとFOMA端末内のメモ（スケジュール）、Bookmark、トルカのデータを最新の状態に更新します。

1 MENU [6] [0] [3] ▶ 更新するデータを選択 ▶ [●] [接続]

2 「はい」 ▶ 認証操作

- [●] : バックアップを中止

3 通信結果を確認

- ・通信結果の表示は約5秒後に消えます。

◆詳細設定／通信履歴

お預かりサイトで自動更新設定やその他設定（海外利用やMy docomoの利用設定）をしたり、データ送信時に電話帳の画像を送信するかを設定したり、各機能でお預かりセンターにバックアップした通信履歴を確認したりします。

- ・お預かりサイトに接続する機能につきましては、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・通信履歴は最大30件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU 6 0 6

2 目的の操作を行う

自動更新設定：1 ▶ 「はい」

電話帳画像送信設定：2 ▶ 項目を設定 ▶ [登録]

メモ添付画像送信設定：3 ▶ 項目を設定 ▶ [登録]

その他設定：4 ▶ 「はい」

通信履歴確認：5 ▶ 履歴を選択

◆ i コンシェルからお預かりセンターへのバックアップ（更新）

i コンシェルのメニューからもFOMA端末内に保存されている電話帳、Bookmark、トルカ、メモ（スケジュール）をお預かりセンターにバックアップできます。お預かりセンターに接続することによって、それらのデータをFOMA端末に更新することができます。

- ・i コンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです。注意事項およびご利用方法の詳細などについては、ドコモのホームページをご覧ください。

1 MENU

2 「設定」▶「お預かりデータ確認／設定／更新」▶「電話帳の更新」または「メモ、トルカなどの更新」

これ以降の操作につきましてはドコモのホームページをご覧ください。

各種設定リセット

設定した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

- ・メニュー一覧の赤文字の機能をお買い上げ時の状態に戻します。→P388

1 MENU 8 9 4 ▶ 認証操作 ▶ リセットする項目を選択 ▶ [リセット] ▶ 「はい」

- ・基本設定をリセットすると、ソフトウェア更新機能の確認画面と端末工房情報送信設定の確認画面が表示されます。[□]を2回押すとメニュー画面が表示されます。

✓お知らせ

- ・Bluetooth電源オン／オフが「オン」のときに、基本設定はリセットできません。
- ・i モード設定をリセットすると、i チャネルのテロップが待受画面に表示されなくなります。待受画面で[CLR]を押してi チャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、待受画面にテロップ表示されるようになります。
- ・ウォーキング／Exカウンター設定をリセットすると、当日の歩数／活動量／カロリー情報がリセットされます。

データ削除

FOMA端末に保存、登録したデータを削除し、各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- ・保護したデータも削除されます。
- ・2in1のモードに関わらず設定やデータが削除されます。
- ・次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻りません。
 - お買い上げ時に登録されているデータ
 - ドコモminiUIMカードやmicroSDカードに保存、登録、設定されているデータ
 - データが保存されているおサイフケータイ対応i アプリ
 - パソコンから設定したデータ通信の設定

- ・お買い上げ時に登録されている i アプリは次のようにになります。
 - 「iID 設定アプリ」と「オンラインサービス一覧」はICカード内データが保存されていない場合はお買い上げ時の状態に戻ります。
 - 「iID 設定アプリ」と「オンラインサービス一覧」、ダウンロードが必要な i アプリ以外のおサイフケータイ対応 i アプリは、ICカード内データが保存されない場合は削除されます。
 - おサイフケータイ対応 i アプリ以外の i アプリはお買い上げ時の状態に戻りますが、バージョンアップした場合は削除されます。
- ・ICカード内データが保存されている場合は、ICオーナーは初期化されません。
- ・お買い上げ時に「受信BOX」フォルダに保存されているメールを削除した場合は、再び保存されます。
- ・お買い上げ時に登録されているマチキャラを削除した場合は、再び登録されます。

1 MENU 8 9 3 ▶認証操作 ▶「はい」

再起動中にデータ一括削除されます。

✓お知らせ

- ・本機能を実行して再起動すると、初めて電源を入れたときと同様の画面が表示されます。→P47
- ・削除されるデータが多い場合は、再起動に時間が約1分程度かかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

遠隔初期化／遠隔カスタマイズ

本機能の利用契約（ビジネスmoperaあんしんマネージャー）をすることで、管理者からのお申し出により、遠隔初期化は対象となるFOMA端末の各種データ（本体/microSDカード／ドコモminiUIMカード内のメモリ）の初期化を行います。遠隔カスタマイズは対象となるFOMA端末の各機能（カメラ機能やロック設定など）の利用制限や、ON/OFF設定を遠隔から行うことができるサービスです。

詳細はドコモの法人向けサイトをご確認ください。

■ 遠隔初期化／遠隔カスタマイズのお問い合わせ先

ドコモの法人向けサイト

docomo Business Online

- ・パソコンから
<http://www.ntt-docomo.biz/>

※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

◆ リモート機能設定確認

遠隔カスタマイズによって制限中や「ON」に設定された各機能を一覧で確認できます。

1 MENU 8 9 7

その他あんしん設定

ドコモでは、本章で紹介した以外にも、「あんしん」に関するさまざまな機能やサービスをご提供しております。詳しくはドコモのホームページをご覧ください。

i モードメール

i モードメール	126
i モードメール作成・送信	126
デコメール [®] 作成・送信	128
デコメアニメ [®] 作成・送信	129
メールテンプレート	130
ファイルの添付	131
i モードメール保存／編集	132
送信予約	132
クリックメール	133

i モードメール受信・操作

i モードメール自動受信	134
i モードメール選択受信	135
メール／メッセージ問合せ	135
i モードメール返信	135
i モードメール転送	136
添付ファイルの操作	136

メールBOXの操作

受信／送信／未送信メールBOXの表示	138
受信／送信／未送信メールの操作	141

メール送受信履歴

メール送受信履歴	143
----------	-----

メール設定

メール設定	144
-------	-----

メッセージR/F受信

メッセージR/F受信	149
メッセージR/Fの操作	149

緊急速報「エリアメール」

緊急速報「エリアメール」	150
緊急速報「エリアメール」受信	150
緊急速報「エリアメール」設定	151

SMS

SMS 作成・送信	151
SMS 受信	152
SMS 問合せ	152
SMS 設定	152
SMS の FOMA 端末 ⇄ ドコモ miniUIM カード間でのコピー	153

i モードメール

i モードを契約するだけで、ドコモどうしはもちろん、他社のケータイ・スマートフォンやパソコン宛など、インターネットのメールアドレスを持っている人なら誰とでもメールのやりとりができます。

テキスト本文に加えて、合計2Mバイト以内のファイル（写真や動画ファイルなど）を10個まで添付することができます。また、デコメール[®]にも対応しており、デコメ絵文字[®]・デコメピクチャを使ったり、メール本文の文字の色・大きさや背景色を変えたりすることで、簡単に表現力豊かなメールを送ることができます。

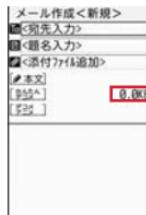
さらにメッセージや画像を挿入したFlash画像のデコメアニメ[®]にも対応しています。

- ・ i モードメールの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 中国語（簡体字）の i モードメール、SMSの送受信が可能です。→P341

i モードメール作成・送信

i モードメールを作成して送信します。

1 [✉] [✉] [作成]



本文に入力済みの文字
と装飾の合計バイト数

メール作成画面

- ・「デコメアニメ」を選択すると、デコメアニメ[®]テンプレート一覧が表示され、デコメアニメ[®]を作成できます。→P129

2 宛先欄を選択

3 入力方法を選択▶宛先を入力

メール送受信履歴からの入力：「メール送信履歴」または「メール受信履歴」▶履歴を選択

電話帳からの入力：「電話帳検索」▶電話帳検索▶電話帳を選択

メールグループからの入力：「メールグループ」▶メールグループを選択

ブログ／動画／SNS投稿先からの入力：「ブログ／動画／SNS投稿先」▶投稿先にカーソル▶[MENU] [決定]

ブログ／動画／SNS投稿先の設定について→P146

直接入力：「直接入力」▶宛先を入力（半角50文字以内）

- ・ i モード端末に送信する場合は、「@docomo.ne.jp」は省略できます。

4 題名欄を選択▶題名を入力（全角100（半角200）文字以内）

5 「本文」▶本文を入力（全角5000（半角10000）文字以内）

署名の挿入：「本文」▶[MENU] [サブメニュー]▶[4] [1]

位置情報のURLを貼り付け：「本文」▶[MENU] [サブメニュー]

▶[4] [9]▶位置情報貼り付けメニューから機能を選択

位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P251

- ・本文に入力される♪と位置情報URLは本文の文字数に含まれます。

6 [✉] [送信]

・送信中に[✉]または[✉]：送信を中止

・圏外では、送信予約の確認画面が表示され、「はい」を選択すると未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに圏内自動送信メールとして保存されます。→P132

✓お知らせ

- ・送信が正常に終了した i モードメールは送信BOXのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから順に削除されます。
- ・受信側の端末によっては、題名をすべて受信できない場合があります。
- ・デコメ絵文字[®]（絵文字D）を使用すると、デコメール[®]として送信されます。
- ・相手の i モード端末の機種によっては、一部の絵文字が正しく表示されない場合があります。

- ・絵文字を入力した i モードメールを他社携帯電話に送信すると、受信側の類似絵文字に自動的に変換されます。ただし、受信側の携帯電話の機種や機能によって正しく表示されないことや、該当する絵文字がない場合に文字または ■ に変換されることがあります。
- ・電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。また、送信できても、「送信できませんでした」というエラーメッセージが表示される場合があります。
- ・送信に失敗した i モードメールは未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されます。
- ・送信を中止したときに、操作のタイミングによって送信されたメールは、未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されます。
- ・シークレットコードを登録してドコモ以外のアドレスにメールを送信した場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- ・メール作成で、中国語が含まれている場合は、漢字、カタカナ、英数字、記号、絵文字のみの場合とデータ量が異なります。
- ・メール作成中に [X] を押して編集を終了した場合、自動保存されるように設定できます。→P149
- ・他の機能が起動するなどして、10000バイトを超える作成中の i モードメールが自動保存された場合、一部が保存されないことがあります。
- ・2in1 がデュアルモード時は、メール作成画面に送信者アドレスを示す次のマークが表示されます。
AB: 未指定 B: Bアドレス 表示なし : Aアドレス
- ・2in1 がデュアルモード時は、送信者アドレスを切り替えて送信できます。→ P350

◆宛先の追加／設定

i モードメールは一度に最大50件の相手に送信できます。

- ・宛先種別には次の3種類があります。
 - To: 送信相手の宛先
 - Cc: 送信相手以外にメールの内容を知らせたい相手の宛先
 - Bcc: 他の送信相手にメールアドレスを表示させずにメール内容を知らせる相手の宛先
- ・受信側の端末や機器、メールソフトなどによっては、To と Cc のメールアドレスも表示されない場合があります。

〈例〉宛先の追加

1 メール作成画面で宛先欄の「(宛先入力)」を選択

入力済みの宛先の編集 : メール作成画面で宛先が入力された宛先欄を選択

- ・2件以上入力されている（「複数宛先 ×件」（×はメールアドレスの件数）が表示されている）宛先欄を選択した場合は、宛先を選択します。

2 入力方法を選択▶宛先を入力

宛先の入力方法→P126 「i モードメール作成・送信」操作3

宛先種別の変更 : 「送信種別変更」▶ [1] ~ [3]

- ・宛先が1件、または複数件の先頭の宛先を選択した場合は設定できません。

宛先の確認 : 「宛先確認」

宛先の削除 : 「宛先削除」▶ 「はい」

◆ 参照メール

他のメールを参照しながら、i モードメールやSMSを作成します。

1 メール作成画面で「本文」▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 「参照メール」▶ [1] ▶ 参照元を選択

2 フォルダを選択▶メールにカーソル▶ [CAMERA] [参照表示] ▶ 「はい」

- ・参照メール表示中に [MENU] ▶ 「参照メール」を選択すると、参照メールの操作ができます。
- ・ [CAMERA] では参照メールの上下スクロールができます。
- ・ 参照メールの添付ファイルは表示されません。
- ・ フォルダ一覧、メール一覧で [MENU] を押すたびに受信／送信メールの表示が切り替わります。

デコメール®作成・送信

i モードメール本文の文字サイズや背景色の変更、撮影した静止画やお買い上げ時に登録されているデコメ®ピクチャ、デコメ絵文字®の挿入などの装飾（デコレーション）をして送信できます。

• 送信できるデコメール®のサイズは100Kバイト以内です。100Kバイトのうち本文中に貼付できる画像は最大20種類で90Kバイト以内です。ただし、Flash画像は最大2個です。

◆装飾選択後に文字入力

装飾方法を選択してから文字を入力してデコメール®を作成します。

1 メール作成画面で「本文」

2 [デコレーション] ▶ 装飾アイコンを選択 ▶ 装飾操作



装飾の操作方法→P128「装飾アイコンの操作手順」

- 複数の装飾を設定するときは、連続して装飾アイコンを選択します。

1つ前の状態に戻す： [デコレーション] ▶ [元に戻す]

カーソル位置の装飾を解除して文字の入力：入力位置にカーソル▶ [デコレーション] ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [文字を入力]

- 装飾の変更、点滅、テロップ、スイギングの装飾を解除するには、範囲を指定してから操作します。→P129

パレットの表示／非表示：[MENU] [サブメニュー] ▶ [パレット設定ON/OFF]

- パレット設定が「OFF」のときは、本文入力画面で [1]を押して、デコレーションメニューから装飾方法を選択します。

装飾の確認： (1秒以上)

3 メールを編集▶ [送信]

❖装飾アイコンの操作手順

機能	操作方法・補足
画像挿入 ^{※1}	①挿入元を選択 • 「静止画を撮影」を選択すると、静止画を撮影して挿入できます。 ②フォルダを選択▶画像にカーソル▶ [決定] • デコメ絵文字®は絵文字を入力する手順でも挿入できます。→P336
文字色	文字色を選択▶文字を入力 • 絵文字（デコメ絵文字®（絵文字D）を除く）の文字色も変更できます。元の色に戻すときは「指定なし」を選択します。
文字サイズ	文字サイズを選択▶文字を入力 • デコメ絵文字®（絵文字D）は変更できません。
点滅	「設定」▶文字を入力 • デコメ絵文字®（絵文字D）は設定できません。 • 解除するときは「解除」を押します。
テロップ	「設定」▶文字を入力 • 解除するときは「解除」を押します。
スイギング	「設定」▶文字を入力 • 解除するときは「解除」を押します。
文字位置	文字の位置を選択▶文字を入力 • カーソル位置に文字が入力されている場合は、改行されます。
ライン ^{※1}	(文字色)で指定されている色でライン（罫線）が挿入されます。
背景色 ^{※1}	背景色を選択
コピー ^{※2}	選択した範囲がコピーされます。
切り取り ^{※2}	選択した範囲が切り取られます。
戻す ^{※2}	直前に設定した装飾または文字入力が最大10回取り消されます。

*1 デコレーションを選択後の場合のみ表示

*2 範囲選択後の場合のみ表示

◆文字入力後に装飾

文字を入力してから装飾方法を選択してデコメール[®]を作成します。

- ・ライン挿入、画像挿入、背景色の操作方法や装飾の確認、解除方法→P128「装飾選択後に文字入力」

1 メール作成画面で「本文」▶装飾の開始位置にカーソル▶ (1秒以上)

2 終了位置を選択

開始位置から文頭までを選択： [文頭] ▶ [終点]

開始位置から文末までを選択： [文末] ▶ [終点]

全文を選択： [全選択] ▶ [終点]

範囲選択の取り消し： [取消]

3 装飾アイコンを選択▶装飾操作

装飾の操作方法→P128「装飾アイコンの操作手順」

- ・装飾後はを押してパレットを閉じます。

4 [決定] ▶ メールを編集▶ [送信]

◆かんたんデコメ

お買い上げ時に保存されているデコメ絵文字[®]やデコメ[®]ピクチャなどを利用して、本文に入力した文章を簡単に装飾します。

1 本文が入力されたメール作成画面で「かんたんデコメ」

2 目的の操作を行う

文字サイズや背景色などの一括装飾の設定： [装飾] ▶ 「装飾する」
または「装飾しない」

- ・「装飾しない」を選択すると、絵文字、デコメ絵文字[®]、デコメ[®]ピクチャのみを利用した装飾になります。

装飾の変更： [次候補]

3 [決定] ▶ 「はい」▶ メールを編集▶ [送信]

◆お知らせ

- ・点滅、テロップ、スwing、アニメーションなどは、メール作成画面やプレビュー画面では一定時間が経過すると自動的に停止します。
- ・パソコンなど、デコメール[®]対応FOMA端末以外とメールを送受信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- ・デコメール[®]を非対応端末が受信すると、相手の端末によって閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

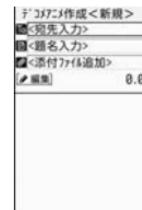
デコメアニメ[®]作成・送信

デコメアニメ[®]は、Flash画像で作成されたメールテンプレートを利用することにより、デコメール[®]の表現力を向上させたメールサービスです。

お買い上げ時に登録されているメールテンプレートやIP（情報サービス提供者）サイトから購入したメールテンプレートが利用できます。

- ・送信できるデコメアニメ[®]本文のサイズは90Kバイト以内です。

1 5



デコメアニメ[®]作成画面

2 「編集」

- ・マークの意味は次のとおりです。
：ファイル制限あり ：デコメール[®]対応
：ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
：モードサイトからメールテンプレートを探す→P168
- ・既にメールテンプレートを設定している場合は、操作4に進みます。

3 メールテンプレートにカーソル▶ [6] [決定]

microSDカード内のメールテンプレートの選択 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [6] ▶ メールテンプレートにカーソル▶ [6] [決定]

4 編集項目の操作を行う

- ・メールテンプレートによって、操作できる編集項目は異なります。
- ・メールテンプレートの変更 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ 「はい」 ▶ 操作3へ戻る
- ・プレビューを表示 : [6] [プレビュー]
- ・[MENU] を押すと元の画面に戻ります。

編集項目のリセット : [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ 「はい」

5 [6] [編集終了] ▶ 宛先や題名を編集 ▶ [6] [送信]

✓お知らせ

- ・署名の挿入はできません。
- ・本文に入力できる文字数（バイト数）より少ないサイズの画像でも、挿入できない場合があります。
- ・画像やテキストを挿入する場合は、合成後に多少バイト数が増えます。そのため、サイズを超過して、プレビュー表示や送信ができない場合があります。
- ・送信に失敗し、未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されたデコメアニメ®の本文は再編集できません。
- ・デコメアニメ®を非対応端末が受信すると、相手の端末によっては閲覧用URLが記載されたメールか、テキスト本文のみのメールになります。

メールテンプレート

メールテンプレートは、iモードメールの雛形です。この雛形に変更を加えるだけで、簡単にデコメール®/デコメアニメ®が作成できます。

お買い上げ時に登録されているメールテンプレートのほか、自分で作成したもののやサイトからダウンロードしたものが利用できます。

- ・メモリ確認→P291
- ・デコメール®テンプレートが含まれるコンテンツパッケージをダウンロードすると、メールテンプレート一覧を表示した際、サムネイルを作成するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、サムネイルの作成が開始され、サムネイル表示されます。

◆メール作成中にメールテンプレート読み込み

メール作成中にメールテンプレートを読み込んでデコメール®を作成します。

1 メール作成画面で [MENU] [サブメニュー] ▶ [4]

- ・マークの意味→P129「デコメアニメ®作成・送信」操作2

2 メールテンプレートにカーソル▶ [6] [決定]

3 メールを編集▶ [6] [送信]

✓お知らせ

- ・メール本文入力画面からの操作 : [MENU] [2]

◆メールテンプレート選択後にメール作成・送信

メールテンプレートを表示してデコメール®やデコメアニメ®を作成します。

1 [6] ▶ [1] または [2] ▶ メールテンプレートにカーソル

- ・デコメアニメ®テンプレート一覧で [MENU] [6] を押すと、microSDカード内のデコメアニメ®テンプレート一覧に切り替えられます。

2 [6] [作成] ▶ メールを編集▶ [6] [送信]

タイトルを変更 : [MENU] [サブメニュー] ▶ 「タイトル編集」 ▶ タイトルを
入力（全角10（半角20）文字以内）

詳細情報の表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ 「情報表示」

◆メールテンプレートの作成／登録

作成または送受信したデコメール®をメールテンプレートとして登録します。

- ・添付ファイル、送受信したデコメール®の宛先と題名は登録されません。
- ・デコメアニメ®は本機能を利用できません。

1 メール作成画面で [MENU] [サブメニュー] ▶ [5] ▶ 「はい」

送受信したデコメール®の登録 : メール詳細画面で [MENU] [サブメニュー]

▶ [6] [4] ▶ 「はい」

テンプレートの「デコメール」に保存されます。

- ・メールテンプレートを呼び出して編集した場合は、保存方法の選択画面が表示されます。

✓お知らせ

- メール送信できない画像が含まれたメールテンプレートを登録しようとすると、画像が削除される場合があります。

◆メールテンプレートの削除

保存されているメールテンプレートを削除します。

- 1 [6] ▶ [1] または [2] ▶ メールテンプレートにカーソル
▶ MENU [サブメニュー] ▶ 「削除」

2 [1] ~ [3] ▶ 「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたメールテンプレートが削除されます。
- 選択削除では選択操作 が、全件削除では認証操作が必要です。

✓お知らせ

- お買い上げ時に登録されているメールテンプレートを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウンロードできます。→P290

ファイルの添付

i モードメールにファイルを添付して送信します。

- 添付できるファイル（データ）は次のとおりです。
 - 静止画・画像 -メロディ -動画／i モーション -トルカ -PDFデータ
 - 電話帳 -メモ -スケジュールのメモ -Bookmark -Word -Excel
 - PowerPoint -microSDカードのその他ファイル
- 最大10件で合計2Mバイトまで添付できます。
- ファイル（データ）の設定や形式によっては添付できない場合があります。
- メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイル（自端末でファイル制限を「あり」に設定したファイル、「外部取得データ」フォルダのデータを除く）、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のファイルは添付できません。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択 ▶ ファイルの種類を選択

▶ ファイルを添付

- 添付ファイルによっては、添付元を選択する画面が表示されます。
- 既にファイルが添付されている場合は、「添付ファイル追加」を選択します。
- 画像を添付したときに、サイズの変換確認画面が表示された場合、ファイルサイズが2Mバイトを超えてるときに「そのまま添付」を選択すると、添付可能なサイズに圧縮されます。
- 位置情報付きの画像を添付すると、位置情報URLの本文貼り付け確認画面が表示されます。「はい」を選択すると本文に♪と位置情報URLが入力されます。入力されたURLや♪は本文の文字数に含まれます。
- ファイルサイズが100Kバイトを超えるファイル（画像を除く）を選択すると、添付確認画面が表示されます。
- ファイルサイズが2Mバイトを超える動画／i モーションを添付すると、リサイズ／切り出しの確認画面が表示されます。

2 メールを編集 ▶ [送信]

- 動画／i モーションを「リサイズ／切り出し」で添付したときは、リサイズ処理が完了すると送信されます。

✓お知らせ

- 2Mバイト対応機種以外の i モード端末に動画／i モーションを送信する場合は、共通再生モードで撮影した動画をおすすめします。→P192
- i スケジュール内の予定を選択したときは、通常のスケジュールのメモとして添付されます。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示や再生されなかったりします。
- 添付ファイルのサイズによっては、送信するまでに時間がかかる場合があります。また、送信後に送信BOXのフォルダから大量にメールが削除される場合があります。

◆添付ファイルの解除

i モードメールに添付したファイルを解除します。

1 メール作成画面で添付ファイル欄を選択 ▶ 添付ファイルにカーソル ル ▶ [添付解除] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」

- 選択解除では選択操作 が必要です。

i モードメール保存／編集

作成中の i モードメールの保存や編集、送信した i モードメールの再編集ができます。

◆ i モードメールの保存

作成した i モードメールを送信せずに保存します。

1 メール作成画面で [MENU] [サブメニュー] ▶ [3]

未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存され、ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます（既にショートカットに貼り付けているメールを再編集して保存した場合を除く）。

- ・本文を編集したデコメニアメ®を保存すると本文を編集できなくなります。

◆ 送信／未送信メールの編集

送信したメールや未送信のメールを編集して送信します。

1 [✉] ▶ [2] または [3] ▶ フォルダを選択

2 目的の操作を行う

送信メールの再編集：メールにカーソル▶[✉] [編集]

未送信メールの編集：メールを選択

- ・送信予約したメールを選択した場合は、送信予約のメッセージや失敗情報破棄の確認画面が表示される場合があります。

3 メールを編集▶[✉] [送信]

送信予約

圏外で作成した i モードメールの自動送信や、指定した日時に i モードメールを送信するように設定することができます。

◆ 圏内自動送信

圏外で作成した i モードメールを、電波の届く所になったら自動的に送信するように設定します。

- ・最大30件設定できます。

1 メール作成画面で [MENU] [サブメニュー] ▶ [2] [1]

送信予約され、ディスプレイに [✉] が表示されます。

◆ 日時指定送信

i モードメールの送信する日時をあらかじめ指定して、指定日時になったら自動的に送信するように設定します。

- ・最大30件設定できます。

1 メール作成画面で [MENU] [サブメニュー] ▶ [2] [2] ▶ 各項目を設定▶[✉] [予約]

日付：2050年12月31までの日付を入力します。

時刻：24時間制で時刻を入力します。

◆ 圏内／指定日時になると

i モードメールが自動送信されます。自動送信中は [✉] が点滅します。送信が正常に終了した i モードメールは送信BOXのフォルダに保存され、[✉] が消えます。

- ・自動送信を中断したときや失敗したときは [✉] が [✉] に変わって点滅し、送信失敗として未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに残ります。

〈圏内自動送信〉

- ・自動送信中に圏外になり、送信に失敗した場合は最大2回再送されます。
- ・国際ローミング中は自動送信されません。帰国後、FOMAネットワークに接続されると自動送信されます。

〈日時指定送信〉

- ・指定日時から約40秒の間に送信が開始されます。
- ・日時指定送信メールの指定日に圈外の場合は、圈内自動送信メールに設定され、圈内になると自動送信されます。
- ・次の場合は、送信に失敗します。
 - 電源が入っていないとき
 - ドコモminiUIMカード未挿入時
 - 電波状況により送信に失敗したとき
 - 國際ローミング中
 - 圈外によって日時指定送信メールが圈内自動送信メールに設定されるときに、既に圈内自動送信メールが30件を超えているとき
 - ダイヤル発信制限中（電話帳に登録していない宛先に送信されたとき）
 - 日時指定送信メールの再編集中に指定日時になり日時を変更せずに終了したときや、日付時刻の変更で指定日時が日付時刻より過去になったとき
 - 親子モード中（各種利用制限の電話発信／メール送信設定が「電話帳登録相手のみ」で電話帳に登録していない宛先に送信されたとき、またはメールロックが「ON」のとき）
 - 遠隔カスタマイズによるメール機能制限中
- ・同一日の日時指定送信メールが複数件ある場合やメールのサイズが大きい場合は、指定した時間に送信できないことがあります。
- ・送信開始待ちの日時指定送信メールと自動返信メールが合わせて30件あった場合は、31件以降のメールは送信失敗となります。

〈共通〉

- ・未送信メール一覧で自動送信に失敗した i モードメールにカーソルを合わせて [MENU] [9] [3] を押すと、未送信理由が表示されます。
- ・メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ利用中は操作終了後に自動送信されます。
- ・圏内自動送信と日時指定送信では、圏内自動送信が優先されます。送信状況によっては、日時指定送信の設定した日時より遅れる場合があります。
- ・すべての送信失敗メールが編集、解除、削除などによってなくなると [X] は消えます。

◆送信予約の解除／日時確認・変更

圏内自動送信や日時指定送信の設定を解除したり、日時指定送信の設定した日時を確認・変更したりします。

1 [✉] [3] ▶ フォルダを選択 ▶ i モードメールにカーソル

2 目的の操作を行う

圏内自動送信／送信失敗の解除： [OK] [予約解除]

日時指定送信の解除： [OK] [予約状況] ▶ 「予約解除」

日時指定送信失敗の解除： [OK] [予約解除] ▶ 「はい」

日時指定送信の日時確認： [OK] [予約状況] ▶ 「OK」

日時指定送信の日時変更： i モードメールを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ [2] [2] ▶ 各項目を設定 ▶ [OK] [予約]

✓お知らせ

- ・圏内自動送信メールの編集、ドコモminiUIMカードの差し替え、接続先設定の接続先番号や接続先アドレスの変更時は送信予約が解除されます。

クイックメール

FOMA端末電話帳のメモリ番号が0～99の相手には、簡単な操作で i モードメールやSMSを送信できます。

- ・電話帳に複数の電話番号やメールアドレスを登録している場合、 i モードメールは1件目のメールアドレス、SMSは1件目の電話番号が宛先になります。

1 メモリ番号を入力 ▶ [✉] [作成]

SMSの作成：メモリ番号を入力 ▶ [OK] (1秒以上)

i モードメール自動受信

i モードメールは自動的に受信します。

1 i モードメールを受信

メールやメッセージの受信が始まると受信中画面が表示され、受信が完了すると着信音とランプが鳴動して受信完了画面が表示されます。

受信した i モードメールは受信BOXのフォルダに保存されます。

- ・メールやメッセージ受信中はステータスバーに次のアイコンが点滅表示されます。

i モードメール受信中 :

メッセージR/F受信中 : と

SMS受信中 :

- ・ (i モードメール／メッセージR/F) / (SMS) : 受信を中止受信時の状況によっては受信する場合があります。



① マーク

マークの意味→P25

② 受信完了テロップ

③ 受信した i モードメール／メッセージR/Fの件数

- ・ SMSを受信したときは、「メール」のみ表示され、SMSの件数が表示されます。
- ・ 受信完了画面が表示されてから約15秒間何も操作しないと自動的に受信前の画面に戻ります。

✓お知らせ

⟨共通⟩

- ・ 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるとき、受信メールの添付ファイルのサイズによっては、未読または保護以外の古い i モードメールやSMSまたはメッセージR/Fが受信フォルダから順に削除されます。このとき、受信したメールのサイズによっては大量に削除される場合があります。
- ・ 保存領域が満杯の時は、 i モードメール、メッセージR/F、SMSの受信は中止され、画面には、 i モードメール、SMSの場合は や が、メッセージR/Fの場合は (赤) や (赤) が表示されます。未読の内容表示、削除、保護解除などを行う必要があります。

⟨ i モードメール ⟩

- ・ i モードメール1件につき、添付ファイルも含めて最大100Kバイトまで自動受信できます。100Kバイトを超える添付ファイルは、 i モードセンターから手動で取得できます。→P137

⟨ i モードメール・メッセージR/F ⟩

- ・ 次のような場合に送られてきた i モードメールやメッセージR/Fは、 i モードセンターに保管されます。

- 電源が入っていないときや i モード圏外のとき

- テレビ電話中

- お預かりセンター接続中

- おまかせロック中やセルフモード中

- 受信に失敗したとき

- SMS受信中

- メール選択受信設定が「ON」のとき (i モードメールのみ)

- 赤外線通信／IC通信中、Bluetooth機器とのデータ送受信中

- 未読と保護の i モードメールやメッセージR/Fで保存領域が満杯のとき

⟨SMS⟩

- ・ i モードメール、メッセージR/F、エリアメール受信中はSMSを自動受信しません。SMS問合せを行ってください。

◆新着メール／メッセージの表示

受信した i モードメール、メッセージR/F、SMSをすぐに表示します。

〈例〉 i モードメールを表示する

1 受信完了画面で「メール」

- ・「メッセージR」「メッセージF」を選択すると、メッセージR/F一覧が表示されます。
- ・受信完了テロップ表示中に [✉] を1秒以上押すと、受信メールのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選択▶メールを選択

メロディや効果音付きのFlash画像の再生について→P148

受信メール詳細画面の見かた→P140

メッセージR/Fの見かた→P150

i モードメール選択受信

i モードセンターに保管されている i モードメールの題名などを確認して、受信する i モードメールを選択したり、受信せずに削除したりできます。

i モードセンターに i モードメールが届いたときは、ディスプレイに「センターに✉あり」とメッセージが表示されます。

- ・メール選択受信を利用するには、あらかじめメール選択受信設定を「ON」に設定しておく必要があります。→P145

1 [✉] [0]

i モードセンターに接続され、保管されている i モードメールが一覧表示されます。

- ・ i モードセンターの操作方法は、ドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ

- ・オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、自動キーロック中はメッセージが表示されません。
- ・メール／メッセージ問合せを行うとすべてのメールを受信します。メールを受信したくない場合は、メール／メッセージ問合せ設定で問い合わせ項目から「メール」を外してください。

メール／メッセージ問合せ

国外にいた間や電源を切っていた間などに、 i モードメールやメッセージR/Fが届いていないかを問い合わせます。

- ・問い合わせする項目を設定できます。→P145

1 [✉] (1秒以上)

- ・新着の i モードメールがないときは、ランプが「パブリカ」で点滅し、問い合わせに失敗したときは、ランプが「レモン」で点滅します。
- ・サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態のときは、 [✉] を1秒以上押してもメール／メッセージ問合せができます。

i モードメール返信

受信した i モードメールやSMSに返信します。

- ・受信メールによっては返信できない場合があります。
- ・発信元が「非通知設定」「公衆電話」「通知不可能」の受信SMSには返信できません。

1 [✉] [1] ▶ フォルダを選択▶メールを選択▶[MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ [1]～[6]

- ・自分以外に同報先がある場合は、返信先の選択画面が表示されます。
- ・「クイック返信」を選択した場合は、クイック返信本文選択画面が表示されます。
- ・デコメ絵文字自動学習が「ON」のときに、デコメ絵文字®が使用された受信メールに返信しようとすると、デコメ絵文字®を一括保存するかどうかの確認画面が表示されます。
- ・ i モードメールでは、先頭に「Re:」の付いた受信メールの題名が題名欄に入力されます。

2 メールを編集▶[✉] [送信]

✓お知らせ

- 受信メール一覧で [■] または [■] を押しても、返信メールを作成できます。
- 受信メール一覧、詳細画面で [■] を押したときの返信時の引用方法とクリック返信を設定できます。→P146
- デコメアニメ[®]は引用返信できません。
- 引用返信で引用されるのは、本文と装飾、本文中に貼付された画像（ファイル制限が設定されていないもの）のみです。
- i モードメールや音声電話の応答ができるときに、自動的に返信するように設定できます。→P146

i モードメール転送

受信した i モードメールやSMSを他の宛先に転送します。i モードメールは i モードメールとして、SMSはSMSとして転送されます。

1 [■] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ メールにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] [7]

- i モードメールでは、先頭に「Fw :」の付いた受信メールの題名が題名欄に入力されます。

2 メールを編集 ▶ [■] [送信]

✓お知らせ

- 受信メール本文中に貼付されたメロディ、i アプリが起動できるリンク項目があるときは転送メールには設定されず、また文字としても引用されません。
- 未取得、取得途中の選択受信添付ファイル、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているファイルは転送メールに添付されません。microSDカードの受信メールを転送する場合は、すべての添付ファイルが解除されます。
- デコメアニメ[®]を転送する場合は、本文を編集できません。また、メール添付やFOMA端末外への出力が禁止されているデコメアニメ[®]は、デコメアニメ[®]が解除され、メール作成画面が表示されます。

添付ファイルの操作

✓ モードメールに添付されているファイルを表示・保存します。

- 表示・保存できるファイルは次のとおりです。
 - 画像 - i モーション - メロディ - トルカ - PDFデータ - 電話帳
 - メモ - スケジュールのメモ - Bookmark
 - その他 (Word、Excel、PowerPoint、MPO形式の画像、Textなど)
- メール本文と添付ファイルの合計サイズが100Kバイトを超える場合は、添付ファイルの一部またはすべてを選択受信添付ファイルとして受信します。→P137

◆添付ファイルの表示・再生

添付されているファイルを表示・再生します。

1 [■] [1] ▶ フォルダを選択 ▶ i モードメールを選択

2 ファイル名を選択

マークの意味→P140「メール詳細画面の見かた」

- トルカに詳細情報がある場合は、「詳細」ボタンを選択するとサイトからダウンロードできます（トルカ（詳細））。

✓お知らせ

- 横幅が画面サイズよりも大きい画像は、縮小されて表示されます。
- MPO形式の画像（3D静止画）は2Dで表示されます。
- 100Kバイトを超えるメロディやトルカ（詳細）、1Kバイトを超えるトルカ、500Kバイトを超えるFlash画像は表示・再生はできません。microSDカードにのみ保存できます。
- 複数件の電話帳、スケジュールのメモ、Bookmarkは保存後に内容が確認できます。
- 送信側の端末や受信したファイルによっては、表示・再生できない場合があります。
- メロディや効果音を自動再生するか設定できます。→P148
- 送信メール詳細画面からも同様に操作できます。

◆添付ファイルの保存

添付されているファイルを保存します。

- ・添付ファイルはそれぞれに対応した保存先に保存されます。
- ・本FOMA端末で対応していないファイルはmicroSDカードへの保存および転送のみできます。なお、保存の際にファイル名が書き換えられる場合があります。

1 [✉]▶[1]または[2]▶フォルダを選択▶iモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]

▶[6][1][1]▶「はい」

本文中の画像を保存 : [MENU] [サブメニュー] ▶[6][2]▶画像を選択
▶[回] [保存] ▶「はい」

本文中のデコメ絵文字[®]を一括保存 : [MENU] [サブメニュー] ▶[6][5]▶「はい」

電話帳、メモ・スケジュールのメモを保存 : ファイル名を選択▶[回] [保存]

・[✉]を押すと、microSDカードに保存されます。

Bookmarkを保存 : ファイル名を選択▶[回] [登録]

・添付ファイルによって保存先のフォルダや本体/microSDカードの選択画面が表示されます。

✓お知らせ

- ・画像によっては保存できない場合があります。
- ・トルカによっては一度しか保存できない場合があります。

◆添付ファイルの削除

添付されているファイルを削除します。

1 [✉]▶[1]または[2]▶フォルダを選択▶iモードメールを選択

2 ファイル名にカーソル▶[MENU] [サブメニュー]

▶[6][1][2]▶「はい」

◆選択受信添付ファイルの取得

受信メールに添付された未取得または取得途中の選択受信添付ファイルをダウンロードします。

- ・未取得または取得途中の添付ファイルがあると、受信メール詳細画面にiモードセンターでの保存期限が表示されます。
- ・ダウンロードできるサイズは1件あたり最大2Mバイトです。

1 [✉]▶[1]▶フォルダを選択▶ファイルが添付されたiモードメールを選択▶ファイル名を選択

マークの意味→P140「メール詳細画面の見かた」

- ・ダウンロード中に[回]を押し「いいえ」を選択すると、ダウンロードを中止し、データの保存確認画面が表示されます。
- ・ダウンロード後の操作は自動受信した添付ファイルの操作と同様です。
→P136

✓お知らせ

- ・選択受信添付ファイルをダウンロードしようとしたときに、保存領域の空きが足りないときはダウンロードできません。受信済みのiモードメールの添付ファイル削除、未読メールの内容表示、保護解除、不要メールの削除などを行ってからダウンロードし直してください。
- ・ファイルのサイズによっては、選択受信添付ファイルをダウンロードする際に既読メールが削除される場合があります。

受信／送信／未送信メールBOXの表示

受信／送信／未送信の i モードメールやSMSを確認します。

- お買い上げ時は、受信BOXの「受信トレイ」フォルダにWelcomeメールが保存されています。このメールの受信に通信料はかかっていません。また、返信することはできません。

1 [✉] ▶ 1～3

2 フォルダを選択

- フォルダセキュリティを設定したフォルダを選択した場合は、認証操作が必要です。
- メール連動型 i アプリ用のフォルダにカーソルを合わせて [MENU] ▶ 「i モードメール閲覧」を押すと、i アプリを起動せずにメール一覧を表示できます。

すべてのフォルダ内メールの一覧表示：[✉] [全表示]

- フォルダセキュリティが設定されたフォルダに保存されているメールは表示されません。

3 表示するメールを選択

◆ フォルダ一覧画面の見かた



受信メールフォルダ一覧画面



送信メールフォルダ一覧画面

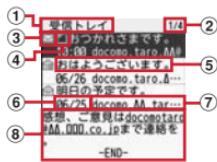
① 総保存件数

② フォルダ

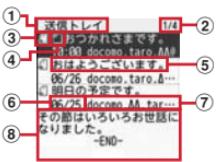
- : お買い上げ時に保存されているフォルダ ■: 作成したフォルダ
- : メール連動型 i アプリのフォルダ
- : メッセージRのフォルダ ■: メッセージFのフォルダ
- ・次のマークは、フォルダの設定や状態によってフォルダマークとともに表示されます。
■: 未読メール、未読メッセージあり（受信メールフォルダ）／自動保存されたメールあり（未送信メールフォルダ）
■: シークレット属性設定中 ■: フォルダセキュリティ設定中

③ フォルダ内未読／合計保存件数

◆メール一覧画面の見かた



受信メール一覧画面



送信メール一覧画面

- ① フォルダ名
- ② メール番号／総メール数
- ③ 状態マーク

受信メール

- ✉: 未読 i モードメール ☐: 既読 i モードメール ✉: 未読SMS
- ✉: 既読SMS ☐: メール連動型 i アプリでの未読 i モードメール
- ✉: メール連動型 i アプリでの既読 i モードメール
- ✉: ドコモminiUIMカード未読SMS ☐: ドコモminiUIMカード既読SMS
- ✉: 未読エリアメール ☐: 既読エリアメール
- ✉: メール連動型 i アプリでの未読エリアメール
- ✉: メール連動型 i アプリでの既読エリアメール
- ✉: 未読 i モードメール (自動返信済み)
- ✉: 未読 i モードメール (自動返信失敗)
- ✉: 既読 i モードメール (自動返信済み)
- ✉: 既読 i モードメール (自動返信失敗)
- ✉: 迷惑メール報告済み i モードメール
- ✉: 迷惑メール報告済みSMS
- ✉: 迷惑メール報告済みメール連動型 i アプリの i モードメール

* 収信済み、転送済みは後から行った操作のマークが優先表示されます。

送信メール

- ✉: 送信済み i モードメール ☐: 送信済みSMS
- ✉: 送信済みメール連動型 i アプリでの i モードメール
- ✉: ドコモminiUIMカード送信済みSMS
- ✉: 自動返信済み i モードメール

未送信メール

- ✉: 未送信 i モードメール ☐: 未送信SMS
- ✉: メール連動型 i アプリでの未送信 i モードメール
- ✉: 圏内自動送信設定中 ☐: 圏内自動送信失敗
- ✉: メール連動型 i アプリでの圏内自動送信設定中

- ✉: メール連動型 i アプリでの圏内自動送信失敗
 - ⌚: 日時指定メール設定中 ☐: 日時指定メール失敗
 - ⌚: メール連動型 i アプリでの日時指定メール設定中
 - ⌚: メール連動型 i アプリでの日時指定メール失敗
- ・次のマークはメールの設定や状態によって状態マークとともに表示されます。

✉: 保護されている i モードメール・SMS

✉: 返信済みの i モードメール・SMS

✉: 転送済みの i モードメール・SMS

添付ファイルの種類

- ✉: 画像 ☐: メロディ □: i モーション ☐: トルカ
- ✉: PDFデータ ☐: 電話帳 ☐: メモ・スケジュールのメモ
- ✉: メモ・スケジュールのメモ (選択受信添付ファイル未取得)
- ✉: Bookmark
- ✉: その他ファイル (Word、Excel、PowerPoint、MPO形式の画像、Textなど)
- ✉: 閲覧不可ファイル ☐: 複数添付あり ☐: i アプリ (i アプリTo)

題名

i モードメールによっては、表示されない場合があります。また、SMSの場合は本文の先頭が表示されます。

受信／送信／保存日時

当日の場合は時刻が、当日以外の場合は日付が表示されます。

発信元／宛先

電話帳に登録しているときは名前が表示されます。
エリアメールの場合は、「エリアメール」と表示されます。

本文

カーソルを合わせたメールの本文が表示されます。

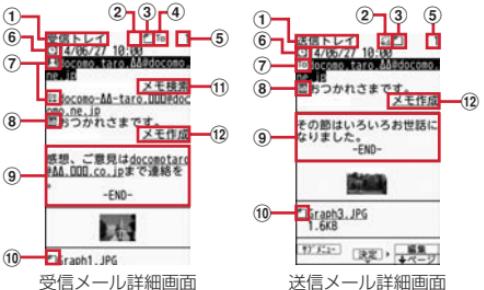
次の操作ができます。

1 / 3: 縮小／拡大

7 / 9: 上下スクロール

- ・海外から送られてきたSMSは発信元の先頭に「+」が表示されます。
- ・時差補正 (UTC+09:00を除く) された i モードメール、SMSには ☐ が表示される場合があります。
- ・2in1がデュアルモード時は、Bアドレス/Bナンバーの i モードメール、SMSには ☐ が表示されます。
- ・受信メールにカーソル▶[☒]を押すと、既読／未読の状態を変更できます。
- ・メール一覧の表示方法は変更できます。→P142

◆メール詳細画面の見かた



① フォルダ名

② 状態マーク

■: 迷惑メール報告済み i モードメール

■: 迷惑メール報告済みSMS

■: 迷惑メール報告済みメール連動型 i アプリの i モードメール
上記以外のマーク→P139 「メール一覧画面の見かた」 ③状態マーク

③添付ファイルの種類

→P139 「メール一覧画面の見かた」 ④添付ファイルの種類

④宛先種別

宛先種別 (To / Cc / Bcc) が表示されます。

⑤メール番号

⑥送受信日時

⑦発信元／宛先／同報アドレスの宛先種別

■: 発信元 ■: 発信元(返信不可) To / Cc / Bcc: 宛先

■ / ■: 宛先(返信不可)(i モードメールのみ)

■: 2件以上の宛先／同報アドレス

・メールアドレスの代わりに「複数宛先 ×件」(×はメールアドレスの件数)
が表示されます。

⑧題名

⑨本文

■ / ■を押すと縮小／拡大できます。

⑩添付ファイルの種類

■: 貼付データ不正／削除済みのファイル

■: ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されているファイル

■: 選択受信添付ファイル未取得 ■: 選択受信添付ファイル取得途中

■: 選択受信添付ファイル取得不可

上記以外のマーク→P139 「メール一覧画面の見かた」 ④添付ファイルの種類

⑪メモ検索リンク

発信元のメールアドレスに関連するメモを検索できます。

- ・ i コンシェル契約時の表示されます。表示しないように設定できます。
→P145

⑫メモ作成リンク

メールの内容をメモに登録できます。

デコメアニメ®を見る

受信／送信メール一覧からデコメアニメ®を選択すると、デコメアニメ®本文のFlash画像が再生されます。

- ・ デコメアニメ®再生中は次の操作ができます。

[MENU]: メール詳細画面に戻る

[✉]: 再生停止

[⟳]: 最初から再生

- ・ 効果音付きデコメアニメ®の場合は、i モードブラウザ設定のサウンド設定の音量で効果音が再生されます。

- ・ メール詳細画面でデコメアニメ®の本文を選択すると、再度デコメアニメ®のFlash画像を再生できます。

✓お知らせ

- 表示できない文字は「・」などに置き換わります。
- 題名が受信可能な文字数を超えた場合、超えた文字は削除されます。
- 本文が受信できる文字数を超えた場合、本文の最後に「/」または「//」が挿入され、超えた分が自動的に削除されます。
- 受信メールに添付されたファイルが受信可能なデータ量（添付可能なデータ量→P131）よりも大きい場合やファイルによっては、iモードセンターで削除され、題名の下に【添付ファイル削除】と表示されます。
- メール本文中に貼付されたメロディ、iアプリが起動できるリンク項目は1件のみ有効です。複数貼付されていると、貼付データは無効になり受信メール一覧画面や詳細画面に[?]や[!]が表示されます。
- ビデオデータが含まれたFlash画像が添付または本文中に貼付されたメールを表示しても、ビデオデータ部分は再生されません。
- 本文に電話番号、メールアドレス、URLが含まれる場合は、Phone To (AV Phone To)、Mail To、SMS To、Web To機能を利用できます。
- 受信したSMSの発信者番号が通知されなかったときは、次の文字が発信元に表示されます。

「非通知設定」(非通知に設定して送られてきた場合)

「公衆電話」(公衆電話から送られてきた場合)

「通知不可能」(発信者番号を通知できない方法で送られてきた場合)

- 2in1がデュアルモード時は、メール詳細画面の④⑥⑦⑧のマークがAアドレス／Aナンバーの場合は紫、Bアドレス／Bナンバーの場合は緑で表示されます。
- ケータイデータお預かりサービスを利用して、メールを保存できます。→P119

受信／送信／未送信メールの操作

受信／送信／未送信のiモードメールやSMSを操作します。

◆ メールフォルダの管理

フォルダを作成／削除したり、設定を変更したりします。

- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール運動型iアプリ用のフォルダ以外に、受信／送信／未送信メールそれぞれ最大20個作成できます。
- お買い上げ時に登録されているフォルダとメール運動型iアプリ用のフォルダは、フォルダ設定を変更できません。
- 作成したフォルダにシークレット属性とフォルダセキュリティは同時に設定できません。
- お買い上げ時に登録されているフォルダ、保護メールを含むフォルダ、対応するiアプリを含むメール運動型iアプリ用フォルダは削除できません。

1 [✉] ▶ [1] ~ [3] ▶ フォルダにカーソル ▶ [MENU] 【サブメニュー】

2 目的の操作を行う

作成 : [1] [1]

フォルダ設定の変更 : [1] [2]

フォルダセキュリティの設定／解除 : [1] [3] ▶ 認証操作 ▶ [1] または

[2]

- フォルダセキュリティを設定すると、フォルダを選択したときに認証操作が必要になります。

並び順の変更 : [1] ▶ [4] または [5]

フォルダの削除 : 「削除」 ▶ 「フォルダ1件削除」「フォルダ選択削除」「全フォルダ削除」のいずれか ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

- フォルダ1件削除では、カーソルを合わせたフォルダが削除されます。
- フォルダ選択削除では選択操作 ▶ [2] が必要です。

3 各項目を設定 ▶ [登録]

フォルダ名 : 全角9（半角18）文字以内で入力します。

シークレット属性 : ブライバシーモード中（メール・履歴が「指定フォルダを非表示」のとき）に、フォルダを表示させるかを設定します。

- 未送信メールの場合は、以降の操作は不要です。

4 「はい」または「いいえ」

メール振分け条件設定について→P144

- ・送信／受信BOXに同じフォルダを追加するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、作成したフォルダの条件と同じフォルダが追加されます。

✓お知らせ-----

- ・削除操作を行ったときに、プライバシーモードや2in1利用時で表示されていないフォルダやメールも条件にあわせて削除されます。

◆メール一覧画面の操作

メール一覧からメールの保護や移動などを行います。

1 [✉] ▶ [1] ~ [3] ▶ フォルダを選択

2 目的の操作を行う

保護／解除：メールにカーソル▶[MENU] [サブメニュー] ▶「保護」▶[1] ~ [6]

- ・選択保護／解除では、選択操作▶[◎]が必要です。
- ・エリアメール、ドコモminiUIMカード内のSMSは保護できません。

検索：

① [MENU] [サブメニュー] ▶「メール検索」

② 各項目を設定▶[◎] [検索]

- ・題名／本文は、全角35（半角70）文字以内で入力します。複数の単語で検索する場合は、単語と単語の間に空白を入力します。
- ・[◎] を押すと、検索履歴を利用できます（最大5件）。

移動：

① メールにカーソル▶[MENU] [サブメニュー] ▶「移動／コピー」▶[1]

② [1] ~ [3] ▶ 移動先のフォルダを選択

- ・選択移動では選択操作▶[◎]が必要です。

メール一覧画面下部のプレビュー表示設定：[MENU] [サブメニュー] ▶「表示設定」▶[1]

メール一覧の表示形式の設定：メールにカーソル▶[MENU] [サブメニュー] ▶「表示設定」▶[2] ▶ 表示方法を選択

ソート：[MENU] [サブメニュー] ▶「表示設定」▶[3] ▶ ソート方法を選択

- ・全角と半角が混在していたり、SMSやエリアメールが含まれていたりすると、「題名順」の並べ替え結果が50音順になりません。

特定の相手とのチャット表示：メールにカーソル▶[MENU] [サブメニュー]

▶「表示設定」▶[4]

- ・フォルダセキュリティが設定されたフォルダ内のメールは、表示されません。
- ・未送信メール一覧からは操作できません。

発信元のメールアドレス表示：メールにカーソル▶[MENU] [サブメニュー]

▶[0] [5]

- ・受信メール一覧からのみ操作できます。

電話をかける：メールにカーソル▶[MENU] [サブメニュー] ▶「発信オプション」

発信オプション→P57

- ・メールアドレスと電話番号を電話帳に登録している場合に操作できます。

❖メールの削除

受信／送信／未送信メールから不要なメールを削除します。

- ・保護されているメールは削除できません。

1 [✉] ▶ [1] ~ [3]

- ・全フォルダの受信メールを全件削除するときは、[MENU] [3] ▶ [3] ~ [5] ▶ 認証操作▶「はい」を選択します。
- ・全フォルダの送信／未送信メールを全件削除するときは、[MENU] [3] [3] ▶ 認証操作▶「はい」を選択します。

2 フォルダを選択▶メールにカーソル

3 [MENU] [サブメニュー] ▶「削除」▶削除方法を選択▶「はい」

- ・1件削除ではカーソルを合わせたメールが削除されます。
- ・選択削除では選択操作▶[◎]が、フォルダ内既読／未読／全件削除では認証操作が必要です。

✓お知らせ-----

- ・「フォルダ内既読削除」「フォルダ内未読削除」「フォルダ内全件削除」の操作を行ってもドコモminiUIMカード内のSMSは削除されません。
- ・削除操作を行ったときに、プライバシーモードや2in1利用時で表示されていないメールも削除の条件にあわせて削除されます。

◆メール詳細画面の操作

メール詳細画面から電話番号の登録や本文のコピー、メモ作成などをします。

1 [✉]▶[1]または[2]▶フォルダを選択▶メールを選択

2 目的の操作を行う

本文のコピー : [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] [2] ▶ コピー先を選択 ▶ 開始位置を選択 ▶ 終了位置を選択

- ・コピーした文字は最新の1件だけが電源を切るまで記録され、別の場所に何度でも貼り付けられます。
- ・デコメール®の装飾とデコメアーニメ®の本文はコピーできません。
- ・貼り付け方法→P338

電話番号、メールアドレスの登録 :

① 電話番号やメールアドレスにカーソル

- ・2件以上の同報アドレスを登録する場合は、同報アドレス欄を選択して、電話番号やメールアドレスにカーソルを合わせます。

② [MENU] [サブメニュー] ▶ [6] [3]

- ・同報アドレス一覧表示中は [MENU] [1] を押します。

③ [1]または[2]▶[1]または[2]

- ・追加／上書きするときは登録する電話帳を選択します。
- ・メール本文などに複数のメールアドレスが列記されている場合は、登録できないことがあります。

スケジュール作成 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [6] [6]

文字サイズ変更 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [0] [1] ▶ 文字サイズを選択

- ・文字サイズ設定のメール閲覧にも反映されます。

メモの作成・検索 : 「メモ作成」または「メモ検索」

- ・SMS詳細画面では表示されません。

メール送受信履歴

送受信したメールの宛先や発信元をメールの履歴として記録しておく機能です。履歴を利用してメールを作成したり、電話帳に登録したりできます。

◆メール送受信履歴の表示

メール送受信履歴を表示します。

- ・送信履歴と受信履歴はそれぞれ最大50件表示されます。超過すると古いものから上書きされます。
- ・同じ宛先にメール送信した場合、送信履歴に最新の1件が記録されます。

1 [✉] [#] ▶ [1]または[2]

- ・表示する相手を選択すると詳細画面が表示されます。

・マークの意味は次のとおりです。

i モードメール送受信 SMS: SMS送受信

B: Bアドレスの送受信／Bナンバーの受信 (2in1がデュアルモード時)

海外滞在時 (UTC+09:00を除く) の送受信*

収信不可の i モードメールまたはSMS

* 送受信日時が記録されていないときなど、表示されない場合があります。

■サブメニューからの操作

- ・メール送受信履歴一覧のサブメニューには「電話帳登録」「削除」「電話発信」が、メール送受信履歴詳細画面には「メール作成」があります。
- ・「電話帳登録」には、電話帳への新規登録または追加／上書きがあります。
- ・「削除」する場合、1件削除ではカーソルを合わせたメール送受信履歴が削除されます。全件削除では認証操作が必要です。
- ・「メール作成」では「i モードメール作成」または「デコメアーニメ作成」を選択して作成します。

✓お知らせ

- ・2in1利用時は、送信履歴と受信履歴それぞれAアドレス／Aナンバー最大50件、Bアドレス／Bナンバー最大50件まで記録されます。

メール設定

メールに関するさまざまな設定をします。

◆ メール振分け条件設定

作成したフォルダに振分け条件を設定して、条件に合った受信／送信メールを自動的に振り分けます。

- ・振分け条件は、フォルダごとに30件登録できます。
- ・通常のメールをメール運動型 i アプリ用のフォルダに振り分けることもできますが、メール運動型 i アプリの振分け条件が優先されます。

1 [✉] ▶ 1 または 2 ▶ フォルダにカーソル

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ 4

3 番号を選択

- ・メール運動型 i アプリ用のフォルダの場合は、設定するかどうかの確認画面が表示されます。

振分け条件の削除：振分け条件にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 1 または 2 ▶ 「はい」 ▶ 操作5に進む

- ・1件削除ではカーソルを合わせた条件が削除されます。

4 振分け条件を選択 ▶ 条件を設定

発信元のメールアドレスの指定：「アドレス（差出人）」 ▶ 1～4 ▶ メールアドレスを入力

- ・送信メールの振分け条件には設定できません。
- ・メールアドレスは半角50文字以内で入力します。
- ・指定するメールアドレスが i モード端末の場合は、ドメイン (@docomo.ne.jp) を省略して指定しても振り分けられます。ただし、「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合は、携帯電話番号のみを登録してください。
- ・電話番号を指定すると、SMSも振り分けられます。

同報先を含む発信元／送信先のメールアドレスを指定：「アドレス（差出人／同報）／アドレス（送信先／同報）」 ▶ 1～4 ▶ メールアドレスを入力

ドメインの指定：「ドメイン（差出人）」 ▶ ドメインを入力（半角50文字以内）

- ・送信メールの振分け条件には設定できません。

電話帳グループの指定：「電話帳グループ」 ▶ グループを選択

メールグループの指定：「メールグループ」 ▶ メールグループを選択

題名の指定：「題名」 ▶ 題名を入力（全角15（半角30）文字以内）

電話帳登録なしの指定：「電話帳登録なし」

すべてのメールを指定：「全ての受信メール／全ての送信メール」 ▶ 「はい」

5 [完了]

✓お知らせ

- ・作成したフォルダの並び順が振分け条件の優先順位になります。すべての条件に該当しない場合は受信BOXの「受信トレイ」フォルダまたは送信BOXの「送信トレイ」フォルダに保存されます。
- ・エリアメールは振り分けられません。

◆ メール再振分け

保存されている i モードメールやSMSを振分け条件に従って、再振り分けします。

1 [✉] ▶ 1 または 2 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 5 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

◆ 署名編集設定

署名の登録や i モードメール作成時に、自動挿入するかどうかを設定します。

1 [✉] [✖] 3 ▶ 署名を入力（全角5000（半角10000）文字以内） ▶ 「ON」または「OFF」

✓お知らせ

- ・署名に設定した背景色は、メール本文が未入力のとき以外は反映されません。
- ・署名もメール本文の文字数（バイト数）に含まれます。
- ・デコメアニメ®や自動返信メールに署名は挿入できません。

◆ 詳細直接表示設定

受信完了画面で「メール」「メッセージR」「メッセージF」を選択したときに、すぐに詳細画面を表示させるかどうかを設定します。

- ・本機能を利用して詳細画面を表示したときは、前後のメールを表示できません。

1 2 3 ▶ 1 または 2

◆ プレビュー後既読設定

受信メール一覧でプレビュー表示され、本文がすべて表示されたときに、既読にするかどうかを設定します。

1 2 4 ▶ 1 または 2

◆ メモ検索リンク表示設定

受信メール詳細画面でメモ検索リンクを表示させるかどうかを設定します。

- ・本機能を利用するには、i コンシェルの契約が必要です。

1 2 5 ▶ 1 または 2

◆ 新着情報アイコン動作設定

待受画面に表示されている新着情報アイコン（未読メール）を選択したときに、表示する状態を設定します。

- ・新着情報（未読メール）に蓄積された最新情報がメッセージR/Fの場合は、本設定に関わらず受信メールフォルダ一覧が表示されます。

1 2 6 ▶ 1 または 2

◆ メール／メッセージ問合せ設定

i モードセンターに問い合わせする項目を設定します。

1 5 ▶ 1 ~ 3 ▶ 1 または 2

◆ メール選択受信設定

i モードメールを自動受信せずに、必要なメールだけを選択して受信するかを設定します。

- ・海外設定のメール選択受信設定にも反映されます。
- ・エリアメール、SMS、メッセージR/Fは本設定に関わらず自動受信します。

1 1 1 ▶ 1 または 2

◆ メールグループの登録

複数のメールアドレスをメールグループとして登録しておくと、i モードメールを簡単な操作で複数の宛先に送信できます。

- ・メールグループは最大10件登録できます。1つのメールグループには、最大50件のメールアドレスを登録できます。

1 8

2 登録先を選択

メールグループ名の編集：メールグループにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 1 ▶ グループ名を編集（全角10（半角20）文字以内）

メールグループ名のリセット：メールグループにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 「はい」

3 [追加]

登録済みのメールアドレスの確認：メールアドレスを選択▶ 5

メールアドレスの削除：メールアドレスにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ 1 ~ 3 ▶ 「はい」 ▶ 操作5に進む

- ・1件削除ではカーソルを合わせたメールアドレスが削除されます。

- ・選択削除では選択操作▶ [OK]が必要です。

4 1 ~ 4 ▶ メールアドレスを入力

5 [完了]

◆ ブログ／動画／SNS投稿先設定

ブログ／動画／SNSの投稿先を登録します。登録した投稿先は、iモードメール作成画面で宛先に設定すると、iモードメールを利用して、簡単にブログ／動画／SNSに投稿できます。

- ・最大5件登録できます。
- ・iモードメール作成で宛先に投稿先を設定すると、「投稿先アドレス」が宛先に入力され、「投稿タイトル」が題名に入力されます。

1

2 目的の操作を行う

作成／編集：投稿先にカーソル▶ [編集]
削除：投稿先にカーソル▶ [削除] ▶ 「はい」
参照：投稿先を選択

3 各項目を設定▶ [完了]

投稿先名：全角16（半角32）文字以内で入力します。

投稿先アドレス：入力方法を選択して半角英数字50文字以内で入力します。

投稿タイトル：全角100（半角200）文字以内で入力します。

◆ メール返信引用設定

受信メール／SMSの一覧や詳細画面で、を押して返信メールを作成するときに、受信メールを引用するかどうかと、引用する本文の先頭に付ける引用文字を設定します。

1 ▶ 各項目を設定▶ [完了]

引用：メール返信時に本文を引用するかを設定します。

引用文字：全角1（半角2）文字以内で入力します。

- ・引用文字も本文の文字数に含まれます。
- ・送信できない文字が設定された場合、お買い上げ時の引用文字が使用されます。

◆ クイック返信設定

受信メール一覧や詳細画面でを押して返信メールを作成するときに、クリック返信を使用するかを設定します。

1 ▶ または

◆ クイック返信本文登録

クイック返信で使用する本文を登録します。

- ・最大10件登録できます。

1

2 本文を選択▶ 本文を入力（全角250（半角500）文字以内）

本文の全件リセット： [リセット] ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

◆ デコメ絵文字自動学習

デコメ絵文字[®]が使用されている受信メールに返信するときに、デコメ絵文字[®]の一括保存確認画面を表示させるかどうかを設定します。

1 ▶ または

◆ メール返信時自動学習

返信時に受信メールの内容を解析して、利用できる言葉を候補選択リストに表示させるかどうかを設定します。

1 ▶ または

◆ メール自動返信設定

運転中や就寝中などでiモードメールや音声電話の応答ができないときに、iモードメールで自動的に返信します。

- ・あらかじめ相手の電話番号とメールアドレスを電話帳に登録しておく必要があります。なお、受信したメールに自動送信する場合は、メールアドレスのみの登録でも自動返信します。
- ・自動返信したメールには「自動返信メールです」と題名が付きます。
- ・音声電話着信時は、電話帳にメールアドレスが複数登録されている場合は、1件目のメールアドレスに自動返信されます。iモードメール受信時は、発信元のメールアドレスに自動返信されます。

- メール作成中や署名編集中などのメール機能利用中や、フルブラウザ利用中は操作終了後に自動返信されます。その際、ディスプレイには[■]が表示されます。
- 次の場合は、自動返信されません。
 - 自動返信する対象の i モードメールを受信したときに、受信完了画面から新着 i モードメールを表示した場合
 - 題名に「自動返信メールです」「Auto-reply message」が含まれたメールを受信した場合
 - 同じ送信元の受信メールに連続で3回自動返信した場合
 - 国際ローミング中は自動返信ON/OFF設定が自動的に「OFF」に設定され、利用できません。帰国後に設定を変更してください。
 - SMSには自動返信できません。
 - 電波状況によっては、送信に失敗する場合があります。
 - 送信開始待ちの日時指定送信メールと自動返信メールが合わせて30件あつた場合は、31件以降のメールは送信失敗となります。
 - 乗り物の乗車や場所を検知して、自動返信の設定を促すようにできます。→ P87

❖自動返信ON/OFF設定

音声電話着信や i モードメール受信した際、i モードメールで自動返信するかどうかを設定します。

1 **7** **1** **1** または **2**

「ON」に設定すると待受画面に[■]が表示されます。

- 「ON」にしたときに、有効な返信本文がない場合は返信する本文の設定画面が表示されます。→P147
- サイドキー長押し設定を利用すると、サイドキーでON/OFFを切り替えられます。→P313

❖自動返信本文・宛先設定

音声電話着信や i モードメールを受信した際、i モードメールで自動返信する本文（9件）の内容を編集したり、返信先を設定したりします。

- 本文1件あたり最大20件の返信先を設定できます。

1 **7** **2**

- マークの意味は次のとおりです。

：有効に設定されている本文

2 目的の操作を行う

返信先の設定：本文にカーソル▶ [宛先設定] ▶ [追加]

マークの意味は次のとおりです。

：FOMA端末電話帳の返信先 ：ドコモUIMカード電話帳の返信先

：FOMA端末電話帳グループの返信先

：ドコモUIMカード電話帳グループの返信先

：電話帳なし返信先* ：電話帳グループなし返信先*

：すべての電話帳の返信先

* ドコモminiUIMカード未挿入の場合に表示されます。

返信本文の有効／無効の設定：

① 本文にカーソル▶ [サブメニュー] ▶ **1**

- 「本文無効」にしたときや返信先が設定されているときは、以降の操作は不要です。

② 「OK」▶ [追加]

返信本文を編集：本文を選択▶本文を編集（全角100（半角200）文字以内）▶ [登録] ▶「OK」▶ [追加]

返信本文・返信先の参照：本文にカーソル▶ [参照] ▶ [宛先確認]

返信本文の優先度変更：本文にカーソル▶ [サブメニュー] ▶ **5** または **6** ▶ [完了]

返信本文・返信先の全件リセット： [サブメニュー] ▶ **7** ▶ 認証操作▶「はい」▶ [完了]

返信先の変更：本文にカーソル▶ [宛先設定] ▶返信先を選択

返信先の削除：本文にカーソル▶ [宛先設定] ▶返信先にカーソル▶ [サブメニュー] ▶ **3**～**5** ▶「はい」▶ [完了]

▶ [完了]

- 1件削除ではカーソルを合わせた返信先が削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ が、全件削除では認証操作が必要です。
- 削除後も返信先があるときは、有効に設定するかの確認画面が表示されます。

3 **1**～**3** ▶ [完了] ▶「はい」または「いいえ」▶ [完了]

- 電話帳別指定を選択したときは、検索して電話帳を選択します。
- グループを選択したときは、参照先を選択して、グループを選択します。

◆自動返信契機設定

i 声電話着信や i モードメールを受信した際、i モードメールで自動返信するタイミングを設定します。



◆返信対象の電話着信や i モードメール受信があると

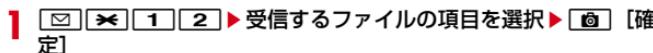
i モードメールが自動送信されます。送信中は [■] が点滅します。送信が正常に終了した返信メールは送信BOXのフォルダに保存され、[■] が消えます。

- ・自動返信送信の中止や失敗したときは、受信メール一覧に [■] や着信履歴一覧に [■] が表示されます。

◆メール受信添付ファイル設定

i モードメールを受信した際、添付されたファイルを同時に受信するかを、ファイルの種類ごとにあらかじめ設定しておきます。

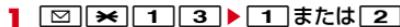
- ・自動受信しないように設定したファイルは、選択受信添付ファイルとして受信します。→P137
- ・本文中に貼付された画像やメロディは、本設定に関わらず自動受信します。



- ・「ツールデータ」とは、電話帳、Bookmark、メモ・スケジュールのメモです。
- ・「その他」とは、WordやExcel、PowerPoint、MPO形式の画像、その他のファイルです。

◆添付ファイル自動再生設定

i モードメールやメッセージR/F（自動表示を除く）を表示した際、添付または本文中に貼付されたメロディやFlash画像の効果音を自動的に再生するかを設定します。

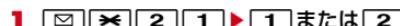


◆お知らせ

- ・「自動再生する」に設定すると、メールに添付されたメロディは音量設定のメール・メッセージ着信音量で再生されます。ただし、「Silent」または「Steptone」に設定されている場合は「Level 1」で再生されます。デコメアニメ®の効果音は音量設定のメロディ音量で再生されます（デコメアニメ®のプレビュー画面やリスト画面、テンプレート詳細画面では、本設定に関わらず効果音が再生されます）。

◆受信・自動送信表示

i モードメールやSMSなどの受信中画面や受信完了画面、自動送信中の画面を、FOMA端末の操作中に優先して表示させるかを設定します。



◆お知らせ

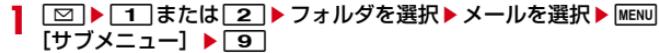
- ・「操作優先」に設定しても、FOMA端末を閉じた状態、画面オフの状態では「通知優先」で動作します。ただし、ワンセグ起動中、ミュージックプレーヤー再生中は「操作優先」で動作します。
- ・「通知優先」に設定しても、声電話中やカメラ起動中、ストリーミングタイプの i モーション・ムービー再生中、i アプリ動作中、ワントッチアラーム鳴動中、エリアメール受信中などでは、「操作優先」で動作します。

◆受信／拒否設定（迷惑メール対策）

簡単な操作で、送受信メールから受信／拒否したい相手のドメインやアドレスを i モードセンターに登録したり、法令に違反して送信された広告宣伝を目的とした迷惑メールや迷惑SMSをドコモに転送したりすることができます。

※ ドコモでは法令に違反した迷惑メール／SMSの送信者への措置などの対策を講じるため、お客様からの情報提供をお願いしております。

- ・迷惑メール対策の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。



2 目的の操作を行う

受信／拒否の登録：[1] ▶ 「はい」

- ・ i モードセンターに接続後は、画面の指示に従って操作してください。

迷惑メールのメール報告：[2] ▶ 「OK」 ▶ [✉] [送信]

✓お知らせ

- ・i Menuの「メール設定」に接続し、「受信／拒否設定」などの設定状況を確認する： ▶ 「はい」
- ・迷惑メール／SMSの情報をドコモに転送いただく際、お客様による受信時には削除されている対象迷惑メール／SMSの送信経路情報などを、システムまたはFOMA端末の機能により自動的に付加させていただいたうえで情報提供いただく場合があります。

◆編集時自動保存設定

i モードメールやSMSの作成時に保存操作をせずに を押して編集を終了した場合に、自動的に未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存するかを設定します。

1 ▶ 1 または 2

✓お知らせ

- ・「ON」の場合でも、保存領域の空きが足りないときは保存されません。また、10000バイトを超える場合は一部保存されないことがあります。

メッセージR/Fの操作

メッセージR/Fの表示・削除・保護などの操作をします。

1 1 ▶ 「メッセージR」または「メッセージF」

2 目的の操作を行う

表示：メッセージR/Fを選択

保護ON/OFF：メッセージR/Fにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ 1

- ・未読メッセージR/Fは保護できません。

削除：メッセージR/Fにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 1 ~

3 ▶ 「はい」

- ・1件削除ではカーソルを合わせたメッセージR/Fが削除されます。

- ・選択削除では選択操作 ▶ が、全件削除では認証操作が必要です。

ソート：[MENU] [サブメニュー] ▶ 3 ▶ 1 ~ 8

- ・題名に、全角や半角、英字、漢字、URL表示のものが混在していると、「題名順」の並べ替えの結果が50音順と一致しない場合があります。

電話帳登録：メッセージR/Fを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 5 ▶ 1

または 2 ▶ 1 または 2

文字サイズの変更：メッセージR/Fを選択 ▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ 6 ▶ 文字サイズを選択

メッセージR/F受信

メッセージサービスは、ニュース速報やお得な情報などの情報が、i モード端末へ自動的に届くサービスです。

メッセージR/Fは i モードセンターから送信されて自動的に受信します。

受信の動作は i モードメールを受信したときと同じです。→P134

受信したメッセージR/Fはそれぞれ受信BOXの「メッセージR」フォルダ、「メッセージF」フォルダに保存されます。

◆メッセージ自動表示設定

待受画面表示中に自動受信したメッセージR/Fの内容を自動的に（約15秒間）表示するかを設定します。

1 2 2 ▶ 1 ~ 5

✓お知らせ

- ・自動表示中にキー操作をしなかった場合は、未読の状態で保存されます。

◆ メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた



① メッセージR/F番号／総メッセージ数（一覧画面）、メッセージR/F番号（詳細画面）

② 状態マーク

: 未読メッセージR/F : 既読メッセージR/F (保護)

③添付ファイルの種類

: 画像 : メロディ : トルカ : 複数添付ファイルあり

④ 受信日時

・一覧画面の場合は、受信した日付が当日の場合は時刻、当日以外の場合は日付で表示されます。

⑤ 項名

◆ 添付ファイルの表示・保存

メッセージR/Fの添付されているファイルを表示・保存します。

1 ▶ 「メッセージR」または「メッセージF」

マークの意味→P150 「メッセージR/F一覧画面／詳細画面の見かた」

2 メッセージR/Fを選択▶ [MENU] [サブメニュー]

3 目的の操作を行う

表示・再生 : ▶ ファイル名を選択

保存 : ▶ ファイル名にカーソル▶ [保存] ▶ 「はい」

本文中の画像を保存 : ▶ ファイル名にカーソル▶ [保存] ▶ 「はい」

◆ お知らせ

- トルカによっては、一度しか保存できない場合があります。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- iモードを契約しなくても、エリアメールの受信ができます。
- 受信できなかったエリアメールを後で受信することはできません。
- 電源が入っていない、iモード圏外、テレビ電話中、赤外線通信／iC通信／Bluetooth機器とのデータ送受信中／microSDカード使用中などのデータ転送モード中、国際ローミング中、お預かりセンター接続中、ソフトウェア更新中、おまかせロック中やセルフモード中などは受信できません。
- iモード通信中、パソコンとつないだパケット通信中、64Kデータ通信中、パターンデータ更新中などは受信できないことがあります。
- 音声電話中、ストリーミングタイプのiモーション・ムービー再生中は、受信しても受信完了画面または内容表示画面は表示されません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールが送られてくると自動的に受信します。

1 エリアメールを受信

が点灯し、ランプが「パブリカ」で点滅し、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、受信完了画面が表示されます。任意のキーを押すか、約30秒間操作しないと消去されます。

受信したエリアメールは受信BOXの「受信トレイ」フォルダに保存されます。

- エリアメールによっては、受信時に内容が表示されるものがあります。
、、のいずれかを押すと消去されます。

2 緊急地震速報エリアメール

- 受信時は同時にバイブレータが「メロディ連動」の動作パターンで振動します。

- ブザー音は音量設定の「Level 10」で鳴動します。変更はできません。

- 緊急地震速報エリアメールの着信時の鳴動時間を設定できます。→ P151

（緊急地震速報以外のエリアメール）

- ・着信音の音量は音量設定のメール・メッセージ着信音量に従い、鳴動時間は着信音設定のメールのメール着信音に従い、バイブレータはバイブルータ設定のメール・メッセージ着信時のメール着信時に従います。なお、バイブルータの動作パターンは、「メロディ連動」で振動します。
- ・着信音は変更できません。

（共通）

- ・お買い上げ時は、マナーモード中、公共モード（ドライブモード）中でも鳴動します。各モードに従い、鳴動しないように設定できます。→ P151

✓お知らせ

- ・受信メール全体の空き容量に関わらず、エリアメールの最大保存件数を超過すると保護以外の古いエリアメールから順に削除されます。

緊急速報「エリアメール」設定

エリアメールに関するさまざまな設定をします。

1 ► 「緊急速報「エリアメール」設定」

2 目的の操作を行う

受信設定 : **1** ▶ **1** または **2**

ブザー鳴動時間 : **2** ▶ 時間を入力（1～30秒）

マナー／公共モード時設定 : **3** ▶ **1** または **2**

着信音確認 : **4** ▶ **1** または **2**

◆ エリアメールの受信登録

緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の他に受信するエリアメールを登録します。

- ・最大20件登録できます。
- ・一覧に「津波警報」の表示がなくても「津波警報」を受信することができます（登録の必要はありません）。
- ・お買い上げ時に登録されている「緊急地震速報」「災害・避難情報」は、編集や削除はできません。

1 ► 「緊急速報「エリアメール」設定」 ▶ **5** **1** ▶ 認証操作

2 目的の操作を行う

登録 : **MENU** [新規]

編集 : エリアメール名を選択

削除 : エリアメール名にカーソル ▶ [削除] ▶ 「はい」

3 エリアメール名欄を選択 ▶ 任意のエリアメール名を入力（全角15（半角30）文字以内） ▶ MessageID欄を選択 ▶ サービス提供者から付与されるMessageIDを入力（4桁） ▶ [登録]

SMS作成・送信

携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信します。

- ・海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信できます。ご利用可能な国・海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。
- ・受信／送信／未送信のSMS一覧／詳細画面の見かた→P138

1 **7** ▶ 宛先欄を選択

2 入力方法を選択 ▶ 宛先を入力

メール送受信履歴からの入力 : **1** または **2** ▶ 履歴を選択

電話帳からの入力 : **3** ▶ 電話帳検索 ▶ 電話帳を選択

直接入力 : **4** ▶ 宛先を入力（半角数字20文字以内）

宛先の確認 : **5**

3 「本文」 ▶ 本文を入力

・SMS設定で設定した送信文字種により入力できる文字数が異なります。

4 [送信]

保存 : **MENU** [サブメニュー] ▶ **2**

- ・未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存され、ショートカットの貼り付け確認画面が表示されます（既にショートカットに貼り付けているメールを再編集して保存した場合を除く）。

✓お知らせ-----

- 送信が正常に終了したSMSは、送信BOXのフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、保護していない古い送信メールから順に削除されます。
- 電波状況や送信する文字の種類、相手の端末によっては、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 宛先が海外通信事業者の場合は、「+」を含めた21文字まで入力して送信できます。
- 宛先が海外通信事業者の場合は、「+」(**[0]**を1秒以上押す)「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力するか、または「010」「国番号」「相手の携帯電話番号」の順で入力します(受信した海外からのSMSに返信する場合も、「+」または「010」を入力します)。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いて入力します。
- 送信文字種が英語の場合は、一部の記号を入力すると送信できる文字数が少なくなる場合があります。
- 送信に失敗したSMSは未送信BOXの「未送信トレイ」フォルダに保存されます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、SMSが相手のFOMA端末に届いたことをお知らせする送達通知が送られてきます。送達通知は受信BOXのフォルダに保存されます。ただし、他社携帯電話宛に送信したときは、送達通知が届かない場合があります。
- 発信者番号通知設定が「通知しない」の場合でも、SMS送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 2in1利用時は、BナンバーではSMSは送信できません。
- SMS作成中に**[1]**を押して編集を終了した場合に、自動保存されるように設定できます。→P149

❖送信／未送信SMSの編集

送信したSMSや未送信のSMSを編集して送信します。→P132

SMS受信

SMSはSMSセンターから送信されて自動的に受信します。

受信の動作はiモードメールを受信したときと同じです。→P134

受信したSMSは受信BOXのフォルダに保存されます。

SMS問合せ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、SMSが届いていないかを問い合わせれます。

- 受信するまでに時間がかかる場合や電波状態によってはSMS問い合わせができない場合があります。



SMS設定

SMSを送信するときの文字の種類や送達通知の要求などを設定します。

通常はSMSセンター設定を変更する必要はありません。



2 目的の操作を行う

送達通知設定：**[1]**▶**[1]**または**[2]**

有効期限設定：**[2]**▶**[1]**～**[4]**

・「0日」を設定すると一定時間再送後、SMSセンターから削除されます。

本文入力設定：**[3]**▶**[1]**または**[2]**

SMSセンター設定：

① **[4]** **[2]**

・ドコモからSMSを受信するには、「ドコモ」を選択します。

② SMSセンター欄を選択▶SMSセンターのアドレスを入力(半角20文字以内)▶Type of number欄を選択▶**[1]**または**[2]**▶**[登録]**【登録】

✓お知らせ-----

- SMS作成画面からの操作：**[MENU]**→**[3]**または**[4]**

この場合、送達通知、有効期限のみ設定でき、作成中のSMSにだけ有効です。

- 有効期限、本文入力、SMSセンターの設定内容は、ドコモminiUIMカードに保存されます。

SMSのFOMA端末↔ドコモminiUIMカード間でのコピー

送受信したSMSをFOMA端末↔ドコモminiUIMカード間でコピーします。

- ・送達通知のある送信SMSをコピーすると、対応する送達通知が同時にコピーされます。
- ・未送信SMSは、ドコモminiUIMカードにコピーできません。
- ・保護したSMSをドコモminiUIMカードにコピーすると、コピー先で保護は解除されます。

1 [✉] ▶ ①または②▶ フォルダを選択▶ SMSにカーソル

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ 「移動／コピー」 ▶ ③ ▶ 「はい」

✓お知らせ

- ・送信SMSをドコモminiUIMカードにコピーした場合、ドコモminiUIMカードの送信SMSから送信日時のデータが消去されます。
- ・ドコモminiUIMカードのSMSから返信や転送、再送信などを行った場合の送信SMSは、FOMA端末に保存されます。

i モード／フルブラウザ

i モード

i モード	156
i Menu の表示	156

フルブラウザ

ホームページの表示	158
i モード／フルブラウザの切り替え	158

サイト／ホームページの見かたと操作

ブラウザ画面の見かたと操作	159
ログイン情報	162
サイト閲覧履歴	163
URL入力	163
Bookmark	164
画面メモ	166
RSSリーダー	166

i モード／フルブラウザの利用

データのダウンロード	167
データのアップロード	169
ブラウザの便利な機能	169

i モードブラウザ／フルブラウザの設定

i モード／web 設定	170
証明書の操作	172

i モード

- i モードでは、i モード対応端末のディスプレイを利用して、サイト接続、インターネット接続、i モードメールなどのオンラインサービスを利用できます。
- ・ i モードはお申し込みが必要な有料サービスです。
 - ・ i モードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

i モードのご利用にあたって

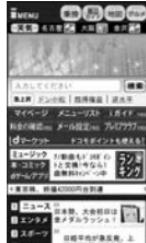
- ・ サイトやインターネット上のホームページの内容は、一般に著作権法で保護されています。これらサイトやホームページから i モード対応端末に取り込んだ文章や画像などのデータを、個人として楽しむ以外に、著作権者の許可なく一部あるいは全部をそのまま、または改変して販売、再配布することはできません。
- ・ 異なるドコモminiUIMカードに差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりした場合、サイトから取り込んだ静止画、i モーション、メロディやメールで送受信した添付ファイル（静止画、動画、メロディなど）、画面メモおよびメッセージR/Fなどは表示、再生できません。
- ・ ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能が設定されているデータを待受画面や着信音などに設定している場合、異なるドコモminiUIMカードに差し替えたり、ドコモminiUIMカードを未挿入のまま電源を入れたりすると、お買い上げ時や標準のデータで動作します。

i Menuの表示

i モードに接続して、さまざまなサイトを表示します。

1

i モード中はディスプレイに■が点滅します。



- ・ 通信開始中に [] : 接続を中止
- ・ ページ読み込み中に [CLR] : ページの読み込みを中止
- ・ [①]、[②]などの番号付きの項目は、項目に対応するダイヤルキーを押して選択できる場合があります（ダイレクトキー機能）。

2 表示する項目を選択

以降同様にして目的のページを表示します。

- ・ 選択した項目によっては新しいタブでページが表示されます。→P160

3 サイトを見終わったら [] ▶ 「はい」

✓お知らせ

- ・ i モード／web設定の共通設定にある i モードボタン設定を「 i モードメニュー表示」にすると [OK] ▶ 1 で接続できます。→P171
- ・ サイトから、お客様の携帯電話／ドコモUIMカード（FOMAカード）の製造番号を要求されたときは、送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、製造番号が送信されます。送信される製造番号は、IP（情報サービス提供者）がお客様を識別し、お客様にカスタマイズした情報を提供したり、IP（情報サービス提供者）の提供するコンテンツが、お客様の携帯電話で使用できるかを判定したりするために使われます。
- 送信する製造番号は、インターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信されるため、場合によっては第三者に知得される可能性があります。なお、この操作によりご使用の電話番号、お客様の住所や年齢、性別が、IP（情報サービス提供者）などに通知されることはありません。
- ・ サイトからお客様の携帯電話で再生した楽曲情報を要求されたときは、楽曲情報送信の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、お客様の携帯電話で再生した楽曲情報（タイトル名、アーティスト名、再生日時）が送信されます。送信される楽曲情報は、IP（情報サービス提供者）がお客様にカスタマイズした情報を提供するためなどに使われます。

◆ i モードパスワード変更

マイメニューの登録／削除、メッセージサービスやメール設定などを行うときは i モードパスワードが必要です。

- ・ i モードご契約時の i モードパスワードは「0000」に設定されていますが、安全のためお客様独自の4桁の数字に変更してください。
- ・ i モードパスワードは他人に知られないように十分にご注意ください。
- ・ i モードパスワードをお忘れの場合は、ご契約者本人であることを確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップの窓口で確認させていただいた上で、i モードパスワードを「0000」にリセットさせていただきます。

1 [OK] ▶ 「お客様サポート」▶ 「各種設定（確認・変更・利用）」
▶ 「i モードパスワード変更」▶ 現在のパスワードの入力欄を選択 ▶ 現在の i モードパスワードを入力

2 新パスワードの入力欄を選択 ▶ 新しい i モードパスワードを入力
3 新パスワード確認の入力欄を選択 ▶ 操作2で入力した i モードパスワードを入力 ▶ 「決定」

◆マイメニュー登録

よく利用するサイトをマイメニューに登録すると次回から簡単に接続できます。

- ・ i モードのサイトを最大45件登録できます。ただし、登録できないサイトもあります。
- ・ 登録には i モードパスワードが必要です。→P157
- ・ 有料サイトに申し込むと自動的にマイメニューに登録されます。

1 サイトを表示 ▶ 「マイメニュー登録」▶ i モードパスワードの入力欄を選択 ▶ i モードパスワードを入力 ▶ 「登録する」

マイメニューからのサイト表示 : [OK] ▶ 「マイページ」 ▶ 「マイメニュー／マイボックス」 ▶ サイトを選択

◆ SSL／TLSページへの接続

SSL／TLSに対応したサイトやホームページを表示できます。

- ・ SSL／TLSとは、認証／暗号技術を使用して安全にデータ通信を行う方式のことです。SSL／TLSページではデータを暗号化して送受信することにより、通信途中での盗聴、なりすましや書き換えを防止し、クレジットカード番号や住所などお客様の個人情報をより安全にやり取りできるようになります。
- ・ SSL／TLS通信を行うには、接続サイトとFOMA端末に同じ認証機関が発行した「証明書」という電子情報が必要な場合があります。→P172

1 対応するサイトやホームページを選択 ▶ SSL／TLS通信の開始を示すメッセージが表示

- ・ SSL／TLSページ表示中はディスプレイに  が表示されます。
- ・ SSL／TLSページ表示中に MENU [9] ▶ 「証明書参照」を押すと、証明書を表示できます。
- ・ SSL／TLSページから通常ページに進む場合は確認画面が表示されます。

ホームページの表示

インターネットに接続して、パソコン向けに作成されたホームページをフルブラウザで表示します。

- ・ iモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザのご利用時は、画像を多く含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどのデータ量の多い通信を行うと、通信料金が高額になりますので、iモードパケット定額サービスをご契約されることをおすすめします。パケット通信料および料金プランの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

1 MENU [2] ➔

- ・ 通信開始中に [] : 接続を中止
- ・ ページ読み込み中に [CLR] : ページの読み込みを中止
- ・ フルブラウザ利用設定が「利用しない」の場合、ブラウザを利用するかの確認画面が表示されます。→P170

2 ホームページを見終わったら [] ➔ 「はい」

✓お知らせ

- ・ 1ページあたりの読み込み容量は最大3Mバイトです。
- ・ プラグインには対応していません。
- ・ ホームページによっては表示に時間がかかる場合や、正常に表示されない場合があります。

❖ フルブラウザでの無線LAN利用について

無線LAN利用時、FOMA／無線LANのどちらかのネットワーク優先で接続できます。

- ・ フルブラウザ起動時（Bookmark、画面メモを含む）では、無線LANネットワーク優先で接続されます。通信中はディスプレイに電気が点滅します。
- ・ フルブラウザでは、FOMAネットワークを利用した接続が発生した場合はFOMAネットワーク優先で接続されます。
- ・ サイトやホームページ表示中に MENU [O] ➔ [FOMA／無線LAN接続切替] で、サイト閲覧履歴、URL入力履歴、Bookmark一覧、RSSリーダーのチャンネル一覧や概要画面では MENU ➔ [FOMA／無線LAN接続切替] で、URL入力画面（無線LAN利用中にブラウザからサブメニューで表示した場合のみ）では [O] で利用するネットワークを切り替えられます。

- ・ ネットワークが無線LANからFOMAに切り替わるとパケット通信料がかかります。フルブラウザ設定の接続切替画面設定で「表示しない」に設定した場合、切替確認画面は表示されませんのでご注意ください。
- ・ 無線LAN利用時、iモードブラウザでFOMAネットワーク接続中（iモード接続中）にフルブラウザに切り替えた場合、フルブラウザはFOMAネットワーク優先で接続されます。→P158
- ・ iモードブラウザでは無線LANネットワークは利用できません。

iモード／フルブラウザの切り替え

サイトやホームページ表示中にブラウザ種別を切り替えます。

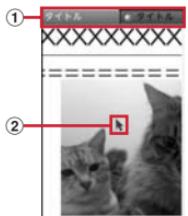
- ・ iモードとフルブラウザでは課金体系が異なります。フルブラウザご利用時のパケット通信料は、データ通信量により高額になりますので、iモードパケット定額サービスをご契約されることをおすすめします。
- ・ ブラウザを切り替えるとサイトやホームページによっては正常に表示できない場合があります。

1 サイトやホームページ表示中に MENU [サブメニュー] ➔ [5] [2]

- ・ フルブラウザ接続の確認画面が表示された場合、「はい（以後非表示）」を選択すると確認画面は表示されなくなります。→P170

ブラウザ画面の見かたと操作

◆ ブラウザ画面の見かた



ブラウザ画面（縦画面）

① 状態表示／タイトルまたはURL

●: 取得中 ○: データ取得済みの未読タブ

② ポインタ→P160

✓お知らせ

- 画像の代わりに次のマークが表示される場合があります。
■: 画像の取得中や、画像表示設定が「表示しない」のとき
✗: 画像を取得できなかつたとき
?: 画像のURLの誤りなどで表示できないとき

◆ ブラウザ画面の操作

サイトやホームページ表示中に次の操作ができます。

リンク先や項目の選択：次の操作ができます。

- リンク先：カーソルを合わせると反転または枠で表示します。リンク先のページに進みます。
- 文字入力欄：文字を入力します。
- ラジオボタン：選択肢の中から1つ選択します。●が選択の状態です。
- チェックボックス：選択肢の中から複数選択します。☒が選択の状態です。
- フルダウンメニュー：表示されるメニューから項目を選択します。
- ボタン：割り当てられた機能が実行されます。

上下スクロール／上下連続スクロール：□または▣／▣（1秒以上）

- フルブラウザで表示モード設定がPCレイアウトモード時で表示中、▣／▣（1秒以上）は左右スクロール／左右連続スクロールになります。

タブやウィンドウを閉じる／ブラウザの終了：[CLR] ▶ 「はい」

ノーマル／スクロールモード切替：□

ページの移動：□ [←戻る] / □ [進む→]

ビジュアル履歴：□ (1秒以上) / □ (1秒以上)

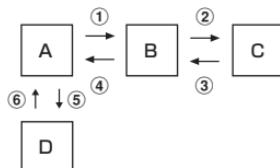
- スクロールモード時は次の操作になります。

上下スクロール：□ [↑ページ] / □ [↓ページ]

上下連続スクロール：□ (1秒以上) / □ (1秒以上)

✓お知らせ

- モーションセンサー設定が「ON」の場合、ブラウザ表示中に□を1秒以上押すとディスプレイに▣が表示され、FOMA端末を傾けた方向に画面がスクロールします（ポインタの移動なし）。キー操作を行ったり、しばらく端末を傾けなかったりすると解除されます。
- フルブラウザで表示中にダイヤルキーを押すと、割り当てられた機能が使用できます。各ダイヤルキーに割り当てられた機能は、ホームページ表示中に MENU ▶ [◀▶] [操作ガイド] で操作の確認ができます。
- ポインタ表示中に▣を1秒以上押すと、コンテンツによってはレイアウト（ページ全体）が表示されます。→P171
- ページ移動は表示履歴を利用しています。表示履歴は「キャッシュ」という端末内の場所に一時に最大50件記録されます。記録された履歴を利用して通信を行わずにページ間を移動できます。ただし、端末のキャッシュサイズをオーバーしていたり、必ず最新情報を読み込むように設定されたページを表示したりするときは通信を行います。
- ページA→B→Cの順に表示（①、②）した後でページAに戻り（③、④）、ページDに進む（⑤）と、ページA→B→Cの表示履歴は消去されます。ページDからページAには戻ますが（⑥）、さらにページBには戻れません（①）。



- コンテンツによっては、入力した文字や設定などの情報がキャッシュに記録されます。ただし、Bookmarkや画面メモなどには保存されません。
- ブラウザを終了すると表示履歴はすべて消去されます。

❖ ブラウザ画面の便利な操作

サイトやホームページ表示中に次の便利な操作ができます。

i Menu : [MENU] [サブメニュー] ▶ [4]※1または[5][1]※2

フルブラウザホーム : [MENU] [サブメニュー] ▶ [5][1]※1または
[4][1]※2

再読み込み : [MENU] [サブメニュー] ▶ [7]

URL表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [8][3]

・ [8]を押すとURLをコピーできます。

ガイド表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [9][5]※1または[9][7]※2▶ [1]

または[2]

本体を傾けた表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [9][6]※1または

[9][8]※2▶ [1]～[3]

ビジュアル履歴 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [0][1]

レイアウト表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [0][2]

メール作成 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [0][3]※1または[0][4]※2

・ URLがメール本文に貼り付けられます。

電話帳登録 : 電話番号やメールアドレスにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ [0][4]※1または[0][5]※2▶ [1]または[2]▶ 「はい」

・ 追加／上書きするときは登録する電話帳を選択します。

ページ移動、フレーム表示へ戻る : [MENU] [サブメニュー] ▶ [☒]▶ [1]～

[5]

ドラッグ : ポインタ表示中に[□] (1秒以上)

・ [□]で操作します。解除するには[CLR]を押します。

※1 i モードの場合

※2 フルブラウザの場合

❖ タブ操作

サイト／ホームページを最大5つのタブに表示できます。

1 サイトまたはホームページを表示

2 目的の操作を行う

Bookmarkなどを新しいタブで開く : [MENU] [サブメニュー]

▶ [6][1]▶ 項目を選択

・ 他にタブを開いていない場合は[□]でも新しいタブを開けます。

・ 閲覧中のブラウザと異なるブラウザ種別で新しいタブを表示しようとすると、タブは表示されず表示中のページが切り替わります。

タブを閉じる : [MENU] [サブメニュー] ▶ [6][2]▶ タブを選択▶ 「はい」

・ 「裏タブを全て閉じる」を選択すると、閲覧中のタブ以外のタブは全て閉じます。

タブの切り替え : [MENU] [サブメニュー] ▶ [6][3]▶ タブを選択

・ 複数のタブを表示中に閲覧中のタブのブラウザ種別を切り替えると他のタブは表示されなくなります。

次のタブを表示 (2つ以上タブを開いている場合) : [□] [タブ切替]

・ 最後のタブを表示している場合は先頭のタブを表示します。

❖ ポイントの表示／非表示

サイトやホームページ表示中にポインタの表示／非表示を切り替えられます。

1 サイトやホームページを表示

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ [☒] [4]▶ [1]または[2]

・ ポインタ表示中は操作によって次のように表示されます。

↑ : ポインタ表示中 ↓ : リンク選択

I : テキスト範囲選択 ☒ / ☐ : ドラッグ開始待ち／ドラッグ中

❖ フレーム対応ページの拡大表示

フレームを含むホームページに接続したとき、個別のフレームを拡大表示して操作できます。

1 フレームサムネイル画面で☒▶ フレームを選択

ディスプレイに☒が表示されます。

・ フレーム拡大表示中は[CLR]でフレームサムネイル画面に戻ります。

❖ サイト内の文字列コピー／貼り付け

選択した範囲の文字を一時的にコピーしたり、クリック検索やGPS対応アプリで検索したりします。

- ・全角2048(半角4096)文字までコピーできます。
- ・文字を選択できないサイトやホームページもあります。

1 サイトやホームページを表示

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ [] 6

3 開始位置を選択▶終了位置を選択▶項目を選択

- ・クリック検索→P302
- ・GPS対応アプリ起動→P251
- ・辞書→P318
- ・文字列を貼り付ける場合は、サイトやホームページ表示中に文字を貼り付ける位置を選択し [MENU] 3 を押します。

❖ サイト内の文字列検索

表示中のサイトやホームページ内の文字列を検索します。

- ・ホームページによってはページ内検索ができない場合があります。

1 サイトやホームページを表示中に [MENU] [サブメニュー]

▶ [] 8

2 検索文字列を入力(512文字以内)

- ・前後候補への移動は [MENU] / []、検索を終了するには [CLR] を押します。

❖ 文字コード変換

サイトやホームページの文字が正しく表示されないときは、文字コードを変更すると正しく表示される場合があります。

- ・サイトやホームページを表示した時点ではSJIS(日本語(SHIFT_JIS))に設定されています。

1 サイトやホームページを表示中に [MENU] [サブメニュー]

▶ [] 9 ▶ [文字コード変換]

2 文字コード変換の操作を行う

- ・押すたびに、SJIS→EUC→JIS→UTF8の順に切り替わります。

◆ Flash画像の表示

FOMA端末ではFlash画像を表示できます。Flash画像によって、サイトの表現力がより豊かになります。

- ・Flash®Videoとは、Adobe Flash Playerで再生できる映像です。次の2種類が再生可能です。

種類	説明
プログレッシブ型再生	Flash画像とは別に作成されたビデオデータを配信サーバーからダウンロードしながら再生するタイプ
埋め込み型再生	Flash画像の中に要素の1つとしてビデオデータを埋め込むタイプ

- ・サイトやホームページによっては再生できないことがあります。
- ・プログレッシブ型のFlash®Videoは1件あたり最大10Mバイト表示できます。大容量データを受信する可能性があります。データが大きい場合はパケット通信料が高額になりますのでご注意ください。
- ・Flash®Videoは保存できません。
- ・ストリーミング型再生はできません。
- ・プログレッシブ型再生は画像や画面メモの保存ができません。
- ・Flash®Videoの再生仕様は次のとおりです。

	FLV	F4V
コーデック	ビデオ：Sorenson Spark ／On2VP6 オーディオ：MP3	ビデオ：H.264 オーディオ：AAC
最大ビットレート*	ビデオ：400Kbps オーディオ：96Kbps	ビデオとオーディオを合わせたビットレート： 700kbps
ビデオサイズ	QVGA(横320×縦240)	VGA(横640×縦480)
最大フレームレート	15fps	15fps

* FOMAハイスピードエリアでの最大値であり、実際の転送量を保証するものではありません。

- ・本機種はAdobe Flashテクノロジーを採用しています。
- ・Flash画像によっては、本機種で正しく動作しない場合があります。
- ・Flash画像は、iモードブラウザ設定やフルブラウザ設定にある画像表示設定が「表示しない」の場合、表示されません。
- ・Flash画像は5分以上操作しないと再生は停止します。
- ・Flash画像が表示されているときは、サイトやホームページの操作や動作が通常と異なる場合があります。
- ・Flash画像によっては、効果音が鳴る場合があります。効果音を鳴らさない場合はiモードブラウザ設定やフルブラウザ設定にあるサウンド設定を「Silent」に設定してください。なお、待受画面や着信画面に設定した場合はFlash画像の効果音は鳴りません。
- ・Flash画像によっては、バイブレーション設定が「OFF」の場合でもFOMA端末を振動させることができますのでご注意ください。
- ・Flash画像によっては、端末情報を利用する場合があります。端末情報の利用はiモードブラウザ設定にある端末情報利用設定で設定できます。
- ・Flash画像が正しく動作していない場合や再生中にエラーが発生した場合は、Flash画像を正しく保存できないことがあります。
- ・Flash画像をデータBOX、画面メモ、microSDカードなどに保存して再生した場合、保存箇所により見えかたが異なることがあります。
- ・Flash画像を含むページを画面メモに保存する場合、自動取得型では追加されたデータも保存されますが、手動取得型では保存されません。
- ・Flash画像は、フルブラウザでは保存できません。
- ・Flash画像は、FOMA端末の利用スタイルの変更によりリトライされるので、コンテンツによっては入力した文字などが消える場合があります。
- ・Flashコンテンツ表示中にファイル参照先選択画面が表示された場合は、参照先を選択▶ファイルを選択します。

ログイン情報

サイトやホームページ表示中にIDやパスワードを要求された場合、あらかじめログイン情報（IDやパスワード）を登録しておくと、文字入力欄に貼り付けることができます。

◆ログイン情報登録

ログイン情報（IDやパスワードなど）を登録します。

- ・最大20件登録できます。

1 [MENU] [2] [9] [3] [6] ▶認証操作

2 未登録にカーソル▶ [●] [編集]

削除：ログイン情報にカーソル▶ [●] [削除] ▶ [1] または [2] ▶ 「はい」

- ・1件削除ではカーソルを合わせたログイン情報が削除されます。

確認：ログイン情報にカーソル▶ [MENU] [確認]

3 各項目を設定▶ [MENU] [登録]

タイトル：全角12（半角24）文字以内で入力します。

項目1／項目2：全角64（半角128）文字以内で入力します。

✓お知らせ

- ・サイト／ホームページ表示中の操作：[MENU] [0] [6] [1]（iモードの場合）／[MENU] [0] [7] [1]（フルブラウザの場合）
- ・IDやパスワードは他人にわかりやすい番号、文字や記号を避けるようにしてください。また、IDやパスワードは他人に知られないよう十分にご注意ください。

◆ログイン情報貼付

登録したログイン情報を文字入力欄に貼り付けます。

- ・サイトやホームページによっては貼り付けられない場合もあります。

1 サイトやホームページを表示

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ [0] ▶ [ログイン情報] ▶ [2]

3 認証操作▶ ログイン情報を選択

サイト閲覧履歴

以前閲覧したサイトやホームページの履歴を利用して再接続します。

- 最大50件記録されます。超過すると古いものから順に上書きされます。

1 MENU 2 4

2 履歴を選択

- マークの意味は次のとおりです。

書：i モードの履歴 パス：フルブラウザの履歴

URL表示：履歴にカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 1

・ [回] を押すとURLをコピーできます。

削除：履歴にカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 1～3 ▶ 「はい」

・ 1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。

・ 選択削除では選択操作▶ [回] が、全件削除では認証操作が必要です。

メール作成：履歴にカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 4

✓お知らせ

- サイトやホームページ表示中の操作 : MENU 3
- サイトやホームページ表示中に接続すると、履歴登録時のブラウザ種別で接続されます。
- 履歴によっては表示できない場合や、異なるページを表示する場合があります。

URL入力

アドレス（URL）を入力して、サイトやホームページを表示します。

1 MENU 2 5 1

2 URLを入力（半角2033文字以内）

- 2回目からはURL入力履歴の最上段のURLが表示されます。

3 ブラウザ種別を選択

✓お知らせ

- サイトやホームページ表示中の操作 : MENU 8 1

◆ URL入力履歴

サイトやホームページのURL入力履歴を利用して接続します。

- 最大50件記録されます。超過すると古いものから順に上書きされます。

1 MENU 2 5 2

2 URLを選択

- マークの意味は次のとおりです。

書：i モードのURL パス：フルブラウザのURL

・ URLを選択後に接続するブラウザを選択する画面が表示されます。ブラウザ種別を変更すると、履歴と異なるブラウザ種別で接続できます。

URL表示：URLにカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 1

・ [回] を押すとURLをコピーできます。

削除：URLにカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 1～3 ▶ 「はい」

・ 1件削除ではカーソルを合わせたURLが削除されます。

・ 選択削除では選択操作▶ [回] が、全件削除では認証操作が必要です。

メール作成：URLにカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 4

✓お知らせ

- サイトやホームページ表示中の操作 : MENU 8 2

Bookmark

よく見るサイトやホームページをBookmarkに登録しておくと、すばやく表示できます。

- お買い上げ時は、「dマーケット」が「Bookmark」フォルダに登録されています。

◆ Bookmarkに登録

サイトやホームページをBookmarkに登録します。

- Bookmarkに登録できるURLは i モードが256文字以内、フルブラウザが512文字以内です。タイトルは全角12（半角24）文字以内です。
- i モード／フルブラウザのBookmarkは同じ保存領域に登録されます。ただし、登録できないページもあります。

1 サイトやホームページを表示

2 [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] [2] ▶ 「OK」 ▶ 登録先フォルダを選択

◆ Bookmarkからのサイト表示

Bookmarkからサイトやホームページを表示します。

1 [MENU] [2] [2] ▶ フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。
■／■(水色)：お買い上げ時に登録されているフォルダ
■／■(紺色)：作成したフォルダ
■／■(紺色)：作成したフォルダ（シークレット属性ON）
- Bookmarkを全件削除するには、フォルダ一覧で [MENU] [2] [2] ▶ 認証操作 ▶ 「はい」を押します。

2 Bookmarkを選択

- マークの意味は次のとおりです。

■／■：i モードのBookmark

FB／FB：フルブラウザのBookmark

編集：Bookmarkにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内） ▶ 「OK」

URL表示：Bookmarkにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [2]

・[■]を押すとURLをコピーできます。

削除：Bookmarkにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] ▶ [1] ~ [3]

・1件削除ではカーソルを合わせたBookmarkが削除されます。

・選択削除では選択操作 ▶ [■] が、全件削除では認証操作が必要です。

・ツータッチサイト登録されているBookmarkを削除すると、ツータッチサイト登録も解除されます。

メール添付：Bookmarkにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [5]

表示切替：[MENU] [サブメニュー] ▶ [8]

電話帳登録：[MENU] [サブメニュー] ▶ [0] ▶ [1] または [2]

・追加／上書きするときは登録する電話帳を選択します。

✓お知らせ

- サイトやホームページ表示中からの操作 : [MENU] [1] [1]
- フォルダ一覧で [MENU] [6]、Bookmark一覧で [MENU] [8] を押すたびにサムネイル表示とリスト表示が切り替わります。サムネイル表示中、画像の代わりに ■ アイコンが表示される場合があります。
- ケータイデータお預かりサービスを利用してBookmarkを保存できます。→ P119

◆ Bookmark フォルダの管理

Bookmarkのフォルダを作成／削除したり、設定を変更したりします。

- 最大20個作成できます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除やシークレット属性の設定、フォルダ並べ替えはできません。

1 MENU [2] [2]

2 目的の操作を行う

フォルダ新規作成：MENU [サブメニュー] ▶ [1] [1]

フォルダ設定：フォルダにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [1] [2]

フォルダ並べ替え：フォルダにカーソル ▶ MENU [サブメニュー]

▶ [1] [3] ▶ 並べ替え先を選択

削除：フォルダにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [2] [1] ▶ 認証操作
▶ 「はい」

- カーソルを合わせたフォルダが削除されます。

表示切替：MENU [サブメニュー] ▶ [6]

3 各項目を設定 ▶ [登録]

フォルダ名：全角9（半角18）文字以内で入力します。

シークレット属性：プライバシーモード中（Bookmarkが「指定フォルダを非表示」のとき）にフォルダを表示させるかを設定します。

✓ お知らせ

- ツータッチサイト登録したBookmarkがあるフォルダのシークレット属性を「ON」にすると、ツータッチサイト解除確認画面が表示されます。

◆ Bookmark の移動

保存されているBookmarkを別のフォルダに移動します。

1 MENU [2] [2] ▶ フォルダを選択

2 Bookmarkにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [3] ▶ [1] ~ [3]

- 選択移動では選択操作 ▶ [写真] が必要です。

3 移動先のフォルダを選択

◆ ツータッチサイト

Bookmarkをツータッチサイト登録すると待受画面からすばやく表示できます。

❖ ツータッチサイトに登録

ツータッチで表示するサイトやホームページのBookmarkを登録します。

- 1つのダイヤルキーにつき1件、最大10件登録できます。ただし、シークレット属性が「ON」のフォルダ内のBookmarkは登録できません。

1 MENU [2] [8]

2 目的の操作を行う

登録：未登録にカーソル ▶ [登録] ▶ フォルダを選択 ▶ Bookmarkを選択

- フルブラウザのBookmarkを選択したときは、接続時に使用するブラウザ種別を選択します。
- マークの番号（[0]～[9]）は、ツータッチサイト表示に使用するダイヤルキー（[0]～[9]）に対応しています。

サイトやホームページの表示：Bookmarkを選択

解除：Bookmarkにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [1] ▶ 「はい」

URL表示：Bookmarkにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [2]

URLコピー：Bookmarkにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [3]

- マークの意味は次のとおりです。

siti: i モードのツータッチサイト

full: フルブラウザのツータッチサイト

❖ ツータッチでのサイト表示

待受画面から少ないキー操作でサイトやホームページを表示します。

1 [0] ~ [9] ▶ [i / α]

画面メモ

表示中のサイトやホームページの内容を、画面メモやキャプチャとして保存できます。

◆ 画面メモの保存

サイトやホームページを画面メモに保存します。

- 1件につき、iモードは最大500Kバイト、フルブラウザは最大3Mバイトまで保存できます。ただし、サイトやホームページ側が画面メモ保存不可の指定をしている場合などは保存できないことがあります。

1 サイトやホームページ表示中に [MENU] [サブメニュー]
▶ [2] [2] ▶ [1] または [2]

2 「はい」

キャプチャのみ保存：「表示のみ保存」

◆ 画面メモの表示

保存した画面メモを表示します。

1 [MENU] [2] [3] ▶ [1] または [2]

- マークの意味は次のとおりです。
①: iモードの画面メモ ②: フルブラウザの画面メモ
③: 保護されている画面メモ

2 画面メモを選択

- 画面メモにあるリンク先を選択した場合、画面メモ保存時のブラウザ種別で接続します。

タイトル編集：画面メモにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）

URL表示：画面メモにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [2]

- [④] を押すとURLをコピーできます。

削除：画面メモにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた画面メモが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ [④] が、全件削除では認証操作が必要です。

保護／保護解除：画面メモにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ [4] ▶ [1] ~ [4] ▶ 「はい」

- 選択保護／解除では選択操作▶ [④] が必要です。

✓お知らせ

- サイトやホームページ表示中の操作：[MENU] [2] [1]
- microSDカードに画面メモを保存した場合、タイトルが正しく表示されないことがあります。

RSSリーダー

フルブラウザでは、ニュースサイトやブログなどが提供するRSSをRSSリーダーに登録しておくと、RSSを更新するだけで登録したホームページの最新情報を取得できます。

◆ RSS登録

ホームページのRSSをRSSリーダーに登録します。

- 最大20件登録できます。1件につき100アイテム、最大1000アイテム（2Mバイト）保存／保護できます。
- 2Mバイトを超えるRSSは登録できません。また、ホームページによっては登録できないことがあります。

1 ホームページ表示中に [MENU] [サブメニュー]
▶ [0] [3] [2] ▶ RSSを選択 ▶ 「はい」

◆ RSS情報を表示

登録したRSSの情報を表示します。

1 MENU [2] [7]

- マークの意味は次のとおりです。
■: 新着アイテムあり ■: 未読アイテムあり

2 チャンネルを選択

- マークの意味は次のとおりです。
■: 未読 ■: 保護されているアイテム
- 更新 :** チャンネルにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」
- 選択更新では選択操作▶ [■] が必要です。**
- タイトル編集 :** チャンネルにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [2] ▶ タイトル名を入力（全角12（半角24）文字以内）▶ 「OK」
- 削除 :** チャンネルにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ [1] ~ [3] ▶ 「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたチャンネルが削除されます。
 - 選択削除では選択操作▶ [■] が、全件削除では認証操作が必要です。
- 情報表示 :** チャンネルにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [4]

3 アイテムを選択

- 概要画面では [MENU] [1] ▶ [1] ~ [6] で文字サイズを変更できます。
- 削除 :** アイテムにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ [1] ~ [4] ▶ 「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたアイテムが削除されます。**
- 選択削除では選択操作▶ [■] が、既読全削除または全件削除では認証操作が必要です。**
- 保護設定 :** アイテムにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [2] ▶ [1] または [2]
- すべて既読 :** [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ 「はい」

✓お知らせ

- ホームページ表示中の操作 : [MENU] [0] [3] [1]

データのダウンロード

サイトやホームページからデータ（ファイル）をダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- iモードでダウンロード可能なデータ（ファイル）と最大サイズは次のとおりです。
 - 画像（GIF、JPEG、MPO、PNG、BMP、SWF）: 500Kバイト
 - メロディ（SMF、MFI）、キャラ電、トルカ（詳細）、デコメアニメ®テンプレート: 100Kバイト
 - PDFデータ、きせかえツール、Word・Excel・PowerPointファイル: 2Mバイト
 - 辞書: 20Kバイト
 - トルカ: 1Kバイト
 - スケジュールのメモ、iスケジュール: 1Mバイト
 - 漢字／英数字用フォント: 6Mバイト
 - ひらがな／カタカナ用フォント、デコメール®テンプレート: 200Kバイト
 - マチキャラ: 5Mバイト
 - コンテンツパッケージ: 60Mバイト
 - MyFACE: 600Kバイト
- デコメール®テンプレートは、本文が10000バイト以下、挿入画像の合計が90Kバイト以下の場合に保存できます。
- MyFACEはメタファイルが100Kバイト以下、インデックスとインクルージョンファイルの合計が500Kバイト以下の場合に保存できます。
- フルブラウザでダウンロード可能なデータ（ファイル）と最大サイズは次のとおりです。
 - 画像（JPEG、MPO、PNG、BMP）: 3Mバイト
 - 画像（GIF）、PDFデータ、Word・Excel・PowerPointファイル: 2Mバイト
 - データ（ファイル）によってはmicroSDカードに保存できます。
 - データ（ファイル）によっては正しく保存、表示、再生や設定ができない場合があります。
- 最大保存件数／領域を超えたとき（データBOX内のデータ）→P291
データBOX内のデータ（ファイル）以外を保存する場合は、FOMA端末やmicroSDカードのデータ（ファイル）を削除してください。

◆画像のダウンロード

JPEG/GIF/MPO/PNG/BMP形式の画像、GIFアニメーションやFlash画像を保存できます。ただし、フルブラウザではFlash画像は保存できません。

1 サイトやホームページを表示

2 [MENU]【サブメニュー】▶ [0]▶【画像保存】▶ [1]～[6]

- ・画像を保存するかの確認画面が表示された場合は「はい」を選択します。
- ・画像1件保存と背景画像1件保存では画像選択が、画像複数保存と背景画像複数保存では選択操作▶[■]が必要です。
- ・画像一括保存では保存可能な画像が一括で保存されます。

3 保存先のフォルダにカーソル▶[■]【確定】

- ・PNG/BMP/MPO形式の画像はmicroSDカードの「その他」フォルダに保存されます。
- ・画像サイズが20X20の再配布可能なJPEG/GIF形式の画像は「デコメ絵文字」配下のフォルダに保存されます。
- ・表示画面に設定するかの確認画面が表示されたときは、「はい」を選択して[1]～[5]を押すと待受画面などに設定できます。→P264

◆各データのダウンロード

画像以外の保存可能なデータを保存します。

- ・iスケジュールをダウンロードするには iコンシェルのご契約が必要です。

1 サイトやホームページを表示▶ダウンロードするデータを選択

- ・ダウンロード中に[■]や[CLR]を押すとダウンロードを中止します。

2 「保存」または「はい」

MyFACEの保存：追加位置を選択▶「はい」または「いいえ」

- ・MyFACE利用設定が「利用しない」の場合は、MyFACE利用設定画面が表示されます。
- ・既に12個保存されている場合は削除するMyFACEを選択▶「はい」の操作が必要です。

PDFデータの保存：[MENU]【サブメニュー】▶[6]▶「はい」

- ・コンテンツによっては保存先フォルダにカーソル▶[■]や保存先の選択、コンテンツの設定操作などが必要になります。
- ・データの種別によっては、「表示」「再生」「プレビュー」などを選択してデータを確認できます。
- ・メールテンプレート保存後は「メール作成」からメールを作成できます。
- ・保存を中止する場合は[CLR]を押します。
- ・コンテンツパッケージでは、複数種類のデータがまとめてダウンロードされます。コンテンツパッケージは「コンテンツパッケージ」フォルダに、コンテンツパッケージ内のデータはそれぞれに対応した保存先に保存されます。コンテンツパッケージ内のデータは、保存したコンテンツパッケージから表示することができます。→P275

◆お知らせ

- ・ダウンロード再開の確認画面が表示された場合に「いいえ」を選択すると、部分保存できるデータのときは部分保存の確認画面が表示され、コンテンツパッケージのときはダウンロードを中止します。部分保存したデータは、各保存先から残りをダウンロードできます。コンテンツパッケージでダウンロードできなかったデータは、コンテンツパッケージを再ダウンロードするか、保存したコンテンツパッケージからダウンロードできなかったデータを選択してダウンロードできます。
- ・iスケジュールの保存を中止した場合は、一部保存される場合があります。再ダウンロードする際は、一部保存されたiスケジュールを削除してください。
- ・iモードしおりやマークの合計サイズが100Kバイトより大きいPDFデータやサイズの不明なPDFデータ、本FOMA端末に対応していないPDFデータはダウンロードできません。
- ・同じPDFデータをもう一度ダウンロードした場合、iモードしおりやマークの内容が異なるときは、異なるiモードしおりやマークが追加で保存されます。ただし、iモードしおりやマークの合計がそれぞれ10件を超えると、最大登録件数の超過を示す画面が表示されます。画面の指示に従って登録可能件数になるまでiモードしおりやマークを削除してください。

データのアップロード

画像や動画／iモーションをサイトやホームページにアップロードします。

- JPEG/GIF形式の画像、MP4形式の動画／iモーションを最大2Mバイトアップロードできます。

1 サイトやホームページを表示▶「参照」▶ファイル種別を選択▶ファイルを選択

✓お知らせ

- アップロードの操作方法やアップロードできるファイルは、サイトやホームページによって異なります。
- FOMA端末外への出力が禁止されている画像、動画／iモーションはアップロードできません。

ブラウザの便利な機能

電話発信 (Phone To (AV Phone To))、メール作成 (Mail To)、SMS作成 (SMS To)、サイトやホームページ表示 (Web To)、ワンセグ視聴や視聴／録画予約 (Media To)、iアプリ起動 (iアプリTo)、位置情報貼り付けなどの機能を利用できます。

- サイトやホームページ、パソコンなどから送信されたメールによっては利用できない機能があります。

◆リンク機能の利用

リンク項目を利用して、電話発信やメール送信などを行います。

1 サイトやホームページを表示▶リンク項目（電話番号、メールアドレス、URL、ワンセグ視聴情報、iアプリの情報）にカーソルを合わせる▶[決定]

- カーソルを合わせられる情報のみ選択できます。
- メール作成では、選択したメールアドレスが宛先になります。
- SMS作成では、発信方法欄を選択▶[3]▶[✉] [発信]▶「はい」で作成画面が表示されます。

✓お知らせ

- 複数のメールアドレスが続けて表示されている場合、正しくMail To機能を利用できないことがあります。
- iアプリ Toで起動する iアプリがFOMA端末に保存されていない場合は、起動できません。ただし、iアプリによっては、サイトからダウンロード後、保存されにくてもすぐに起動するものがあります。
- iアプリ Toで起動しないように設定している場合は起動できません。→P227

◆位置情報の利用

位置情報を利用して、地図表示や位置情報のメール貼り付けを行います。

- 位置情報送信用のリンク項目を選択して位置情報を送信することもできます。
→P251 「■位置情報貼り付け／付加／送信メニュー」

1 サイトやホームページを表示▶位置情報を選択

2 目的の操作を行う

地図選択で設定したGPS対応 iアプリの起動：「地図を見る」

GPS対応 iアプリの起動：「対応 iアプリ」▶ iアプリを選択

GPS対応 iアプリを利用する→P251

位置情報をメールに貼り付け：「メール貼り付け」▶「はい」

i モード／web設定

ブラウザごとに項目を設定する「i モードブラウザ設定」／「フルブラウザ設定」と、各ブラウザ共通の項目を設定する「共通設定」があります。

❖各ブラウザの設定

ブラウザごとに画像表示や音などを設定します。

- ・動画自動再生設定→P177

1 ブラウザ設定の操作を行う

i モード： MENU **2 9 1**
フルブラウザ： MENU **2 9 2**

2 各項目を設定

画像表示設定：JPEG／GIF／MPO／PNG／BMP形式の画像、GIFアニメーションやFlash画像の表示／非表示を設定します。

- ・本設定（i モードブラウザ設定のみ）はワンセグの画像表示設定にも反映されます。

サウンド設定：表示中の音量を設定します。

ページ内データ取得設定：Flash®Videoやムービーなどのデータを自動取得するかどうかを設定します。

- ・「毎回確認」にすると、通信要求があるたびに確認画面が表示されます。

Script動作設定：JavaScriptが含まれるページの動作を設定します。

- ・JavaScriptとは、ブラウザ上で動作する簡単なプログラミング言語です。お客様の操作に合わせて、サイトやホームページの表示を動的に変更するなどダイナミックな表現を行うことができます。例えば、ホームページ全体を再読み込みすることなく、お客様の操作に応じて地図部分のみをスクロールさせて表示するようなことができるJavaScriptによるものです。

- ・JavaScriptを有効化することによって、お客様がサイトやホームページで入力した情報や訪問履歴などが第三者に知られる可能性もありますので、十分ご注意ください。

端末情報利用設定：Flash画像を表示するときにFOMA端末の端末情報を利用するかを設定します。

- ・「利用する」にすると日付時刻情報、受信レベル、電池残量、言語情報、機種情報、再生音量がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。

文字サイズ設定：文字サイズを設定します。

- ・文字サイズ設定の i モード／フルブラウザにも反映されます。

ズーム※：ホームページを表示したときの画面倍率を設定します。

Cookie設定：Cookieの設定を行います。

- ・Cookieとはホームページを表示した日時や回数など、ホームページが指定した情報をFOMA端末に保存しておく機能です。ホームページやコンテンツサービスによっては、Cookieを有効にしないと、正常に表示したり利用したりできない場合があります。

- ・Cookieを有効にすると、ホームページを表示した日時や回数などの情報が送信されます。これにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

Cookie削除：Cookieの削除を行います。

Referer設定：Refererを送信するかを設定します。

- ・Refererとは、リンクを選択して別のホームページに移動する場合の、元のホームページのURL情報です。Refererを送信することにより、お客様の情報が第三者に知得されても、当社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

タブ自動起動設定：新しいタブを自動的に開くかを設定します。

ポインタ表示設定：ポインタの表示／非表示を設定します。

フルブラウザホーム設定※：ホームページを設定します。

表示モード設定※：パソコン用の画面サイズで表示する（PCレイアウトモード）か、FOMA端末のディスプレイの横幅に合わせて表示する（ケータイモード）かを設定します。

フルブラウザ確認表示※：フルブラウザで接続する場合、接続の確認画面を表示するかを設定します。

フルブラウザ利用設定※：フルブラウザを利用するかを設定します。

ショートカット※：ショートカットキーを設定します。

- ・ショートカット一覧で 「はい」を押すと、お買い上げ時の設定に戻ります。→P389

自動通信サイズ設定※：ページ最大サイズを超える通信を許可するかを設定します。

- ・「制限あり」にするとFlash画像が正しく表示されない場合があります。

接続切替画面設定*：無線LAN接続時、FOMA／無線LAN接続の切替のときに確認画面を表示するかを設定します。

* フルブラウザ設定の場合

✓お知らせ

- ・サイトやホームページ表示中に MENU から設定できる項目もあります。

❖ ブラウザの共通設定

ブラウザ共通で i モードボタンや明るさ調整などを設定します。

- ・証明書の表示や設定→P172
- ・端末暗証番号入力省略設定→P173
- ・接続先設定→P171

1 MENU 2 9 3

2 各項目を設定

i モードボタン設定：待受画面で を押したときに、 i Menuに接続するか、 i モードメニュー画面を表示するか設定します。

・海外では設定に関わらず i モードメニュー画面が表示されます。

ログイン情報登録：サイトやホームページのログイン情報（IDやパスワードなど）を登録します。

ログイン情報登録→P162

自動レイアウト表示設定：ポインタ移動によるページスクロール中に自動的にレイアウト表示を行うかを設定します。

ポインタ移動距離設定：ポインタの移動距離を設定します。

ポインタ加速度設定：ポインタの速さを設定します。

Bookmark表示設定：Bookmarkの表示方法を設定します。

スクロール設定：スクロールの行数を設定します。

照明点灯時間設定：ディスプレイが明るく点灯している時間を設定します。

・照明設定の照明点灯時間設定（i モード中）にも反映されます。

明るさ調整：ディスプレイの明るさを調整します。

・照明設定の明るさ調整（i モード）にも反映されます。

新規タブ開き方設定：新しくタブを開いたときの動作を設定します。

✓お知らせ

- ・サイトやホームページ表示中に MENU から設定できる項目もあります。

◆ i モード設定のリセット

設定をお買い上げ時の状態に戻します。→P389

1 MENU 2 9 5

2 認証操作 ▶ 「はい」

✓お知らせ

- ・ i モード／web設定の設定状況を確認する： MENU 2 9 4

◆ 接続先設定

i モード端末の接続先を設定します。

通常は設定を変更する必要はありません。

□

ISP接続通信とは

ドコモの i モード端末の接続先を切り替えることで、各種プロバイダ（ISP）への接続ができます。プロバイダに接続した際にパケット通信料がかかります。

- ・通信中は接続先を設定、変更できません。

プロバイダ契約について

- ・ISP接続通信をご利用いただくには、別途プロバイダへのお申し込みが必要です。各プロバイダのサービス内容（サイト接続、インターネット接続、メール機能など）、お申し込み方法については各プロバイダにお問い合わせください。
- ・プロバイダが提供するサービス内容によっては、別途情報料などがかかる場合がありますが、ドコモからご請求することはありません。
- ・お客様が閲覧されるサイトによっては、お客様の電話番号がサイトを提供するプロバイダに通知される場合があります。
- ・最大10件登録できます。

1 MENU 2 9 3 4

2 接続先にカーソル ▶ MENU 【編集】

i モードを利用する設定に戻す：「i モード」▶ [] 【登録】
以前に設定した接続先に変更する：接続先を選択▶ [] 【登録】

3 認証操作▶各項目を設定▶[確定]

- ・[MENU]を押すと、既に入力した項目の内容を一括削除できます。

接続先名称入力：全角8（半角16）文字以内で入力します。

接続先番号入力：半角英数字99文字以内で入力します。

接続先アドレス入力／接続先アドレス2入力：半角英数字30文字以内で入力します。

- ・接続先アドレス2は i チャネルの接続先です。

4 編集した接続先を選択▶[登録]

✓お知らせ

- ・接続先を変更すると、i チャネルの情報が初期化され、待受画面に i チャネルのテロップは表示されなくなります。待受画面で [CLR] を押して i チャネル一覧を表示すると、最新の情報を受信し、テロップも表示されます。
- ・接続先番号または接続先アドレスを変更すると、圈内自動送信の設定は解除されます。
- ・2in1 利用時に接続先を変更すると、各モードのテロップ表示設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

証明書の操作

SSL/TLS通信時に必要な証明書の操作を行います。

◆ 証明書設定

SSL/TLSページに接続するときに必要な証明書を設定します。

- ・SSL/TLSページに接続するには、次の証明書が必要です。

CA証明書：認証会社が発行した証明書で、お買い上げ時の端末内に保存されています。

各社発行証明書（オリジナル証明書）：各企業・自治体などから発行される証明書で、ダウンロードすると端末内に保存されます。ダウンロードした証明書に対応しているサイトで利用できます。

1 [MENU] 2 9 3 ▶ 1 または 2

- ・マークの意味は次のとおりです。

■：各社発行証明書 ■：チェーン切れの各社発行証明書

☑：有効に設定されている証明書

2 目的の操作を行う

証明書表示：証明書を選択

- ・証明書の所有者、発行元、有効期限、証明書番号などが表示されます。
- ・各社発行証明書の場合は、選択すると証明書一覧が表示されます。選択すると証明書が表示されます。

証明書の有効／無効：証明書にカーソル▶[確定] [有効／無効]

各社発行証明書の削除：証明書にカーソル▶[削除] [削除] ▶「はい」▶認証操作

◆各社発行証明書のダウンロード

各社発行証明書をダウンロードします。

- 各社発行証明書は最大5件、合計500Kバイトまで保存できます。

1 サイトを表示▶証明書を選択▶「はい」

- ダウンロード中に \blacksquare を押すとダウンロードを中止します。
- パスワードの入力を要求されたときは、パスワードの入力欄にパスワードを入力し、「OK」を選択します。
- ダウンロードした証明書は、「証明書設定」で確認できます。→P172

✓お知らせ

- 各社発行証明書は各企業・自治体などから発行されます。ダウンロードした証明書は、その証明書に対応しているサイトで利用できます。
- 各社発行証明書をダウンロードする際のパケット通信料は有料です。

◆端末暗証番号入力省略設定

各社発行証明書を利用するときは、端末暗証番号を入力することで認証を行います。認証が完了した各社発行証明書を再び利用するときに、端末暗証番号入力を省略するかを設定します。

1 MENU **2** **9** **3** **3** **1** ▶ **1** または **2**

i モーション・ムービー / i チャネル / i コンシェル

i モーション・ムービー

i モーション・ムービー	176
i モーション・ムービーの取得	176
動画自動再生設定	177

i チャネル

i チャネル	177
i チャネルの表示	178
テロップ表示設定	178
i チャネル初期化	178

i コンシェル

i コンシェル	179
i コンシェルの表示	179
インフォメーション受信	180
インフォメーション表示設定	180

i モーション・ムービー

サイトやホームページから i モーション・ムービーなど、映像や音を取得します。

❖ i モーション

- 最大50MバイトのMP4 (Mobile MP4) 形式の i モーションを再生・保存できます。ASF形式の i モーションには対応していません。
- 再生できる i モーションは次のとおりです。

種類	再生動作
標準タイプ (保存可*)	i モーションのデータを取得しながら再生。取得完了後は、データを取得後に再生する i モーションと同様に操作可能。 i モーションのデータをすべて取得後に再生。
ストリーミングタイプ (保存不可)	i モーションのデータを取得しながら再生。再生終了後、i モーションのデータは消去。

* 保存できない i モーションもあります。

❖ ムービー

- i モードでは最大10Mバイト、フルブラウザでは無制限にWindows Media Video (WMV) およびWindows Media Audio (WMA) を再生できます。ただし、保存はできません。
- ムービーのダウンロードには大容量のデータを受信する可能性があります。データ量の多い通信を行うとパケット通信料が高額になりますので、ご注意ください。パケット通信料および料金プランの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- サイトやホームページによっては動作環境（ブラウザ種別、OSなど）を確認することがあり、FOMA端末で再生できない場合があります。

- 再生できるムービーは次のとおりです。

種類	配信方式	再生動作
ストリーミングタイプ (保存不可)	ライブ配信	リアルタイムに配信。一時停止／再生再開／再生位置の移動などはできません。
	オンデマンド配信	あらかじめ用意されたムービーを配信。

ファイル拡張子	Windows Mediaファイル メタファイル : wvx、wax、asx メディアデータ : wma、wmv、asf
コーデック	<ul style="list-style-type: none">Windows Media Video 9 (Main Profileレベル)Windows Media Audio 2～9 (Windows Media Audio Standardレベル3)
最大ビットレート*	ビデオ : 20Mbps オーディオ : 384kbps
最大フレームレート	60fps
最大画面サイズ	フルHD (横1920×縦1080)

* FOMAハイスピードエリアでの最大値であり、実際の転送量を保証するものではありません。

i モーション・ムービーの取得

i モーションは再生・保存が、ムービーは再生ができます。

1 サイトやホームページ表示中に i モーション・ムービーを選択

- データ取得中またはダウンロード完了後に再生が開始されます。
i モーションを保存する場合は操作2に進みます。ムービーは再生が終了すると自動的にサイト画面に戻ります。
- 取得中に□を押すと、取得を中止します。
 - 再生中の操作→P271 「動画／i モーション再生中の操作」

2 「保存」▶保存先のフォルダにカーソル▶[確定]

- ・「再生」を選択すると先頭から再生されます。
- ・ストリーミングタイプの i モーションは「戻る」を選択するとサイト画面に戻ります。

✓お知らせ

〈i モーション・ムービー共通〉

- ・再生回数や再生期限などの再生制限が設定されている場合があります。
- ・データ取得中に再生期限、再生期間が過ぎた場合は再生および保存はできません。
- ・データが不正だった場合、取得が中止されることがあります。
- ・情報表示では、i モーション・ムービーによって表示される項目が異なります。
- ・再生中に電話着信やアラーム動作などがあった場合、再生が一時停止することがあります。
- ・再生中にデータの受信待ちになり、再生が一時停止する場合があります。データを受信し始めると自動的に再生を再開します。
- ・再生中に電波状況などにより再生ができなくなったり、画像が乱れたりする場合があります。このような場合でも、データを正常に受信していた場合は取得後に再生できます。ただし、取得したデータを正しく再生できない場合もあります。
- ・最大保存件数／領域を超えたとき→P291

〈i モーション〉

- ・データの取得を中止した場合、ファイルサイズが500Kバイトより大きく50Mバイトまでの部分保存できる i モーションの場合は、再開の確認画面が表示されます。「いいえ」を選択すると部分保存の確認画面が表示されます。部分保存すると i モーション一覧から残りを取得できます。→P272 「動画/i モーション再生中の操作」のお知らせ
- ・i モーションにテロップ（テキスト）が含まれていてもテロップ（テキスト）は再生できません。
- ・i アプリから i モーションを利用して、保存する前に詳細情報（→P289）を表示したときに着信音設定および着信画面設定が「可」と表示されても、保存できない場合があります。その場合には、着信音および着信画像に設定できません。

〈ムービー〉

- ・ムービーによっては操作が異なる場合があります。
- ・ライセンスにより保護されたムービーを再生できます。ただし、ライセンスの設定によってFOMA端末で再生できないことがあります。
- ・i モードからの起動時は10Mバイトまで取得／再生し、再生後にサイズを超えた旨のメッセージが表示されます。
- ・複数のムービーを含むサイトの場合、i モードでは先頭のみを、フルブラウザではすべてを連続して取得／再生します。

動画自動再生設定

サイトから標準タイプの i モーションを取得中、または取得後に自動的に再生するかを設定します。

1 MENU 2 9 1 3 ▶ 1 または 2

✓お知らせ

- ・「自動再生しない」に設定しても、取得完了画面で「再生」を選択すると再生できます。

i チャネル

ニュースや天気などの情報が i チャネル対応端末に配信されるサービスです。自動的に受信した最新の情報が待受画面にテロップとして流れたり、[CLR]を押すことでチャネル一覧に表示されたりします（チャネル一覧の表示方法→P178）。

また、i チャネルにはドコモが提供する「ベーシックチャネル」とIP（情報サービス提供者）が提供する「おこのみチャネル」の2種類があります。「ベーシックチャネル」は、配信される情報の自動更新時にパケット通信料はかかりません。お好きなチャネルを登録して利用できる「おこのみチャネル」は、情報の自動更新時に別途パケット通信料がかかります。「ベーシックチャネル」「おこのみチャネル」とともに詳細情報を閲覧する場合は、別途パケット通信料がかかりますのでご注意ください。海外をご利用の場合は、自動更新・詳細情報の閲覧とともにパケット通信料がかかります。

- ・i チャネルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みには i モード契約が必要です）。
- ・i チャネルの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

i チャネルの表示

i チャネルを表示すると、テロップで流れている情報の詳細を見ることができます。

1 待受画面で [CLR] ▶ チャネルを選択

- ・ i アプリ待受画面を設定しているときは、[CLR] を 1 秒以上押します。サイトに接続され、詳細情報が表示されます。

✓お知らせ

- ・ 情報受信中は  が点滅します。
- ・ 情報を受信しても、着信音、バイブレータ、ランプは動作しません。
- ・ 次の場合は、待受画面で [CLR] を押して i チャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、テロップが表示されるようになります。
 - FOMA 端末の電源が切れていったり、圏外などで情報を受信できなかったとき
 - 他の i チャネル対応端末にドコモ mini UIM カードを差し替えたとき
 - 接続先を変更したとき → P171
 - i チャネルを初期化したとき → P178
- ・ i チャネルサービスまたは i モードサービスを解約するとテロップは表示されなくなり、[CLR] を押すと未契約時の画面が表示されます。ただし、解約の手続きが完了するまではテロップが表示され、[CLR] を押すと最後に受信した情報が i チャネル一覧に表示される場合があります。
- ・ 使用状況により i チャネル一覧を表示したときに情報を受信する場合があります。
- ・ 表示中の操作は「ブラウザ画面の見かたと操作」(→P159) をご覧ください。ただし、i チャネル一覧を表示中は、次のように一部操作が異なります。
 - 情報の再読み込み : **MENU 1**
 - サウンド設定 : **MENU 2**
 - タブを新しく開く／閉じる／切り替え : **MENU 3**
 - ポイント表示設定 : **MENU 4** ▶ **1** または **2**
- ・ コンテンツによってはポイントで操作できない場合があります。その場合は、i チャネル一覧でポイント表示設定を「表示しない」にして操作してください。

テロップ表示設定

待受画面に表示される i チャネルのテロップを設定します。

1 **MENU 2 6 2** ▶ 各項目を設定 ▶ 【登録】

✓お知らせ

- ・ i チャネルサービス解約前に i モードサービス解約を行った場合、「表示する」に設定されたままになっています。

i チャネル初期化

i チャネルの情報を初期化し、テロップ表示設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 **MENU 2 6 3** ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

✓お知らせ

- ・ i チャネル初期化を行うと、待受画面のテロップは表示されなくなります。待受画面で [CLR] を押して i チャネル一覧を表示すると、最新の情報が受信され、待受画面にテロップが表示されるようになります。

i コンシェル

i コンシェルとは、執事やコンシェルジュのように、お客様の生活をサポートするサービスです。お客様のさまざまなデータ（お住まいのエリア情報、メモ、スケジュール、トルカ、電話帳など）をお預かりし、メモやスケジュールの内容、生活エリアやお客様の居場所、趣味嗜好にあわせた情報を適切なタイミングでお届けします。FOMA端末に保存されたメモやスケジュール、ToDoに対して、関連する情報をお伝えしたり、スケジュールやトルカを自動で最新の情報に更新したり、電話帳にお店の営業時間などの役立つ情報を自動で追加したりもします。また、お預かりしているスケジュールや画像を友達や家族などのグループと共有することができます。お預かりしている画像は簡単にプリントすることもできます。i コンシェルの情報は、待受画面上でマチキャラ（待受画面上のキャラクタ）がお知らせします。

- i コンシェルはお申し込みが必要な有料サービスです（お申し込みにはi モードの契約が必要です）。
- ケータイデータお預かりサービス（→P119）のご契約をされていないお客様が、i コンシェルを新たにご契約になる場合、同時にケータイデータお預かりサービスにもご契約いただいたことになります。
- コンテンツ（インフォメーション、i スケジュールなど）によっては、i コンシェルの月額使用料のほかに、別途情報料がかかる場合があります。
- インフォメーションの受信には一部を除いて別途パケット通信料がかかります。
- 詳細情報のご利用には別途パケット通信料がかかります。
- i コンシェルを海外でご利用になるには、海外利用設定が必要となります。海外でご利用になる場合は[MENU]▶[]→「設定」→「基本設定」→「プロフィール設定／海外利用設定」→「海外利用設定」の「変更する」を選択して設定を変更してください。なお、国際ローミングサービスご利用の際は、受信・詳細情報の閲覧ともにパケット通信料がかかります。また、海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。
- i スケジュール・メモ・トルカ・電話帳などの自動更新時には別途パケット通信料がかかります。
- i コンシェルの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- i スケジュールのダウンドロー→P168
- i コンシェルの機能は予告なしに変更される場合があります。

i コンシェルの表示

受信したインフォメーションの詳細を表示したり、メモを作成したり、i コンシェルメニューから簡単にスケジュールや今日の予定、トルカを表示したりできます。

1 [MENU] []

2 目的の操作を行う

クイックメモ／フォトメモの作成：「クイックメモ」または「フォトメモ」

- クイックメモやフォトメモを選択すると、i コンシェル画面から簡単にメモを作成できます。

メモ一覧表示：「メモ一覧」

- メモの作成方法や一覧表示→P317

インフォメーションの詳細表示：「インフォメーション一覧」▶インフォメーションを選択

今日の予定を表示：「今日の予定」

今日の予定通知設定：「今日の予定」▶[] [登録]

- 指定した時間になると、待受画面にポップアップメッセージが表示されます。ポップアップメッセージを選択すると、その日に予定しているメモ（スケジュール・ToDo）や天気情報、今日は何の日情報などを一覧で確認できます。

- 通知する曜日を「なし」にすると、今日の予定通知設定を解除できます。

スケジュールやトルカを表示：「スケジューラ」または「トルカ」

i コンシェルでのオートGPS利用設定：「オートGPS」▶「オートGPS設定」▶「利用する」または「利用しない」

インフォメーション受信

FOMA端末が圏内にあるときには、自動的にインフォメーションが送られてきます。

- 受信したインフォメーションは最大50件保存できます。超過すると古いものから順に上書きされます。

1 インフォメーションを受信

ステータスエリアのCが点灯し、ランプが点灯または点滅し、iコンシェル着信音が鳴ってインフォメーションが表示されます。

- 複数のインフォメーションを受信した場合は、ステータスエリアのCが15秒間点滅します。

2 待受画面でポップアップメッセージを選択

- 一度に複数のインフォメーションを受信した場合は、最新の1件が待受画面に表示されます。
- インフォメーションによってiコンシェル画面やリンク先のサイトが表示されたり、受信前の画面に戻ったりします。
- CLRまたは-を押すと受信前の画面に戻ります。

3 インフォメーションを選択

- インフォメーションには、スケジュールのメモやiスケジュール、トルカが添付されていたり、より詳細な情報や関連情報を見るためのサイトへのリンク項目があったりする場合があります。内容を確認するにはアイコンを選択します。

削除：インフォメーションにカーソル▶E【削除】▶「はい」

- インフォメーションによっては削除できない場合があります。

✓お知らせ

- インフォメーション表示設定が「表示しない」の場合は、インフォメーションは表示されません。
- インフォメーションによっては、受信時にステータスエリアのCの点灯、ランプの点灯または点滅、iコンシェル着信音は鳴動しません。
- FOMA端末の操作中に受信した場合は、メールの受信・自動送信表示に従って動作します。「通知優先」の場合はインフォメーションを受信した旨のメッセージが表示されます。
- インフォメーション受信時は、ecoモードが一時的に解除されます。

インフォメーション表示設定

iコンシェルのインフォメーションを受信した際に、待受画面や背面ディスプレイに表示するかを設定します。

1 MENU 8 1 2 7 ▶ 1 または 2

カメラをご使用になる前に	182
静止画撮影	184
動画撮影	187
撮影時の便利な操作	187
撮影時の設定変更	189
撮影効果の設定	193
バーコードリーダー	195
名刺リーダー	197

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびサイトやインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

お客様が本FOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラをご使用になる前に

◆撮影前の注意事項

- ・カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- ・暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影する画像が劣化することがあります。
- ・レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- ・カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- ・F-07Fはプールの水の中で静止画／動画撮影ができますが、水中ではカメラの各機能が十分に発揮されない場合があります。なお、水中での撮影は、防水性能に関する記載をよく読んでから行ってください。→P17

◆撮影中の注意事項やカメラの特性について

- ・カメラ動作中の発熱によりFOMA端末内部の温度が高くなった場合、FOMA端末保護のため、最大撮影時間に達していないても録画やカメラ機能を終了する場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってからカメラ機能をご利用ください。なお、本現象は異常な状態ではありません。
- ・カメラの起動直後や設定変更直後には、画像の色合いや明るさが最適になるまで時間がかかる場合があります。また、設定によっては撮影画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- ・他の機能からカメラを起動したときや i アプリが動作中のときは、利用できない機能や変更できない設定があります。
- ・各種の音量設定やマナーモード、公共モードの設定に関わらず、シャッター音や手動オートフォーカスロック音、セルフタイマーのカウントダウン音は鳴ります。
- ・撮影待機中にFOMA端末を閉じる、または約2分間キー操作をしないと、カメラは終了します。
- ・電池残量が10%以下の場合は、カメラを起動できません。

- ・太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- ・レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- ・蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合が異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- ・シャッター音が鳴ってから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。画面が切り替わるまで、FOMA端末を動かさないでください。
- ・速く動いている被写体を撮影すると、シャッター音が鳴ったときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- ・動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- ・至近距離で撮影すると、撮影お知らせランプの光が撮影画像に映りこむことがあります。
- ・撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- ・持ちかたにより、ライトを手でふさぐ場合がありますので、ご注意ください。
- ・手ぶれにご注意ください。FOMA端末は手ぶれ補正を行えますが、撮影環境や被写体によっては効果が薄くなる場合があります。FOMA端末が動かないようにしっかりと持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。
- ・撮影中や撮影後に電池が切れそうになるとカメラを終了し、その時点まで撮影した画像を自動的に保存します。
- ・撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

◆撮影スタイル

FOMA端末を開いて撮影を行います。

◆静止画ファイル／動画ファイル

静止画ファイル

ファイル形式	JPEG (Exif2.2形式、PRINT Image Matching III対応*、拡張子：jpg)
--------	--

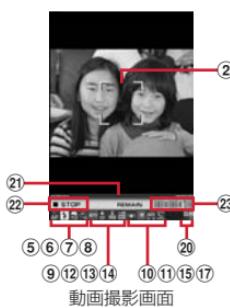
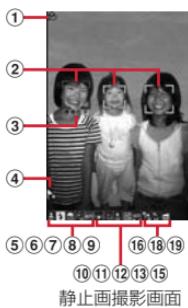
* アートカメラが「モノクロ」「セピア」以外の場合は非対応です。

動画ファイル

画像サイズ	QCIF	QVGA	VGA	HD	フルHD	
ファイル形式	MP4 (拡張子：3gp)					
映像コーデック	MPEG4		H.264			
音声コーデック	AAC LC		AAC			

- ・タイトルには撮影した日時が自動的に付けられます。ただし動画ファイルでは、画像サイズが「HD (1280×720)」「フルHD (1920×1080)」の場合は日時の前に「HD_」、なめらかスローモーションで撮影した場合は「Slow_」、クイックモーションで撮影した場合は「Quick_」が付きます。

◆撮影画面の見かた



① 自動縦横判定→P192

説明：傾きに合わせて向きを変えます。

② フォーカス枠、顔検出枠→P187

③ 検出された人物の名前（サーチミーフォーカス）→P190

④ 自動位置情報付加→P192

説明：位置情報取得済み 未取得

⑤ AFモード→P190、オートフォーカス→P187

標準：標準 対応：接写 优先：顔優先AF

(緑)：フォーカスロック状態 (赤)：フォーカス調整中

⑥ 撮影用ライト→P188

オフ：ライトON

⑦ 明るさ調整→P188

+2/+1/0/-1/-2

⑧ セルフタイマー→P191

2秒/5秒/10秒

⑨ シーン別撮影→P193、ぼかし強調→P194

静止画撮影

自動：自動シーン認識 標準：標準 夜景：風景 人物：人物

逆光：逆光 スポーツ：スポーツ 文字：文字 ホワイトボード：高感度

ぼかし強調 弱：ぼかし強調 強：ぼかし強調 強

動画撮影

オート：オート 風景：風景 逆光：逆光 スポーツ：スポーツ

⑩ 手ぶれ補正→P191

手ぶれ補正ON

⑪ 連続撮影自動（撮影枚数）→P185、パノラマ撮影（撮影枚数）→P185、アートカメラ→P193、HDR→P194

静止画撮影

～：撮影枚数（撮影待機時は最大撮影枚数、パノラマ撮影時は撮影中の枚数）

アートカメラ設定中

HDR 弱：HDR 強：HDR 強

動画撮影

アートカメラ設定中

⑫ 画質→P189、共通再生モード→P192

ECONOMY：ECONOMY NORMAL：NORMAL FINE：FINE SUPER FINE：SUPER FINE

共通再生ON

⑬ 画像サイズ→P189

- 静止画撮影

■: 3096×4128 ■: 2252×4000 ■: 1944×2592
■: 1536×2048 ■: 1080×1920 ■: 480×854
■: 480×640 ■: 240×320 ■: 176×144
・動画撮影
■: 1920×1080 ■: 1280×720 ■: 640×480 ■: 320×240
■: 176×144

⑭ スナップムービー→P187、ファイルサイズ制限→P189

■: スナップムービー
■: メール用（短） ■: メール用（長）

⑮ ホワイトバランス→P193

■: オート ■: 太陽光 ■: くもり ■: 蛍光灯 ■: 電球

⑯ クイック撮影→P184、ベストショットセレクト→P185、パノラマ撮影→P185

■: クイック撮影 ■: ベストショットセレクト ■: パノラマ撮影

⑰ スロー／クイックモーション→P194

■: なめらかスローモーション ■: クイックモーション

⑯ ト r a c k i n g フ o r c u s → P 1 9 0

■: ト r a c k i n g フ o r c u s O N

⑯ 歪み補正→P192

■: 活字文書 ■: 手書き文書

⑯ 撮影種別（映像・音声切替）→P192

■: 映像+音声 ■: 映像 ■: 音声

⑯ ズーム→P188

- 静止画撮影では、ズーム操作時に表示されます。

⑯ 録画／録音状態

⑯ 残り撮影時間（目安）

静止画撮影

静止画を撮影します。

◆ 通常撮影

通常の静止画を撮影します。



撮影待機状態になり、撮影お知らせランプが点滅します。

2 カメラを被写体に向ける

撮影モードの切り替え：[MENU] [設定] ▶ [6] [撮影モード] ▶ 項目を選択
▶ [MENU] [閉じる]

3 [■] または [●]

シャッター音が鳴り撮影お知らせランプが点灯します。

- 自動保存モードが「ON」の場合は、静止画が保存されます。

✓ お知らせ

- 逆光での撮影時などに自動的にコントラストを補正します。
- 画像サイズ、画質、保存先によっては、撮影した静止画の保存に時間がかかる場合があります。
- 撮影直後に、着信やアラームなどで画面が切り替わると、画像が破棄されることがあります。

◆ クイック撮影

静止画撮影時、撮影動作をしてから実際にシャッターが切られるまでの時間差が少なく、また撮影から保存までがすばやくできる撮影モードにします。設定すると、関連する各種設定が自動的に変更されます。

1 静止画撮影画面で [MENU] [設定] ▶ [6] [撮影モード] ▶ [2]
[クイック撮影] ▶ [MENU] [閉じる] ▶ カメラを被写体に向ける
▶ [■] または [●]

- 撮影後の確認画面は表示されません。

◆ベストショットセレクト

静止画撮影時に、撮影動作を行う前後の静止画を約0.13秒間隔で7枚撮影します。撮影後、FOMA端末がベストショットを推薦します。

- ・推薦されるベストショットは、フレから判断されます。

1 静止画撮影画面で[MENU] [設定] ▶ [6] [撮影モード] ▶ [3] [ベストショットセレクト] ▶ [MENU] [閉じる] ▶ カメラを被写体に向ける▶ [●] [●] または [●]

- ・自動保存モードの設定に関わらず、撮影後の確認画面は表示されます。

2 目的の操作を行う

撮影された静止画のサムネイルが画面下部に表示され、カーソルのある静止画が大きく表示されます。

- ・ベストショットに選ばれた静止画には▲が表示されます。

全て保存 : [●] [全件保存]

1枚保存 : 静止画にカーソル▶ [●] [保存] または [●]

- ・操作後、保存できる静止画がまだある場合は、確認画面に戻ります。

撮影し直す : [CLR]

メールに添付／挿入 : 静止画にカーソル▶ [●] [●／投稿] ▶ [1] または [2]

ブログ／SNSに投稿 : 静止画にカーソル▶ [●] [●／投稿] ▶ [3] ▶ 投稿先にカーソル▶ [MENU] [決定]

位置情報の貼り付け : 静止画にカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ 位置情報貼り付けメニューから機能を選択

位置情報貼り付け／付加／送信メニュー→P251

✓お知らせ

- ・撮影後のベストショットセレクト処理中画面表示中にテレビ電話を着信すると、撮影した静止画は破棄されます。

◆連続撮影自動

静止画撮影時に、最大7枚の静止画を約0.13秒間隔で連続して撮影します。

1 静止画撮影画面で[MENU] [設定] ▶ [6] [撮影モード] ▶ [4] [連続撮影自動] ▶ [MENU] [閉じる] ▶ カメラを被写体に向ける▶ [●] [●] または [●]

- ・自動保存モードが「ON」の場合は、最大撮影枚数撮影すると、撮影した静止画が全て保存されます。

◆パノラマ撮影

静止画撮影時に、カメラの方向を左から右または上から下に少しずつずらして連続で撮影した2~8枚の静止画を合成し、1枚の静止画として保存します。撮影中は、結合部分側に1つ前の撮影画像の約5分の1が透過表示されます。透過部分を重ね合わせるようにして次の撮影を行います。



- ・画像サイズは、「QVGA (240×320)」「VGA (480×640)」「待受 (480×854)」から設定できます。
- ・パノラマ撮影の最大撮影枚数と合成後の最大サイズは次のとおりです。ただし、撮影条件によって合成されるサイズは異なります。

画像サイズ	枚数	合成後の最大画像サイズ
QVGA (240×320)	8	1584×320/2112×240
VGA (480×640)	4	1632×640/2176×480
待受 (480×854)	3	1248×854/2220×480

1 静止画撮影画面で [MENU] [設定] ▶ [6] [撮影モード] ▶ [5]
[パノラマ撮影] ▶ [MENU] [閉じる]

2 カメラを被写体に向ける

合成方向の切り替え : [] [横→縦／縦→横]

3 [] または []

- 最大撮影枚数まで操作3を繰り返します。
- 自動保存モードが「ON」の場合は、最大撮影枚数撮影するか [] を押すと、静止画が合成されて保存されます。ただし、1枚だけ撮影したときは画像が破棄されます。

◆ 静止画撮影後の確認画面での操作

自動保存モードが「OFF」の場合は、次の操作ができます。

- 静止画に位置情報が付加されると、画面左上に [] が表示されます。

■ 通常撮影

保存する : [] [保存] または []

撮影し直す : [CLR]

メールに添付／挿入 : [] [] / [] [] ▶ [1] または [2]

ブログ／SNSに投稿 : [] [] / [] [] ▶ [3] ▶ 投稿先にカーソル ▶ [MENU]
[決定]

高速赤外線（IrSS™）通信 : [] [データ送信] ▶ [1] ▶ 「そのまま送信」または「画像を縮小」

Bluetooth送信 : [] [データ送信] ▶ [2] ▶ [1] または [2]

保存先の選択 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [1] ▶ [1] ~ [3]

- 「microSD」を選択したときは、フォルダにカーソルを合わせて [] を押します。

画像編集 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [2]

- 画像サイズが「待受（480×854）」より大きい場合は、操作できません。

待受画面に設定 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] [1] ▶ 「はい」

- 保存先選択が「microSD」の場合は操作できません。

電話帳の画像に登録 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] [2] ▶ [1] または [2] ▶
「はい」

- 本体上書登録のときは、登録する電話帳を選択します。

- 画像サイズが「3M（1536×2048）」より大きい場合や保存先選択が「microSD」の場合は、操作できません。

位置情報の貼り付け : [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] ▶ 位置情報貼り付けメニューから機能を選択

位置情報貼り付け／付加／送信メニュー → P251

- GPS測定中は、操作できません。

全画面モードで表示 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [5]

■ 連続撮影自動

- 操作後、保存できる静止画がまだある場合は、確認画面に戻ります。

全て保存 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [1]

全て削除 : [MENU] [サブメニュー] ▶ [2]

1枚保存 : 静止画を選択 ▶ [] [保存]

- 全画面表示が可能なときは、1枚表示時に [MENU] を押すと全画面表示されます。

1枚削除 : 静止画にカーソル ▶ [CLR]

- 他にも、「メール添付」「メール挿入」「[]／投稿」「位置情報貼付」の操作ができます。

■ パノラマ撮影

保存する : [] [保存] または []

撮影し直す : [CLR]

- 他にも、「メール添付」「メール挿入」「[]／投稿」「データ送信」「保存先選択」「画面設定」「全画面モード切替」の操作ができます。

動画撮影

音声付きの動画を撮影します。

1 [■]

撮影待機状態になり、撮影お知らせランプが点滅します。

- ・映像・音声切替が「音声のみ」のときは、ランプが「アクア」でゆっくり点滅します。

2 カメラを被写体に向ける▶ [●]【録画／録音】または[■]

シャッター音が鳴り、撮影／録音が始まります。

- ・映像・音声切替が「音声のみ」のときは、ランプが「パブリカ」で点灯します。

3 [●]【停止】または[■]

シャッター音が鳴り、撮影／録音が停止し、保存メニューが表示されます。

- ・制限サイズ（→P189）または制限時間のいずれかに達すると、撮影は自動的に停止します。
- ・撮影時間が1秒以下の動画は保存できません。

4 [1]

動画が保存されます。

メールに添付 : [2]

- ・他にも、サブメニューから「[■]／投稿」「再生」「取消」の操作ができます。

✓お知らせ-----

- ・画像サイズが「フルHD（1920×1080）」のときに使用するmicroSDカードは、SDスピードクラスがClass 4以上のものを推奨します。
- ・イヤホンマイク（別売）などの接続状況に関わらず、マイクから録音されます。
- ・データによっては、設定しているサイズ制限の上限まで撮影や録音ができない場合があります。
- ・撮影中にFOMA端末を閉じると、撮影が中断されて保存メニューが表示されます。
- ・撮影中のボタン操作音が録音されることがあります。
- ・撮影中にアラーム音が鳴った場合、アラーム音が録音されることがあります。

◆スナップムービー

動画撮影の撮影モードを変更し、最長10秒の短い動画を撮影します。

- ・撮影終了5秒前になると、残り撮影時間が赤く表示されます。

1 動画撮影画面で [MENU]【設定】▶ [6]【撮影モード】▶ [2]【スナップムービー】▶ [MENU]【閉じる】▶ カメラを被写体に向ける▶ [●]【録画】または[■]

10秒経過すると自動的に撮影が停止し、保存メニューが表示されます。

- ・撮影中に[●]を押すと、撮影時間が延長されます。ただし、撮影可能時間が10秒以下の場合は操作できません。

✓お知らせ-----

- ・次の場合は、スナップムービーに切り替えられません。
 - ファイルサイズ制限が「制限なし」以外
 - 共通再生モード設定中

撮影時の便利な操作

静止画／動画撮影待機中に、補助操作を行います。

- ・動画撮影時、映像・音声切替が「音声のみ」のときは、映像に関する操作は行えません。

◆オートフォーカス

静止画／動画撮影時にオートフォーカスで撮影対象にピントを合わせます。手動オートフォーカスで任意のタイミングに起動させフォーカスロックできます。

- ・静止画撮影では、撮影直前に自動的にフォーカスロックされます（あらかじめフォーカスロックされている場合を除く）。
- ・赤い顔検出枠または画面中央のフォーカス枠にピントを合わせます。フォーカス枠は、AFモードが「顔優先AF」のときは赤色、それ以外のときは白色で表示され、フォーカスロックされたときは緑色になります。
- ・動画撮影時は、フォーカスロックされていないと自動的にピントを合わせ続けます。ピントが合いにくい場合は、フォーカスロックを行ってください。
- ・オートフォーカスでピントを合わせられる距離は約30cm以上です。また、AFモードが「接写」のときは、約10～40cmです。

- 次のような場合は、オートフォーカスでピントが合わないことがあります。
 - FOMA端末を動かしながら撮影する
 - 色の濃淡がない被写体や、動いている被写体を撮影する
 - 暗い場所や、撮影範囲内にライトなどがある場所で撮影する
 - ・なめらかスローモーション／クイックモーション設定中は利用できません。

■ 手動オートフォーカス／フォーカスロックの解除

- 静止画撮影時は、フォーカスロック時にロック音が鳴ります。
- 動画撮影時は、撮影中も操作できます。

1 撮影画面で []

操作するたびに、手動オートフォーカス／フォーカスロックの解除が切り替わります。

◆ズーム

静止画／動画撮影時に、撮影倍率を変更し被写体を拡大して撮影します。

- 次の場合は、ズームできません。
 - なめらかスローモーション／クイックモーション設定中
 - アートカメラ設定中
 - ・フォーカスロック中は、操作できません。
 - ・動画撮影時は、撮影中にも倍率を変更できます。
 - ・各画像サイズで変更できるカメラの表示倍率は次のとおりです。

画像サイズ	最大表示倍率	
	静止画撮影時	動画撮影時
QCIF (176×144)	約35.1倍 (32段階)	約16.0倍 (32段階)
QVGA (240×320)	約25.8倍 (32段階)	約8.0倍 (32段階)
VGA (480×640)	約12.9倍 (32段階)	約4.0倍 (32段階)
待受 (480×854)	約9.6倍 (32段階)	—
HD (1280×720)	—	約4.0倍 (32段階)
フルHD (1080×1920)	約4.3倍 (6段階)	約4.0倍 (32段階)
3M (1536×2048)	約4.0倍 (6段階)	—
5M (1944×2592)		
9M (2252×4000)		
13M (3096×4128)	約3.0倍 (6段階)	

※ 動画撮影では、すべて横長サイズです。

1 撮影画面で []

- 画面の向きによっては、[]を押します。



倍率を下げる : []

- 画面の向きによっては、[]を押します。

◆ 明るさ調整

静止画／動画撮影時に、画像の明るさを設定します。

- ・フォーカスロック中は、操作できません。

1 撮影画面で []

- 画面の向きによっては、[]を押します。

◆ 撮影用ライト

静止画／動画撮影時に、ライトを点灯します。

- ・動画撮影待機中は点灯しません。

1 撮影画面で [] [ライト]

押すたびに切り替わります。

◆ データBOXの画像を確認

静止画／動画撮影時に、保存済みの画像を表示します。

- ・パノラマ撮影設定中は操作できません。

1 撮影画面で [] [一覧]

- 静止画／動画の表示→P262、270

◆撮影画面のショートカット操作

静止画／動画撮影画面で、ダイヤルキーの **[0]～[9]** や **[]**、**[]** を押すと、機能を動作させたり選択画面などを表示したりできます。また、対応している機能のキーガイドを表示できます。

- ・対応するキーと機能は次のとおりです。

- [1]** : カメラモード切替
- [2]** : 撮影モード
- [3]** : ちらつき調整
- [4]** : 全画面モード切替（静止画撮影時）、映像・音声切替（動画撮影時）
- [5]** : サイズ選択
- [6]** : 画質選択
- [7]** : シーン別撮影
- [8]** : 手ぶれ補正
- [9]** : ホワイトバランス
- [0]** : ガイドの表示
- []** : 保存先選択
- []** : AFモード

撮影時の設定変更

撮影に関するさまざまな設定を変更できます。

- ・動画撮影時、映像・音声切替が「音声のみ」のときは、映像に関する操作は変更できません。
- ・設定を変更すると、別の設定が自動的に変更されることがあります。

◆サイズ選択

静止画／動画撮影時に、画像サイズを選択します。

- ・動画撮影の「フルHD（1920×1080）」「HD（1280×720）」は、常に横画面で撮影します。

- 1 撮影画面で **[MENU]** **[設定]** ▶ **[1]** **[サイズ選択]** ▶ 項目を選択
▶ **[MENU]** **[閉じる]**

✓お知らせ

- ・次の場合は、画像サイズを変更できません。
 - 共通再生モード設定中
 - なめらかスローモーション設定中
- ・歪み補正設定中は、「QVGA（240×320）」以下のサイズは選択できません。
- ・ファイルサイズ制限が「メール用（短）」の場合、「VGA（640×480）」以上のサイズは選択できません。また、「メール用（長）」の場合、「HD（1280×720）」以上のサイズは選択できません。
- ・次の場合は、「QCIF（176×144）」「HD（1280×720）」「フルHD（1920×1080）」のサイズは選択できません。
 - クイックモーション設定中
 - 動画撮影時にアートカメラが「OFF」「モノクロ」「セピア」以外

◆画質選択

静止画／動画撮影時に、撮影する画像の画質を選択します。

- 1 撮影画面で **[MENU]** **[設定]** ▶ **[2]** **[画質選択]** ▶ 項目を選択
▶ **[MENU]** **[閉じる]**

✓お知らせ

- ・次の場合は、画質を変更できません。
 - 共通再生モード設定中
 - なめらかスローモーション／クイックモーション設定中
 - 動画撮影時に画像サイズが「HD（1280×720）」以上
- ・動画撮影の場合、画像サイズ「QCIF（176×144）」以外かつファイルサイズ制限「メール用（短）」のときは、「SUPER FINE」に設定できません。

◆ファイルサイズ制限

動画撮影時に、撮影できるファイルサイズ制限値を設定します。

- ・「メール用（短）」のときは500Kバイト、「メール用（長）」のときは2Mバイトに制限されます。また、「制限なし」では保存先選択が「本体」の場合は36Mバイト、「microSD」の場合は制限時間に達すると、撮影は終了します。

- 1 動画撮影画面で **[MENU]** **[設定]** ▶ **[9]** **[ファイルサイズ制限]** ▶ 項目を選択▶ **[MENU]** **[閉じる]**

◆ AFモード

静止画／動画撮影時に、被写体に合わせて、AF（オートフォーカス）のモードを切り替えます。静止画撮影では「標準」「接写」「顔優先AF」に、動画撮影では「標準」「接写」に切り替えられます。

- ・「接写」にすると、約10～40cm離れた被写体にピントを合わせます。
- ・「顔優先AF」にすると、顔検出機能により人物の顔を検出します。検出した顔に顔検出枠を表示し、顔の明るさを自動的に調整します。最も検出率の高い顔検出枠は赤色で、それ以外は白色で表示されます。

1 撮影画面で [MENU] [設定] ▶ [3] [フォーカス設定] ▶ [1] [AF モード] ▶ 項目を選択 ▶ [MENU] [閉じる]

✓お知らせ

- ・ぼかし強調設定中は、AFモードを切り替えられません。
- ・静止画撮影時にシーン別撮影が「自動シーン認識」の場合は、「接写」に切り替えられません。
- ・次の場合は、「顔優先AF」に切り替えられません。
 - 歪み補正設定中
 - 画像サイズが「QCIF (176×144)」
 - 静止画撮影時にシーン別撮影が「夜景」「ホワイトボード」
- ・顔検出枠は最大10個表示されます。
- ・次の場合や、その他撮影条件により、顔検出されないことがあります。
 - 顔が横や斜めを向いている、傾いている
 - 眼鏡や帽子、マスク、影などで顔の一部が隠れている
 - 顔が画面全体に対して極端に小さい、大きい、暗い
 - 顔が画面の端にある

◆ トラッキングフォーカス

静止画撮影時、手動オートフォーカスを利用したときに、被写体を追跡してピントを合わせ続けます。

1 静止画撮影画面で [MENU] [設定] ▶ [3] [フォーカス設定] ▶ [2] [トラッキングフォーカス] ▶ 項目を選択 ▶ [MENU] [閉じる]

✓お知らせ

- ・次の場合は、トラッキングフォーカスを切り替えられません。
 - シーン別撮影が「自動シーン認識」以外かつクリック撮影設定中以外
 - HDR設定中
 - アートカメラ設定中
 - ぼかし強調設定中
- ・次の場合は、被写体を見失ったり、正しく動作しなかったりすることがあります。
 - 被写体が暗い、小さすぎる、大きすぎる
 - 被写体の動きが速い
 - よく似た被写体が複数ある

◆ サーチミーフォーカス

静止画撮影の顔検出時（→P190）に、登録した顔が自動的に判別されて、名前が表示されます。

登録した顔は、顔検出枠が赤色で表示され、優先的にピントや明るさが調整されます。

- ・登録した顔が複数ある場合は、優先度の番号が若い人物のみ名前が表示され、顔検出枠が赤色になります。

■ 個人認識データの登録

人物の顔を撮影し、サーチミーフォーカスの個人認識データとして登録します。

- ・撮影した静止画は、個人認識データでのみ利用されます。
- ・個人認識データは最大10件登録できます。
- ・顔を傾げず正面に向いて、顔全体がはっきり見える状態で撮影してください。
- ・顔の一部が隠れたり、極端に顔の変化がある表情をしたり、極端に画面がぶれたりすると、登録できない場合があります。

1 静止画撮影画面で [MENU] [設定] ▶ [3] [フォーカス設定]

▶ [3] [サーチミーフォーカス設定]

- ・個人認識データ一覧のサブメニューから「編集」「削除」「並べ替え」の操作ができます。

2 [] [新規] ▶ ガイド枠に対象人物の顔と肩を合わせて [] [または]

シャッター音が鳴り、個人認識用の静止画が撮影されます。

- ・画像サイズなど、変更できない設定があります。

3 ◻【登録】または▣

- 登録できないデータの場合、撮影し直すかどうかの確認画面が表示されます。

4 名前を入力（全角6（半角12）文字以内）▶▣【登録】

✓お知らせ

- 登録した顔に近い顔を探します。人物の確実な判別を保証するものではありません。
- 顔の特徴が似ていると、正しく認識されない場合があります。
- 登録されている顔でも、次のときは個人認識や登録ができない、または正しく認識されない場合があります。
 - 年齢などの要因で顔の特徴が変化した
 - 極端な顔の変化がある表情になっている
 - 帽子やサングラスなどの装飾品の状況が異なる
 - 手ぶれや被写体の動きなどで、極端に撮影画像がぶれている
- 登録している顔を認識しなくなった場合は、登録し直してください。

◆手ぶれ補正

静止画／動画撮影時に、手ぶれ補正を利用するかどうかを設定します。

- 被写体や撮影状況により、補正の効果が得られないことがあります。

1 撮影画面でMENU【設定】▶■【手ぶれ補正】▶項目を選択 ▶MENU【閉じる】

✓お知らせ

- 次の場合は、手ぶれ補正を設定できません。
 - クイック撮影／ベストショットセレクト／連続撮影自動／パノラマ撮影設定中
 - HDR設定中
 - 静止画撮影時にアートカメラ設定中
 - ぼかし強調設定中
 - 共通再生モード設定中
 - なめらかスローモーション／クイックモーション設定中
 - 動画撮影時に画像サイズが「HD (1280×720)」以上

◆セルフタイマー

静止画／動画撮影時に、セルフタイマーを設定します。

- 設定すると、撮影時にカウントダウンが始まり、撮影お知らせランプが点滅します。残り秒数が少なくなると、カウントダウン音の間隔が短くなります。
- カウントダウンを中止するときはCLRを押します。

1 撮影画面でMENU【設定】▶■【セルフタイマー】▶項目を選択 ▶MENU【閉じる】

◆保存先選択

静止画／動画撮影時に、画像の保存先を変更します。

- 保存先について→P260、277

1 撮影画面でMENU【設定】▶■【保存先選択】▶項目を選択 ▶MENU【閉じる】

- 静止画撮影で「microSD」を選択したときは、フォルダにカーソルを合わせて▣を押します。

◆ カメラの詳細設定

静止画／動画撮影時に、カメラの利用に関する設定を行います。

〈例〉 静止画撮影時の詳細設定を行う

1 撮影画面で [MENU] [設定]

2 [9] [詳細設定]

動画撮影時の詳細設定 :  [詳細設定]

3 目的の操作を行う

- ・ [MENU] [閉じる] を押す操作が不要な設定もあります。

ちらつき調整：蛍光灯などの照明下でちらつきや縞模様が現れるフリッカー現象を抑えます。「自動」で不十分なときは、利用している地域に合わせて設定してください。

カメラ設定初期化：「[はい]」を選択すると、カメラの各設定をお買い上げ時の状態に戻します。

自動位置情報付加：自動的に位置情報の取得を行い、撮影した画像に位置情報を付加するかどうかを設定します。

- ・「本体のみ利用」の場合、位置情報は撮影後に測位されます。付加された位置情報は、マイコレクションで利用できます。

照明点灯時間：ディスプレイの照明が点灯する時間を設定します。

シャッター音：シャッター音の種類を設定します。

- ・ シャッター音選択画面で、項目にカーソルを合わせて  を押すと、シャッター音を再生できます。
- ・ 動画撮影のシャッター音は、ボイスレコーダーのシャッター音にも反映されます。

歪み補正^{*1}：文字が読みやすくなるように、画像の歪みを補正します。

全画面モード切替^{*1}：撮影画面上のアイコンなどを、一部を除いて非表示にします。

自動縦横判定^{*1}：「ON」にすると、撮影するFOMA端末の傾きに合わせて、保存される静止画の天地が自動的に切り替わります。

自動保存モード^{*1}：撮影後の確認画面を表示せず自動的に保存するかどうかを設定します。

共通再生モード^{*2}：FOMA端末の機種に関わらず再生可能な設定に制限します。

- ・ 設定すると、関連する各種設定が自動的に変更されます。

映像・音声切替^{*2}：動画の撮影種別を設定します。

※1 静止画撮影時のみ

※2 動画撮影時のみ

✓お知らせ

- ・ 静止画に付加された位置情報は、静止画を取得した人が簡単に見ることができます。位置情報が付加された静止画の取り扱いにはご注意ください。保存後、位置情報付きかどうかはデータBOXの画像一覧のアイコン（→P261）で確認できます。
- ・ 照明点灯時間を「端末設定に従う」にすると、照明設定の照明点灯時間設定（通常時）に従います。
- ・ 歪み補正機能を使っても、完全に歪みを補正できるわけではありません。効果は被写体や撮影状況により異なります。被写体によっては補正を行わない方が自然な場合があります。
- ・ 画像サイズが「QVGA (240×320)」以下の場合は、歪み補正を設定できません。
- ・ 画像サイズが「QCIF (176×144)」の場合は、全画面モード切替を設定できません。
- ・ モーションセンサー設定が「OFF」の場合やパノラマ撮影設定中は、自動縦横判定を設定できません。
- ・ クイック撮影設定中は、自動保存モードを設定できません。
- ・ 共通再生モード設定中は、映像・音声切替を設定できません。

◆ カメラモード切替

静止画／動画撮影時に、動画撮影／静止画撮影、バーコードリーダー、名刺リーダーに切り替えます。

1 撮影画面で [MENU] [設定] ▶ [5] [カメラモード切替] ▶ 項目を選択

撮影効果の設定

静止画／動画撮影時に、シーンに合わせた設定にしたり、さまざまな効果を加えたりします。

- ・設定を変更すると、別の設定が自動的に変更されることがあります。

◆ シーン別撮影

静止画／動画撮影時に、被写体や状況に合わせた撮影設定に切り替えます。

- ・「ホワイトボード」の効果は撮影後に確認できます。

1 撮影画面で [撮影効果] ▶ 1 [シーン別撮影] ▶ 項目を選択 ▶ MENU [閉じる]

■ 自動シーン認識

静止画撮影では、シーン別撮影を「自動シーン認識」にすると、カメラが撮影対象を認識して自動的にピントを合わせ、最適なシーン（標準・人物・夜景・風景・接写）に切り替えます。また、撮影画面上にQRコードを認識すると自動的にデータを読み取ります。

- ・画面中央のフォーカス枠または赤い顔検出枠に、自動的にピントを合わせ続けます。
- ・FOMA端末と被写体を10cm以上離してピントを合わせてください。
- ・QRコードを読み取ると、確認音が鳴り読み取り結果画面が表示されます。また、分割されたQRコードを読み取ったときは、バーコードリーダーに切り替わります。改めて最初のQRコードから読み取ってください。
- ・クイック撮影／ベストショットセレクト／連続撮影自動／パノラマ撮影設定中やセルフタイマー設定中は、QRコードを読み取りません。

✓お知らせ

- ・次の場合は、シーン別撮影を変更できません。
 - クイック撮影設定中
 - ぼかし強調設定中
 - 映像・音声切替が「音声のみ」
- ・次の場合は、静止画撮影の「自動シーン認識」に切り替えられません。
 - パノラマ撮影設定中
 - アートカメラ設定中
- ・ベストショットセレクト／連続撮影自動設定中は、「夜景」に切り替えられません。

・次の場合は、静止画撮影の「ホワイトボード」に切り替えられません。

- ベストショットセレクト／連続撮影自動／パノラマ撮影設定中
- アートカメラ設定中
- HDR設定中

・歪み補正設定中のときは、「逆光」「スポーツ」「文字」「ホワイトボード」「高感度」に切り替えられません。

◆ ホワイトバランス

静止画／動画撮影時に、カメラの色味を環境に合わせて設定します。

1 撮影画面で [撮影効果] ▶ 2 [ホワイトバランス] ▶ 項目を選択 ▶ MENU [閉じる]

✓お知らせ

- ・次の場合は、ホワイトバランスを設定できません。
 - ぼかし強調設定中
 - 映像・音声切替が「音声のみ」

◆ アートカメラ

静止画／動画撮影時、特殊なフィルター機能を使い、特殊効果をかけます。効果のかかりかたの調整もできます。

1 撮影画面で [撮影効果] ▶ 3 [アートカメラ] ▶ 項目を選択 ▶ MENU [閉じる]

効果のかかりかたの調整：アートカメラ設定中に撮影画面で 撮影画面に調整バーが表示されます。

✓お知らせ

- ・次の場合は、アートカメラを設定できません。
 - ファイルサイズ制限が「メール用（短）」
 - 共通再生モード設定中
 - 映像・音声切替が「音声のみ」
- ・なめらかスローモーション設定中は、「OFF」「モノクロ」「セピア」以外に設定できません。
- ・静止画撮影時のフォーカスロック中は、効果のかかりかたの調整ができません。

◆スロー／クイックモーション

動画撮影時、通常より細かいコマ間隔で撮影（なめらかスローモーション）したり、粗いコマ間隔で撮影（クイックモーション）したりすることができます。音声は録音できません。

- なめらかスローモーション／クイックモーションを設定すると、関連する各種設定が自動的に変更されます。

1 動画撮影画面で [] [撮影効果] ▶ [4] [スロー／クイックモーション] ▶ プロジェクトを選択 ▶ [MENU] [閉じる]

- なめらかスローモーション設定中は、横画面で撮影します。

✓お知らせ

- 次の場合は、なめらかスローモーション／クイックモーションを利用できません。
 - ファイルサイズ制限が「メール用（短）」
 - 共通再生モード設定中

◆HDR

露光時間の異なる2枚の画像を撮影し、白飛びや黒つぶれを抑えた静止画を作成します。

1 静止画撮影画面で [] [撮影効果] ▶ [4] [HDR]

2 プロジェクトを選択 ▶ [MENU] [閉じる]

- 「OFF」以外を選択すると、ガイドと次回表示の確認画面が表示されます。

ガイドを表示：項目にカーソル ▶ [] [説明]

✓お知らせ

- 露光の長い撮影をするため、手ぶれに注意してください。
- 動いている被写体を撮影すると、乱れた画像になることがあります。
- 動かしながら撮影したりシャッター音が鳴ってからすぐ動かしたりすると、正しく合成処理が行われません。
- 撮影画面全体が明るかったり暗かったりする場合、HDRの効果が得られない場合があります。

◆ぼかし強調

静止画撮影時に、被写体に対して背景をぼかして撮影できます。

1 静止画撮影画面で [] [撮影効果] ▶ [5] [ぼかし強調]

2 プロジェクトを選択 ▶ [MENU] [閉じる]

- 「OFF」以外を選択すると、簡易ガイドと次回表示の確認画面が表示されます。

詳細ガイドを表示：項目にカーソル ▶ [] [説明]

✓お知らせ

- 被写体とカメラは、20～30cm程度離してください。また、被写体と背景の間に十分な距離（1m以上推奨）をとってください。
- ぼかし強調設定中は、フォーカス枠が表示されません。画面全体から、最も手前に認識した箇所にピントを合わせます。
- ズームしていると、ぼかし強調の効果が出てにくい場合があります。
- 手ぶれしている場合や被写体が動いている場合は、きれいに撮影できません。
- 次の撮影条件などでは、ぼかし強調が正しく動作しないことがあります。
 - 被写体の輪郭部が不鮮明（ぬいぐるみなど）
 - 被写体が極端に細い、細かい、小さい
 - 被写体にピントが合っていない
 - 撮影環境が極端に暗い

◆フレーム撮影

静止画撮影画面に、装飾枠を重ねて撮影できます。

- 画像サイズが「フルHD（1080×1920）」以上の場合は、フレーム撮影できません。

1 静止画撮影画面で [] [撮影効果] ▶ [6] [フレーム撮影]

2 [2] [ON] ▶ フォルダを選択 ▶ フレームを選択 ▶ [] [決定]

解除：[1] [OFF] ▶ [MENU] [閉じる]

バーコードリーダー

JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードのデータを読み取り、利用できます。

- ・バーコードデータは最大5件保存できます。
- ・電池残量が10%以下の場合は、バーコードリーダーを起動できません。
- ・QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- ・横幅の長いコードは全体を画面に写そうとするとピントがぼけて認識できない場合があります。オートフォーカスを使用するか、コードの中心に向かってピントが合う程度までFOMA端末を近づけると、認識しやすくなります。
- ・傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- ・文字入力画面から起動して、読み取った情報を入力できます。→P337

■ JANコードとは

幅の異なる縦の線（バー）で数字を表現しているバーコードです。8桁（JAN8）または13桁（JAN13）のバーコードを読み取れます。

■ QRコードとは

縦横方向の模様で英数字、漢字、ひらがな、カタカナ、絵文字、メロディ、画像などのデータを表現している2次元コードです。

■ NW7コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

■ CODE39コードとは

幅の異なる縦の線（バー）で英数字と記号を表現しているバーコードです。20桁までのデータと2桁の開始記号、停止記号を含むバーコードを読み取れます。

JANコードの一例



4 942857 315721

読み取れる情報

「4942857315721」

NW7コードの一例



A123456789012A

読み取れる情報

「A123456789012A」

QRコードの一例



読み取れる情報

「株式会社NTTドコモ」

CODE39コードの一例



123456ABC

読み取れる情報

「*123456ABC*」

◆ バーコードの読み取り

ディスプレイに表示される画像から自動的にコードを抽出し、データを読み取ります。

- ・コードが読み取りにくい場合は、通常のモード（スルーモード）からシャッターモードに切り替えてください。シャッターモードでは、コードを撮影し、撮影した静止画からデータを読み取ります。静止画は保存されません。

1 MENU 6 1

バーコードリーダーが起動し、読み取りが開始されます。

- ・AFモードが「接写」のときはカメラをコードから約10~40cm離して、「標準」のときは約30cm以上離して読み取ってください。

2 カメラをコードに合わせる

- 読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。
- 約1分間コードを読み取れないとバーコードリーダーは終了します。
 - マークの意味は次のとおりです。

☑：AFモード・接写 AF：AFモード・標準

■（緑）：オートフォーカス成功 ■（赤）：オートフォーカス未完了

◆：ライト点灯中

1～16：読み取り済み分割QRコード数

シャッターモードで読み取り：

① [] 【シャッター】

シャッターモードに切り替わり、撮影待機状態になります。

- 操作するたびに、シャッターモード／スルーモードが切り替わります。
- 撮影待機中に約2分間キー操作をしないと、バーコードリーダーは終了します。

② カメラをコードに合わせて [] 【読み取る】

オートフォーカスが起動し、撮影されます。

分割されたデータを読み取るとき：

複数（最大16個）のQRコードに分割されているデータを連結して表示できます。未取得のデータがある場合、次のデータの読み取り確認画面が表示されるので「はい」を選択し、続けて読み取ってください。

- 次のデータの読み取り確認画面では、読み取りが必要なコードの残数／総数が表示されます。

3 読み取りデータを確認する

- 読み取ったデータは、全角2500（半角5000）文字まで表示できます。

データの保存：[] 【サブメニュー】 ▶ [] 4 ▶ 保存先を選択

- データのファイル名は、読み取った日時が自動的に付けられます。

コードを読み取り直す：[] CLR

✓お知らせ-----

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などの調節により、読み取れることがあります。
- i アプリから起動した場合、読み取ったデータは i アプリで保存、利用されます。

❖ バーコードリーダー利用中の操作

バーコードリーダー読み取り時に、設定変更や保存データの表示をします。

- [] を押さずに対応するショートカットキーを押しても、各メニューを表示できます。

手動オートフォーカスの起動／解除：[]

- スルーモード時は [] を押しても操作できます。

ライトの点灯／消灯：[] [ライト]

ズームOFF／ONの切り替え：[] / []

カメラモードの切り替え：[] [サブメニュー] ▶ [] 1 ▶ [] 1 ~ [] 3

AFモードの切り替え：[] [サブメニュー] ▶ [] 3 ▶ [] 1 または [] 2

ちらつき調整：[] [サブメニュー] ▶ [] 4 ▶ [] 1 ~ [] 3

保存データの表示：[] [一覧] ▶ 保存データを選択

- 保存データにカーソルを合わせて [] 「はい」を押すと、保存データを削除できます。

❖ バーコードデータの主な利用

読み取り結果画面で、読み取ったバーコードデータを利用します。

文字情報の全コピー：[] [全コピー]

情報を電話帳に登録：情報にカーソル ▶ [] [サブメニュー] ▶ [] 1 ▶ [] 1

または [] 2 ▶ 「はい」 ▶ [] 1 または [] 2 ▶ 電話帳登録

- 更新登録するときは、登録する電話帳を選択します。

i モードメールの作成：メールアドレスを選択 ▶ 「はい」

サイトまたはホームページに接続：URLを選択 ▶ 「i モード接続」／「フルブラウザ接続」

URLをBookmarkに登録：URLにカーソル ▶ [] [サブメニュー] ▶ [] 2 ▶

「i モード登録」または「フルブラウザ登録」 ▶ タイトルを編集 ▶ 「OK」 ▶

登録先フォルダを選択

電話をかける：電話番号を選択 ▶ 発信条件を設定 ▶ [] [発信]

発信オプション→P57

SMSの作成：電話番号を選択 ▶ 発信方法欄を選択 ▶ [] ▶ [] [発信] ▶ 「はい」

名刺リーダー

カメラで名刺を撮影して情報を読み取り、電話帳に登録できます。また、読み取り時の画像を保存することもできます。

- ・画像保存をONに設定した場合のみ、画像を登録します。
- ・テキストメモに、登録日の日付が登録されます。
- ・電話帳に登録可能な件数と文字数を超過した情報は、破棄されます。

1 MENU [6] ► 「名刺リーダー」

名刺撮影画面が表示されます。

- ・撮影待機中に[**1**]を押すと、手動オートフォーカスを起動／解除できます。また、[**2**]を押すと、ライトのON／OFFを切り替えられます。
- ・マークの意味は次のとおりです。

盤：ライトON

- AF(黒) / AF(緑) / AF(赤)：オートフォーカス集中／成功／失敗
- ・撮影待機中にMENU [**1**] ► [**1**] ~ [**3**]を押すとちらつき調整ができます。
 - ・撮影待機中にMENU [**2**]を押すと、画像保存のON／OFFが切り替わります。
 - ・撮影待機中に約1分間キー操作をしないと、名刺リーダーは終了します。

2 名刺をガイド枠に合わせて [撮影] または [登録]

シャッター音が鳴り、名刺が撮影されて情報が読み取られます。

- ・情報の読み取りには、約7~15秒かかります。
- ・名刺全体がガイド枠に納まるように撮影してください。
- ・カメラを名刺から約10cm以上離して撮影してください。
- ・名刺以外のものを一緒に撮影すると、正しく読み取れない場合があります。
- ・文字がディスプレイに対して縦／横どちらの向きでも読み取れますが、斜めにはしないでください。
- ・横長の名刺をガイド枠に合わせるときは、右に回転させた状態のほうが、文字認識の処理が早く済みます。
- ・手ぶれなどで画像が乱れると、正しく読み取れない場合があります。
- ・読み取りに失敗したときは、名刺撮影画面に戻ります。画像は保存されません。

カメラモードの切り替え：MENU [サブメニュー] ► [**4**] ► [**1**] ~ [**3**]

3 電話帳を編集 ► [登録]

- ・画像保存がONのときに電話帳を登録すると、撮影した名刺画像はマイピクチャの「名刺」フォルダに保存されます。

✓お知らせ

- ・名刺によっては、文字を読み取れないことや、正しく認識できないことがあります。
- ・次の名刺は、読み取りの対象外です。
 - 縦書きと横書きが混在した名刺
 - 日本語と英語以外の名刺
 - 背景が付いている名刺
 - 手書きの文字や手書き風フォントを使用した名刺
 - ディスプレイなどに表示された名刺
- ・次の名刺は、読み取り機能が低下することがあります。
 - 文字が薄いなど、コントラストが低い名刺
 - 極端に小さい文字を含む名刺
 - 光沢のある用紙に印刷された名刺
 - ロゴまたはロゴ風の書体を含む名刺
 - 文字どうしの間隔が狭く、接触している文字を含む名刺
- ・フリガナは正しい読み方にならないことや、登録されないことがあります。
- ・項目の分類は、正しく認識されないことがあります。

ワンセグ	200
チャンネルの設定	201
ワンセグ視聴	203
番組表 i アプリの利用	205
データ放送	206
テレビリンク	206
マルチウィンドウでのワンセグ視聴	207
ワンセグ録画	207
視聴予約／録画予約	208
ワンセグ視聴・録画のユーザ設定	211

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、iモードを利用して、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

- ・「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会

パソコン：<http://www.dpa.or.jp/>

iモード：<http://www.dpa.or.jp/1seg/k/>

◆ワンセグのご利用にあたって

- ・ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- ・データ放送領域に表示される情報は、映像・音声とともに放送波で表示される「データ放送」と、データ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイト（iモードサイトなどを含む）に接続し表示する「データ放送サイト」の2種類があります。なお、サイトへ接続する場合は、別途iモードのご契約が必要です。
また、サイトを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なもの（iモード有料サイト）があります。
- ・ワンセグ視聴中に自動的にトル力を保存する場合があります。保存したトル力から詳細情報を取得する場合は、パケット通信料がかかります。

◆放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、FOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするためにには、FOMA端末を体から離したり近づけたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

■アナログ放送終了による注意事項

アナログ停波に伴い、チャンネルの再編成が行われる場所があります。そのため、お客様ご自身で自動スキャンによる「自動チャンネル設定」の再設定（→P201）が必要になる場合があります。また、「自動チャンネル設定」によるチャンネルの再設定後はチャンネルリストへの登録を必ず行ってください。

地デジチャンネルリパックの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

総務省テレビ受信者支援センター（デジサポ）チャンネル変更コールセンター
電話番号：0120-922-303

パソコン：<http://www.digisuppo.jp/repack/>

iモード：<http://digisuppo.jp/m/index.php>

◆初めてワンセグを利用する場合の画面表示

初めてワンセグを利用する場合、免責事項の確認画面が表示されます。了承し、「OK」を選択すると、以後同様の確認画面は表示されません。

◆放送用保存領域とは

放送用保存領域とは、ワンセグ専用の端末内保存領域です。放送用保存領域には、データ放送の指示に従いお客様が入力された情報が、テレビ放送事業者（放送局）の設定に基づき保存されます。保存される情報には、クイズの回答結果や、会員番号、性別、年齢、職業など個人情報が含まれる場合があります。保存された情報は、お客様が再度入力することなく、データ放送サイトの閲覧時に表示されたり、テレビ放送事業者（放送局）へ送信される場合があります。放送用保存領域を消去する→P211

別のドコモminiUIMカードに差し替えた場合やドコモminiUIMカード未挿入の場合は、放送用保存領域を初期化するかの確認画面が表示されます。「はい」を選択し、放送用保存領域の初期化を行ってください。「いいえ」を選択すると、放送用保存領域を使用したサービスが利用できません。

■放送用保存領域の読み出し時の画面表示

番組を視聴中に放送用保存領域の保存情報を利用する場合、「放送用保存領域内の情報を利用しますか？同一系列放送局で利用した情報を含む場合があります」と表示されます。「はい」を選択すると、以降は同一番組の視聴中に行われる保存情報の読み出しへについては、画面表示による確認が行われません。また、「はい（以後非表示）」を選択すると、以降、番組が変わっても確認は行われません。

◆ワンセグをご利用の前に

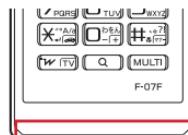
■ワンセグの視聴手順

ワンセグの視聴手順は次のとおりです。

- ①ご利用になる地域に対応したチャンネルリストを作成・設定します。→ P201
- ②ワンセグを起動します。→P203

■ワンセグアンテナについて

ワンセグアンテナは本体に内蔵されており、FOMA端末全体がアンテナの役割をしています。よりよい条件で受信するために、FOMA端末を持ってワンセグ視聴をする場合は、手で覆う部分が最小になるようにしてください。ただし、FOMA端末を閉じているときは、次のイラストに示したアンテナで受信します。録画などをする際は、手などで覆わないようにしてください。



FOMA端末を閉じたときに使用するアンテナ

◆お知らせ

- FOMA端末の故障・修理やその他の取り扱いによって、保存内容が消失・変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。なお、FOMA端末を機種変更や故障修理する際に、お客様が端末内に保存された情報（ワンセグで録画した静止画、テレビリンク、放送用保存領域に保存された情報など）は移し替えできません。
- 充電しながら長時間ワンセグを視聴すると、電池パックの寿命が短くなることがあります。

チャンネルの設定

ワンセグを視聴するには、放送局とチャンネルを登録したチャンネルリストを作成し、視聴する地域に合わせて設定する必要があります。

◆チャンネルリストの作成

現在いる場所で受信できるチャンネルを検索する方法（自動チャンネル設定）と、FOMA端末に登録されている地域の一覧から選ぶ方法（プリセットから設定）があります。

- 自動チャンネル設定は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内で行ってください。
- 視聴する場所によっては、プリセットの地域のチャンネルが視聴できないことがあります。その場合は、自動チャンネル設定を行います。
- 最大10件登録できます。

1 MENU 4 2 7

2 「はい」

- 既に作成済みで新たに作成するときは、**[回]**を押します。

3 「自動チャンネル設定」▶「はい」▶地域を選択

自動チャンネル設定が開始され、終了すると登録確認画面が表示されます。

- 地域を選択するかの確認画面で「いいえ」を選択するとそのまま自動チャンネル設定中の画面が表示されます。このときチャンネルリスト名は作成した日時になります。
- 地域を選択すると、選択した地域のチャンネルが優先的に検索されます。
- 自動チャンネル設定を中断するときは**[□]**を押し、「はい」を選択します。
プリセットから設定：「プリセットから設定」▶地域を選択▶都道府県を選択▶市町村を選択
- 地域によっては都道府県や市町村の選択が省略される場合があります。

4 「はい」

既にチャンネルリストを設定している場合は、作成したチャンネルリストの使用確認画面が表示されます。

✓お知らせ

- 自動チャンネル設定でチャンネルを検索するには約60秒かかります。パソコンやテレビなどノイズの多い機器の近くで操作した場合や、放送局の数、放送電波の状態によっては、さらに時間がかかることがあります。
- 自動チャンネル設定中は、操作確認音が鳴りません。

◆チャンネルリストの設定

視聴地域に合わせて、利用するチャンネルリストを設定します。

- チャンネルリストが1件のみの場合は、自動的に利用するチャンネルリストに設定されます。

1 MENU 4 2 7

2 チャンネルリストにカーソル▶[回]【登録】

設定したチャンネルリストのチャンネル番号一覧が表示されます。

- チャンネルリスト一覧で、設定したチャンネルリストに**[回]**が表示されます。

◆チャンネルリストの操作

チャンネルリストの更新や削除、チャンネル番号の入れ替えなどできます。

1 MENU 4 2 7

2 目的の操作を行う

チャンネルリスト名の変更：チャンネルリストにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[2]▶チャンネルリスト名を入力（全角10（半角20）文字以内）▶[回]【登録】

チャンネルリストの更新：チャンネルリストにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[4]▶更新方法を選択して更新

自動チャンネル設定、プリセットから設定→P201

チャンネルリストの削除：チャンネルリストにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[5]▶[1]または[2]▶「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたチャンネルリストが削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

チャンネル番号一覧の表示：チャンネルリストを選択

- 一覧でチャンネルを選択すると、ワンセグ視聴が起動します。また、チャンネルにカーソルを合わせて**[回]**を押すと、チャンネルの詳細を確認できます。

チャンネル番号の入れ替え：チャンネルリストを選択▶チャンネルにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[1]▶入れ替え先を選択

チャンネルの削除：チャンネルリストを選択▶チャンネルにカーソル▶[MENU]【サブメニュー】▶[2]▶「はい」

✓お知らせ

- ワンセグ視聴中は使用中のチャンネルリストで、チャンネルリストの更新や削除、チャンネル番号の入れ替えなどはできません。

ワンセグ視聴

ワンセグを視聴します。

- 初めて利用するときは確認画面が表示されます。→P200

1 (1秒以上)

- チャンネルリストが未設定の場合は、チャンネル設定の確認画面が表示されます。「OK」を選択してチャンネルリストを作成します。作成後、視聴画面が表示されます。→P202

ワンセグ視聴の終了： ▶ 「はい」

✓お知らせ

- 次の方法でもワンセグ視聴を起動できます。
 - 番組表 i アプリ、メール、メッセージR/F、i チャネル、サイトやホームページなどに表示されているワンセグ視聴用情報などを選択 (Media To) →P169
 - 視聴予約→P208
- 視聴中に、ワンセグ利用や放送用保存領域などに関する確認画面が表示されます。このとき、「はい」(以後非表示)を選択すると、次回から確認画面が表示されなくなり、確認なしにデータ放送やデータ放送サイトの情報が更新されるなどでパケット通信料がかかる場合があります。ドコモminiUIMカードの差し替えや各種設定リセット(基本設定)、データ一括削除、確認表示設定リセットのいずれかを行うと、再度表示されます。
- 場所によって受信できないチャンネルがあります。チャンネルリストの更新や、自動チャンネル設定を行うと、受信することができます。→P201
- 放送電波の状態などにより、音声が途切れる、データ放送が操作できない、映像にブロック状のノイズに入る、または停止することがあります。
- 視聴中に電話の着信、メール・メッセージR/F・SMSの受信(受信・自動送信表示が「通知優先」の場合)、アラームなどの起動があったときは、マルチウィンドウで利用できます。→P207

❖ワンセグ画面の見かた

〈縦標準画面〉



〈横画面(全画面)〉



ワンセグ視聴画面

①字幕(字幕情報がある場合)

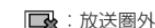
②データ放送またはデータ放送サイト

③リモコン番号

④放送局名(選局中)／番組名(選局終了)

- 視聴中に番組が放送休止になった場合は「放送休止中」と表示されます。
- 横画面では次の番組の名前と放送開始時間も表示されます。

⑤ワンセグ受信の状態



: 放送圏外

強 ← → 弱

・マークの意味は次のとおりです。ただし、画面によって表示されないマークがあります。

■: 録画中のため選局不可 ■: 視聴するサービスの切り替え可→P205

■: ワンセグecoモード中

[S] / [M] / [主] / [副] / [主副]: 音声の状態(ステレオ/モノラル/主音声/副音声/主音声+副音声)

□ + 数字: 音量 □: 音声出力不可

□: Bluetooth機器出力中 □: FMトランスミッタ出力中

□: 本体に録画中 □: microSDカードに録画中

□ + 残り時間: オフタイマー設定中、または視聴予約で終了日時を設定中
(残り時間が99分を超える場合は□のみ表示)

□ + □: オフタイマーを「番組終了まで」に設定中、または視聴予約で終了日時を「自動延長対応」に設定中

□: データ放送またはデータ放送サイトでダイヤルキーで項目の選択可

□: □で視聴画面の切り替え可

-   (1秒以上) でマルチウィンドウまたは同時に実行中の機能に切り替え可
-   アクティブ操作切替ON (テレビ操作モード/データ放送操作モード)
-  放送局からのメッセージ
- 選局中に放送圏外になった場合などは映像、データ放送ともに黒い画面が表示されます。

❖ワンセグ視聴中の基本操作（アクティブ操作切替「OFF」）

表示・効果設定のアクティブ操作切替（→P211）が「OFF」のときの操作は、次のとおりです。なお、の操作は、映像の向きに合わせて変わります。

音量調整： [音量小] /  [音量大] または 

・データ放送領域がないときは  を押しても操作できます。

消音： (1秒以上) または  (1秒以上)

・データ放送領域がないときは  を1秒以上押しても操作できます。

番組表・アプリの起動： [番組表]

・データ放送サイト取得中に操作すると、サイト取得を中断します。

ワンタッチ選局： ~ 、、

・ ~  は1ch~9ch、 は10ch、 は11ch、 は12chに対応します。

・13ch以降は、サブメニューのチャンネル番号一覧から選択します。

・データ放送でキー操作が割り当てられている場合、データ放送の項目を選択する場合があります。

前後のチャンネルの選択：

受信可能な前後の周波数のサーチ： (1秒以上)

・場所を移動したときなどにサーチすると、登録されていない放送局が受信できる場合があります。受信できないときは、視聴中のチャンネルに戻ります。受信できた放送局は、チャンネルに追加登録できます。

データ放送のカーソル移動：

データ放送の項目選択： [決定]

データ放送の前のページへ移動：

・表示されているコンテンツによっては、先頭のページに戻るなどの動作になる場合があります。

静止画線画：

ビデオ録画の開始／停止： (1秒以上)

視聴画面の切り替え

- 縦画面のときは縦標準画面とデータ放送全画面が切り替わり、横画面のときは横画面（全画面）と横画面（映像+データ放送）が切り替わります。ただし、モーションセンサー設定のオートローテーションが「OFF」のときは、各画面が順に切り替わります。

字幕の表示／非表示： (1秒以上)

・字幕情報がない場合は操作できません。

❖ワンセグ視聴中の基本操作（アクティブ操作切替「ON」）

表示・効果設定のアクティブ操作切替（→P211）が「ON」のときの操作は、次のとおりです。なお、の操作は、映像の向きに合わせて変わります。

■ テレビ操作モードとデータ放送操作モード共通の操作

番組表・アプリの起動： [番組表]

・データ放送サイト取得中に操作すると、サイト取得を中断します。

静止画線画： [静止画線画]

ビデオ録画の開始／停止： (1秒以上) /  [録画停止]

操作モードの切り替え： [データ操作/テレビ操作]

・視聴画面によっては操作できません。

視聴画面の切り替え：

・詳細は、アクティブ操作切替「OFF」の項目をご覧ください。

スピーカー出力音声の消音／消音解除：

音量調整：

消音： (1秒以上)

■ テレビ操作モードで有効な操作

音量調整：

消音： (1秒以上)

ワンタッチ選局： ~ 、、

・詳細は、アクティブ操作切替「OFF」の項目をご覧ください。

前後のチャンネルの選択：

受信可能な前後の周波数のサーチ： (1秒以上)

・詳細は、アクティブ操作切替「OFF」の項目をご覧ください。

字幕の表示／非表示： (1秒以上)

・字幕情報がない場合は操作できません。

■ データ放送操作モードで有効な操作

データ放送のカーソル移動：□

データ放送の前後のページへ移動：□

- 前後のページがキャッシュに保存されているときに操作できます。

データ放送の項目選択：□【決定】

- データ放送でキー操作が割り当てられている場合、□[0]～□[9]、□[◀]、□[▶]でも選択できます。

データ放送の前のページへ移動：CLR

- 表示されているコンテンツによっては、先頭のページに戻るなどの動作になる場合があります。

❖ ワンセグ視聴中の便利な操作

視聴画面のサブメニューからさまざまな操作ができます。

チャンネル番号一覧：チャンネルを選択できます。

番組詳細情報：設定されていないときなど、表示されない情報があります。

チャンネルリスト切替：チャンネルリストにカーソルを合わせて□[▼]を押すと、切り替わります。

録画の開始と設定（録画の終了と設定）：「録画開始（録画・視聴終了）」「録画・視聴予約（→P208）」「録画可能時間表示」「録画設定（→P212）」があります。

番組表／紹介メール：「番組表」「紹介メール作成」があります。

- 「紹介メール作成」は、視聴中の番組の視聴用情報をメールで送信します。受信側がMedia To機能に対応した端末の場合、視聴用情報を選択するとワンセグを起動できます。

データ放送：「前ページへ戻る」「次ページへ進む」「再読み込み」「証明書詳細表示」「表示・効果設定（→P211）」「テレビリンク（→P206）」「データ放送に戻る」があります。

- 「前ページへ戻る」「次ページへ進む」は、ページがキャッシュに保存されているときに操作できます。
- 「証明書詳細表示」は、SSL/TLSページ表示中に操作できます。

動作設定：「オフタイマー」「画面設定（→P211）」「音声設定（→P211）」「クローズ動作設定（→P212）」「オートエリア切替」「チャンネル追加登録」「サービス切替」「なめらか表示」「ワンセグecoモード」があります。

- 「オートエリア切替」は、視聴中に視聴地域が変わるとチャンネルリスト変更の確認画面が表示される機能です。チャンネルリストは、自分で作成したもの（□[▼]）とFOMA端末に登録されているもの（□[▶]）から選択します。

- 「チャンネル追加登録」は、最大62件登録できます。

- 「サービス切替」は、同じチャンネル内に別の番組（サービス）が放送されている場合に操作できます。

- 「なめらか表示」は、画像フレーム補間機能により映像がなめらかになります。なお、横画面で有効です（ワンセグecoモード中やマルチウインドウ利用中を除く）。

- 「ワンセグecoモード」を「ON」にすると、照明設定が無効になり、画面を少し暗くしてワンセグ視聴による電力の消費を抑えます。明るい場所では効果を十分に得られないことがあります。

FMトランシッタ出力：「ON／OFF」「周波数設定」「起動時自動出力設定」があります。

Bluetooth出力：「ON／OFF」「起動時自動接続設定」があります。

- 「起動時自動接続設定」を「ON」にすると、ワンセグの起動時にBluetooth機能の通常接続機器（オーディオ）設定を「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。

キー操作一覧：表示中の視聴画面でできるキー操作を確認します。

❖ お知らせ

- オフタイマーの終了時間に表示される確認画面で約30秒間何も操作しないと、ワンセグ視聴は終了します。

番組表 i アプリの利用

番組表からワンセグ視聴を起動したり、視聴予約や録画予約をしたりできます。

- お買い上げ時には番組表 i アプリとして「Gガイド番組表リモコン」が登録されています。「Gガイド番組表リモコン」の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- 利用する番組表 i アプリは、i アプリのソフト動作設定の番組表ボタン設定で設定します。→P227

[MENU] □ [4] □ [2] □ [2]

i アプリが起動し、番組表が表示されます。

データ放送

ワンセグでは、映像・音声に加えてデータ放送を利用できます。データ放送では、文字や画像で番組の関連情報を確認したり、番組と連動したサイトに接続したりできます。

- データ放送とデータ放送サイトについて→P200「ワンセグのご利用にあたって」

1 データ放送表示のある画面で [■] ▶ 項目を選択

選択したページやデータ放送サイトなどが表示されます。

- アクティブ操作切替が「ON」でテレビ操作モードのときは、操作できません。

✓お知らせ-----

- 選択した項目により、確認画面が表示されます。「はい（以後非表示）」を選択すると、次回から確認なしにデータ放送・データ放送サイトの情報が自動的に更新される場合があります。このとき、パケット通信料がかかる場合がありますので注意ください。
- 放送用保存領域の空きが足りない場合は、上書きの確認画面が表示されます。

テレビリンク

データ放送には、サイトやホームページ、メモ情報をテレビリンクとして登録できるものがあります。登録したサイトやホームページ、メモ情報は、データ放送を表示しなくとも直接表示できます。

◆テレビリンクへの登録

データ放送表示中にテレビリンクに登録可能な項目を選択して登録します。

- 最大50件登録できます。

1 テレビリンク登録可能な項目を選択▶「はい」▶フォルダを選択

- 同じURLやメモ情報を登録するとき、最大保存件数を超えるときは、上書きの確認画面が表示されます。

◆テレビリンクの表示

テレビリンクに登録したサイトやホームページ、メモ情報を表示します。

- データ放送やデータ放送サイトを表示中に自動的にテレビリンクリスト表示の確認画面が表示されることがあります。

1 [MENU] 4 2 6 ▶ フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。

■：テレビリンクあり ■：テレビリンクなし

全件削除：フォルダ一覧で [MENU] [サブメニュー] ▶ 4 ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

2 テレビリンクを選択▶「はい」

- マークの意味は次のとおりです。

■：メモ情報 ■：データ放送サイトへのリンク

■：モードサイトへのリンク

■：フルブラウザのホームページへのリンク

- メモ情報を選択したときは、「はい」の選択は不要です。

詳細情報の表示：テレビリンクにカーソル▶ [■] [詳細]

削除：[MENU] [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 1～3 ▶ 「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたテレビリンクが削除されます。

- 選択削除では選択操作▶ [■] が、全件削除では認証操作が必要です。

他のフォルダに移動：テレビリンクにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー]

▶ 3 ▶ 1 または 2 ▶ 移動先のフォルダを選択

- 選択移動では選択操作▶ [■] が必要です。

◆ テレビリンクフォルダの管理

テレビリンクフォルダの作成や削除、並び順の変更などができます。

- ・フォルダは最大20個作成できます。

1 MENU [4] [2] [6]

2 目的の操作を行う

作成：MENU [サブメニュー] ▶ [1] ▶ フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶ [■] [登録]

削除：フォルダにカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ [2] ▶ 認証操作▶ 「はい」

・フォルダが1つのみのときは削除できません。

フォルダ名の変更：フォルダにカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ [3] ▶ フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内）▶ [■] [登録]

並び順の変更：フォルダにカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ [5] または

[6]

ワンセグ録画

映像、音声、データ放送を録画したり（ビデオ録画）、映像を静止画として保存したりします（静止画録画）。

- ・ビデオのタイトルは番組名が、静止画のタイトルは保存日時が付けられます。ファイル名は、保存した日時が付けられます。ただし、microSDカードに保存したビデオのファイル名は異なります。→P277
- ・録画が禁止されている番組は録画できません。また、放送波の受信状態が良くないときは録画できないことがあります。
- ・録画したデータはメール添付、赤外線通信／iC通信による送信、待受画面などへの設定ができません。
- ・1回あたりのビデオ録画は、録画データが2Gバイトに達すると終了します。放送内容などにより異なりますが、時間にして約640分です。
- ・録画したビデオや静止画を見る→P298

◆ ワンセグビデオ録画

映像、音声、データ放送を録画します。

- ・データ放送全画面では録画の開始／終了はできません。
- ・録画設定→P212

1 ワンセグ視聴画面で [■] (1秒以上)

- ・アクティブ操作切替が「ON」のときは、[■]を1秒以上押します。

2 録画終了操作を行う

録画のみ終了して視聴を続行：[■] (1秒以上)

- ・アクティブ操作切替が「ON」のときは、[■]を押します。

視聴のみ終了して録画を続行：[■] ▶ 「視聴のみ終了」

待受画面に[■]または[■]が表示されます。

- ・録画を終了したいときは、フローカスモード中に[■]または[■]を選択して「はい」を選択します。また、マルチタスク切り替えから全機能終了を行っても録画は終了します。→P306

録画と視聴両方を終了：[■] ▶ 「はい」

マルチウィンドウでのワンセグ視聴

マルチタスク（→P305）でワンセグと他の機能を同時に起動しているときに、機能によっては画面を分割表示させて利用できます。

- ・同時に利用する機能が横画面対応の場合は、横画面でもマルチウィンドウを利用できます。
- ・スケジュールや i アプリなど、機能によってはマルチウィンドウで表示できません。
- ・マルチウィンドウ利用中は、ワンセグの映像と音声の両方または片方が中断される場合があります。
- ・マルチウィンドウ利用中のガイド表示領域は、同時に利用している機能に対するガイドが表示されます。

■ マルチウィンドウ利用中の操作

マルチウィンドウとワンセグ視聴画面の切り替え：[W/TV] (1秒以上)

- ・ワンセグ視聴と、i モード、フルブラウザ、i チャネルのいずれかを同時に利用しているときは、[W/TV]を1秒以上押すたびに、マルチウィンドウ→同時に利用している機能の画面→ワンセグ視聴画面の順に切り替わります。
- ・マルチタスクの画面切替メニューからも切り替えられます。

✓お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときはデータBOXやmicroSDカードから不要なデータを削除してください。最大保存件数を超えるときは不要なワンセグのビデオを削除してください。
- 録画中に保存領域の空きが不足すると録画が終了します。なお、保存領域いっぱいまで録画できない場合があります。
- 保存先がmicroSDカードの場合、フルブラウザでデータ取得中などFOMA端末への負荷が大きな機能や、microSDカードを使う他の機能が動作中には録画できないことがあります。
- 録画中はチャンネルやチャンネルリストの切り替え、自動チャンネル設定、オフタイマーの使用、サービス切替はできません。
- 録画中に、電話の着信やメールの受信など、他の機能が起動して映像や音声が中断しても録画は継続します。
- データ放送を録画する場合は、放送波の受信状況がよい状態で約1分以上録画してください。録画時間が短すぎると、データ放送を表示できない場合があります。
- 録画開始直後に放送局外になり、放送波を受信できないまま録画を終了した場合、録画データが保存されない場合があります。
- 番組によっては、録画開始操作を行った時点より少し前の映像や音声から録画される場合があります。

◆ワンセグ静止画録画

映像を静止画として保存します。

- ビデオ録画中は録画できません。また、字幕やデータ放送は録画されません。

1 ワンセグ視聴画面で

- アクティブ操作切替が「ON」のときは、を押します。
- 最大保存件数／領域を超えたとき→P291
- 操作直後にテレビ電話が着信すると、静止画が録画されない場合があります。

視聴予約／録画予約

ワンセグの視聴や録画を予約します。

- 最大登録件数はメモ・スケジュールの登録件数によって変わります。メモ・スケジュールが登録されていない場合、視聴、録画合わせて最大100件です。

1 [MENU] ► [MENU] [サブメニュー] ►

2 入力方法を選択

番組表 i アプリから予約：「番組表」

番組表 i アプリが起動します。視聴予約または録画予約を行います。

視聴予約：「視聴予約」 ► 各項目を設定 ► [登録]

- 番組名は全角100（半角200）文字以内で入力します。
- 開始通知動作のマークの意味は次のとおりです。
 (黄色) / (グレー) : お知らせアラームあり／なし
 : 確認して起動 : 自動起動 : 起動しない
- [MENU] : 録画予約に変更

録画予約：「録画予約」 ► 各項目を設定 ► [登録]

- 番組名は全角100（半角200）文字以内で入力します。
- 録画動作設定は、録画と同時に使用できない機能を利用中に、録画を優先するか、操作を優先するかを設定します。
- 録画動作のマークの意味は次のとおりです。
 : 録画優先 : 操作優先
 : 本体に保存 : microSDカードに保存
 : 本体優先で保存 : microSDカード優先で保存
- 「自動（本体優先）」「自動（microSD優先）」にすると、最大保存件数／領域を超えるなどで優先した録画先に保存できないときは、録画先を自動的に切り替えます。
- [MENU] : 視聴予約に変更

3 [登録]

- 視聴予約のときに開始時刻を過ぎていると、すぐに動作します。
- 録画予約のときに開始時刻の1分前を過ぎていると、録画準備を開始します。

予約内容の変更： [再編集]

✓お知らせ

- ・視聴予約や録画予約はスケジュールにも表示されます。

◆予約した日時になると

❖視聴予約の日時になると

ディスプレイに登録した予約内容が表示されます。FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに予約内容が表示されます。

- ・お知らせアラームが「あり」の場合、イルミネーション設定とキーイルミネーション設定の電話着信に従って動作します。
- ・開始通知設定のワンセグの起動が「確認して起動」または「自動起動」のときは、アラームが鳴っている間に[■]と[ワイヤレス]と[Q]と[MULTI]と[▼]以外のキーを押すと、起動確認画面の表示またはワンセグの起動ができます。
→P204
- ・視聴を終了するには[■]▶「はい」を選択します。

✓お知らせ

- ・同じ日時に複数の視聴予約やメモのアラームを登録すると、登録した日時が最も後の視聴予約またはメモのアラームが有効になります。登録順によってはワンセグ視聴が連動起動されません。起動されなかった視聴予約やメモはアラーム停止後に[■]を押すと確認できます。
- ・録画中に視聴予約の時間になると、起動確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、録画しているものと違うチャンネルのときは、録画が終了します。
- ・次の場合は、ワンセグの起動が「自動起動」になっていても動作せず、開始通知画面が表示されます。開始通知画面で[■]を押すと、起動確認画面の表示またはワンセグ視聴の起動ができます。
 - 通話中に指定した日時になったとき（このとき警告音が鳴ります）
 - アラームが鳴っている間に他の機能が起動したとき
- ・ワンセグと同時利用できない機能を利用中に指定した日時になると、ワンセグの起動の設定に関わらず、ワンセグ視聴を起動できません。

❖録画予約の日時になると

開始日時の1分前になると待受画面で[■]が点滅し、録画準備が開始されます。時間になると点滅が止まり自動的に録画が開始されます。録画中は待受画面に[■]または[■]が表示されます。

- ・録画を中止するには、フォーカスマード中に[■]または[■]を選択して「はい」を選択します。また、マルチタスク切り替えから全機能終了を行っても録画は終了します。→P306

✓お知らせ

- ・放送波の受信状態が悪い場合は録画準備を行い、受信状態が良くなると録画を開始します。
- ・予約時間が重複すると、開始時間が早い予約が遅い予約によって中断されます。ただし、開始時刻が同じ場合は後から登録した予約が優先されます。
- ・ワンセグ利用の確認画面を表示せずに予約を行った場合は録画できません。
→P203
- ・録画中に予約録画の時刻になったときは、予約録画が開始されます。録画中のチャンネルと予約録画のチャンネルが違う場合で、予約録画の録画動作設定が「操作優先」のときは、チャンネルを変更して新たに録画を開始するかどうかの確認画面が表示されます。
- ・ワンセグと同時利用できない機能を利用中に指定した日時になると、録画動作設定（→P208）に従って操作が中断されて録画が開始されるか、録画開始の確認画面が表示されます（一部のアプリでは録画動作設定に関わらず録画開始の確認画面が表示されます）。中断された機能では編集中のデータが破棄があります。
- ・他の機能を利用中に予約録画の準備が開始されたときは、Flash画像が一時停止するなど、利用中の機能の画面表示に影響を与える場合があります。

◆予約録画が終了すると

待受画面に予約録画の結果を示すアイコン（[■]/[■]: 予約録画完了／失敗）が表示されます。

- ・複数の予約録画があるときは最後の録画予約履歴のアイコンが表示されます。
- ・保存先やファイル名、注意事項は視聴中の録画と同じです。→P207
- ・録画予約履歴→P210

◆ ワンセグ予約の確認・操作

予約の確認や編集、削除、ソートなどができます。

1 MENU 4 2 4



〈日付別予約確認画面〉



予約一覧画面

- ① 番組名
- ② 開始時間～終了時間*
- ③ 放送局
- ④ 開始日時

*長期間の予約の場合、開始時間は開始日のみ、終了時間は終了日のみ表示され、その他の日では日付が表示されます。

- [■] を押すと、カレンダー表示とリスト表示が切り替わります。
- カレンダー表示で予約日を選択すると、日付別予約確認画面が表示されます。
- カレンダー表示では、[■] / [■] を押すと、月が切り替わります。
- マークの意味は次のとおりです。

■: 視聴予約 ■: 録画予約

■/■: 繰り返しの予約 ↔/△: 長期間の予約

- カレンダー表示下部、リスト表示、日付別予約確認画面では、開始日時が過ぎたマークはグレーで表示されます。

2 目的の操作を行う

予約詳細画面の表示：リスト表示または日付別予約確認画面で予約を選択

編集：リスト表示または日付別予約確認画面で予約にカーソル▶ MENU [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 予約を編集▶ [■] [登録] ▶ [■] [登録]

削除：MENU [サブメニュー] ▶ 3 ▶ 項目を選択▶ 「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせた予約が削除されます。
- 1日削除で長期間の予約が含まれている場合は、長期間の予約を残して削除するかを選択します。
- 全件削除では認証操作が必要です。
- 操作できる削除の種類は各表示で異なります。

ソート：リスト表示で MENU [サブメニュー] ▶ 4 ▶ 1 ~ 4

録画予約履歴の表示：カレンダー表示またはリスト表示で MENU [サブメニュー] ▶ 5

表示・動作の設定：カレンダー表示またはリスト表示で MENU [サブメニュー] ▶ 6 [1] ▶ 各項目を設定▶ [■] [登録]

- 過去データ自動削除を「削除する」に設定すると予約日時が過ぎた予約が確認なしに削除されます。

カレンダーモードの設定：カレンダー表示で MENU [サブメニュー] ▶ 6 [2] ▶ 各項目を設定▶ [■] [登録]

キー操作一覧の表示：カレンダー表示で MENU [サブメニュー] ▶ 7

✓お知らせ

- 開始から終了まで24時間以上の予約が長期間の予約です。長期間の予約と繰り返しの予約は同時に設定できません。
- リスト表示では、開始日時が過ぎた予約は開始日時が過ぎていない予約の後に表示されます。ただし、ソートした場合や表示・動作設定のソートを「開始日時昇順」以外に設定した場合を除きます。

◆ 録画予約履歴

録画予約履歴を表示します。履歴から録画した番組を再生することもできます。

- 最大50件記録できます。超過すると古いものから上書きされます。
- 他の予約と重なったために取り消されたり、開始日時に電源が入っていないなどで開始できなかった録画予約は記録されません。

1 MENU 4 2 5

- マークの意味は次のとおりです。

■: 預約録画完了 ■: 預約録画失敗

2 目的の操作を行う

履歴の詳細情報の表示：履歴にカーソル▶ [回] [詳細]

録画した番組の再生：完了した履歴を選択

・録画した番組が移動、削除されたときは再生できません。

履歴の削除：[MENU] [サブメニュー] ▶ [1]または[2]▶ 「はい」

・1件削除ではカーソルを合わせた履歴が削除されます。

・全件削除では認証操作が必要です。

ワンセグ視聴・録画のユーザ設定

ワンセグ視聴や録画時のさまざまな設定を行います。

◆ ワンセグ画面設定

照明の明るさ、字幕やアイコンの表示、メールや i コンシェルのインフォメーション受信時のテロップの表示について設定します。

1 [MENU] [4] [2] [8] [1] ▶ 各項目を設定 ▶ [回] [登録]

- 字幕表示を「通話中・マナー時表示」にすると、マナーモード中のワンセグ視聴起動時の音声出力確認画面で「いいえ」を選択したときや音声通話中に、字幕が表示されます。
- 字幕サイズを「大」にすると縦標準画面ではデータ放送が表示されません。
- 横画面（映像+データ放送）の場合、字幕のサイズは変わりません。
- アイコン常時表示を「OFF」にしても、縦標準画面（字幕サイズ「大」）と横画面（映像+データ放送）の画面下部のアイコンは表示されます。
- テロップ表示のメール受信時を「受信動作設定に従う」にすると、電話／メール着信時設定のメール着信時テロップ表示に従います。

◆ ワンセグ音声設定

音声の種類を設定します。

1 [MENU] [4] [2] [8] [2] ▶ 各項目を設定 ▶ [回] [登録]

◆ 表示・効果設定

データ放送サイトの画像表示、効果音再生、アクティブ操作切替について設定します。

1 [MENU] [4] [2] [8] [3] [1] ▶ 各項目を設定 ▶ [回] [登録]

- アクティブ操作切替を「ON」にすると、視聴中やビデオ再生中に [回] を押すたびに、テレビ操作モードとデータ放送操作モードが切り替わります。また、画面の切り替えに合わせて操作モードが切り替わることがあります。
- 画像表示設定は i モードブラウザ設定の画像表示設定にも反映されます。

◆ ワンセグからトルカ取得の設定

ワンセグ視聴中や録画中に配信されるトルカを、自動的にFOMA端末の「トルカフォルダ」に保存するかを設定します。

1 [MENU] [4] [2] [8] [3] [2] ▶ [1]または[2]

◆ 放送用保存領域削除

放送用保存領域内の情報を削除します。

1 [MENU] [4] [2] [8] [3] [3] ▶ 系列放送局または個別事業者にカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [1]または[2]▶ 「はい」

- 個別事業者の保存領域がある場合は、系列放送局を選択します。
- 1件削除ではカーソルを合わせた情報が削除されます。
- 全件削除では認証操作が必要です。

◆ 確認表示設定リセット

データ放送の確認画面で「はい（以後非表示）」を選択した確認画面を再度表示するようにします。

1 [MENU] [4] [2] [8] [3] [4] ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

◆ クローズ動作設定

ワンセグ視聴中（録画中を含む）やビデオ再生中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定します。

1 MENU 4 2 8 4 ▶ 1 ~ 3

- ・「ミュート」にすると、ワンセグ視聴や録画は継続したまま、音声のみ消えます（録画したビデオには音声は記録されます）。ビデオ再生は一時停止されます。
- ・「継続」または「ミュート」にすると、FOMA端末を閉じているときでもデータ放送やデータ放送サイトの情報が更新され、パケット通信料かかる場合があります。

◆ ビデオ再生設定

ワンセグで録画したビデオ再生時の、CM自動スキップ、録画されなかつた部分のスキップ（オートスキップ）、スキップする際に通知するかを設定します。

1 MENU 4 2 8 5 ▶ 各項目を設定 ▶ [回] [登録]

◆ 録画設定

ワンセグで録画するビデオの録画先や録画終了時間を設定します。

- ・録画予約には無効です。

1 MENU 4 2 8 6 ▶ 各項目を設定 ▶ [回] [登録]

- ・録画先は、設定後に録画するものから適用されます。
- ・録画先を「自動（本体優先）」「自動（microSD優先）」にすると、最大保存件数／領域を超えるなどで優先した録画先に保存できないときは、録画先を自動的に切り替えます。

ミュージックプレーヤー

ミュージックプレーヤー	214
音楽データやうた文字の保存	214
ミュージックプレーヤーの画面の見かた	215
音楽データの再生	217
音楽データやうた文字の管理・利用	218
プレイリストの利用	221
 さまざまな操作で音楽を楽しむ	
音楽再生音優先設定	222

音楽データの取り扱いについて

- ・本書では、ミュージックプレーヤーで再生する着うたフル[®]とWMA (Windows Media[®] Audio) ファイルを合わせて「音楽データ」と記載しています。
- ・FOMA端末では、著作権保護技術で保護されたWMAファイルや着うたフル[®]を再生できます。
- ・インターネット上のホームページなどから音楽データをダウンロードする際には、あらかじめ利用条件(許諾、禁止行為など)をよくご確認のうえ、ご利用ください。
- ・著作権保護技術で保護されたWMAファイルは、FOMA端末固有の情報をを利用して再生しています。故障や修理、電話機の変更などでFOMA端末固有の情報が変更された場合は、既存のWMAファイルは再生できなくなることがあります。
- ・CCCD (コピーコントロールCD) の取り扱いや、音楽データをWMAファイルに変換できない場合の対処については、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ・FOMA端末およびmicroSDカードに保存した音楽データは、個人使用の範囲内でのみ使用できます。ご利用にあたっては、著作権などの第三者の知的財産権その他の権利を侵害しないよう十分ご配慮ください。また、FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データは、パソコンなどの他の媒体にコピーまたは移動しないでください。

ミュージックプレーヤー

サイトからダウンロードした着うたフル[®]や、音楽CDやインターネットなどから取得したWindows Media[®] Audio (WMA) ファイルをパソコンから取り込んで再生します。また、サイトからダウンロードしたうた文字を、歌詞設定することでプレーヤー画面に表示することもできます。

- ・ iモードから取得した音声のみの i モーションは、データBOXから再生します（→P270）。microSDカードに保存すればmicroSDカードからも再生できます（→P277、283）。
- ・ 音楽を聴きながらメールや i モードサイトの表示などを利用することができます（バックグラウンド再生）。→P305
- ・ Bluetooth機器やステレオイヤホンセット（またはステレオスピーカー）を利用して、ステレオサウンドで再生できます。
- ・ microSDカードの取り扱いや使用時の留意事項→P276
- ・ ミュージックプレーヤーの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。
- ・ Windows Media Playerについては、お使いのパソコンの各パソコンメーカーにお問い合わせください。

◆ うた・ホーダイ

お客様がコンテンツプロバイダと契約を結んでいる期間のみ再生が可能な着うたフル[®]です。

再生期限は、音楽データとともにダウンロードされるライセンス情報により指定されます。再生期限満了で再生できなくなった場合でも、ライセンス更新を行うことにより再生が可能になります。

音楽データやうた文字の保存

- ・ 最大保存件数／領域を超えたとき→P291
- ・ メモリ確認→P291
- ・ microSDカードの使用状況確認→P285

◆ 着うたフル[®]、うた文字のダウンロード

データをサイトからダウンロードして、FOMA端末またはmicroSDカードに保存します。

- ・ 着うたフル[®]は1件あたり最大5Mバイトで、FOMA端末に最大100件、microSDカードに最大1000件保存できます。
- ・ うた文字は1件あたり最大50Kバイトで、FOMA端末に最大100件保存できます。microSDカードには保存できません。
- ・ うた文字が含まれている着うたフル[®]があります。
- ・ ダウンロード中に再生期限、再生期間を過ぎた場合は、再生および保存はできません。ただし、うた・ホーダイの場合、再生はできませんが、保存はできます。

1 着うたフル[®]またはうた文字があるサイトを表示▶着うたフル[®]またはうた文字を選択

ダウンロードが開始されます。

- ・ ダウンロード中にを押すと、ダウンロードを中止します。

2 「保存」

再生：「再生」

- ・ うた文字では操作できません。

途中までダウンロードした着うたフル[®]の保存：「部分保存」

- ・ ダウンロードが中断され、再開確認画面で「いいえ」を選択したときに操作できます。

情報表示：「情報表示」

保存の中止：「戻る」▶「いいえ」

3 「本体」または「microSD」

- ・ 部分保存の場合、microSDカードには保存できません。
- ・ 歌詞設定できるうた文字があるときは、歌詞設定の確認画面が表示されます。

◆ WMAファイルの保存

Windows Media Playerを利用して、パソコンに保存されているWMAファイルをmicroSDカードに保存します。

- 対応するパソコンのOSとWindows Media Playerのバージョンは、次のとおりです。
 - Windows Vista : Windows Media Player 11
 - Windows 7、Windows 8／8.1 : Windows Media Player 12
- 操作方法については、Windows Media Player10／11／12のヘルプをご覧ください。
- 転送したWMAファイルの操作や表示が遅くなるなど十分な性能が得られないことがあるため、パソコンのOSやWindows Media Playerは常にアップデートしておくことをおすすめします。
- 最大1000件登録できます。FOMA端末には保存できません。
- パソコンからプレイリストを最大100件転送できます。
- 他のFOMA端末でmicroSDカードに保存されたWMAファイルはF-07Fで表示・再生されない場合があります。また、他のFOMA端末でWMAファイルを転送したmicroSDカードを使用すると、MTPモードに切り替えるとパソコンで認識されないことがあります。これらの場合には、WMA一括削除(→P221)を行なうか、microSDカードを初期化(→P285)してください。microSDカードを初期化すると音楽ファイル以外のデータもすべて削除されますのでご注意ください。

1 USBモードを「MTPモード」に設定する

- USBモード→P286

2 Windows Media Playerを起動した状態でパソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続▶パソコンからWMAファイルを転送

- 接続方法→P287

✓お知らせ

- データ転送中にUSBケーブルを外すと、誤動作やデータ消失の原因となります。
- パソコンから音楽データが転送できないときは「ポータブルデバイス用パソコン環境診断」を使用して、お使いのパソコンでの最適な対処方法を確認できます。
ポータブルデバイス用パソコン環境診断については、パソコンから次のホームページをご覧ください。

FMWORLD (<http://www.fmworld.net/>) →携帯電話→WMP環境診断ツール

ミュージックプレーヤーの画面の見かた

■ フォルダ一覧画面

- フォルダや機能の内容は次のとおりです。
 - 続きから再生：前回の続きから再生
 - 全曲：すべてのデータを表示（歌詞設定中のうた文字を除く）
 - プレイリスト：プレイリスト一覧画面を表示
 - アーティスト／アルバム／ジャンル／ファイル種別：各情報別にフォルダを表示
 - 「アーティスト」フォルダを選択すると、さらにアルバム情報別のフォルダ一覧画面が表示されます。
- うた文字：すべてのうた文字を表示（着うたフル[®]に含まれているうた文字を除く）
- i モードで探す：i モードサイトから曲を探す→P214
- 再生中の音楽データがあるフォルダの前には▶が表示されます。

■ プレイリスト一覧画面

- フォルダの内容は次のとおりです。
 - 転送プレイリスト：microSDカードのプレイリスト一覧を表示
 - ユーザプレイリスト：FOMA端末本体のプレイリスト一覧を表示
- アイコンの意味は次のとおりです。
 - ：FOMA端末で作成したプレイリスト（クリックプレイリスト含む）
 - ：パソコンから転送したプレイリスト
- 再生中の音楽データがあるプレイリストの前には▶が表示されます。

■ データ一覧画面



① 現在開いているフォルダ／プレイリスト

② ファイル種別

- 再生中の音楽データの前には♪が表示されます。
- 着うたフル® (着うたフル® (再生回数制限あり))
- 着うたフル® (再生期限制限あり)
- 着うたフル® (再生期間制限あり)
- 着うたフル® (うた・ホーダイ) WMAファイル (うた文字)
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により再生不可の着うたフル®
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のうた文字
- 部分的に取得した着うたフル® (存在しないデータ)

③ タイトル

④ ジャケット画像

⑤ アーティスト名

⑥ 曲の再生時間

⑦ 保存場所

FOMA端末 microSDカード

⑧ 取得元

iモード データ交換

⑨ ファイル制限

△: ファイル制限あり

⑩ DRM情報

△(オレンジ): 再生制限あり (再生可能)

△(グレー): 再生制限あり (再生不可)

⑪ 歌詞設定

♪: 歌詞設定中 △: うた文字が含まれている

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに項目名が表示されます。フォルダやプレイリストの前には①、音楽データの前には♪、うた文字の前には△が、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により再生不可のデータの前には△が表示されます。

■ プレーヤー画面



① 曲タイトル

② アーティスト名

③ 曲のジャケット画像

④ うた文字

⑤ 再生位置インジケーター

⑥ 再生状態

PLAY: 再生中 STOP: 停止中 PAUSE: 一時停止中

FF: 早送り中 FR: 巻き戻し中

⑦ 再生時間／トータル時間

⑧ 曲番号

⑨ 再生モード

⇒: 通常再生 ↪: 1曲リピート ⇨: 全曲リピート

⟳: シャッフル ⇢: シャッフルリピート

⑩ Bluetooth、FMトランスミッタ出力

Bluetooth出力中 FMトランスミッタ出力中

⑪ マナー再生

▢: マナー再生ON

⑫ 再生音量

- FOMA端末を閉じているときは、背面ディスプレイに、マーク、曲番号／フォルダやプレイリスト内の曲数、曲タイトル／アーティスト名が表示されます。マークの意味は次のとおりです。
▶：再生中 ■：停止中 ▨：一時停止中 ☰：1曲リピート
⌚：全曲リピート ✎：シャッフル

✓お知らせ

- FOMA端末のプレイリストに登録されている曲の元データが認識できなくなると、プレイリストで表示される曲名は「不明」になり再生できなくなります。

音楽データの再生

FOMA端末やmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。

- FOMA端末を開いた状態で再生中、プレーヤー画面の照明は常時点灯します。

1 MENU [4] [3]

- サイドキー長押し設定がお買い上げ時の状態のときは、FOMA端末を閉じて[■]を1秒以上押しても、ミュージックプレーヤーを起動できます。
- FOMA端末を閉じているときは、フォルダ・プレイリスト・データー覧画面で[▲][▼]を押すとカーソル移動、[□]を押すと項目の選択ができます。

2 フォルダを選択▶音楽データを選択

- プレーヤー画面が表示され、再生が開始されます。操作によって、ランプが点灯、点滅します。
- フォルダによっては、さらにフォルダやプレイリストを選択する必要があります。
 - プレイリスト一覧画面やデーター覧画面で、[1]を押すと先頭に、[2]～[9]を押すと全項目数の約9分の1ずつ先の位置に、[0]を押すと末尾にカーソルが移動します。
 - ダウンロードに失敗して部分的に取得した着うたフル[®]を選択すると、残りのデータの取得確認画面が表示されます。再取得できなかつたときは、部分的に保存されていたデータは削除されます。
 - 再生期限の更新が必要なうた・ホーダイがある場合は、更新の確認画面が表示されます。→P218

前回の続きから再生：「続きから再生」

プレイリストの再生：「プレイリスト」フォルダを選択▶プレイリストにカーソル▶[再生]

✓お知らせ

- 次の場合は再生が一時停止されます。動作終了後に自動的に再開されます。
 - 電話の着信があったとき
 - メールやメッセージR/F、SMSを受信したとき（受信・自動送信表示が「通知優先」の場合）
 - お知らせタイマーやアラーム、メモのアラームで指定した時刻や日時になったとき
 - 同時に使用できない機能が実行されたとき
- 同時に多くの機能を利用すると、再生中の曲が途切れる場合があります。

❖ プレーヤー画面での操作

プレーヤー画面では、次の操作ができます。

一時停止／再開：[□]【ポーズ／再生】または[■]

- 一時停止中に約2分経過すると停止状態になります。

停止：[□]【停止】

音量調整：[▢]または[▲][▼]

消音／消音解除：[▢]

巻き戻し／早送り：[▢]（1秒以上）

曲の先頭に移動：再生時間が2秒以上で[▢]または[▲]（1秒以上）

前の曲に移動：再生時間が2秒未満で[▢]または[◀]（1秒以上）

次の曲に移動：[▢]または[▼]（1秒以上）

うた文字の全文表示：[▢]【歌詞表示】

タイトル、アーティスト名、作詞者名、歌詞が表示されます。

- うた文字が設定されている音楽データ再生中に操作できます。一時停止中は操作できません。

サイトに接続してうた文字を検索：[▢]【歌詞検索】▶「はい」

- うた文字が未設定の音楽データ再生中に操作できます。

再生しながら1つ前の画面を表示：[CLR]

- プレーヤー画面に戻るには、[CLR]を押します。

再生しながらデーター覧画面とプレーヤー画面を切り替える：[▢]【LIST／PLAYER】

再生位置のジャンプ：[1]～[9]

- [1]を押すと先頭に、[2]～[9]を押すと総再生時間の約9分の1ずつ先の位置にジャンプします。

クリックプレイリストに登録：[▢]をすばやく2回押す

ミュージックプレーヤーの終了：[▢]（1秒以上）

■ サブメニューからの操作

- サブメニューには、「再生設定」「プレイリストに登録」「うた文字」「FMトランスマッタ出力」「Bluetooth出力」「情報表示」「画像表示」「歌詞表示」があります。
- ・「再生設定」には、「再生モード設定」「マナー再生設定」があります。
 - ・「うた文字」には、「歌詞表示」「i モードで探す」「歌詞設定解除」「チューニング」があります。
 - ・「FMトランスマッタ出力」には、「ON/OFF」「周波数設定」「起動時自動出力設定」があります。
 - ・「Bluetooth出力」には、「ON/OFF」「起動時自動接続設定」があります。
 - ・「マナー再生設定」を「ON」にすると、最大音量は「15」になります。
 - ・「プレイリストに登録」は、停止中のみ操作できます。
 - ・「チューニング」では、うた文字の表示されるタイミングを調整します。最大約12秒（レベル24）早くまたは遅くできます。
 - ・「起動時自動接続設定」を「ON」にすると、ミュージックプレーヤーの起動時にBluetooth機能の通常接続機器（オーディオ）設定を「設定」にしたBluetooth機器と自動的に接続を行います。
 - ・「画像表示」「歌詞表示」は、音楽データがJPEGまたはGIF形式の画像や歌詞画像を含む場合のみ操作できます。画像表示中は、[■]を押して保存可能な画像を保存（停止中のみ）したり、[□]を押して前後の画像に切り替えたりできます。

◆ 音楽データに再生制限が設定されているとき

再生回数、再生期限、再生期間の制限がある場合があり、制限を超えると音楽データは再生できなくなります。

- ・着うたフル®の残り再生回数、再生期限、再生期間は情報表示で確認できます。
- ・日付・時刻を変更しても、再生制限の期限や期間は変更できません。

■ うた・ホーダイの再生期限について

期限が過ぎると、再生期限更新の確認画面が表示されます。更新する場合は、[MENU]を押します。

- ・更新にはサイトへの接続が必要です。接続の際にはパケット通信料がかかります。

◆ お知らせ

- ・うた・ホーダイの再生期限には、再生期限が過ぎた後に数日間の猶予期間が設定されている場合があります。
- ・うた・ホーダイをダウンロードした際に使用していたドコモminiUIMカードと異なるドコモminiUIMカードを挿入してミュージックプレーヤーを使用する場合は、データ一括削除をおすめします。→P122
- ・ライセンスの有効期限が切れたサイトからうた・ホーダイをダウンロードすると、ダウンロード前に確認画面が表示されます。[MENU]を押してライセンスを更新するとダウンロードできます。
- ・着信音やアラーム音に設定したうた・ホーダイが再生できなくなった場合は、お買い上げ時の音が鳴ります。
- ・国際ローミング中の再生期限の更新にかかるパケット通信料は、i モードパケット定額サービスの適用対象外です。
- ・再生できなくなったWMAファイルは、パソコンで再生期限内であることを確認し、FOMA端末をパソコンに接続して同期をとると再生できます。→P215
- ・時差のある海外では、うた・ホーダイの再生期限は現地時間で表示されます。日本時間で再生期限が過ぎると、表示されている現地時間に関わらず再生できなくなりますのでご注意ください。

音楽データやうた文字の管理・利用

着うたフル®やWMAファイル、うた文字のデータ管理をしたり、データを利用して歌詞設定やプレイリスト登録、着信音設定をしたりできます。

- ・再生中や一時停止中は操作できない機能があります。

◆ 着うたフル®の保存先移動

FOMA端末とmicroSDカードの間で移動します。

- ・情報表示のmicroSDへの移動／本体への移動が「可」または「可（同一機種間）」の場合のみ移動できます。

1 [MENU] 4 [3] ▶ 「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- ・フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 着うたフル®にカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 7 ▶ 1 ～ 3 ▶ 「はい」

- 選択移動では選択操作▶ [6] が必要です。
- 選択移動と全件移動は、「ファイル種別」フォルダ内でのみ操作できます。

✓お知らせ

- 部分的に保存、または再生制限に達している着うたフル®は移動できません。また、WMAファイルやうた文字も移動できません。
- 着信音に設定されている着うたフル®をFOMA端末からmicroSDカードへ移動すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。

◆ 音楽データやうた文字の削除

保存先からデータを削除します。

1 [MENU] 4 3 ▶ 「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 データにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 3 ▶ 1 ~ 3 ▶ 「はい」

- 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
- 選択削除では選択操作▶ [6] が、全件削除では認証操作が必要です。
- フォルダ内にあるすべてのデータを削除すると、そのフォルダも削除されます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除されません。

フォルダごと削除：フォルダにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー]

- ▶ 1 ▶ 1 ~ 3 ▶ 認証操作▶ 「はい」
- 1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
 - 選択削除では選択操作▶ [6] が必要です。
 - フォルダによっては、削除できません。

✓お知らせ

- 着信音に設定されている音楽データを削除すると、着信音はお買い上げ時の設定に戻ります。
- 歌詞設定中のデータを削除すると、歌詞設定も解除されます。

◆ 歌詞設定

音楽データの再生中、プレーヤー画面にうた文字の歌詞が表示されるようにします。うた文字によっては、曲に合わせて文字の色が変わります。

- うた文字があらかじめ音楽データに含まれている場合は、設定または解除できません。

〈例〉 音楽データから歌詞設定する

1 [MENU] 4 3 ▶ 「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 音楽データにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 2 ▶ フォルダを選択▶ うた文字を選択▶ 「はい」

うた文字から歌詞設定：うた文字にカーソル▶ [MENU] [サブメニュー]
▶ 2 2 ▶ フォルダを選択▶ 音楽データにカーソル▶ [6] [決定] ▶ 「はい」

歌詞設定先音楽データの確認：歌詞設定中のうた文字を選択
サイトに接続してうた文字を検索：音楽データにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 1 ▶ 「はい」
解除：データにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 3 ▶ 「はい」

◆ 音楽データのプレイリスト登録

音楽データフォルダからプレイリストに登録できます。

- プレイリストの利用→P221

1 [MENU] 4 3 ▶ 「プレイリスト」以外のフォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 音楽データにカーソル▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 1 ▶ 1 ~ 3 ▶

- 選択登録では選択操作▶ [6] が、全件登録では「はい」の選択が必要です。

3 目的の操作を行う

- 作成済みのプレイリストに追加登録：プレイリストを選択
プレイリストを新規作成して登録：[4] [新規] ▶ プレイリスト名を入力
(80文字以内) ▶ [5] [確定]
プレイリスト内の音楽データをすべて上書き：プレイリストにカーソル
▶ [6] [上書き] ▶ 「はい」

◆ 着うたフル®の着信音設定

着うたフル®全体を着信音にする「まるごと着信音」と、一部分を着信音にする「オススメ着信音」があります。

- 情報表示のまるごと着信音設定およびオススメ着信音設定が「不可」になっている着うたフル®、WMAファイルは着信音に設定できません。

1 [MENU] 4 3 ▶ フォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 着うたフル®にカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 4 ▶ 1 ～ 9 ▶ 1 または 2

- 「オススメ設定」を選択したときは、続けて、設定する部分にカーソルを合わせて [6] を押します。
- メモリ指定着信音（電話、メール）に設定するときは、設定する電話帳を選択して、[6] を押します。
- 着うたフル®がmicroSDカードに保存されている場合は、続けて「はい」を選択します。着うたフル®はFOMA端末に移動されます。

◆ 音楽データやうた文字の情報表示

音楽データやうた文字のさまざまな情報を確認できます。また、変更可能な情報を変更できます。

1 [MENU] 4 3 ▶ フォルダを選択

- フォルダによっては、さらにフォルダを選択する必要があります。

2 データにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 5

- データによって表示される情報の種類が異なります。
- 情報表示中に [6] を押すと、「URL情報」に表示されているサイトへの接続確認画面が表示されます。
- 「トラック番号」はアルバム内の曲番号／アルバム内総曲数を表示します。ただし、WMAファイルでは総曲数は表示できません。
- 「ファイル名」に拡張子は表示されません。
- 「ファイル種別」の「ミュージック」は着うたフル®、「ミュージック（会員制）」はうた・ホーダイのファイルであることを示します。
- 「音」は音楽データの形式とビットレートを表示します。

情報の変更：データにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 6 ▶ 1 ～ 8 ▶ 変更内容を入力 ▶ [6] [確定]

- 最後に再生した音楽データの情報を変更すると「続きから再生」での再生ができない場合があります。
- 音楽データ再生中は情報を変更できません。
- WMAファイルの情報は変更できません。
- うた文字はタイトルのみ変更できます。
- タイトル、アーティスト名、アルバム名、ジャンル、コメントは全角126（半角253）文字以内、年は半角数字4桁以内、トラック番号、総トラック数は半角数字3桁以内で入力します。ただし、データがmicroSDカードに保存されている場合、タイトルは全角31（半角63）文字以内で入力します。

情報をオリジナルに戻す：データにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 6 9 ▶ 「はい」

◆ WMA一括削除

microSDカードに保存されたWMAファイルを全て削除します。

- ・パソコンから転送したプレイリストも削除されます。

1 [MENU] 4 3 ▶ 「ファイル種別」フォルダを選択 ▶ 「WMA」にカーソル ▶ [✉] [全削除] ▶ 認証操作 ▶ 「はい」

プレイリストの利用

プレイリストを利用して、任意の音楽データを好きな演奏順で管理できます。

- ・プレイリストはFOMA端末に最大10件作成できます。
- ・1つのプレイリストに最大99件の音楽データを登録できます。
- ・パソコン上で作成したプレイリストを転送できます。→P215
- ・クイックプレイリストは、再生中の操作（→P217）で登録できるプレイリストです。
- ・再生中や一時停止中は操作できない機能があります。

◆ プレイリストの作成

プレイリストを新規作成します。

- ・クイックプレイリストの新規作成はできません。

1 [MENU] 4 3 ▶ 「プレイリスト」フォルダを選択

2 ユーザプレイリスト一覧画面で [✉] [新規] ▶ プレイリスト名を入力（80文字以内）▶ [✉] [確定]

◆ プレイリスト内音楽データの管理

音楽データの登録や解除、並び順の変更をします。

- ・パソコンから転送したプレイリストでは、操作できません。

1 [MENU] 4 3 ▶ 「プレイリスト」フォルダを選択 ▶ ユーザプレイリスト一覧画面でプレイリストを選択

2 目的の操作を行う

音楽データの追加登録： [✉] [曲追加] ▶ フォルダを選択 ▶ 音楽データにカーソル ▶ [✉] [決定]

プレイリストから削除： 音楽データにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 1 ~ 3 ▶ 「はい」

- ・音楽データ自体は削除されません。
- ・1件削除ではカーソルを合わせたデータが削除されます。
- ・選択削除では選択操作 ▶ [✉] が必要です。

音楽データの並べ替え： [MENU] [サブメニュー] ▶ 3 ▶ 音楽データを選択 ▶ 移動先を選択 ▶ [✉] [完了]

プレイリストの更新： [MENU] [サブメニュー] ▶ 7 ▶ 「はい」

◆ プレイリストの管理

プレイリスト名の編集や削除、移動、複製をします。

1 [MENU] 4 3 ▶ 「プレイリスト」フォルダを選択

2 目的の操作を行う

プレイリスト名の編集： プレイリストにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 1 2 ▶ プレイリスト名を入力（80文字以内） ▶ [✉] [確定]

- ・クイックプレイリストでは操作できません。

削除： プレイリストにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 2 ▶ 1 ~ 3 ▶ 「はい」

- ・1件削除ではカーソルを合わせたプレイリストが削除されます。
- ・選択削除では選択操作 ▶ [✉] が、全件削除では認証操作が必要です。
- ・クイックプレイリストは削除できません。

1つ上に移動： プレイリストにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 3

複製： プレイリストにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ 4 ▶ プレイリスト名を入力（80文字以内） ▶ [✉] [確定]

音楽再生音優先設定

i アプリを利用中にミュージックプレーヤーのバックグラウンド再生を可能にするかを設定します。

- 起動中の i アプリの音量を0にしないとバックグラウンド再生はできません。ただし、i アプリによってはバックグラウンド再生ができません。

1 MENU **8** **2** **6** ▶ **1** または **2**

i アプリ／i ウィジェット

i アプリ

i アプリ	224
i アプリのダウンロード	224
i アプリの起動	225
ワンタッチ i アプリ・ツータッチ i アプリ	230
i アプリの自動起動	230
i アプリコールの利用	231
オート GPS 優先設定	232
i アプリ待受画面	232
i アプリの管理	233
i アプリからの機能利用	234

i ウィジェット

i ウィジェット	235
i ウィジェットの利用	235
ウィジェットアプリのダウンロード	237

i アプリ

i アプリとは、i モード対応端末用のソフトです。i モードサイトからさまざまなソフトをダウンロードすれば、自動的に株価や天気情報などを更新したり、ゲームを楽しんだりすることができます。

さらに、リアルタイム通信や i アプリコール (→P231) を用いた、多人数でのオンライン通信が可能な i アプリオンラインにも対応しており、対戦ゲームやチャットアプリなども楽しむことができます。

また、i アプリには i ウィジェット (→P235) 対応のものがあります。

- 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P356
- i アプリの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。

✓お知らせ-----

- i アプリまたは i アプリDXにより画像や動画、トルカ、着信音が保存される場合、ファイルはそれぞれに対応した保存先または i アプリ内に保存されます。

i アプリのダウンロード

サイトから i アプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- 保存できる i アプリのサイズは1件あたり最大10Mバイトです。
- ダウンロードした i アプリは、ソフト一覧の「マイフォルダ」に保存されます。

1 サイトを表示▶ i アプリを選択

i アプリがダウンロードされます。

- ダウンロード中に [■] を押して「はい」を選択すると中止します。

ソフト情報表示設定が「表示する」のとき

i アプリの情報とダウンロードの確認画面が表示されます。

- [■] を押すと、ダウンロードする i アプリの詳細情報を表示できます。

登録データや携帯電話／ドコモUIMカード (FOMAカード) の製造番号、ICカード内データ (ICカード固有の番号を含む)、microSDカードを利用・送信する i アプリをダウンロードするとき
ダウンロードの確認画面が表示されます。

- ガイド表示領域に「ガイド」と表示された場合は、[■] を押すとその i アプリが利用するデータの詳細を確認できます。

i アプリ待受画面、通信設定、位置情報利用設定、番組表ボタン設定、i アプリコール設定、ソフトからのオートGPS設定の設定画面が表示されたとき

各項目を設定します。

各設定項目→P227 「ソフト動作設定」

2 ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」

「はい」を選択すると i アプリが起動し、「いいえ」を選択するとサイト表示に戻ります。

- ダウンロードした i アプリはショートカットに貼り付けられます。→ P37

✓お知らせ-----

- 最大保存件数／領域を超えたとき→P291

• メモリ確認→P291

• ダウンロードを中止したり、通信が中断されたりしたときは、再開の確認画面が表示される場合があります。「いいえ」を選択すると、部分保存できる場合は部分保存の確認画面が表示されます。部分保存した i アプリは、ソフト一覧から残りをダウンロードできます。→P225 「i アプリの起動」操作3

• 選択した i アプリが既にダウンロードされている場合、ダウンロード済みを示す画面が表示されます。i アプリのバージョンが更新されているときは、バージョンアップの確認画面が表示されます。既に異なるドコモminiUIMカードでダウンロードしているときは、上書きの確認画面が表示されます。

◆ メール運動型 i アプリのダウンロード

メール運動型 i アプリをダウンロードすると、受信／送信／未送信メールのフォルダ一覧にメール運動型 i アプリ用のフォルダが自動的に作成されます。フォルダ名はダウンロードしたメール運動型 i アプリ名に設定され、変更できません。

- ・メール運動型 i アプリは最大5件（i アプリの最大保存件数100件に含む）保存できます。最大保存件数を超えるときは、画面の指示に従ってメール運動型 i アプリ用のフォルダを削除してください。
- ・同じメールフォルダを利用するメール運動型 i アプリが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードできません。
- ・メール運動型 i アプリ用のフォルダのみが残っているときに、そのフォルダを利用するメール運動型 i アプリを再ダウンロードしようとすると、メールフォルダ利用の確認画面が表示されます。利用しない場合は、メールフォルダを削除してからダウンロードしてください。
- ・メール運動型 i アプリに対応したメールが既にFOMA端末に保存されている場合は、ダウンロードの際に自動的に作成されたフォルダへの移動確認画面が表示されます。
- ・2in1がBモード時にメール運動型 i アプリのダウンロードが完了するとサイト画面に戻ります。設定画面が表示されているときは[2]を押すとサイト画面に戻ります。

◆ ソフト情報表示設定

i アプリをダウンロードしたときに情報を表示するかを設定します。

1 MENU [3] [4] [2] ▶ [1] または [2]

i アプリの起動

保存されている i アプリを起動します。

1 [i] (1秒以上)

おサイフケータイ対応 i アプリのみを表示 : MENU # 1 ▶ 操作3に進む
GPS対応 i アプリのみを表示 : MENU 9 5 ▶ 操作3に進む

2 フォルダを選択

- マークの意味は次のとおりです。

■: お買い上げ時に登録されているフォルダで i アプリなし／あり
■: 作成したフォルダで i アプリなし／あり

ソフト件数確認 : フォルダにカーソル▶ [i] [情報]

設定状況の確認 : [i] [情報]

保存件数や i アプリ待受画面、ワンタッチ i アプリ、自動起動の設定状況が表示されます。

- マークの意味は操作3をご覧ください。

3 起動する i アプリを選択



グラフィカル表示

- マークの意味は次のとおりです。

[i]: おサイフケータイ対応 i アプリ

[i]: 未設定状態のおサイフケータイ対応 i アプリ

[i]: メール運動型 i アプリ [i]: i アプリDX

[i] (オレンジ): i アプリ [i]: ダウンロードが必要な i アプリ

[i]/[i]: i アプリ待受画面に設定可／設定中 [i]: 自動起動設定中

- (上半分グレー、下半分オレンジ) : 部分保存した i アプリ
- ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可
- IP (情報サービス提供者) によって停止状態
- SSLページからダウンロードした i アプリ
- 2in1がBモードのため起動不可
- ワントッチ i アプリ登録中
- ツータッチ i アプリ登録中
- GPS対応 i アプリ
- 地図を見る i アプリに設定可/設定中
- 周辺検索アプリ設定に設定中
- ソフトからのオートGPS設定に設定可
- 番組表ボタン設定に設定可/設定中
- シリアル機器からの起動に設定可/設定中
- ICカード一覧へ移動
- ソフト一覧の「マイフォルダ」へ移動
- i モードサイトから i アプリを探す→P224
- サムネイルの代わりにマークが表示される場合があります。
- を押すたびにグラフィカル表示→リスト表示→サムネイル表示の順に表示が切り替わります。
- が表示されている i アプリは、初めて利用するときのみダウンロードする必要があります。ダウンロードには、別途パケット通信料がかかるものもあります。ダウンロードする前に、表示される説明内容をよくお読みください。
- 部分保存した i アプリを選択すると、残りをダウンロードするかの確認画面が表示されます。残りをダウンロードすると起動できますが、ダウンロードできないときは、部分保存した i アプリは削除される場合があります。
- 終了方法は i アプリごとに異なります。 を押し「はい」を選択しても終了できます。

✓お知らせ-----

- 全画面で表示される i アプリでは、 を押すたびに電池アイコンの表示／非表示が切り替えられます。
- i アプリ動作中に鳴る音の音量は調整できます。ただし、音が鳴らない i アプリもあります。→P228
- i アプリによっては、i アプリ起動中に指定された別の i アプリを起動できます（指定されていない場合は i アプリを選択します）。ただし、指定された i アプリがソフト一覧にない場合は、ダウンロードする必要があります。
- i アプリで利用する画像（i アプリからカメラ撮影した画像や i アプリの赤外線通信／iC通信機能によって取得した画像）やお客様が入力したデータなどは、インターネットを経由してサーバーに送信される可能性があります。
- i アプリによっては、i アプリ使用データをデータBOXに保存するものがあります。保存された i アプリ使用データのデータ容量はソフト詳細情報から確認できます。i アプリを削除することで、データBOX内の i アプリ使用データも削除されます。
- microSDカードを利用する i アプリは i アプリから microSDカードにデータを保存できますが、保存したデータは他機種で利用できない場合があります。保存したデータは、microSDカードの「i アプリ使用データ」で確認できます。→P283
- 電話着信時、自動キーロックが起動したとき、ワンセグの視聴／録画予約・お知らせタイマー・アラーム・メモのアラームで指定した日時になったとき、他の機能に切り替えたときは、i アプリは中断されることがあります。動作中の機能が終了する i アプリは再開しますが、i アプリによっては、中断したときの状態に戻らない場合があります。
- i アプリによっては、IP (情報サービス提供者) が携帯電話に保存された i アプリにアクセスし、直接使用停止状態にすることがあります。その場合はその i アプリの起動、待受画面設定、バージョンアップなどができなくなり、削除およびソフト詳細情報の表示のみできます。もう一度ご利用いただくには i アプリ停止解除の通信を受ける必要があるため、IP (情報サービス提供者) にお問い合わせください。
- i アプリによっては、IP (情報サービス提供者) が携帯電話に保存された i アプリにデータを送信する場合があります。
- IP (情報サービス提供者) が i アプリに対し、停止・再開要求を行ったり、データを送信した場合、FOMA端末は通信を行い、 が点滅します。その場合、通信料はかかりません。
- i アプリ作成者の方へ
i アプリを作成中、正常に動作しないときはトレース情報が参考になる場合があります。トレース情報は、待受画面で **MENU** を押すと表示されます。ただし、トレース情報を記録する i アプリが保存されていないときは、表示できません。トレース情報を削除するときは を押して「はい」を選択します。

◆セキュリティエラー履歴

- i アプリがエラーを発生して終了したときに、履歴から i アプリ名や日時、セキュリティエラー理由を確認します。
- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 MENU [3] [3] [3]

- 履歴を削除するときは [●] を押して「はい」を選択します。

◆ソフト詳細情報

i アプリの名前やソフトのサイズ、動作設定の設定状況などを確認します。

1 [i] (1秒以上) ▶ フォルダを選択 ▶ i アプリにカーソル ▶ [●]
[詳細]

- 表示される項目は i アプリによって異なります。
- SSLページからダウンロードした i アプリの場合、ソフト詳細情報画面で [●] を押すとサイトの証明書を確認できます。

◆ソフト動作設定

i アプリごとに詳細な動作を設定します。

- i アプリが対応していない項目は選択できません。
- 2in1がデュアルモードまたはBモード時は、「i アプリ待受画面」「i アプリ待受画面通信設定」は選択できません。

1 [i] (1秒以上) ▶ フォルダを選択 ▶ i アプリにカーソル ▶ MENU
[サブメニュー] ▶ [5] ▶ 各項目を設定 ▶ [●] [登録]

i アプリ待受画面：待受画面に設定するかを設定します。設定できる i アプリは1件のみです。

i アプリ待受画面通信設定：i アプリ待受画面動作中に自動的に通信するかを設定します。

通信設定：i アプリ動作中に自動的に通信するかを設定します。

アイコン情報：i アプリがメール、メッセージR/F、電池、マナーモード、アンテナの各種アイコン情報を利用するかを設定します。

プラウザからの起動：サイトからの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

トルカからの起動：トルカからの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

メールからの起動：メールからの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

住所リンク機能での起動：サイトやメッセージR/F、トルカの位置情報のリンク項目からの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

外部機器からの起動：外部機器からの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

シリアル機器からの起動：シリアル機器から起動するかを設定します。設定できる i アプリは1件のみです。

データ放送サイトからの起動：ワンセグのデータ放送サイトからの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

スケジューラからの連携起動：スケジュールからの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

ソフトからの着信音／画像変更を*：i アプリが着信音や待受画面などの画像の設定を自動的に変更することを許可するかを設定します。

変更ごとに確認画面を*：i アプリが着信音や画像の設定を変更することで確認画面を表示するかを設定します。

ソフトからの電話帳／履歴参照を*：i アプリが電話帳やリダイヤル、着信履歴を自動的に参照することを許可するかを設定します。FOMA端末に保存したトルカも対象です。

位置情報利用設定*：GPS対応 i アプリが位置情報を自動的に利用するかを設定します。

ソフトからのオートGPS設定*：i アプリからのオートGPSサービス情報の登録や設定を許可するかを設定します。

番組表ボタン設定*：ワンセグから起動する番組表 i アプリに設定するかを設定します。設定できる i アプリは1件のみです。

地図設定*：地図やナビを見る操作で利用する i アプリに設定するかを設定します。設定できる i アプリは1件のみです。

・地図選択にも反映されます。→P257

・本設定に対応しているGPS対応 i アプリのみ設定できます。

i アプリコール設定*：i アプリコールから起動するかを設定します。

MyFACEからの起動設定：MyFACEからの起動 (i アプリTo) を許可するかを設定します。

* i アプリDXのみ設定できます。

✓お知らせ-----

- ・通信設定を「通信しない」に設定すると、i アプリが起動できない場合や、株価情報やお天気情報などの i アプリによるタイマーーな情報提供ができない場合があります。
- ・アイコン情報を「利用する」に設定すると、未読メール、未読メッセージR/F、電池残量、マナーモード、アンテナアイコンの有無がインターネットを経由してIP（情報サービス提供者）に送信される場合があるため、第三者に知得される可能性があります。アイコン情報が必要な i アプリの場合、「利用しない」に設定すると、動作しない i アプリがあります。
- ・i アプリによっては、i アプリコール設定を「設定する」にしていても有効にならない場合があります。

◆ i アプリ動作中の各種動作設定

i アプリ動作中のさまざまな設定をします。

1 MENU [3] [4]

2 目的の操作を行う

i アプリ音量：[1] ▶ [2] または [▲] ▶ [□] [決定]

・音量設定の i アプリ音量にも反映されます。

照明点灯時間設定：[7] ▶ [1] または [2]

・照明設定の照明点灯時間設定（i アプリ）にも反映されます。

明るさ調整：[8] ▶ 明るさを選択

・照明設定の明るさ調整（i アプリ）にも反映されます。

バイブレータ設定：[9] ▶ [1] または [2]

・バイブルータ設定の i アプリ利用時にも反映されます。

i アプリ省電力設定：[☒] ▶ [1] または [2]

・「ON」を選択した場合は、設定時間の選択操作が必要です。

◆ 電子コンパス

本FOMA端末は、地球の磁場を感知する電子コンパスを使用した i アプリに対応しています。

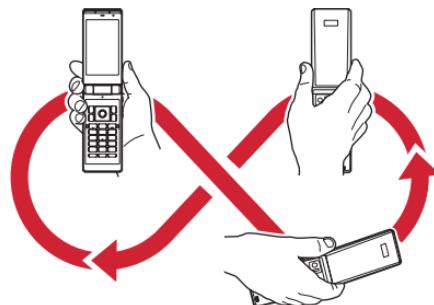
- ・電子コンパスは地球の微弱な磁場を感じて方位を算出しています。そのため、建物（地下街を含む）や乗り物、金属製の施設（エレベーターなど）、金属製の設備（ガードレール、歩道橋など）、高圧線、架線、磁気を含む岩盤、金属（鉄製の机、ロッカーなど）、永久磁石（磁気ネックレス、バッグの留め金など）、家庭電化製品（テレビ、パソコン、スピーカーなど）の中または近くでは磁場を感じできなかつたり、方位の算出に誤差が出る場合があります。
- ・電子コンパスの起動直後、FOMA端末の開閉時、急激な温度変化を伴う場所や磁場を感じしにくい場所に長時間置いたとき、AC／DCアダプタや付属の卓上ホルダの接続時は方位の算出に誤差が出る場合があります。
- ・正しく方位を測定できない場合は、磁場を感じしやすい場所に移動してから電子コンパスを調整してください。
- ・FOMA端末を永久磁石のような強い磁気を帯びたものに近付けないでください。FOMA端末そのものが磁気を帯びたときは、測定精度に影響を及ぼす恐れがありますのでご注意ください。

◆ 電子コンパスを調整する

■ 操作方法

電子コンパス機能使用中に、手首を返しながら大きく8の字を描くように10秒程度FOMA端末を動かします。

- ・電子コンパスを使うときの状態（開いた／閉じた状態）で行ってください。



◆ i アプリタッチ

対戦ゲームなどをを行う際、本機能が搭載されたFOMA端末のiマークどうしを重ね合わせることで、簡単にBluetooth接続をすることができる機能です。

- ・ヘッドセットなど、その他のBluetooth機器と接続している場合、iアプリタッチが利用できないことがあります。その際は、Bluetooth機器との接続を解除した上でご利用ください。
- ・充電中はiアプリタッチの送信ができません。

◆ プリインストール i アプリ

- ・お買い上げ時に登録されているiアプリを削除した場合は、「@Fケータイ応援団」のサイトからダウソードできます。→P290
- ・プリインストールiアプリの再ダウソードサービスは、予告なく休止、または終了させていただく場合があります。
- ・iモードサイトへのアクセス方法は予告なしに変更される場合があります。

おサイフケータイ対応 i アプリに関するご注意

- ・ICカードに設定された情報につきましては、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

アプリ名	国内		海外		
	パケット通信による課金		初回起動時のアブリダウンロード	起動	利用
	初回起動時	通常利用時			
楽オク☆アプリ	○	○	—	○	○
i Bodymo	○	○	○	○	○
ドコモ料金案内	—	—	○ (無料)	○	○
モバイルSuica登録用 i アプリ	○	○	—	○	○
電子マネー「nanaco」※1	○	○	○	○	○
ゴールドポイントカード	○	○	○	○	○
ピックポイント機能付きケータイ	○	○	○	○	○
ANAモバイルAMCアプリ	○	○	○	○	○
おサイフケータイ Web ブラウザ	—	○	—	—	○

※1 会員登録が必要です。

※2 「Mobage」サイトのご利用時にはパケット通信料がかかります。

※3 マイメニュー登録が必要です(お試しマイメニューあり)。

アプリ名	国内		海外		
	パケット通信による課金		初回起動時のアブリダウンロード	起動	利用
	初回起動時	通常利用時			
ヘルスチェック	—	○	—	○	○ (利用時)
Mobage※1	—※2	—※2	—	○	—
地図アプリ	○	○	—	—	—
DCMXクレジットアプリ	○	○	—	○	○
ID 設定アプリ	○	○	—	○	○
マクドナルド トクするアブリ※1、3	○	○	—	—	—
Twitter	○	○	—	○	○
Gガイド番組表リモコン	○	○	—	○	○

ワンタッチ i アプリ・ツータッチ i アプリ

i アプリをワンタッチ i アプリ・ツータッチ i アプリに登録すると、待受画面からすばやく起動できます。

◆ワンタッチ i アプリ・ツータッチ i アプリ登録

ワンタッチ・ツータッチで起動する i アプリを登録します。

- ・ワンタッチ i アプリは1件登録できます。ツータッチ i アプリは1つのダイヤルキーにつき1件、最大10件登録できます。

1 [i] (1秒以上) ▶ フォルダを選択

2 i アプリにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [8] ▶ [1] または [2]

- ・解除する場合もそれぞれ同様の操作です。
- ・ワンタッチ i アプリを登録する場合は、以降の操作は不要です。

3 登録先を選択

- ・アイコンの番号 ([4]～[9]) が、ツータッチ i アプリを起動するときに使うダイヤルキー ([0]～[9]) に対応します。

✓お知らせ-----

- ・待受画面で MENU [3] [4] [0] を押すと、ツータッチ i アプリ一覧を表示できます。一覧のサブメニューから、詳細情報の表示やツータッチ i アプリ解除ができます。

◆ワンタッチ・ツータッチでの起動

待受画面から少ないキー操作で i アプリを起動します。

〈例〉ツータッチで i アプリを起動する

1 [0]～[9] ▶ [i] (1秒以上)

ワンタッチで i アプリを起動: [●] (1秒以上)

i アプリの自動起動

指定した日時に i アプリを自動的に起動できます。

◆自動起動設定

自動起動情報登録のユーザ設定を「ON」に設定したすべての i アプリを自動起動するかを設定します。

1 MENU [3] [4] [3] ▶ [1] または [2]

◆自動起動情報登録

i アプリごとに自動起動のON／OFFや起動日時を設定したり、あらかじめ設定されている内容を表示したりします。

- ・設定できる条件は、i アプリによって異なります。
- ・自動起動できない i アプリもあります。
- ・自動起動設定が「自動起動しない」の場合は、設定できません。

1 [i] (1秒以上) ▶ フォルダを選択 ▶ i アプリにカーソル ▶ MENU [サブメニュー] ▶ [6] ▶ 各項目を設定 ▶ [●] [登録]

ユーザ設定：次の設定する条件で自動起動するかを選択します。

時刻：自動起動する時刻を入力します。

繰り返し：自動起動を繰り返し行うときの条件を設定します。

毎週：繰り返しを「毎週」に設定したときに曜日を設定します。

日付：繰り返しを「1回のみ」に設定したときに日付を設定します。

ソフト設定：i アプリにあらかじめ設定されている時間間隔で自動起動させるかを設定します。

i アプリ設定1～4：i アプリDXによっては、動作中に自動起動の条件を最大4件設定できます。それらの設定を有効にするかを設定します。

✓お知らせ

- 自動起動を設定しても、待受画面以外が表示されているとき、ドコモminiUIMカードのセキュリティ機能により使用不可のとき（プリインストール i アプリを除く）やドコモminiUIMカードを認識できないとき、自動起動の間隔が短すぎたとき、オールロック中、おまかせロック中、バーソナルデータロック中、プライバシー モード中（i アプリが「認証後に表示」のとき）、2in1がBモード時（メール連動型 i アプリのみ）、IP（情報サービス提供者）によって i アプリの使用を停止されているとき、無線LAN通信中は起動せず、待受画面に が表示され、自動起動失敗履歴に記録されます。
- 「縁り返し」を変更して複数の i アプリを同時に起動するように設定しても、設定時刻に起動するのはいずれか1つです。起動できなかつた i アプリの情報は自動起動失敗履歴に記録されますが、待受画面に は表示されません。

◆自動起動失敗履歴

i アプリの自動起動に失敗したときに、履歴から i アプリ名や日時、起動失敗理由を確認します。

- 最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。
- 自動起動失敗履歴を表示するか、次の自動起動が成功すると、待受画面の が消えます。

1 MENU 1

- 履歴を削除するときは を押し、「はい」を選択します。

i アプリコールの利用

ネットワークに接続して対戦ゲームをする際に対戦相手を募集するなど、第三者者から i アプリの起動を促すように通知する機能です。

- i アプリコールに対応した i アプリで利用できます。
- i アプリコールの受信を一括拒否できます。詳細はドコモのホームページをご覧ください。

◆ i アプリコールの送信

i アプリ動作中に i アプリコールを送信します。

1 i アプリを操作して i アプリコール送信確認画面で「はい」

◆ i アプリコールの受信

i アプリコールを受信したときに、応答するかを操作します。

1 i アプリコールを受信

が点灯し、メール着信時と同様にランプが点灯または点滅し、着信音が鳴って応答確認画面が表示されます。応答確認画面には、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）と i アプリ名が表示されます。

- i アプリコール受信時の音量は、音量設定のメール・メッセージ着信音量に従います。
- メール着信音に i モーションが設定されている場合は、メール着信音のお買い上げ時の設定に従って動作します。

2 「応答する」「拒否する」「保留する」のいずれか

- 「応答する」を選択すると対象の i アプリが起動します。
- 「保留する」を選択したり、約15秒間何も操作しなかったりした場合は、i アプリコール履歴から応答できます。ただし、有効期限が過ぎると応答できません。

✓お知らせ-----

- 待受画面以外が表示されているとき、公共モード（ドライブモード）中、オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード中（iアプリが「認証後に表示」のとき）、対象のiアプリのiアプリコール設定が「設定しない」のとき、対象のiアプリが保存されていないかつiアプリコールダウンロード設定が「拒否する」のときは、応答確認画面は表示されません。
- 対象のiアプリが保存されていない場合は、ダウンロードまたはサイト接続の確認画面が表示されます。「はい」を選択するとダウンロードできます。なお、別途パケット通信料がかかります。
- iアプリコールに応答すると、パケット通信料がかかる場合があります。

◆ iアプリコール履歴

- iアプリコールを受信したときに、履歴から応答状態や受信日時、有効期限、iアプリ名、送信元の電話番号（電話帳に登録しているときは名前）を確認します。履歴を利用して保留中のiアプリコールに応答できます。
- 最大30件記録されます。超過すると有効期限が切れた古いものから上書きされます。

1 MENU **3** **2**

- マークの意味は次のとおりです。
保留中：保留中 **確認**：応答済 **拒否**：拒否済
期限切れ：有効期限切れ **■**：対象のiアプリをダウンロード可

2 目的の操作を行う

- 保留中のiアプリコールに応答**：保留中の履歴を選択▶「確認する」
削除：MENU [サブメニュー] ▶ **1** ▶ **1**または**2**▶「はい」
・全件削除では認証操作が必要です。

◆ iアプリコールダウンロード設定

- iアプリコール受信の際、対象のiアプリがFOMA端末に保存されていない場合にダウンロードするかを設定します。

1 MENU **3** **4** **■** ▶ **1** または **2**

オートGPS優先設定

iアプリを起動しているときに、他の機能で利用しているオートGPS機能を動作させるかを設定します。

- オートGPS機能を利用するには、あらかじめオートGPS動作設定を「ON」に設定しておく必要があります。

1 MENU **3** **4** **5** ▶ **1** または **2** ▶ 「OK」

- 「ON」に設定すると、iアプリによっては動作が遅くなる場合があります。

iアプリ待受画面

待受画面に設定したiアプリを操作できます。

- iアプリ待受画面表示中は、待受画面に■または■がグレーで表示されます。
- iアプリ待受画面からのiアプリ起動中は、待受画面の■または■がオレンジで点滅します。
- iアプリ待受画面の設定→P89
- ソフト動作設定からのiアプリ待受画面の設定→P227

1 iアプリ待受画面で[CLR] ▶ iアプリを操作

2 iアプリの操作が終わったら[←] ▶ 「終了する」

- iアプリを終了してiアプリ待受画面に戻る方法は、iアプリによって異なります。
- 「解除する」を選択するとiアプリ待受画面が解除されます。

✓お知らせ

- ・ i アプリ待受画面を設定中にFOMA端末の電源を入れると、 i アプリ待受画面起動の確認画面が表示されます。「はい」を選択するか、約5秒間何も操作しないと起動します。「いいえ」を選択すると i アプリ待受画面を解除します。ただし、自動電源ON設定によって電源が入った場合は確認画面は表示されず、自動的に i アプリ待受画面が起動します。
- ・ オールロック中、おまかせロック中、パーソナルデータロック中、プライバシーモード（i アプリが「認証後に表示」のとき）中は、 i アプリ待受画面は一時的に解除されます。
- ・ 親子モード設定（各種利用制限の i アプリロック設定が「すべて不可」のとき）を「ON」に設定すると、 i アプリ待受画面は解除されます。
- ・ i アプリ待受画面が解除されるようなエラーが発生すると、解除の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると解除され、異常終了履歴に記録されます。
- ・ ソフト一覧からの終了操作：[MENU] [7]

i アプリの管理

i アプリや i アプリのフォルダを管理します。

◆ i アプリのバージョンアップ

i アプリが更新されている場合はバージョンアップできます。

- 1 [i] (1秒以上) ▶ フォルダを選択 ▶ i アプリにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] ▶ 「はい」

✓お知らせ

- ・バージョンアップすると、 i アプリが記録しているゲームスコアなどのデータが消去される場合があります。
- ・ i アプリによっては、使用期間と使用回数によりドコモのサーバへ継続して使用できるかどうかを問い合わせる場合があります。このとき、サーバから i アプリが更新されていると通知された場合はバージョンアップできます。
- ・ i アプリによっては、自動的にバージョンアップするものがあります。

◆ i アプリフォルダの管理

- i アプリのフォルダを作成／削除したり、フォルダ名を変更したりします。
- ・ 最大20個作成できます。ただし、お買い上げ時に登録されているフォルダは削除やフォルダ名の変更ができません。

- 1 [i] (1秒以上)

2 目的の操作を行う

作成：[MENU] [サブメニュー] ▶ [2]

フォルダ名の変更：フォルダにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [3]

並び順の変更：フォルダにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [4] または

[5]

削除：

- ① フォルダにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [6] [1]

- ・ フォルダ内に i アプリが保存されている場合は、認証操作が必要です。

- ② 「はい」

- ・ フォルダ内に保存されている i アプリによっては、 i アプリやメールフォルダなどの削除確認画面が表示されます。→P234「 i アプリの削除」操作3

- 3 フォルダ名を入力（全角8（半角16）文字以内） ▶ [●] [登録]

◆ i アプリの移動

保存されている i アプリを別のフォルダに移動します。

- 1 [i] (1秒以上) ▶ フォルダを選択

- 2 i アプリにカーソル ▶ [MENU] [サブメニュー] ▶ [3] ▶ [1] ~ [3]

- ・ 選択移動では選択操作 ▶ [●] が必要です。

- 3 移動先のフォルダを選択 ▶ 「はい」

◆ i アプリの削除

保存されている i アプリを削除します。

- ・おサイフケータイ対応 i アプリによっては、ICカード内データも削除される場合があります。
- ・おサイフケータイ対応 i アプリによっては、削除する前に i アプリを起動または再ダウンロードして、ICカード内データを削除しておく必要があります。

1 [■] (1秒以上) ▶ フォルダを選択

2 i アプリにカーソル▶[MENU] [サブメニュー] ▶ [2] ▶ [1] ~ [3]

- ・1件削除ではカーソルを合わせた i アプリが削除されます。
- ・選択削除では選択操作▶[■]が、全件削除では認証操作が必要です。

3 「はい」

- ・メール連動型 i アプリを削除する場合は、メールフォルダ削除の確認画面が表示されます。
 - 「はい」：メールフォルダとフォルダ内のすべてのメールも削除
 - 「いいえ」：i アプリのみ削除
- ただし、「はい」を選択しても、メールフォルダ内に保護されているメールがある場合は、i アプリやメールフォルダは削除できません。
- ・「選択削除」または「全件削除」する i アプリに、ICカード内データを削除しておく必要があるおサイフケータイ対応 i アプリが含まれる場合は、それ以外の i アプリの削除確認画面が表示されます。
- ・microSDカードのデータを使用する i アプリを削除する場合は、microSDカードのデータ削除の確認画面が表示されることがあります。
 - 「はい」：microSDカードのデータも削除
 - 「いいえ」：i アプリのみ削除

✓お知らせ

- ・メール連動型 i アプリで使用していたメールフォルダを残した場合は、メールフォルダ一覧のサブメニューからメールを表示できます。→P138
- ・削除対象のメール連動型 i アプリ用フォルダが使用中（一覧表示中など）の場合、i アプリを削除できないことがあります。

◆ i アプリの並べ替え

ソフト一覧の並び順を並べ替えます。

1 [MENU] [3] [4] [6] ▶ [1] ~ [5]

✓お知らせ

- ・ソフト一覧からの操作 : [MENU] [9]
- ・i アプリ名に全角や半角、英字が混在していると、「名前順」の並べ替えの結果が、50音順と一致しない場合があります。
- ・使用回数は i アプリをバージョンアップしても引き継がれます。
- ・使用回数には i アプリ待受画面として起動した回数は含みません。

◆ 異常終了履歴

エラーが発生して i アプリ待受画面が解除されたり、i ウィジェット画面でウィジェットアプリを続行できなくなったりしたときに、履歴から i アプリ名と日時を確認します。

- ・最大20件記録されます。超過すると古いものから上書きされます。

1 [MENU] [3] [3] [2]

- ・履歴を削除するときは[■]を押して「はい」を選択します。

i アプリからの機能利用

i アプリを利用してさまざまな機能を利用できます。

- ・各機能に対応した i アプリが必要です。
- ・i アプリによっては操作方法が異なったり、利用できない場合があります。

◆ i アプリから電話をかける

i アプリから電話をかけられます。

1 電話番号を選択▶発信条件を設定▶[■] [発信]

発信オプション→P57

◆ i アプリからのカメラ機能利用

i アプリからカメラを利用できます。

1 i アプリを操作してカメラ撮影を行う

◆ i アプリからのバーコードリーダー利用

i アプリからバーコードリーダーを利用できます。

1 i アプリを操作してバーコード（JANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コード）を読み取る

- ・読み取ったデータは i アプリで利用、保存されます。

◆ i アプリからの赤外線通信利用

i アプリから赤外線通信を利用できます。

- ・相手の機器によっては、赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

1 赤外線通信の確認画面で「はい」

- ・赤外線通信によって i アプリ起動データを受信し、i アプリを起動することもできます。

◆ i アプリからのトルカ利用

i アプリからトルカの保存やフォルダ内のトルカを使用／検索ができます。

〈例〉保存する

1 トルカ保存の確認画面で「はい（新規）」

トルカの「トルカフォルダ」に保存されます。

上書き保存：「はい（上書き）」▶ フォルダを選択▶ 上書きするトルカを選択

表示：「プレビュー」

i ウィジェット

i ウィジェットとは電卓や時計、メモ帳、株価情報など頻繁に利用する任意のコンテンツおよびツール（ウィジェットアプリ）に簡単にアクセスすることができる便利な機能です。i ウィジェット画面には複数のウィジェットアプリ（最大8個）を貼り付けることができます。さらに使いたいウィジェットアプリを選択すれば、より詳細な情報を取得することもできます。ウィジェットアプリはサイトからダウンロードすることにより、追加することができます。

- ・ i ウィジェット画面を表示すると、複数のウィジェットアプリが通信することができます。
- ・ 詳細情報を閲覧する場合は別途パケット通信料がかかります。
- ・ i ウィジェットの詳細についてはドコモのホームページをご覧ください。
- ・ 海外でご利用の場合は、国内でのパケット通信料と異なります。→P356
- ・ お買い上げ時に登録されているヘルスチェック、地図アプリ、楽オク☆アプリ、マクドナルド トクするアプリは、i ウィジェット対応です。

i ウィジェットの利用

i ウィジェットを利用します。

◆ i ウィジェットの起動

待受画面から i ウィジェットを起動します。

- ・各画面の操作方法→P236

1 [WiiTV]

i ウィジェット画面が表示され、貼り付けられているすべてのウィジェットアプリが起動します。

- ・ i ウィジェット画面に1つも貼り付けていない場合は、ウィジェットアプリ一覧画面が表示されます。
- ・ 海外で利用する際、初回起動時は i ウィジェット海外利用設定（→ P236）の設定画面が表示されます。

2 ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。

- ・ ウィジェットアプリ一覧画面から選択すると、ウィジェットアプリが起動します。
- ・ ウィジェットアプリを i ウィジェット画面に貼り付けるには、ウィジェットアプリ操作画面で [] を押して、ウィジェットアプリを起動しましたま i ウィジェット画面を表示することで貼り付けられます。
- ・ ソフト一覧からも i ウィジェットの起動やウィジェットアプリ操作画面の表示ができます。→P225

◆ i ウィジェットの画面の見かたと操作

i ウィジェット起動中の操作は次のとおりです。



i ウィジェット画面



ウィジェットアプリ一覧画面



ウィジェットアプリ操作画面
(例: ヘルスチェック)

■ i ウィジェット画面の操作

[] : カーソルの移動

[] : カーソル位置のウィジェットアプリ操作画面を表示

[MENU] : ウィジェットアプリ一覧画面を表示

[] : シャッフルする (2つ以上貼り付けているとき)

[] / [] : 待受画面に戻る

[] ▶ 「YES」: カーソル位置のウィジェットアプリを終了 (i ウィジェット画面から削除)

■ ウィジェットアプリ一覧画面の操作

[] / [] / [] : i ウィジェット画面と同様の操作

[] : ウィジェットアプリを貼り付けている場合は i ウィジェット画面を表示、貼り付けていない場合は待受画面に戻る

・ ウィジェットアプリ一覧画面で「全てのアプリ」を選択すると、i アプリ フォルダ一覧が表示されます。

以降の操作→P225 「i アプリの起動」操作2

■ ウィジェットアプリ操作画面の操作

・ ウィジェットアプリによっては次のキー以外でも操作できる場合があります。

[] * : i ウィジェット画面を表示 (i ウィジェット画面に貼り付け)

[] ▶ 「YES」: ウィジェットアプリを終了 (i ウィジェット画面に貼り付けている場合は i ウィジェット画面から削除)

* 既に9つ起動している場合は、[] ▶ 「YES」でウィジェットアプリが終了します。

お知らせ

- ・ i ウィジェット画面やウィジェットアプリ一覧画面表示中に約3分間何も操作しないと自動的に待受画面に戻ります。
- ・ データー削除を行った場合、i ウィジェット画面の貼り付け状態はお買い上げ時の状態に戻ります。ただし、バージョンアップや削除、再ダウンロードしたウィジェットアプリは貼り付けられません。

◆ i ウィジェット効果音設定

i ウィジェットを起動するときに効果音を鳴らすかを設定します。

・ 音量は i アプリ音量に従います。

| MENU | 3 | 4 | 4 | 1 | ▶ | 1 | または | 2 |

◆ i ウィジェット海外利用設定

国際ローミング中に i ウィジェットを利用する際、通信を許可するかを設定します。

・ 本設定は i モードサービス利用設定（海外）の i ウィジェットにも反映されます。

| MENU | 3 | 4 | 4 | 2 | ▶ 「はい」または「いいえ」

ウィジェットアプリのダウンロード

サイトからウィジェットアプリをダウンロードしてFOMA端末に保存します。

- ・ダウンロードに関する注意事項は「i アプリのダウンロード」をご覧ください。→P224
- ・ダウンロードしたウィジェットアプリの利用→P235

1 サイトを表示▶ウィジェットアプリを選択

ウィジェットアプリがダウンロードされます。

2 ダウンロード完了後に「はい」または「いいえ」

「はい」を選択するとウィジェットアプリが起動し、ウィジェットアプリ操作画面が表示されます。「いいえ」を選択するとサイト表示に戻ります。